

特記仕様書

工事名称	三原リージョンプラザ長寿命化改修工事（3期工事）（建築主体工事）
工事場所	三原市円一町二丁目
工事内容	三原リージョンプラザにおける長寿命化改修工事を行う。 [工事概要] ●建築一式工事 ○体育部門改修 ○文化部門改修 ○管理部門改修
準則	公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、建築物解体工事共通仕様書（各 最新版 国土交通省官房官庁営繕部監修）に基づき施工する。
別途発注工事	・三原リージョンプラザ長寿命化改修工事（3期工事）（舞台機構設備工事） ・三原リージョンプラザ長寿命化改修工事（3期工事）（電気設備工事） ・三原リージョンプラザ長寿命化改修工事（3期工事）（機械設備工事）
支払条件等	前払金及び中間前金払・部分払等の支払について、令和8年度は契約金額の10分の4以内の額とする。
関係法令等	本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。 ・建築基準法、同施行令、同施行規則 ・消防法、同施行令 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則 ・労働安全衛生法、同法施行令、同法施行規則 ・建設業法、同施行令、同施行規則 ・建設工事公衆災害防止対策要綱 ・石綿障害予防規則 ・大気汚染防止法、振動規制法及び土壌汚染対策法 ・建設工事に係る再資源化等に関する法律、同法施行令 ・その他関係法令
疑義変更	本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。 施工に際して疑義が生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議後、監督員の指示により施工すること。ただし、これらにおいて受注金額の増減はなきものとする。 本設計図書と不整合が確認されて設計変更（増額）が必要な場合は、その変更数量が確認できる根拠としての写真などの記録が存在し、かつ監督員に承認されたもの以外は認められない。
提出書類	施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。 商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けること。 設計図書に定める品質及び性能を有することについて、証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けること。
工期	本工事は請負契約締結の後、令和9年8月30日をもって工期とする。 このうち検査期間として13日間を見込んでいる。（工事の完成通知予定日は令和9年8月17日。）
留意事項	・図面に明示されていない事項であっても、工事に必要とされる事は工事範囲とする。 ・入札に先立ち、現地調査を十分に行うこと。質疑がある場合は入札前に確認すること。 ・図面について、設計者からの設計意図等の説明が必要な場合は申し出ること。

- ・作業日は、原則、月曜日から金曜日とし、土曜日及び日曜日は休工日とすること。
- ・行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- ・本工事は「発注者指定型」による週休2日適用工事の対象工事であり、「三原市週休2日適用工事等実施要領（建築工事）」（令和7年6月24日改定）により工事を行うこと。
- ・工事着手前までに「週休2日適用工事」または「週休2日交代制適用工事」に取り組むことを工事打合せ簿にて提出すること。
- ・「週休2日適用工事」または「週休2日交代制適用工事」である旨の表示を工事現場に設置すること。
- ・月単位の週休2日適用工事を達成できなくなった場合は、対象期間中の現場閉所（現場休息）の状況に応じた補正係数により労務費を減額する。
- ・当該施設の営業及び運営等への支障を最小限にするため、工事工程及び作業手順等は最大限の配慮をすること。
- ・本工事は居ながら工事を基本とし、必要に応じて施設使用者の通行制限を行うこととする。工事の詳細については、事前に施設管理者等への説明を行って承諾を得ること。
- ・デジタル化を積極的に推進すること。
- ・生成AIを積極的に活用して工事を進めること。提出書類については、必ず生成AIによるチェックを行った上で提出すること。
- ・定例会議の頻度と方法は協議による。方法は現場事務所での現地開催を基本とし、一部Web会議（現場事務所と市役所を想定）併用とする。現場でのWeb会議の環境設定（受注者側がホスト。Web会議の使用料、現場の通信費等を含む。Web会議用カメラ、マイク、スピーカーなどの周辺機器を含む。）は、工事に含む。
- ・紙資料の削減を目的として、電子機器の利用を主とすること。
- ・定例会の資料は、電子データを原則とすること。
- ・受注者は各定例会の前日までに必要な資料を所定の場所に提出すること。
- ・受注者は各定例会後の5日以内に議事録を作成して、所定の場所に提出し、出席者に内容を共有すること。
- ・現場事務所には、HDMI規格により出力できるモニター（50インチ以上）を設置すること。
- ・現場事務所内は、無線通信（会議にて同時接続10台以上）が可能な環境とすること。
- ・工事着手の10日より前に住民説明会を開催し、工事の概要を説明すること。日時や場所等については発注者との協議により決定する。
- ・着手にあたり、工事着手前の周辺道路や近隣敷地の状況を写真等により記録しておくこと。
- ・近隣住民等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、関係者の理解と協力を得ながら実施すること。苦情等が発生した場合には誠意をもってこれに対応すること。
- ・近隣において、その他の工事が行われている場合は、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音・振動・粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
- ・使用する建設機械については、原則、「低騒音型、低振動型建設機械」として国土交通省の指定を受けた機械を選定して使用すること。これが確認できる資料を施工計画書で示すこと。なお、事情により使用が難しい場合は監督員との協議を行うこと。
- ・解体工事・アンカー工事等の騒音・振動・粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法等を最大限配慮した計画により作業を行うこと。
- ・粉塵の発生が予想される工事は、確実に散水を行う等して、周辺環境への粉塵飛散がないように作業をすること。
- ・騒音計・振動計・デジタル粉塵計・表示盤等を設置し、常時監視をしながら作業を行うこと。
- ・騒音計・振動計の表示盤は、近隣に対して1カ所以上を掲示すること。
- ・騒音測定については、騒音規制法（特定建設作業）の測定方法により測定して、工事中の作業音は許容限度である85デシベルを厳守すること。
- ・振動測定については、振動規制法（特定建設作業）の測定方法により測定して、工事中の作業振動は許容限度である75デシベルを厳守すること。
- ・施工箇所周囲の備品・機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実にすること。養生や移動を行う場合は、事前に施設管理者または所有者に連絡すること。
- ・近隣家屋・敷地または周辺道路に対して、工事による汚れ・損傷・粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、速やかに清掃及び補修等を行うこと。誠意をもって対応し、現状復旧に努めること。
- ・周辺道路の保全及び清掃については常に注意を払って監視をし、定期的に清掃を行うこと。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のために、必要に応じて監督員が指示する範囲にバリケード等を設置すること。
- ・工事期間中は、工事用出入口に交通誘導員を常時配置し、付近の交通安全を図ること。その他、必要な場所に交通誘導員を配置し、事故及び危険防止に努めること。
- ・交通誘導員は本工事で見込んでいる。実施数量が設計数量に満たない場合は設計変更（減額）の対象とする。

- ・工事車両の通行については、近隣住民及び通学児童等の安全を最優先すること。
- ・工事車両は、幅員の広い道路の通行を基本とし、住宅地内などの狭い道を抜け道として使用しないこと。工事車両の周辺の通行経路については、工事着手前に発注者の了承を得ること。
- ・特殊車両の搬出入の有無については、工事着手前に発注者に報告すること。
- ・特殊車両の搬出入を夜間や早朝に行う必要がある場合は、発注者との協議の上で、事前に近隣住民等へ案内文のポスティング等を行うこと。
- ・工事車両は、場内を5km/h以下で徐行すること。場内に注意喚起表示を行うこと。
- ・場内に喫煙所を設ける場合は、施設使用者と近隣住民へ配慮し、設置位置と使用方法を協議してから設けること。使用方法を作業員に周知徹底すること。
- ・工事区域内の残置する設備配管・配線等については、事前に位置を確認してから作業を行うこと。事前調査記録を作成すること。
- ・記念碑等の移設が必要な場合は、事前に関係者と移設場所・方法・時期等を協議の上で実施すること。
- ・工事中の雨水・湧水・洗浄水等の排水については、ノッチタンクによる汚泥等の処理を行う等した上で、適切に排水すること。定期的にpHを測定し、必要に応じて適宜中和を行うこと。
- ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・仮囲い、足場、山留、型枠支保工、構台等の仮設については、施工者が計算等により責任をもって決定し、計画通りに施工すること。仮設設置期間は日常点検を行い、記録に残すこと。
- ・図面等に示されている仮設等についても、必ず受注者で安全性や施工性等を検証すること。受注者が責任をもって設置、施工すること。
- ・足場設置期間中は、シート等の飛散が無いように定期的に点検を行うこと。
- ・台風等の強風等異常気象が見込まれる場合は、事前に足場等の養生シートを折りたたむなど対策を施すこと。また、必要に応じて現場巡視と災害防止対策を行うこと。
- ・足場については、交差筋交い及び外部シートとは別に、高さ15センチメートル以上の幅木を外部・内部の両側に設置すること。（※労働安全衛生法の基準以上の足場とし、安全に配慮する。）
- ・足場については、必要に応じて朝顔を設置すること。
- ・足場については「手すり先行工法等に関するガイドライン」における「手すり先行工法等に関する基準」、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する施工方法にて設置、解体をすること。（親綱は手摺とは扱わない。）
- ・外部足場等に過剰な宣伝広告はしないこと。
- ・工事に係る電気、水道及び下水道使用料金等は受注者の負担とする。
- ・工事の要求に必要な仮設は、工事に含むものとする。
- ・重機が転倒しないように事前検討を行い、安全に作業を行うこと。
- ・配筋検査は、受注者による自主検査を行ったうえ、監理者及び監督員による検査を受検すること。なお、これらの検査は、種類・径・数量についての全数検査を行うこと。
- ・配筋検査前に、上記内容はもとより、継手定着長さ・位置、かぶり厚さ、鉄筋のあき寸法など、設計図書通りに施工されていることを確認してから検査に臨むこと。
- ・コンクリートの調合は、標準仕様書に基づき構造体強度補正を見込む。（原則、外構工事を含む。無筋コンクリートは除く。）
- ・コンクリート打設後の所定期間中は、散水等による湿潤養生を適切に行うこと。
- ・木工事で使用する木材の産出地は、原則、広島県産材（可能な範囲で三原市産材）とすること。
- ・工事完了後に、木工事で使用する木材の産出地について、数量を整理して提出すること。
- ・家具については転倒防止対策のため、床及び壁へ固定すること。
- ・雨水の浸入を防止する部分、屋根、外壁又はこれらの開口部に設ける戸、枠その他の建具周り等からの雨水の浸入に関する瑕疵については、引渡しの日から10年間責任を負うこと。このことについて、保証書を作成して提出すること。（改修工事については、本工事の範囲）
- ・機械的固定方法を行う施工箇所については、事前に引き抜き試験にて引き抜き強度を測定し、耐風圧性能の検証を行うこと。
- ・図面に水勾配がある箇所については、施工図に勾配のパーセントを記載すると共に、完成図にも勾配のパーセントを計測して記載すること。計測する箇所については監督員と協議すること。
- ・塗装の下塗り、中塗り、上塗りは原則的に色を塗り分けること。
- ・自動ドアについては、JIS4722に適合させること。（改修工事については、改修する自動ドアに限る。）
- ・鍵のプランについては、協議の上で同一キーとする箇所を確認すること。
- ・シリンダーキーについては、既存のグランドマスターキー及びマスターキーに取り込むこと。
- ・既存壁紙（クロス）撤去については、既存壁紙（クロス）の裏紙が残らないように処理し、完全に撤去すること。

- ・改修した防火設備の作動状況の確認及び連動する煙感知器等の作動状況の確認については、資格者（建築基準法第12条4項）による総合試験とすること。
- ・外壁劣化状況の調査費用は本工事で見込んでいる。
- ・「①建築物を解体する作業を伴う建設工事であって、当該作業の対象となる床面積の合計が80㎡以上であるもの」、
「②建築物を改造し、または補修する作業を伴う建設工事であって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの」、
「③工作物を解体し、改造し、または補修する作業を伴う建設工事であって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの」については、事前調査結果を労働基準監督署及び広島県東部厚生環境事務所環境管理課に石綿等に関する事項を報告すること。
- ・石綿含有建材の調査（書面・目視調査、分析調査調査及び検体採取を含む）について、工事着手前までに一般建築物石綿含有建材調査者、または特定建築物石綿含有建材調査者が行うこと。
- ・その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令（令和3年4月1日施行）に基づくこと。
- ・石綿含有分析調査は試料採取と分析調査費を見込んでいる。分析は定性（JIS A 1481-1。含有の場合は、含有する層の判定も行う。）による。（10検体）
- ・作業員に対して、新規入場教育時に石綿含有建材の使用位置を確認させること。
- ・石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル(最新版)に基づくこと。
- ・石綿含有建材の除去専門業者については、建設技術審査証明協議会による「建設技術審査証明事業」の提出、又は本工事に相応した技術を有することが分かる施工実績証明等が確認できること。
- ・石綿含有建材の除去業者については、一般健康診断・石綿健康診断・じん肺健康診断の3種類を定期的に受診していることが確認できること。
- ・既存照明機器（安定器等）又はシーリング材等のPCB含有調査を見込んでいる。
- ・PCB含有シーリング材の撤去については、「PCB含有ポリサルファイド系シーリング材撤去工事標準施工要領書」に沿って撤去すること。
- ・家電リサイクル法又はフロン排出抑制法に関する機器等の処分については、当該法律に基づき適正に行うこと。
- ・仮使用申請、道路使用、道路改築申請等の工事に必要な各種手続きは、受注者の負担により遅滞なく行うこと。
- ・その他、工事に伴う官公庁等への手続きは、受注者により遅滞なく行うこと。この時、各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・本工事は別途契約の工事と施工上密接に関連するため、本工事の受注者が調整を行うこと。
- ・工程計画、取り合い工事及び工事用車両の出入り等については、当該別途契約の工事関係者と互いに協力し合い、相互の工事を考慮した上で十分調整し、工事の円滑な施工に務めること。
- ・足場、交通誘導員、工事関係者駐車場用地等は、建築主体工事に見込んでいるが、別途発注工事業者も使用できるものとする。（維持管理上必要な費用は、各業者で協議の上分担すること。）
- ・品質証明員（技術士、1級施工管理技士もしくは1級建築士の資格を有するもので、当該工事に従事していない者）を定める場合は、「総合施工計画書」に品質証明計画と品質証明員の氏名・資格を記載し、資格証明書の写しを添付すること。
- ・品質証明員を定める場合は、品質証明員が関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般に行うこと。また、社内検査を実施し、報告書等を適宜提出すること。
- ・大雨等の警報が発令した場合、また台風及び強風等による自然災害の発生が予測される場合は、現場代理人等は現場事務所等へ待機のうえ、現場及び周囲の巡回を行うとともに必要に応じて対策を講じ報告すること。
- ・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ理由を添えて発注者の承認を受けること。（理由については、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注できない具体的な理由を明記すること。）
- ・熱中症対策として、従業員及び作業員が必要に応じて水分を補給できるよう作業所に給水設備を設置すること。
- ・広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
- ・各工程の状況（写真、進捗率等を月2回程度）を工事中情報共有システムの連絡事項にて報告すること。
- ・工事書類については、工事中情報共有システムの決裁データ等を整理して、CD-R又はDVD-R（2部）にて提出すること。
- ・書面での提出が必要なもの（建退共の掛金収納書、試験結果、保証書等）については、PDFを工事中情報共有システムで提出し、別に書面提出ファイルとしてまとめて提出すること。
- ・完成写真（竣工写真）の撮影を外注する場合は、撮影データを三原市が利用することについての承諾書を提出すること。（押印した原本）
- ・製本図面（A3縮小版・二つ折り）として完成図を3部提出すること。
- ・以下の設計図面は、A2判をA3判に縮小している。（縮小率約70.7%）

三原リージョンプラザ長寿命化改修工事(3期工事)

(建築主体工事)

番号	図面名	番号	図面名	番号	図面名	番号	図面名
A-01	建築改修工事特記仕様書(1)	A-26	外壁調査図(2)	A-51	改修前・後 2階ホールエリア トイレ廻り平面詳細図(2)	A-76	改修後 1階建具配置図
A-02	建築改修工事特記仕様書(2)	A-27	外壁調査図(3)	A-52	改修前 1階ホールエリア トイレ廻り展開図	A-77	改修後 2階建具配置図
A-03	建築改修工事特記仕様書(3)	A-28	外壁調査図(4)	A-53	改修後 1階ホールエリア トイレ廻り展開図	A-78	改修後 建具表
A-04	建築改修工事特記仕様書(4)	A-29	外壁調査図(5)	A-54	改修前 2階ホールエリア トイレ廻り展開図(1)	A-79	部分詳細図(1)
A-05	建築改修工事特記仕様書(5)	A-30	外壁劣化部集計表	A-55	改修後 2階ホールエリア トイレ廻り展開図(1)	A-80	部分詳細図(2)
A-06	建築改修工事特記仕様書(6)	A-31	矩計図(1) (既存参考矩計図)	A-56	改修前 2階ホールエリア トイレ廻り展開図(2)	A-81	部分詳細図(3)
A-07	建築改修工事特記仕様書(7)	A-32	矩計図(2) (既存参考矩計図)	A-57	改修後 2階ホールエリア トイレ廻り展開図(2)	A-82	部分詳細図(4)
A-08	建築改修工事特記仕様書(8)	A-33	矩計図(3) (既存参考矩計図)	A-58	改修前 1階文化部門 展示ホール平面詳細図	A-83	部分詳細図(5)
A-09	建築改修工事特記仕様書(9)	A-34	矩計図(4) (既存参考矩計図)	A-59	改修後 1階文化部門 展示ホール平面詳細図	A-84	部分詳細図(6)
A-10	外壁改修工事特記仕様書(1)	A-35	矩計図(5) (既存参考矩計図)	A-60	改修前 1階文化部門 展示ホール断面詳細図	A-85	部分詳細図(7)
A-11	外壁改修工事特記仕様書(2)	A-36	矩計図(6) (既存参考矩計図)	A-61	改修後 1階文化部門 展示ホール断面詳細図	A-86	部分詳細図(8)
A-12	外壁改修工事特記仕様書(3)	A-37	矩計図(7) (既存参考矩計図)	A-62	改修前 1階文化部門 展示ホール展開図(1)	A-87	部分詳細図(9)
A-13	工事区分表	A-38	矩計図(8) (既存参考矩計図)	A-63	改修後 1階文化部門 展示ホール展開図(1)	A-88	部分詳細図(10)
A-14	附近見取図・配置図	A-39	改修前・後 1階プール平面図	A-64	改修前 1階文化部門 展示ホール展開図(2)	A-89	部分詳細図(11)
A-15	外部仕上表	A-40	改修前・後 1階プール断面詳細図	A-65	改修後 1階文化部門 展示ホール展開図(2)	A-90	仮設計画図 配置図(参考)
A-16	内部仕上表(1)	A-41	改修前 1階主体育館(アリーナ)平面図	A-66	改修前 1階文化部門 展示ホール天井伏図	A-91	仮設計画図 1階平面図(参考)
A-17	内部仕上表(2)	A-42	改修後 1階主体育館(アリーナ)平面図	A-67	改修後 1階文化部門 展示ホール天井伏図	A-92	仮設計画図 2階平面図(参考)
A-18	内部仕上表(3)	A-43	改修前・後 1階副体育館(アリーナ)平面図	A-68	改修前 2階 舞台 平面・断面詳細図	A-93	仮設計画図 3階平面図(参考)
A-19	1階平面図	A-44	改修後 1階主体育館(アリーナ)床伏図	A-69	改修後 2階 舞台 平面・断面詳細図	A-94	仮設計画図 R階平面図(参考)
A-20	2階平面図	A-45	1階副体育館(アリーナ)床伏図・部分詳細図	A-70	改修前 1階天井伏図		
A-21	3階平面図	A-46	改修後 1階主体育館(アリーナ)体育器具図(1)	A-71	改修後 1階天井伏図		
A-22	R階平面図	A-47	改修後 1階主体育館(アリーナ)体育器具図(2)	A-72	改修前 2階天井伏図		
A-23	立面図(1)	A-48	改修後 1階副体育館(アリーナ)体育器具図	A-73	改修後 2階天井伏図		
A-24	立面図(2)	A-49	改修前・後 1階ホールエリア トイレ廻り平面詳細図	A-74	改修前 3階天井伏図		
A-25	外壁調査図(1)	A-50	改修前・後 2階ホールエリア トイレ廻り平面詳細図(1)	A-75	改修後 3階天井伏図		

I. 工事概要等		7 建設発生土	※ 現場説明書の施工条件明示による。 ・ 構内指示場所に堆積 ・ 構内指示場所に敷き均し	12 調査のための破壊部分の補修 [1. 6. 3] 13 技能士 [1. 7. 2]	補修方法 ※図示 補修範囲 ※図示 技能士においては、積極的な活用を図ること。 <table border="1"><thead><tr><th>工事種目</th><th>技能検定職種</th><th>技能検定作業</th></tr></thead><tbody><tr><td>仮設工事</td><td>とび</td><td>とび作業</td></tr><tr><td>防水改修工事</td><td>防水施工</td><td>アスファルト防水工事作業 ウレタンゴム系遮断防水工事作業 アクリルゴム系遮断防水工事作業 合成ゴムシート防水工事作業 塩化ビニルシート防水工事作業 セメント系防水工事作業 シーリング防水工事作業 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 FRP防水工事作業</td></tr><tr><td>外壁改修工事</td><td>樹脂接着剤注入施工 左官 タイル張り</td><td>樹脂接着剤注入工事作業 左官作業 タイル張り作業</td></tr><tr><td>建具改修工事</td><td>サッシ施工 ガラス施工 自動ドア施工 ガラス用フィルム施工</td><td>ビル用サッシ施工作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業 建築フィルム作業</td></tr><tr><td>塗装改修工事</td><td>塗装</td><td>建築塗装作業</td></tr><tr><td>内装改修工事</td><td>タイル張り 建築大工 建築板金</td><td>タイル張り作業 大工工事作業 鋼板下地工事作業</td></tr><tr><td></td><td>左官 内装仕上げ施工</td><td>左官作業 プラスチック系床仕上げ工事作業 カーペット系床仕上げ工事作業 ボード仕上げ工事作業</td></tr><tr><td></td><td>表装</td><td>壁装作業</td></tr><tr><td>耐震改修工事</td><td>とび 鉄筋施工 型枠施工 コンクリート圧送施工 鉄工</td><td>鉄筋組立作業 大工工事作業 コンクリート圧送工事作業 構造物鉄工作業</td></tr><tr><td>環境配慮改修工事</td><td>配管 路面表示施工 造園</td><td>建築配管作業 溶融ペイントハンドマーカ－工事作業 加熱ペイントマシンマーカ－工事作業 造園工事作業</td></tr></tbody></table>	工事種目	技能検定職種	技能検定作業	仮設工事	とび	とび作業	防水改修工事	防水施工	アスファルト防水工事作業 ウレタンゴム系遮断防水工事作業 アクリルゴム系遮断防水工事作業 合成ゴムシート防水工事作業 塩化ビニルシート防水工事作業 セメント系防水工事作業 シーリング防水工事作業 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 FRP防水工事作業	外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工 左官 タイル張り	樹脂接着剤注入工事作業 左官作業 タイル張り作業	建具改修工事	サッシ施工 ガラス施工 自動ドア施工 ガラス用フィルム施工	ビル用サッシ施工作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業 建築フィルム作業	塗装改修工事	塗装	建築塗装作業	内装改修工事	タイル張り 建築大工 建築板金	タイル張り作業 大工工事作業 鋼板下地工事作業		左官 内装仕上げ施工	左官作業 プラスチック系床仕上げ工事作業 カーペット系床仕上げ工事作業 ボード仕上げ工事作業		表装	壁装作業	耐震改修工事	とび 鉄筋施工 型枠施工 コンクリート圧送施工 鉄工	鉄筋組立作業 大工工事作業 コンクリート圧送工事作業 構造物鉄工作業	環境配慮改修工事	配管 路面表示施工 造園	建築配管作業 溶融ペイントハンドマーカ－工事作業 加熱ペイントマシンマーカ－工事作業 造園工事作業
工事種目	技能検定職種	技能検定作業																																				
仮設工事	とび	とび作業																																				
防水改修工事	防水施工	アスファルト防水工事作業 ウレタンゴム系遮断防水工事作業 アクリルゴム系遮断防水工事作業 合成ゴムシート防水工事作業 塩化ビニルシート防水工事作業 セメント系防水工事作業 シーリング防水工事作業 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 FRP防水工事作業																																				
外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工 左官 タイル張り	樹脂接着剤注入工事作業 左官作業 タイル張り作業																																				
建具改修工事	サッシ施工 ガラス施工 自動ドア施工 ガラス用フィルム施工	ビル用サッシ施工作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業 建築フィルム作業																																				
塗装改修工事	塗装	建築塗装作業																																				
内装改修工事	タイル張り 建築大工 建築板金	タイル張り作業 大工工事作業 鋼板下地工事作業																																				
	左官 内装仕上げ施工	左官作業 プラスチック系床仕上げ工事作業 カーペット系床仕上げ工事作業 ボード仕上げ工事作業																																				
	表装	壁装作業																																				
耐震改修工事	とび 鉄筋施工 型枠施工 コンクリート圧送施工 鉄工	鉄筋組立作業 大工工事作業 コンクリート圧送工事作業 構造物鉄工作業																																				
環境配慮改修工事	配管 路面表示施工 造園	建築配管作業 溶融ペイントハンドマーカ－工事作業 加熱ペイントマシンマーカ－工事作業 造園工事作業																																				
化学物質を放散させる建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する品質及び性能を有すると共に、次の(1)から(4)を満たすものとする。 (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生量が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 (2) 接着剤及び塗料にトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 (3) 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシル等を含む）し難揮発性の可塑剤を除くが添加されていない材料を使用する。 (4) (1)の材料を使用した作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発生量が極めて少ない材料を使用したものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第20条の第7項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の第7項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の第7項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第20条の第7項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づき制定された「広島県グリーン購入方針」に掲載されている品目については、他の特記事項及び図面記載の範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に選択するよう努めるものとする。		材料の品質等 [1. 4. 2]	14 化学物質の濃度測定 [1. 7. 9]	測定対象室及び測定箇所数は図示による。 (1) ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針以下であることを確認し、監督職員に報告する。測定箇所は上表により、施工方法は施工条件明示による。 パッシブ型採取機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う。 ①30分間換気 測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む）を開放し、30分間換気する。 ②5時間閉鎖 ①の後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。 ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。 ③測定 イ ②の状態のまま測定する。 ロ 測定時間は、原則として2時間とする。ただし工程等の都合により、2時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。 ハ 測定回数：1回とし、複数回の測定は不要とする。 ④分析 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。 ⑤その他 監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受けること。 (2) 木材の防霉・防蟻処理剤は、クロルピリホス、ダイアジン及びフェノカルブを含有しない薬剤とし、加圧式防霉・防蟻処理等は工場で行い十分乾燥させた後現場に搬入する。 (3) 保温材、断熱材、緩衝材については、ホルムアルデヒドを発生しないが発生量が極めて少ないF☆☆☆☆等級のものとする。 (4) 塗料、壁紙、仕上塗材、合板、接着剤等で屋内に面するものについては、ホルムアルデヒドを発生しないが、発生量が極めて少ないF☆☆☆☆等級のものとする。 (5) 屋内に面して用いる材料は、上記(2)～(4)に適合した上で、揮発性有機化合物の発散が無く若しくは極めて少ないものを選択するように努め、(1)の規定を満たすこと。 ※行う（回数及び時期については監督職員の指示による）																																		
8 環境への配慮 [1. 4. 1]		8 材料の品質等 [1. 4. 2]	9 材料の品質等 [1. 4. 2]	15 中間検査 16 工事写真等 17 完成時の提出図書	20 電子納品 21 工事中情報共有システム 22 施工図及び施工計画書 23 設備工事との取合い 24 撤去部分 25 適用区分 26 騒音・振動の防止 27 施工中の安全確保 28 実施工程表 [1. 2. 1] 29 工程報告 30 保証書 29 コンクリートの試験 (8.8.1～6) 30 工事区分	電子納品対象工事とし、「電子納品・電子検査事前チェックシート（富補工用）」により監督職員と事前に協議した対象書類について、電子媒体により提出する。電子成果品の作成については「富補工事電子納品要領」による。 【提出部数】 2部 (本業種が付帯の場合は、元請業種へ技術資料等を提供する。) (1) 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。 (2) 本工事で使用する情報共有システムは次とする。 広島県工事中情報共有システム (http://dotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html) (3) 監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。 (4) 受注者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあつての評価を行うためのアンケート等がめられた場合、協力しなければならない。 提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。 コンクリート、モルタル等の撤去部分の項目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 基準風速 $V_0 = 32 \text{ m/s}$ 地表面粗度区分 $I \cdot II \cdot III \cdot IV$ 積雪区分 平成12年5月31日建設省告示第1455号 別表 () 「低騒音型・低振動型建設機械指定要領」に基づき指定された建設機械を使用する。 ・同一場所別契約の関連工事が行われる場合は、労働安全衛生法第30条第2項に基づき、当該工事について、同条第1項に規定する措置を講ずべき者として本工事現場代理人を指名する。 ・労働安全衛生法第15条に基づく統括安全衛生責任者を選任したときは、本契約後直ちに「統括安全衛生責任者選任届出書」（任意様式）を提出すること。 工事期間は建築設備を含んだ期間とし、工事全体を把握して作成し、監督職員の承認を受ける。 別紙様式による期間別工事工程報告書を毎月1回1部提出すること。 次の工事について保証書を提出すること。 <table border="1"><thead><tr><th>工事区分</th><th>材</th><th>料</th><th>名</th><th>保証年数</th><th>備</th><th>考</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">防水改修工事</td><td rowspan="3">・アスファルト防水</td><td>年</td><td>漏水の場合等</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・改質アスファルトシート防水</td><td>年</td><td>漏水の場合等</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・合成高分子ルーフィング防水</td><td>年</td><td>漏水の場合等</td><td></td><td></td></tr><tr><td>◎塗膜防水</td><td>10年</td><td>漏水の場合等</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> ※コンクリートの強度試験 機約機関又はこれに準ずる機関で行う。ただし、調査管理強度の管理試験用及び型枠取外し時期の決定用については、生コン工場試験室でもよい。	工事区分	材	料	名	保証年数	備	考	防水改修工事	・アスファルト防水	年	漏水の場合等				・改質アスファルトシート防水	年	漏水の場合等			・合成高分子ルーフィング防水	年	漏水の場合等			◎塗膜防水	10年	漏水の場合等					
工事区分	材	料	名	保証年数	備	考																																
防水改修工事	・アスファルト防水	年	漏水の場合等																																			
		・改質アスファルトシート防水	年	漏水の場合等																																		
		・合成高分子ルーフィング防水	年	漏水の場合等																																		
◎塗膜防水	10年	漏水の場合等																																				
II. 建築改修工事仕様		10 石綿含有建材の調査 [1. 5. 1]	10 石綿含有建材の調査 [1. 5. 1]	18 仮設工事 19 足場等 20 既存部分の養生 21 仮設間仕切り 22 監督職員事務所等 23 工事用水 24 工事用電力 25 仮囲い等の安全施設 26 工事現場の表示 27 交通誘導員 28 快適トイレ設置工事	騒音・粉じん等の対策 ・ 防音パネル ◎ 防音シート [2. 1. 3] 防音パネル、防音シートを張り付ける足場の設置範囲 ※ 工事に必要な範囲 [2. 2. 1] [表2. 2. 1] 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1手すり先行工法による足場の組立てに関する基準」における(2)手すり置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場 ◎ 設置する（範囲 ※ 工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない 防護シート ◎ 設置する（範囲 ※ 工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない 内部足場 ◎ 設置する（※ 脚立、足場板等 ・ ） ・ 設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 C種：利用可能なエレベーター（ ） D種：利用可能な階段（ ） 養生方法等 [2. 3. 1] ◎ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート、合板等による ・ ◎ 既存家具、既存設備等の養生方法 ※ ビニルシート等 ・ ◎ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等（取外し再取付を行う） 保管場所 ※ 構内既存施設内 ・ ・ 固定された器具等（備品、机、ロッカー等）の移動 ※ 行う（図示） 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。 仮設間仕切り及び仮設足場の設置箇所 ※ 図示 [2. 3. 2] [表2. 3. 1] 仮設間仕切りの種別と材質等 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示 A、B種の仕上付材 ※ せっこうボード（GB-R 厚さ9.5mm） ・ 合板（普通合板 厚さ9mm） A、B種の片面への塗装等 ※ 行わない ・ 行わない A種のガラスウールの充填 ※ 行う（JIS A 6301ガラスウール吸音材32K厚50mm） ・ 行わない 仮設扉の種別 ・ 木製（合板張り程度） ・ 鋼製 ・ ※ 設ける [2. 4. 1] 現場に設置する備品等は、現場説明書の施工条件明示による。 構内既存の施設 ※ 利用できる（※ 有償 ・ 無償） ◎ 利用できない 構内既存の施設 ※ 利用できる（※ 有償 ・ 無償） ◎ 利用できない 別紙設計図による 現場の見やすい位置に、監督職員が指示する次の表示板を設置する。 ※ 工事名等の表示板（900mm×600mm） ・ 工事概要等の説明看板（900mm×600mm） 仕様等の詳細は富補課の「現場掲示板について」を参照のこと。 ※ 配置する ・ 本業種が付帯の場合は、元請業種で配置する（ ） ・ 別途工事で配置する（工事名： ） ※ 大型車両進入時（ ）人/日 ◎ 常時配置（1）人/日 ・ （ ）人/日 現場説明書による。																																	
章 項目 特記事項		11 石綿含有建材の調査 [1. 5. 1]	11 石綿含有建材の調査 [1. 5. 1]	18 仮設工事 19 足場等 20 既存部分の養生 21 仮設間仕切り 22 監督職員事務所等 23 工事用水 24 工事用電力 25 仮囲い等の安全施設 26 工事現場の表示 27 交通誘導員 28 快適トイレ設置工事	調査 ※ 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 賃貸資料（アセスメント分析結果報告書） ・ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクノライト、アモサイト、アンソファイト、クリソタイト、クロシドライト、トリモライト 分析方法 <table border="1"><thead><tr><th rowspan="2">材料名</th><th colspan="2">分析方法（定性）</th><th colspan="2">分析方法（定量）</th></tr><tr><th>JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2</th><th>防水剤</th><th>JIS A 1481-3、JIS A 1481-4</th><th>JIS A 1481-5</th></tr></thead><tbody><tr><td>鉄骨柱下無収縮モルタル</td><td>無収縮グラウト材</td><td>既着合モルタル</td><td>既着合目地材</td><td>ループドレン</td><td>吸水調整材</td><td>錠前類</td><td>クローザ類</td><td>自動扉機構</td><td>自閉式上吊り戸機構</td><td>重量シャッター</td><td>軽量シャッター</td></tr></tbody></table> 材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図示 調査範囲 ※外壁（底、笠木共）・屋根 ・ 図示 調査方法 ※ストロムナーによる打診及び目視 ・ 図示 外壁調査は、外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通しているひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行う。 屋根調査は、防水面のひび割れ、浮き、欠損部、目地欠損部及び雨漏りの有無についての位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行う。 また、その報告書は、調査結果を立面図等に記載し、ひび割れ等の集計表を添えて監督職員に提出する（必要に応じ写真等を添付する。）。 調査範囲 ※外壁（底、笠木共）・屋根 ・ 図示 調査方法 ※ストロムナーによる打診及び目視 ・ 図示 外壁調査は、外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通しているひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行う。 屋根調査は、防水面のひび割れ、浮き、欠損部、目地欠損部及び雨漏りの有無についての位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行う。 また、その報告書は、調査結果を立面図等に記載し、ひび割れ等の集計表を添えて監督職員に提出する（必要に応じ写真等を添付する。）。 調査範囲 ※外壁（底、笠木共）・屋根 ・ 図示 調査方法 ※ストロムナーによる打診及び目視 ・ 図示 外壁調査は、外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通しているひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行う。 屋根調査は、防水面のひび割れ、浮き、欠損部、目地欠損部及び雨漏りの有無についての位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行う。 また、その報告書は、調査結果を立面図等に記載し、ひび割れ等の集計表を添えて監督職員に提出する（必要に応じ写真等を添付する。）。	材料名	分析方法（定性）		分析方法（定量）		JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2	防水剤	JIS A 1481-3、JIS A 1481-4	JIS A 1481-5	鉄骨柱下無収縮モルタル	無収縮グラウト材	既着合モルタル	既着合目地材	ループドレン	吸水調整材	錠前類	クローザ類	自動扉機構	自閉式上吊り戸機構	重量シャッター	軽量シャッター												
材料名	分析方法（定性）		分析方法（定量）																																			
	JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2	防水剤	JIS A 1481-3、JIS A 1481-4	JIS A 1481-5																																		
鉄骨柱下無収縮モルタル	無収縮グラウト材	既着合モルタル	既着合目地材	ループドレン	吸水調整材	錠前類	クローザ類	自動扉機構	自閉式上吊り戸機構	重量シャッター	軽量シャッター																											
1 一般共通事項		11 石綿含有建材の調査 [1. 5. 1]	11 石綿含有建材の調査 [1. 5. 1]	18 仮設工事 19 足場等 20 既存部分の養生 21 仮設間仕切り 22 監督職員事務所等 23 工事用水 24 工事用電力 25 仮囲い等の安全施設 26 工事現場の表示 27 交通誘導員 28 快適トイレ設置工事	1 一般共通事項																																	

3 防水改修工事
① 降雨等に対する養生方法
② 既存防水の処理
③ 既存下地の処置
4 アスファルト防水
※ 改修標準仕様書3.1.3(5)⑦～⑹による。 [3.1.3]
既存保護層の撤去
既存防水層の撤去
既存露出防水層面の仕上げ塗装の除去

5 改質アスファルトシート防水
(5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅40mm×長さ160mm×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試薬)」に規定する塩化カルシウム又はJIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調整したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の縦横間隔が140mmになるように標線を刻む。その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて縦横間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平にこぼし立てし、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきせる。24時間経過した後、試験片を水中から取り出して濾布で表面に付着した水を拭き取り、再び縦横間の長さ(L2)を測定する。
吸水による長さ変化率(ΔL)は、次式によって求める。
(ΔL) = (L2 - L1) / L1 × 100 ΔL: 吸水による長さ変化率(%)
L1: 乾燥時の縦横間の長さ(mm) L2: 吸水時の縦横間の長さ(mm)
(6) 耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「産業系サイディング」の気中凍結水中融解法によって行う。100、200、300各サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。(産業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。)
凍結融解操作の試験条件は、試験片の切断小口面をあらかじめシールし、5～35℃の清水中に24時間浸せきさせた後、凍結融解試験装置の槽内に設置し、-20±3℃の気中で約2時間の凍結20±3℃の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。
(7) 耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性試験に準じて行う。試験体の支持装置は、記号S2対辺単純支持法による。
試験体の大きさは、4号(長さ400mm、幅300mm)とする。おもりは、鋼製のなす形おもりとし、記号(W1-1000)、質量1,000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水水平に置き、おもりを試験体のほぼ中央の軌道直上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ、裏面に達する穴の有・無を確認する。金属複合板の残留変形量は、最大ほみ深さを測定する。

6 合成高分子ルーフィングシート防水
改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)
脱気装置の種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
脱気装置の設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定 (個)
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
絶縁断熱工法の防水湿シート
・設置する
・設置しない

7 塗膜防水
防水層の種類 [3.6.2、3]
工法 種別 施工箇所 仕上塗料 高日射反 射率防水 備考
P O X ※ X-1, X-2, X-2H, X-2H ※ 2成分形アクリルウレタン樹脂系・ふっ素樹脂系・アクリルシリコン樹脂系 ※ 主材料の製造所の仕様 ・適用する 脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
L 4 X ※ X-1, X-2, X-2H, X-2H ※ 主材料の製造所の仕様 ・適用する 脱気装置 ・設ける ・設けない
P 1 Y ※ Y-2 保護層 ・設ける ・設けない
P 2 Y ※ Y-2 保護層 ・設ける ・設けない
X-1 (絶縁工法)の脱気装置の種類 ※ 主材料の製造所の仕様
X-1 (絶縁工法)の脱気装置の設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様 (個)
(図)
※ 屋根2 X-1, X-2 ウレタン防水(特定化学物無配合) シーカジャパン: X-1はDSX-1ゼロ同等品以上
の屋根2 X-1, X-2 超硬ウレタン防水 密着工法(2.0 高反射仕上) シーカジャパン: SPN-200SK同等品以上
8 シーリング
シーリング改修工法の種類 [3.7.2、3、3.7.7]
○ シーリング充填工法
・ シーリング再充填工法
・ 拡張シーリング再充填工法
・ ブリッジ工法
ボンドブローカー張り ・ 適用する ・ 適用しない
エッジング材張り ・ 適用する ・ 適用しない
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書3.7.1による
施工箇所 シーリング材の種類(記号)
屋根⑤ PU-2
その他 MS-2
仕上げを行わない施工箇所
・ 図示による ・ 打継目地
シーリング材の目地寸法 ※ 改修標準仕様書3.7.3(1)による
接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験
9 とい
この材質
・ 配管用鋼管
・ 硬質ポリ塩化ビニル管
・ ルーフドレン
・ 表面処理鋼板(表面及び裏面の塗膜の種類)
10 アルミニウム製笠木
種類 ○ オープン形式(・ 押出250形 ・ 押出300形 ○ 押出400形)
・ 板材折曲し形(・ オープン形式 ・ シール形式)
本体幅 ()mm 板厚 (※ 2.0mm ()mm)
表面処理 種類 ()種
色合等 ○ 標準色() ・ 特注色()
既存笠木等の撤去 ・ 行う(範囲 ※ 図示)
○ 行わない
下地補修の工法 ※ 図示
板材折曲し形の笠木の取付方法 ※ 図示
笠木の固定金具の工法等
1章 適用区分による風圧力の(・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力に対応した工法

① ポリマーセメントモルタル (品質・性能) [4.2.2] 項目 品質・性能 だれ 下がり量 (mm) 5以内 表面の状態 ひび割れの発生が無いこと。

② ポリマーセメントスラリー (品質・性能) [4.2.2] 広がり速度 (cm/s) 長さ変化率 (収縮) (%) 引張接着性 (材齢28日) (N/mm2) 曲げ性能 (材齢28日) (N/mm2) 吸水性 (72時間) (%) 耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm2)

③ 吸水調整材 改修標準仕様書表4.3.2による [4.3.5]

④ 既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

(品質・性能) 項目 品質・性能 保水率 70%以上 長さ変化率 0.20%以下 単位容積質量 1.80kg/L以上 曲げ強さ 4.0N/mm2以上

(試験方法) (1) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準練り上り量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。 (2) 保水率の試験方法 JIS R3202「フロートガラス及び磨きガラス」に規定する磨きガラス (縦150mm、横150mm、厚さ5mm) の上に JIS P3801「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5 Aろ紙 (直径11cm) をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、(1) で調製した試料を平均に詰込む。 (3) 単位容積質量の試験方法 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 (4) 接着強さ (標準時) の試験方法 1) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研削した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちに JIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押し出し又はプレス成形による胸ゆわの「小口タイル (外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。 (5) 接着強さ (温冷繰返し) の試験方法 (試験体の作製) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々(4)接着強さ (標準時) の試験方法の「試験体」と同様とする。 (6) 長さ変化率の試験方法 JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化粉体末樹園」9.9 長さ変化率に準ずる。 (7) 曲げ強さの試験方法 JIS A6916「建築用下地調整塗材」の7.11 曲げ強さ試験に準ずる。試験室の状態: 試験室は温度20±2℃、湿度65±10%とする。

① ひび割れ部改修工法 ※ 樹脂注入工法 [4.1.4] [4.2.4、5、6、7] 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/cm) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

2 欠損部改修工法 ※ 充填工法 [4.1.4] [4.2.4、8] エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル

1 ひび割れ部改修工法 ※ モルタルを撤去しないで改修 ※ 樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.5、6、7、8] 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/cm) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

2 欠損部改修工法 ※ 充填工法 (欠損部の面積が0.25m2/箇所程度以下の場合) [4.1.4] [4.3.9、10] 充填材の種類 ※ ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂モルタル ・ モルタル塗替え工法

3 浮き部改修工法 ※ モルタルを撤去しないで改修 [4.1.4] [4.3.11~16] アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

4 外壁複合改修工法 平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする

① タイルの形状、寸法等 タイル部分張替え工法及びタイル張替え工法用接着剤の種類 ・ JIS A 5557による一液反応硬化形の変成シリコン樹脂系 [4.4.5、8] 施工 形状/寸法 再生材料 吸水率による区分

② ひび割れ部改修工法 ※ タイルを撤去して改修 [4.1.4] [4.5.5、6] 下地モルタルまで撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上り外壁) による

① 既塗装等の除去、下地処理及び下地調整 [4.5.4] 工法 処理範囲 下地面の補修 ・ サンダー工法 ※既存仕上面全体 ・ 図示

② 下地調整 ※ 下地調整塗材 ・ ポリマーセメントモルタル [4.5.2]

③ 欠損部改修工法 [4.1.4] [4.4.5、7、8] タイル部分張替え工法 接着剤の種類 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 外装タイル接着剤張りの接着剤

④ 浮き部改修工法 アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.1.4] [4.4.5、9~15] [4.5.9~15] アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

5 目地改修工法 [4.1.4] [4.4.5、16] ・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法

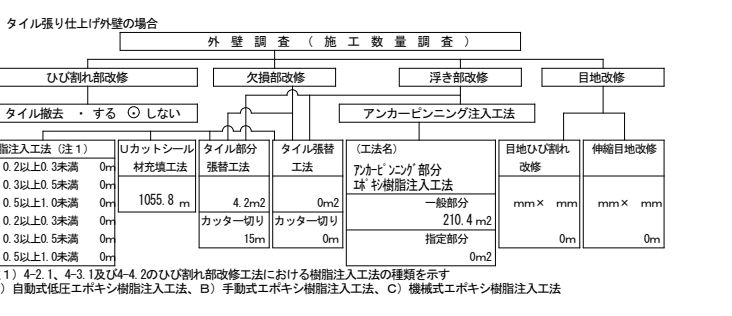
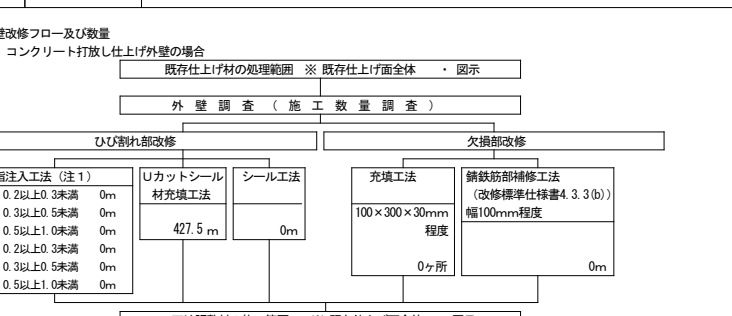
6 外壁複合改修工法 平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする

③ 仕上塗材仕上げ [4.1.5] [4.5.2] [表4.5.1] 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆

4 マスチック塗材塗り [4.1.5] [4.6.2] [表4.6.1] 種類 ・ A種 ・ B種

5 外壁用塗膜防水材塗り [4.1.5] [4.7.2、3] [表4.7.1] 工法及び仕上げの形状 ・ 吹付け (・ 凹凸状 ・ 凸凹処理)

外壁改修フロー及び数量 ① コンクリート打放し仕上り外壁の場合



19	ガラス	(3, 7, 5, 14, 2~4) (図5.14.1)	
		下記のガラス以外の種類、厚さの呼びによる種類等 ※建具表による	
		合わせガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類 ※下記以外は建具表による	落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・1類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類
		強化ガラスの形状による種類、材料板ガラスの種類による名称及び特性による種類 ※下記以外は建具表による	材料板ガラスの種類、組合せ
		材料板ガラスによる種類	材料板ガラス
		熱線吸収ガラスの種類、厚さによる種類及び性能による種類 ※下記以外は建具表による	材料板ガラスの種類、組合せ
		複層ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※下記以外は建具表による	材料板ガラスの種類、組合せ
		断熱性による区分	T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6
		乾燥気体の種類	空気 ・ アルゴン
		日射取得性、日射遮蔽性による区分	G ・ S
20	ガラスブロック積み	耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による [5.14.5]	
		表面形状	呼び寸法 (mm)
		厚さ (mm)	色調 (クリア 乳白)
		目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)
		防火性能	耐火時間 (分)
		耐震性能	建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による [5.14.5]
		表面形状	呼び寸法 (mm)
		厚さ (mm)	色調 (クリア 乳白)
		目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)
		防火性能	耐火時間 (分)

6	内装改修工事	他の部位との取り合い等	
		既存床の撤去及び下地補修	
		既存壁の撤去及び下地補修	
		4 製材	
		5 造作用集成材	

6	造作用単板積層材	ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6.5.2(1)(b)による	
		JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材	
		JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材	
		JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材	
		JAS 1083 (製材) 以外の製材	
		「集成材の日本農林規格」による化繊ばり造作用集成材	
		「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材	
		「集成材の日本農林規格」による化繊ばり造作用集成材	
		「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材	
		「集成材の日本農林規格」による化繊ばり造作用集成材	

6	造作用単板積層材	ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6.5.2(1)(b)による	
		JAS 0701に基づく造作用単板積層材	
		JAS 0701以外の造作用単板積層材	
		JAS 3079に基づく直交集積板	
		ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6.5.2(1)(b)による	
		普通合板	
		「合板の日本農林規格」による天然木化繊合板	
		「合板の日本農林規格」による特殊加工化繊合板	
		「合板の日本農林規格」による天然木化繊合板	
		「合板の日本農林規格」による特殊加工化繊合板	

14	軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類	
		屋外 (※25形) 屋内 (※19形・25形)	
		工法	
		野縁受、つりボルト及びインサートの間隔	
		野縁の耐震性能	
		耐震性能	
		建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による	
		15 軽量鉄骨壁下地	
		16 ビニル床シート	
		17 ビニル床タイル	

14	軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類	
		屋外 (※25形) 屋内 (※19形・25形)	
		工法	
		野縁受、つりボルト及びインサートの間隔	
		野縁の耐震性能	
		耐震性能	
		建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による	
		15 軽量鉄骨壁下地	
		16 ビニル床シート	
		17 ビニル床タイル	
18	接着剤	接着剤は可塑性 (揮発性の可塑性を欠く) が追加されていないものとする	
		ホルムアルデヒド放散量	
		施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類	
		19 ビニル幅木	
		20 ゴム床タイル	
		カーペット敷き	
		タフテッドカーペット	
		タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量	
		タフテッドカーペットの種類	
		タフテッドカーペットの敷き方	

22	合成樹脂塗床	[6. 1. 0. 2. 3]			
		種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
23	防じん用塗床	材料 水性アクリル系樹脂塗料とし、製造所の指定する製品とする 工法 製造所の指定する工法とする なお、上塗りは2回塗りとし、総塗布量は0. 25 kg/m ² 以上とする 仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ (※ 標準色) JIS K 5970に基づく塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆			
		種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
24	フローリング張り	[6. 1. 1. 2~6]			
		種類	工法	樹種	厚さ (mm)
25	畳敷き	フロアリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 改修標準仕様書6. 11. 2(2)による 各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 接着工法の場合の裏面緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上げ ・ 行う ※ ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステインの上、ワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ・ 行わない ○ 図示による [6. 1. 2. 2]			
		種類	工法	樹種	厚さ (mm)
26	せつこうボードその他ボード及び合板張り	MD F、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 [6. 1. 3. 2. 3] ※ F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※ 標準仕様書19. 7. 2(2) (イ)の(a)~(d)のいずれか			
		種別	JISの記号	厚さ (mm)	規格等

27	壁紙張り	・ 化粧パーティクルボード ・ 単板オーバーレイ DV ・ プラスチックオーバーレイ DO ・ 塗装 DC ・ 10 (雑塗) ・ 12 (雑塗) ・			
		種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
28	モルタル塗り	[6. 1. 4. 2. 3]			
		種別	工法	樹種	厚さ (mm)
29	タイル張り	[6. 1. 6. 2~4]			
		種別	工法	樹種	厚さ (mm)

30	セルフレベリング材塗り	[6. 1. 7. 2. 3]			
		種別	工法	樹種	厚さ (mm)

7	塗装改修工事	① 材料			
		種別	工法	樹種	厚さ (mm)
8	耐震改修工事	[7. 1. 3]			
		種別	工法	樹種	厚さ (mm)

(品質・性能)		
項目	品質等	
受け枠材 および 蓋枠材	【アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材の場合】 材質 JIS H 4100「アルミニウム及びアルミニウム合金の押出成形材」に規定するA6063S-T5、またはこれと同等の性能を有するもの。 表面処理 JIS H 8602「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装被覆膜」の膜又はJIS H 8601「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化被覆」に規定するAA15、もしくはこれらと同等の性能を有するもの。 【ステンレス鋼板の場合】 材質 JIS G 4306「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1またはこれらと同等の性能を有するもの。 【アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材の場合】 材質 屋内外用と同じ。ただし、その他の構成材（底板、補強材、コーナーピース等）は、屋内用の材質のものとする。 表面処理 屋内外用と同じ。 【ステンレス鋼板の場合】 材質 屋内外用と同じ。 【鋼板の場合】 材質 鋼板又はJIS G 3313「電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」に規定する鋼板にメラミン樹脂焼付塗装等の防錆処理を行ったもの。 防錆処理 JIS G 3313又は鋼板等に標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2の錆止め塗料塗りの防錆処理を行ったもの。 【アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材の場合】 材質 屋内外用又は屋内用と同じ。 表面処理 屋内外用又は屋内用と同じ。 【ステンレス鋼板の場合】 材質 屋内外用又は屋内用と同じ。 【鋼板の場合】 材質 屋内外用と同じ。 表面処理 屋内外用と同じ。 【鋳鉄製の場合】 材質 JIS G 5501「おねずみ鋳鉄品」に規定するFC150、FC200。 【上記以外の場合】 材質 塩化ビニル樹脂製等 【黄銅製の場合】 材質 JIS H 3100「銅及び銅合金の板及び条」に規定するC2600、C2720、C2801又はJIS H 3250「銅及び銅合金の棒」に規定するC3602、C3604もしくはこれらと同等の性能を有するもの。 【ステンレス鋼板の場合】 材質 JIS G 4305に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1またはJIS G 4308「ステンレス鋼線材」に規定するSUS304もしくはこれらと同等の性能を有するもの。 【ステンレス鋼板の場合】 材質 JIS G 4305に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1またはJIS G 4308に規定するSUS304もしくはこれらと同等の性能を有するもの。 【アルミニウム板の場合】 材質 JIS H 4000「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び及び条」に規定するA1100P-H24または同等の性能を有するもの。 表面処理 JIS H 8602に規定するBまたはJIS H 8601に規定するAA15もしくはこれらと同等の性能を有するもの。 【ステンレス鋼板またはアルミニウム板以外の場合】 充填用は、補強材及びコーナーピースの型がモルタル内に埋め込まれる場合は、鋼板も可とする。 【ステンレス鋼板の場合】 材質 JIS G 4305に規定するSUS304、SUS430J1LまたはSUS443J1もしくは同等の性能を有するもの。 【鋼板の場合】 材質 鋼板はJIS G 3313に規定する鋼板にメラミン樹脂焼付塗装等の防錆処理を行ったもの。またはこれと同等の性能を有するもの。 防錆処理 JIS G 3313または鋼板等に標準仕様書表18.3.1および表18.3.2の錆止め塗料等の防錆処理を行ったもの。もしくはこれらと同等の性能を有するもの。	
	目地材	【ステンレス鋼板の場合】 材質 JIS G 4305に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1またはJIS G 4308に規定するSUS304もしくはこれらと同等の性能を有するもの。 【アルミニウム板の場合】 材質 JIS H 4000「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び及び条」に規定するA1100P-H24または同等の性能を有するもの。 表面処理 JIS H 8602に規定するBまたはJIS H 8601に規定するAA15もしくはこれらと同等の性能を有するもの。 【ステンレス鋼板またはアルミニウム板以外の場合】 充填用は、補強材及びコーナーピースの型がモルタル内に埋め込まれる場合は、鋼板も可とする。 【ステンレス鋼板の場合】 材質 JIS G 4305に規定するSUS304、SUS430J1LまたはSUS443J1もしくは同等の性能を有するもの。
		【アルミニウム板の場合】 材質 JIS H 4000「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び及び条」に規定するA1100P-H24または同等の性能を有するもの。 表面処理 JIS H 8602に規定するBまたはJIS H 8601に規定するAA15もしくはこれらと同等の性能を有するもの。 【ステンレス鋼板またはアルミニウム板以外の場合】 充填用は、補強材及びコーナーピースの型がモルタル内に埋め込まれる場合は、鋼板も可とする。 【ステンレス鋼板の場合】 材質 JIS G 4305に規定するSUS304、SUS430J1LまたはSUS443J1もしくは同等の性能を有するもの。
	底板材、受け枠材、蓋枠材の コーナーピース、 底板補強材	【アルミニウム板の場合】 材質 JIS H 4000「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び及び条」に規定するA1100P-H24または同等の性能を有するもの。 表面処理 JIS H 8602に規定するBまたはJIS H 8601に規定するAA15もしくはこれらと同等の性能を有するもの。 【ステンレス鋼板またはアルミニウム板以外の場合】 充填用は、補強材及びコーナーピースの型がモルタル内に埋め込まれる場合は、鋼板も可とする。 【ステンレス鋼板の場合】 材質 JIS G 4305に規定するSUS304、SUS430J1LまたはSUS443J1もしくは同等の性能を有するもの。
		【アルミニウム板の場合】 材質 JIS H 4000「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び及び条」に規定するA1100P-H24または同等の性能を有するもの。 表面処理 JIS H 8602に規定するBまたはJIS H 8601に規定するAA15もしくはこれらと同等の性能を有するもの。 【ステンレス鋼板またはアルミニウム板以外の場合】 充填用は、補強材及びコーナーピースの型がモルタル内に埋め込まれる場合は、鋼板も可とする。 【ステンレス鋼板の場合】 材質 JIS G 4305に規定するSUS304、SUS430J1LまたはSUS443J1もしくは同等の性能を有するもの。
	パッキン材	塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジパパー、エチレンプロピレン等外枠と蓋枠の材質、形状に適する弾力性及び密着性を有するもの。
	アンカー材	鋼板に電気亜鉛めっき又は防錆塗装を行ったもの。または同等の防錆性能を有するもの。
	取手	黄銅製物製、黄銅製、アルミニウム押出成形材・合金物製、ステンレス鋼線鋼品、ステンレス鋼材製等の堅牢な材質のもの。ステンレス鋼材、アルミニウム押出成形材等で被覆した合成樹脂製のものは、衝撃による変形、割れが生じない構造のもの。
	錠	黄銅製、ステンレス鋼製、亜鉛合金製（クロムめっき）の類。
	品質	
項目	品質等	
構造	1. 加工は、受け枠・蓋枠とも四隅の接線部に目違い・ずれ・隙間等がない構造であること。 2. 組立は、受け枠・蓋枠とも四隅の接線部を溶接結合および留付補強材等により留付した堅牢な構造であること。 3. 閉鎖状態において蓋枠と受け枠に面外の目違いのない構造であること。又蓋と受け枠の接線部は、歪みがなく歩行等に際してがたつきその他の支障が生じない構造であること。 4. 錠付きの場合の錠錠・開錠は、錠または開閉用ハンドル式とする。 5. アンカーは、四隅均等かつ堅固に固定できる位置にあること。	
	許容差	製品の許容差 受け枠基準寸法 600mm角程度まで 受け枠寸法の許容差 ±0.5mm 蓋枠寸法の許容差 ±0.5mm 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側0.2mm以内
性能		
蓋の耐荷重性能 イ) 加圧する加重重Pn=1,000N ロ) 蓋中央部の残留たわみが点検口の有効径の0.08%以内 ハ) 受け枠・蓋その他に使用上の支障がないこと ニ) 破壊荷重が、加圧荷重Pnの2倍以上		
(試験方法) 耐荷重試験 (1) 試験体 試験体は、受け枠・蓋枠ともアルミニウム製を含む場合は、アルミニウム製（目地材にステンレス製等を使用したもの可）を優先する。また、仕上げ材を張付けないもの（底板面）とする。 イ) 貼付用とし、600mm角程度とする。 ロ) 特見込みは40mm以下とし、蓋の底板は単層の製品で、補強材は各製品のうち断面係数が小さいものとする。また、材質、厚さ、形状及び位置は、常時生産品とする。 (2) 試験 イ) 試験は、蓋枠の四隅を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 ロ) 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 ハ) 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後、その後試験体が破壊する（純局荷重）まで加圧する。		

10	手すり	材質 ・ 集成材 ・ ステンレスパイプ ・ 鋼製パイプ ・ ビニル製ハンドレール 表面仕上げ ・ クリアラッカー ・ HL程度 ・ SOP ・ EP-G 直径 (mm) ・ 35 ・ 45 取付箇所
11	天井見切り縁等	壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁（天井見切縁、下がり壁見切縁）の材質 ・ アルミニウム既製品 ○ ビニル既製品
12	視覚障害者用床 タイル (視覚障害者誘導 用ブロック)	（1. 2. 2、1. 9. 2. 2） 施工箇所 種類 寸法 (mm) 厚さ (mm) 屋内 ・ 塩化ビニル製 ※ 300×300 ・ ・ 7.0 ・ セラミックタイル ※ 300×300 ・ ・ ・ レジンコンクリート製 ※ 300×300 ・ ・ ・ コンクリート製 屋外 ・ セラミックタイル ※ 300×300 ・ ・ ・ レジンコンクリート製 ※ 300×300 ・ ・ ・ コンクリート製 突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による
13	鉄筋	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5. 2. 1) (表 5. 2. 1) 種類の記号 呼び名 備考 ※ SD 2 9 5 A ※ D 1 6 以下 ※ SD 3 4 5 ※ D 1 9 以上
14	溶接金網	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5. 2. 2) 種類 網目寸法、鉄線の径 (mm) 備考 ※ 溶接金網 ・ 鉄筋格子
15	鉄筋の継手及び定着	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5. 3. 4) 鉄筋の継手の方法等 ※ 重ね継ぎ手 ・ 鉄筋の重ね継ぎ手の長さ ※ 4 0 d と標準仕様書表 5. 3. 2 の重ね継ぎ手の長さのうち大きい値とする ・ 鉄筋の定着長さ ※ 柱に取り付ける梁の引っ張り鉄筋の直線定着長さは 4 0 d 以上とし、それ以外は標準仕様書表 5. 3. 4 による ・ 機械式定着工法 ・ 適用する 適用箇所 ・ 図示による 種類 ・ 摩擦圧接結合 ・ 縦合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定
16	コンクリートの気乾 単位容積質量による 種類及び強度等	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6. 2. 1~4) ※ 普通コンクリート 設計基準強度 (F _c) スランプ (cm) 適用箇所 [N/mm ²] ※ 2 4 ※ 標準仕様書表 6. 2. 2 による ※ コンクリート全て ○ 2 1 ○ 1 5 (無筋コンクリートを除く)
17	セメント	種類 (6. 3. 1) ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種
18	型枠	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6. 8. 2) せき板の材料 ※ 合板 厚さ (※ 12mm) ・ メッシュ型枠 ・ 断熱材を兼用した型枠 厚さ 25mm以下かつ熱抵抗値 1 m ² K / C a l 以上
19	無筋コンクリート	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6. 14. 1) 種 類 設計基準強度 (F _c) スランプ (mm) 施 工 箇 所 [N/mm ²] ※ 普通コンクリート ※ 1 8 ※ 1 5 ※ 標準仕様書 6. 14. 1 (4) (7) ~ (9) による ・ ・ ・
20	床コンクリート 直均し仕上げ	仕上げの平たんさは、図示以外は下記による (8. 1. 4) (表 8. 1. 5) 改修標準仕様書表 8. 1. 5 に よる平たんさの種類 a 種 合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、 フリーアクセスフロア (置敷式) () b 種 カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り () c 種 タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア (支柱調整式) ()
21	あと施工アンカー	(14. 1. 3) 6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による あと施工アンカー施工後の確認試験 ※ 行う ・ 行わない (ブドウ棚部分)

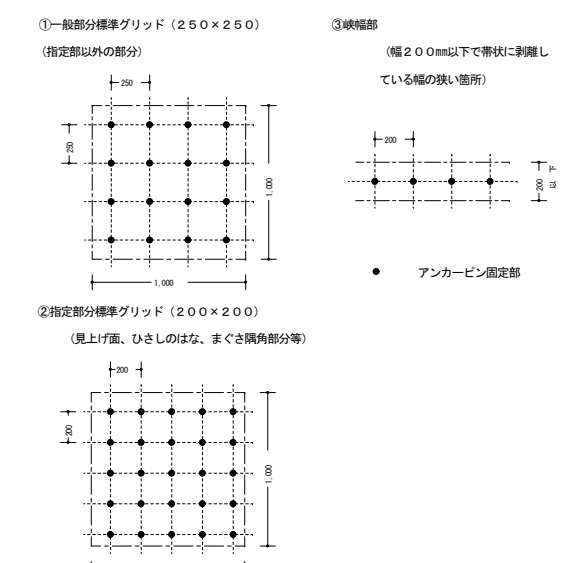
(20. 2. 5)		
表面材の材料	脚部 形状 材質	ドアエッジ 材質
※ メラミン樹脂系化粧板 (木目調) ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ ・	※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材
(品質・性能) (1) パネル		
項目	品質・性能	
表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。	
裏打ち材	JIS A 6512「可動開仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	
心材	JIS A 6512「可動開仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	
枠材	JIS A 6512「可動開仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき	
エッジ材	処理を施した材料とする。	
小口	防水処理を施す。	
(2) 構造金物		
項目	品質・性能	
脚部 (脚具、幅木)	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。	
(3) 付属金物		
項目	品質・性能	
ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。	
ラッチセット	戸当り	
戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。	
(4) 外観は、JIS A 6512「可動開仕切」の5.b)による。		
(5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性		
項目	品質・性能	
	耐薬品性及び耐汚染性	耐引っかけ性
メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性 (B法)の規定を満足していること。	—
低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧板MD F、ポリエステル樹脂系化粧板バーティカルボードのいずれかの品質に適合していること。	—
ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。 平均値が10μm以内であること。	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐引っかけ性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。
ポリエステル樹脂系化粧板MD F	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。	—
ポリエステル樹脂系化粧バーティカルボード	JIS A 5908「バーティカルボード」の表11の規定に適合していること。	—
(試験方法) (1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法-第2部: ドア用金物」に規定する試験による。 (2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上		

株式会社 近代設計コンサルタント
広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第277978号
TEL 082-243-5555 (代表) 小瀬 宏 治

年月日	整理番号	工事名	図面番号
照査	設計担当	三原リージョンプラザ長寿命化改修工事 (3期工事) (建築主体工事)	A
図面名	SCALE A1-N. S A3-N. S	建築改修工事特記仕様書 (8)	08

Table with 11 columns: Building Design Basis, Project, Remarks, Wall Type, Wall Structure, Wall Material, Wall Construction, Wall Thickness, Wall Height, Wall Spacing, Wall Location. The table contains detailed specifications for wall construction, including seismic design criteria, material requirements, and construction details for various wall types like ALC panels and glass walls.

名称	A 表面劣化部処理		B ひび割れ部処理																															
記号・仕様	A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]	A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]	B-1 打放し面樹脂注入工法 [標仕4. 2. 5] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm	B-2 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4. 2. 6] ひび割れ幅 1. 0mm以上																														
改修前																																		
改修後																																		
工程	<p>①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) ※見上げ面については、③を省略する。</p> <p>参考数量:</p>		<p>①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合は、①、④の工程はA-1工法に含む。</p> <p>参考数量: ひび割れ幅 0. 2~0. 5mm () ひび割れ幅 0. 5~1. 0mm () ()内は挙動ひび割れ数量を示す</p>																															
名称	B ひび割れ部処理		C 鋼鉄筋部処理																															
記号・仕様	B-4 モルタル面樹脂注入工法 [標仕4. 3. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm	B-5 モルタル面樹脂部樹脂注入工法 [標仕4. 3. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm	B-6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1. 0mm以上	B-7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm																														
改修前																																		
改修後																																		
工程	<p>①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、①、④の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量: ひび割れ幅 0. 2~0. 5mm () ひび割れ幅 0. 5~1. 0mm () ()内は挙動ひび割れ数量を示す</p>		<p>①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、②、⑤の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量: 文化部門: 631. 80m (タイル張替: 約130. 0m) 南棟他: 424. 00m (タイル張替: 約90. 0m)</p>																															
名称	C 鋼鉄筋部処理		D 浮き部処理																															
記号・仕様	C-2 モルタル面鋼鉄筋部処理		D-1 モルタル面はつり	D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4-3-11] D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 9]																														
改修前																																		
改修後																																		
工程	<p>①カッター縁切り ②浮き部はつり ③錆落とし ④高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ⑤防錆処理 ⑥はつり部埋戻し整形 ⑦セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、④、⑦の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量:</p>		<p>①穿孔</p> <table border="1"> <tr><td>一般部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>指定部</td><td>25</td><td>ヶ所</td></tr> </table> <p>②孔内エアークリーニング</p> <table border="1"> <tr><td>一般部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>指定部</td><td>25</td><td>ヶ所</td></tr> </table> <p>③エポキシ樹脂注入</p> <table border="1"> <tr><td>一般部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>指定部</td><td>25</td><td>ヶ所</td></tr> </table> <p>④ステンレスピン挿入</p> <table border="1"> <tr><td>一般部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>指定部</td><td>25</td><td>ヶ所</td></tr> </table> <p>⑤穿孔跡埋戻し [パテ状エポキシ樹脂]</p> <table border="1"> <tr><td>一般部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>指定部</td><td>25</td><td>ヶ所</td></tr> </table> <p>⑥サンダーケレン</p> <p>⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量: ①一般部分: 文化部門: 69. 15m²(5, 120枚) 南棟他: 141. 20m²(10, 440枚) ②指定部分: ③狭幅部:</p>		一般部	16	ヶ所	指定部	25	ヶ所	一般部	16	ヶ所	指定部	25	ヶ所	一般部	16	ヶ所	指定部	25	ヶ所	一般部	16	ヶ所	指定部	25	ヶ所	一般部	16	ヶ所	指定部	25	ヶ所
一般部	16	ヶ所																																
指定部	25	ヶ所																																
一般部	16	ヶ所																																
指定部	25	ヶ所																																
一般部	16	ヶ所																																
指定部	25	ヶ所																																
一般部	16	ヶ所																																
指定部	25	ヶ所																																
一般部	16	ヶ所																																
指定部	25	ヶ所																																



名称 D 浮き部処理

記号・仕様 D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 12]
D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 10]

改修前 **改修後**

工程

①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所
指定部 20ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	指定部 20ヶ所	⑩サンダーケレン
②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 12ヶ所
指定部 20ヶ所	③エポキシ樹脂注入	指定部 20ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm)
④スチレンピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシ]	一般部 12ヶ所
指定部 20ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシ]	指定部 20ヶ所	

⑩セメント系下地調整材コーティング (1.5mm±0.5mm)

※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。

参考数量：①一般部分：
②指定部分：
③狭幅部：

①一般部分標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分)

②指定部分標準グリッド (110×110) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)

③狭幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)

● アンカーピン固定部
○ 注入口

名称 D 浮き部処理

記号・仕様 D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 13]
D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 11]

改修前 **改修後**

工程

①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所
指定部 20ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	指定部 20ヶ所	⑩セメント系下地調整材コーティング (1.5mm±0.5mm)
②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部 12ヶ所
指定部 20ヶ所	③ポリマーセメントスラリー注入	指定部 20ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm)
④スチレンピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメント]	一般部 12ヶ所
指定部 20ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメント]	指定部 20ヶ所	

⑩セメント系下地調整材コーティング (1.5mm±0.5mm)

※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。

参考数量：①一般部分：
②指定部分：
③狭幅部：

①一般部分標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分)

②指定部分標準グリッド (110×110) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)

③狭幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)

● アンカーピン固定部
○ 注入口

名称 D 浮き部処理

記号・仕様 D-5 モルタル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 14]
D-5' タイル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 12]

改修前 **改修後**

工程

①穿孔	一般部 9ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシ]	一般部 9ヶ所
指定部 16ヶ所	⑥サンダーケレン	指定部 16ヶ所	⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm)
②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	⑧セメント系下地調整材コーティング (1.5mm±0.5mm)	
指定部 16ヶ所	③ステンレスピン (注入口) 挿入		
④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所		
指定部 16ヶ所			

⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm)

⑧セメント系下地調整材コーティング (1.5mm±0.5mm)

※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。

参考数量：①一般部分：
②指定部分：
③狭幅部：

①一般部分標準グリッド (330×330) (指定部以外の部分)

②指定部分標準グリッド (250×250) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)

③狭幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)

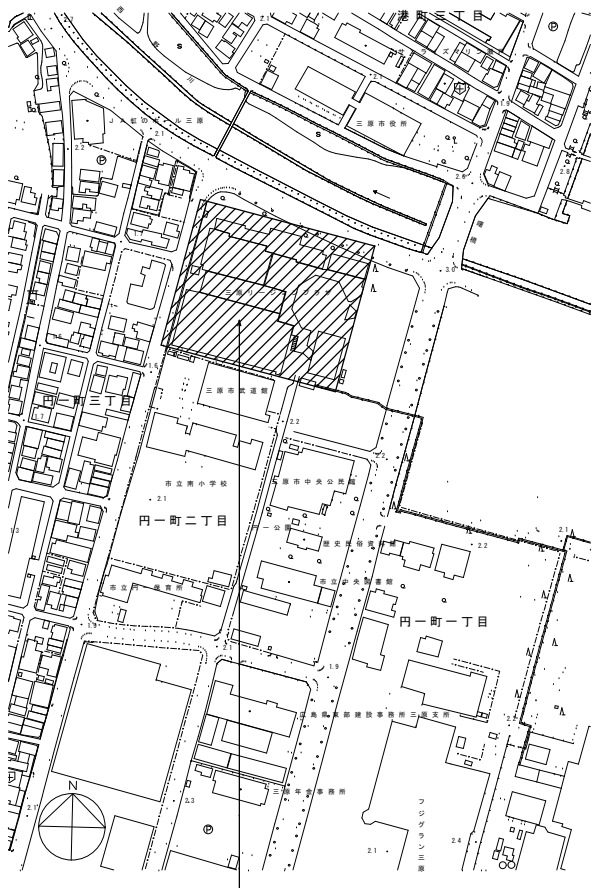
● 注入口付アンカーピン固定部

名称		D 浮き部処理									
記号・仕様		D-6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 15] D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 13]									
改修前	改修後										
		○ モルタル ○ タイル					○ モルタル ○ タイル				
工程		①ピン固定部穿孔 一般部 9 ケ所 ⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所 指定部 16 ケ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9 ケ所 ⑥注入口穿孔 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所 指定部 16 ケ所 ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 9 ケ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所 指定部 16 ケ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 9 ケ所 ⑧エポキシ樹脂注入 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所 指定部 16 ケ所					⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所 ⑩サンダーケレン ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ⑫セメント系下地調整材コーティング (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：				
		①一般部分標準グリッド (165×165) (指定部以外の部分) ②指定部分標準グリッド (125×125) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ③狭幅部 (幅200mm以下で帯状に割れている幅の狭い箇所) ● 注入口付アンカーピン固定部 ○ 注入口									

名称		D 浮き部処理									
記号・仕様		D-7 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 16] D-7' タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6' と同じ					D-8 タイル面注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 (小口タイル以上) [標仕4. 4. 15]				
改修前	改修後										
		○ モルタル ○ タイル					○ モルタル ○ タイル				
工程		①ピン固定部穿孔 一般部 9 ケ所 ⑥注入口穿孔 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所 指定部 16 ケ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9 ケ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所 指定部 16 ケ所 ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 9 ケ所 ⑧ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所 指定部 16 ケ所 ④ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9 ケ所 ⑨穿孔跡埋戻し [※'リペアパテ'] 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所 指定部 16 ケ所 ⑤穿孔跡埋戻し [※'リペアパテ'] 一般部 9 ケ所 ⑩サンダーケレン 一般部 9 ケ所 指定部 16 ケ所 指定部 16 ケ所 ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)					⑫セメント系下地調整材コーティング (1.5mm±0.5mm) ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：				
		①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 ④エポキシ樹脂注入 ⑤穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは調色樹脂パテ] 参考数量：									

名称		E 欠損部処理											
記号・仕様		E-1 打放し面充填工法 [標仕4. 2. 8]		E-2 打放し面欠損部処理 [標仕4. 2. 3]		E-3 モルタル面欠損部処理 [標仕4. 3. 3]		F 外壁複合改修工法					
改修前	改修後												
		○ 1 ○ 2		○ 3 ○ 4		○ 1 ○ 2 ○ 3		○ 4 ○ 5		*印寸法は80程度とする			
工程		①欠損部はつり等での整形 ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③欠損はつり部埋戻し [※'リペアパテ'・エポキシ樹脂モルタル] ④セメント系下地調整材コーティング (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む 参考数量：		①欠損部・錆跡周囲はつり等での整形 ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④防錆処理 ⑤欠損はつり部埋戻し [※'リペアパテ'・エポキシ樹脂モルタル] ⑥セメント系下地調整材コーティング (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合、③、⑤の工程はA-1工法に含む 参考数量：		①カッター線切り ②欠損部はつり等での整形 ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④欠損はつり部埋戻し [※'リペアパテ'・エポキシ樹脂モルタル] ⑤セメント系下地調整材コーティング (1.5mm±0.5mm) (鉄筋の露出部がある場合はE-2による) ※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む 参考数量：		下地補修後 ①プライマー下塗り ②ポリマーペースト中塗り ③三軸ネット張り ④ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ポリマーペースト中塗り ⑥アルミ水切り取付け (L-30×15×2.0 ステンレスビス止φ450) ⑦シーリング打放 (MS-2)					
		参考数量		参考数量		参考数量		参考数量					
		ネット張り		ネット張り		ネット張り		ネット張り					
		水切		水切		水切		水切					

工事区分	工事内容	建築	電気	衛生	空調	別途工事	備考	工事区分	工事内容	建築	電気	衛生	空調	別途工事	備考	
1. スリーブ、仮枠、補強	(1) 基礎梁、梁、壁、床等の配管用貫通スリーブ							10. 衛生器具、流し台、調理台、実験台	(1) 洗面器、手洗器用鏡、棚、洗面化粧台			○				
	(2) 同上貫通部分の鉄筋補強								(2) 鏡 (姿見用等で単独で使用するもの)			○				
	(3) 盤及びボックス類の仮枠 (和風大便器)								(3) 大小便器			○				
	(4) 同上開口部分の鉄筋補強								(4) 湯沸器・給湯器							
	(5) 天井埋込照明器具類取付用切込及び補強	○							(5) 同上換気扇連動スイッチ							
	(6) 吹出口、吹込口等取付用切込及び補強	○							(6) 便所内手摺	○						
	(7) (1)・(3)のモルタル詰め補修								(7) 既製品流し台、ステンレス製流し台 (ミニキッチン)				○			
	(8) (5)・(6)のシミ出し		○			○			(8) 同上排水トラップ							
2. ビット、シャフト、OA床	(1) OA床							(9) 調理台・実験台・作業台								
	(2) PS・DS							(10) 同上給水栓、コンセント								
	(3) 便所等の配管ビット							(11) 同上ガスコック								
	(4) 床、壁、天井、シャフト、ビットの点検扉							(12) 同上排水トラップ								
3. 給水、電気、電話、ガスの引込、下水本管接続	(1) 給水引込工事							(13) 人研流し								
	(2) 電話引込負担金 (工事は除く)							(14) 同上排水トラップ								
	(3) 電気引込工事及び負担金							(15) 洗濯機パン (排水トラップ、周囲コネク、止め金具共)								
4. 槽類	(1) 受水槽 (チャンネルベース共)							(16) 手洗い流し排水金物								
	(2) 高架水槽							(17) 足洗い場排水蓋								
	(3) 消火水槽 (消火用充水槽)							(18) 流し台、コンロ台の取り外し復旧								
	(4) 中継ポンプ槽							(1) 天井扇					○			
	(5) 合併処理し尿浄化槽工事及び浄化槽機械室							(2) 換気扇					○			
	(6) 給食場用シスタンク							(3) 同上壁開口					○			
	(7) 同上架台							(4) 全熱交換機					○			
	(8) 各種用フェンス工事							(5) 壁取付用パネル (開口共)					○			
	(9) (2)の電極棒取付用開口							(6) 換気扇のスイッチ設置、配管配線		○						
	(10) 既設浄化槽撤去							(7) 全熱交換器のスイッチ設置、配管配線		○						
5. コンクリート基礎 (モルタル仕上げ共)	(1) コージェネレーション発電機							(1) 空調用操作盤								
	(2) 高架水槽							(2) 空調室内外機					○			
	(3) 揚水ポンプ							(3) 空調のリモコン設置、二次側配線					○			
	(4) 消火ポンプ室							(4) 空調の一次側配線		○						
	(5) 給食場用ボイラー							(1) 消火器 (建物にかかるもの)								
	(6) プールろ過機							(2) 消火器 (設備にかかるもの)								
	(7) キュービクル (フェンス工事共)							(3) 合併処理し尿処理浄化槽及び中継ポンプ槽の警報								
	(8) テレビアンテナ							(4) ユニットシャワー								
	(9) プールの水鏡灯及びマイクジャック盤							(5) 吊戸棚下に湯沸器、コンロ台を設置する場合の不燃材の取付 (建築工事で吊戸棚を取り付けた場合)								
	(10) 機器類のアンカー打込み					○		(6) 実験台、調理台の設備配管配線用及び配線器具用の穴明け加工								
	(11) 空調器室外機基礎							(7) ガス漏れ警報機								
6. 電極棒、電磁弁、凍結防止ヒーター	(1) 受水槽、高架水槽 (電極棒)							(8) 小便器節水タイマー (3Pプラグ共)								
	(2) 凍結防止ヒーター							(9) 設備配管用天井及び床仕上材の穴明け								
	(3) 水槽用各種警報							(10) 避難器具								
	(4) 水槽用電磁弁電源、操作配線							(11) 天井点検口	○							
7. ガラリ	(1) 外壁ガラリ							(12) 機械警備								
	(2) 換気扇用ベントキャップ				○			(13) 電話交換機、電話機								
	(3) ドア取付又はこれに準ずるもの							(14) ドラフトチャンバー (排風機、ダクト共)								
8. 消火栓ボックス、自動火災報知設備	(1) 消火栓ボックス		○					(1) 土間コンクリートの撤去・復旧								
	(2) 表示灯、火災発信機、ベル							(2) 天井の撤去・復旧	○							
	(3) ボンプ起動操作押ボタン (火報用)							(3) 床、壁面の仕上げ補修	○							
	(4) 防火戸、防煙シャッター							(4) 床、壁の穴明け補修	○							
	(5) 同上用感知器及び配管配線工事							(5) サッシをアルミパネルに取替								
9. 排水設備	(1) 屋内屋外雨水排水工事 (ルーフトレイン、縦樋共)							(6) 既設和風大便器撤去、及び撤去後の床穴埋め								
	(2) 屋内屋外排水設備工事 (雑排水、汚水)							(7) 各配管撤去後の穴埋め								
	(3) プラスタートラップ							(8) 外構舗装 (アスファルト、コンクリート) 撤去・復旧								
	(4) マット排水及び排水金物							(9) 屋上ハト小屋撤去・復旧								
	(5) 足洗い場散水パイプ							(10) 空調機用コンクリート基礎及びフェンス撤去・復旧								
	(6) 手洗い、足洗い場泥溜まり柵							(11) 高置タンク撤去・更新								

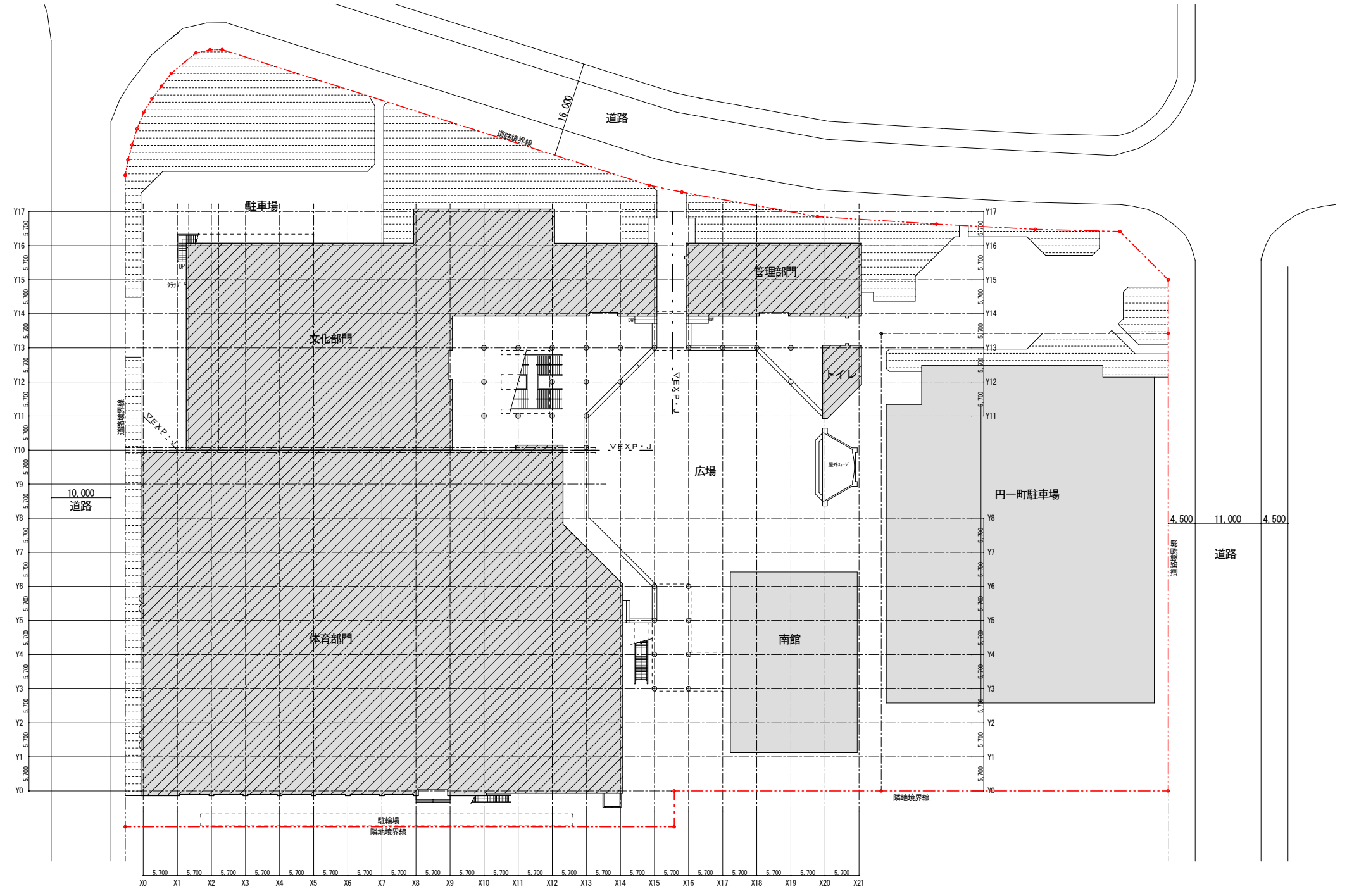


工事場所
三原市円一町二丁目1番1号
三原リージョンプラザ

工事概要

工事名称	三原リージョンプラザ長寿命化改修工事（3期工事）（建築主体工事）
工事場所	（地名地番）三原市円一町二丁目1834-47（住居表示）三原市円一町二丁目1-1
規模構造	地下1階地上3階 RC・SRC造、一部鉄骨造
建物用途	文化・体育館複合施設
用途地域	商業地域
防火指定	指定なし
建ぺい率	90%
容積率	400%
敷地面積	13,048.50㎡
建築面積	8,562.17㎡
延床面積	13,132.88㎡

<体育部門>	
屋根改修	屋根① 折版屋根 防水改修
内装改修	1階 プール 床シート張替
	1階 主体育館 床改修
	1階 副体育館 床改修
<文化部門>	
屋根改修	屋根② 陸屋根 防水改修
	屋根② 陸屋根 トップライト改修
外壁改修	外壁劣化改修（タイル面、コンクリート打放し・吹付面）（管理部門、トイレを含む）
	2階 ベデストランデッキ EXP・J 欄改修
内装改修	1階 展示ホール 内装改修
	2階 ホール 排水溝 水漏れか所改修
	2階 舞台装置取替に伴う改修
	各階 便器取替部分 内装改修
	各階 設備改修に伴う天井改修
建具改修	1階 展示ホール 展示パネル取替
	2階 北側外部 建具取替
	各階 便器取替部分 トイレブース改修



凡例
 工事対象建物を示す。

株式会社 近代設計コンサルタント
 広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第27978号
 TEL 082-243-5555 (代表) 小瀬 宏 治

年月日	整理番号	工事名	図面番号
		三原リージョンプラザ長寿命化改修工事（3期工事）（建築主体工事）	A
照査	設計担当	図面名	SCALE
		附近見取図・配置図	A1-1/400 A3-50%縮小

外部仕上表		本館	その他	外構
屋根②	改修前	平場：露出アスファルト防水、浮き部【補修】（平場全体の3%程度） 塩ビシート防水（機械固定工法）、脱気筒：2か所【撤去】 立上り：露出アスファルト防水、塩ビシート防水【撤去】 アルミ押え金物：L30×10 t2【撤去】、シーリング 10×10【撤去】 縦型ドレンφ100ストレーナー【撤去】 横型ドレンφ100ストレーナー【撤去】 防水額：モルタル金ごて押え シーリング【撤去】@3000程度 外壁タイル取合い：シーリング 10×10【撤去】 固定式トップライト：900角【撤去】 排煙用トップライト：900角（オペレーター共）【撤去】 内部壁：石こうボード張りt9.0 A E P【撤去】、アルミルーバー：900角【取外し】	外部建具（SD-1）	改修前 既設片開きフラッシュドア【撤去】（枠は残す）
	改修後	平場：高圧水洗浄、ウレタン防水X-1（特定化学物無配合）【新設】入隅補強金物 W30【新設】 露出アスファルト防水部はアスファルト活性剤塗布【新設】、ステンレス脱気筒【新設】 立上り：ケレン・清掃、高圧水洗浄、下地調整エポキシ樹脂モルタル塗布【新設】 ウレタン防水X-2（特定化学物無配合）、端部補強金物【新設】 縦型ドレンφ100改修ストレーナー【新設】 横型ドレンφ100改修ストレーナー【新設】 防水額：高圧水洗浄、下地調整エポキシ樹脂モルタル塗布【新設】 ウレタン防水X-2（特定化学物無配合）【新設】、シーリング【新設】@3000程度 外壁タイル取合い：シーリング 10×10【新設】 固定式トップライト：900角【新設】 排煙用トップライト：900角（オペレーター共）【新設】 内部壁：石こうボード張りt9.5 E P【新設】、アルミルーバー：900角【再取付け】	ベデストリアンデッキ	改修前 アルミ箱樋【撤去】 縦樋：カラーV P65【撤去】 EXP.J：床・壁 周囲シーリング【撤去】
屋根⑤	改修前	屋根：フッ素樹脂鋼板折板葺き（曲面） t0.8 H160 丸馳タイプ【全面ケレン】 棟カバ-屋根取合部【シーリング撤去】 馳カバ-屋根取合部【シーリング撤去】 壁取り合い水切：フッ素樹脂鋼板 t0.8【全面ケレン】、シーリング【撤去】	パラベット	アルミ笠木 W400【新設】
	改修後	屋根：高圧水洗浄、超速硬化ウレタン防水 密着工法 t 2.0（高反射仕上）【新設】 棟カバ-屋根取合部【シーリング新設】 馳カバ-屋根取合部【シーリング新設】 馳取合い【シーリング新設】 壁取り合い水切：高圧水洗浄、超速硬化ウレタン防水 密着工法 t 2.0（高反射仕上）【新設】 シーリング【新設】		
外壁	改修前	巾木：モルタル下地 せつ器質無ゆう外装二丁掛タイル張り 巾木：コンクリート打放し仕上（B種） 外壁：モルタル下地 せつ器質無ゆう外装二丁掛タイル張り 見上げ：コンクリート打放し仕上（B種） 外装薄塗材 E【下地調整 R A種】		
	改修後	巾木：劣化部改修後、水洗い清掃【新設】・タイル【一部張替】 巾木：劣化部改修後、水洗い清掃【新設】 外壁：劣化部改修後、水洗い清掃【新設】・タイル【一部張替】 見上げ：コンクリート打放し仕上（B種） 外装薄塗材 E【新設】		

仕上材	特記事項	外部	内部
		同等品以上 一覧表	
[仕上材]			
外薄 E 外装薄塗材 E（合成樹脂エマルジョン系）	[法定防火認定番号]		
内薄 E 内装薄塗材 E（合成樹脂エマルジョン系）	・不燃		
複 E 複層塗材 E（合成樹脂エマルジョン系）（内部用 ゆず肌模様）	NM-8576 石綿スレート		
複 RS 複層塗材 RS（反応硬化型合成樹脂溶液系）	NM-8619 石こうボード t12.5以上		
複 RE 複層塗材 RE（反応硬化型合成樹脂エマルジョン系）	NM-8613 不燃石こう積層板 t9.5		
	NM-1864 化粧石こうボード t9.5以上		
	NM-8599 岩綿吸音板 t9.0以上		
	NM-8601 吹付けロックウール t10以上		
	NM-9029 繊維混入けい酸カルシウム板		
[塗料]			
DP(U) ウレタン樹脂耐候性塗料	NM-8577 化粧オートクレブセメントボード		
DP(AS) アクリルシリコン樹脂耐候性塗料	NM-8585 塗料		
DP(F) フッ素樹脂耐候性塗料	NM-9639 耐水石こうボード t12.5		
SOP 合成樹脂調合ペイント	NM-8615 強化石こうボード t12.5以上		
FE フタル酸樹脂エナメル	NM-9645 普通硬質石こうボード t9.5以上		
OSW オイルステインワックス	NM-1265 天然木突板化粧パネル		
OS オイルステイン	NM-5334 硬質ウレタンフォーム		
OSC オイルステインワニス	・準不燃		
OSUC オイルステイン・ウレタンワニス	QM-9827 化粧石こう吸音ボード t9.5以上		
OSCL オイルステイン・クリアラッカー	QM-9828 石こうボード t9.5以上		
UC ウレタン樹脂ワニス	QM-0524 化粧石こうボード t9.5以上		
CL クリアラッカー	QM-9702 木毛セメント板 t15以上		
LE ラッカーエナメル	QM-9816 塗料		
AE アクリルエナメル	QM-9717 断熱パネル（断熱材（t10+石こうボード t9.5）		
EP 合成樹脂エマルジョンペイント	QM-9826 耐水石こうボード t9.5、12.5		
NAD アクリル樹脂系非水分散形塗			
AE アクリル樹脂エナメル			
[法定防火認定番号]			
・防火材料	・基材同等		
ビニルクロス 準不燃QM認定以上	NM-8585 塗料塗装 不燃		
ビニルクロス（不燃） 不燃NM認定以上	QM-9816 塗料塗装 準不燃		
不燃クロス 不燃NM認定以上	RM-9364 塗料塗装 難燃		
装飾仕上塗材 NM-8572	NM-8571 無機質砂壁状吹付塗 不燃		
キッチンパネル NM-9401	QM-9811 無機質砂壁状吹付塗 準不燃		
押入パネル（ア）9.5 QM-9808	RM-9366 無機質砂壁状吹付塗 難燃		
樹脂シート（不燃）張り NM-2626	NM-8572 有機質砂壁状塗料塗 不燃		
	QM-9812 有機質砂壁状塗料塗 準不燃		
	RM-9361 有機質砂壁状塗料塗 難燃		
	NM-8573 複合型化粧用仕上材塗 不燃		
	QM-9813 複合型化粧用仕上材塗 準不燃		
	RM-9362 複合型化粧用仕上材塗 難燃		

内部仕上表 1

階	室名 (改修前)		天井高	床		巾木		壁		天井		見切縁	備考	日除	室名札
	室名 (改修後)	床高 (基準F.L.より)	下地	仕上	仕上	H	下地	仕上	下地	仕上					
1階	展示ホール・ホール		3,000、3,400 +300	F2	カーペット貼り【撤去】	VH 【撤去】	100	W3・W2	不燃クロス貼り【撤去】	C2 【一部撤去】	岩綿吸音板t19.0 (キューブ) 捨貼Pbt9.5【撤去】	VL 【撤去】	壁：額掛け金物@900【取外し】、展示ケース前：パーテーション：不燃クロス【撤去】 ビクチャーレール【撤去】、展示ケース前：アルミパーテーション、パーテーションレール【取外し】		
	展示ホール・ホール		3,000、3,400 +300	【既設のまま】	下地調整【新設】 タイルカーペット貼りt6.5【新設】	VH 【新設】	100	【既設のまま】 W3【新設】	下地調整、不燃クロス貼り【新設】 不燃クロス貼り【新設】	C2 【一部新設】	岩綿吸音板t12.0 捨貼Pbt9.5【新設】 (風除室部分は既設ボードの上EP【新設】)	AL 【新設】	壁：額掛け金物@900【再取付け】、建具：SOP【塗替】、展示ケース前パーテーション：不燃クロス【新設】 展示パネル、ビクチャーレール【新設】、展示ケース前：アルミパーテーション、パーテーションレール【再取付け】		
	男子トイレ (展示ホール)		2,500 +300	F2 【一部撤去】	<ビニル床シートt2.5：L3>【撤去】	-	-	W2	陶器質100角タイル張り	C2	化粧石こうボード張りt9.5	VL	トイレブース：HI,870【撤去】		
	男子トイレ		2,500 +300	F2 【一部新設】	下地調整【新設】 防滑性ビニル床シートt2.5【新設】	-	-	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	トイレブース：HI,900【新設】 小便器手すり、L型手摺【新設】、銅製建具：SOP (特共)【塗替】		
	女子トイレ (展示ホール)		2,500 +300	F2 【一部撤去】	<ビニル床シートt2.5：L3>【撤去】	-	-	W2	陶器質100角タイル張り	C2	化粧石こうボード張りt9.5	VL	トイレブース：HI,870【撤去】		
	女子トイレ		2,500 +300	F2 【一部新設】	下地調整【新設】 防滑性ビニル床シートt2.5【新設】	-	-	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	トイレブース：HI,900【新設】 L型手摺【新設】、銅製建具：SOP (特共)【塗替】		
	バリアフリートイレ (展示ホール)		2,500 +300	F2	<ビニル床シートt2.5：L3>【撤去】	-	-	W2	陶器質100角タイル張り	C2	化粧石こうボード張りt9.5	VL	腰掛便器用手すり【撤去・取外し】		
	バリアフリートイレ		2,500 +300	【既設のまま】	下地調整【新設】 防滑性ビニル床シートt2.5【新設】	-	-	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	可動式手摺【新設】 腰掛便器用手すり【再取付け】		
	トイレ (清掃員室)		2,200 +300	F2 【一部撤去】	<ビニル床シートt2.5：L3>【撤去】	-	-	W2 【一部撤去】	陶器質100角タイル張り【一部撤去】	C2	化粧石こうボード張りt9.5	VL			
	トイレ		2,200 +300	F2 【一部新設】	下地調整【新設】 防滑性ビニル床シートt2.5【新設】	-	-	W2 【一部新設】	陶器質100角タイル張り【一部新設】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】			
	バリアフリートイレ (X14-X15間)		2,500 +300	F2	<ビニル床シートt2.5：L3>【撤去】	-	-	W2	陶器質100角タイル張り	C2	化粧石こうボード張りt9.5	VL	腰掛便器用手すり【撤去・取外し】		
	バリアフリートイレ		2,500 +300	【既設のまま】	下地調整【新設】 防滑性ビニル床シートt2.5【新設】	-	-	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	可動式手摺【新設】 腰掛便器用手すり【再取付け】		
	プール		5,500 +300	F2	<複層ビニル床シートt3.0 ノンスリップタイプ：L3>【撤去】 端部：シーリング【撤去】	-	-	W2	EP	C2	幕天井 (リフジョール)				
	プール		5,500 +300	【既設のまま】	下地調整【新設】 複層ビニル床シートt3.0【新設】 ノンスリップタイプ 端部：シーリング【新設】	-	-	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】				
	主体育館 (アリーナ)		直天井 +300	F5	天然木複合フローリングt18.0 ウレタン塗装【撤去】 下地合板t15.0【撤去】 床周囲：エキスパンションゴムW20【撤去】	-	-	W5	ラワンt15.0 透かし張り OSV 上部：シナベニヤt6.0 OSV 柱型：コンクリート打放し AEP	-	[石綿フェルト t10.0：L2] (アスベスト分析調査をすること。タラップ、キャットウォーク有り。)		床下点検口【撤去】 既設床金具【撤去】		
	主体育館 (アリーナ)		直天井 +300	【レベル調整】 【支持脚改修】	高耐久大型複層フローリングt18.0 隠し特殊張り工法【新設】 針葉樹構造用合板t15.0【新設】床周囲：エキスパンションゴム 18x20【新設】	-	-	【既設のまま】	【既設のまま】	-	【既設のまま】		床下点検口【新設】 コートライン引き、床金具【新設】、バドミントン用基礎枠【新設】、既設金具基礎：コア抜き【新設】		
	副体育館 (アリーナ)		直天井 +300	F5	天然木複合フローリングt18.0 ウレタン塗装【撤去】 下地合板t15.0【撤去】 床周囲：エキスパンションゴムW20【撤去】	WH OSV	100	W5	ベニヤt5.5 下地シタ合板t5.0 OSV 木毛マグネシウム板t25.0 柱型：コンクリート打放し AEP	-	木毛板t25.0 打込み 『岩綿吹付：L1』 (アスベスト分析調査をすること。ローリング足場設置。)		床下点検口【撤去】 既設床金具【撤去】		
	副体育館 (アリーナ)		直天井 +300	【レベル調整】 【支持脚改修】	高耐久大型複層フローリングt18.0 隠し特殊張り工法【新設】 針葉樹構造用合板t15.0【新設】床周囲：エキスパンションゴム 18x20【新設】	-	-	【既設のまま】	【既設のまま】	-	【既設のまま】		床下点検口【新設】 コートライン引き、床金具【新設】、バドミントン用基礎枠【新設】、既設金具基礎：コア抜き【新設】		
	通路 (1) (2)		2,700 +300	F2	<ビニル床シートt2.5：L3>	VH	100	W4	AEP	C2	化粧石こうボード張りt9.5【一部撤去】	VL 【一部撤去】			
	通路 (1) (2)		2,700 +300	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【一部新設】			
	事務室 (1)		2,650 +350	F4	タイルカーペットt6.5	VH	100	W4	クロス貼り	C2 【一部撤去】	化粧吸音石こうボード張りt9.5【一部撤去】	VL 【一部撤去】			
	事務室 (1)		2,650 +350	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	C2 【一部新設】	化粧吸音石こうボード張りt9.5【一部新設】	VL 【一部新設】			
	事務室 (2)		2,650 +350	F4	タイルカーペットt6.5	VH	100	W4	クロス貼り	C2 【一部撤去】	化粧吸音石こうボード張りt9.5【一部撤去】	VL 【一部撤去】			
	事務室 (2)		2,650 +350	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	C2 【一部新設】	化粧吸音石こうボード張りt9.5【一部新設】	VL 【一部新設】			
	事務室 (3)		2,650 +350	F4	タイルカーペットt6.5	VH	100	W4	クロス貼り	C2 【一部撤去】	化粧吸音石こうボード張りt9.5【一部撤去】	VL 【一部撤去】			
	事務室 (3)		2,650 +350	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	C2 【一部新設】	化粧吸音石こうボード張りt9.5【一部新設】	VL 【一部新設】			
	事務室 (4)		2,700 +300	F2	<ビニル床シートt2.5：L3>	VH	100	W4	クロス貼り	C2	化粧石こうボード張りt9.5【一部撤去】	VL 【一部撤去】			
	事務室 (4)		2,700 +300	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【一部新設】			
	クラブ室		2,700 +300	F2	<ビニル床シートt2.5：L3>	VH	100	W4	EP	C2	化粧石こうボード張りt9.5【一部撤去】	VL 【一部撤去】			
	クラブ室		2,700 +300	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【一部新設】			

C	コンクリート	W	木軸
M	モルタル	PB	石膏ボード
CB	コンクリートブロック	ALC	ALC版
LGS	軽鉄下地 (壁・天井)	S	鉄骨
ECP	押出成形セメント版		

床下地		巾木		壁下地		天井下地		建具額縁	
F1	コンクリート金コテ押え	CH	コンクリート打放し	W1	コンクリート打放し素地	C1	コンクリート打放し素地	W	木製 (塗装は特記なき限りOSUC)
F2	モルタル	MH	モルタル巾木	W2	C+モルタル塗	C2	LGS	A	アルミ製
F3	防水モルタル	VH	ビニル巾木	W3	LGS+PBt12.5	C3	LGS+PBt9.5		
F4	システム床H50	巻VH	ビニル床シート巻上	W4	LGS+PBt12.5+12.5	C4	LGS+PBt9.5 (不燃)		室名札
F5	鋼製床下地H400	WH	木製巾木 (塗装は特記なき限りOSUC)	W5	木下地	C5	LGS+PBt9.5 (不燃) (捨張り)	★	亚克力製室名サイン (突出型)
		SH	ステンレス巾木	W6				☆	亚克力製室名サイン (平付型)
		磁タ	磁器質タイル巾木					●	亚克力製ビクトサイン (突出型)
								○	亚克力製ビクトサイン (平付型)
				※	S表示はPBをシージングPBと読み替える	VL	塩ビ製廻縁	▲	シート切文字
				※	GWは、24kg/m3とする	AL	アルミ製廻縁		日除
						WL	木製廻縁 (塗装は特記なき限りOSCL)	BB	アルミ製ボックスサイン (横型)

内部仕上表 2

階	室名 (改修前)		天井高	床		巾木		壁		天井		見切縁	備考	日除	室名札
	改修後	(基準F.Lより)	下地	仕上	仕上	H	下地	仕上	下地	仕上					
1階	更衣室	更衣室	2,700 +300	F2	〈ビニル床シート t2.5 : L3〉	VH	100	W2	AEP	C2	化粧石膏ボード張り t9.5 【一部撤去】	VL 【一部撤去】			
		更衣室	2,700 +300	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	化粧石膏ボード張り t9.5 【一部新設】	VL 【一部新設】			
	主催者控室	主催者控室	2,500 +300	F2	カーベット	VH	100	W2	AEP	C2 【一部撤去】	化粧石膏ボード張り t9.5 【一部撤去】	VL			
		主催者控室	2,500 +300	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	C2 【一部新設】	化粧石膏ボード張り t9.5 【一部新設】	【既設のまま】			
2階	男子トイレ (ホワイエ)	男子トイレ	2,500 ±0	F2 【一部撤去】	〈ビニル床シート t2.5 : L3〉 【撤去】	-	-	W2	陶器質100角タイル張り	C2	化粧石膏ボード張り t9.5	VL	トイレベース : HI. 870 【撤去】		
		男子トイレ	2,500 ±0	F2 【一部新設】	下地調整 【新設】 防滑性ビニル床シート t2.5 【新設】	-	-	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	トイレベース : HI. 900 【新設】 L型手摺 【新設】	
	女子トイレ (ホワイエ)	女子トイレ	2,500 ±0	F2 【一部撤去】	〈ビニル床シート t2.5 : L3〉 【撤去】	-	-	W2	陶器質100角タイル張り	C2	化粧石膏ボード張り t9.5	VL	トイレベース : HI. 870 【撤去】		
		女子トイレ	2,500 ±0	F2 【一部新設】	下地調整 【新設】 防滑性ビニル床シート t2.5 【新設】	-	-	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	トイレベース : HI. 900 【新設】 L型手摺 【新設】	
	バリアフリートイレ (ホワイエ)	バリアフリートイレ	2,500 ±0	F2	〈ビニル床シート t2.5 : L3〉 【撤去】	-	-	W2	陶器質100角タイル張り	C2	化粧石膏ボード張り t9.5	VL	腰掛便器用手すり 【撤去・取外し】		
		バリアフリートイレ	2,500 ±0	【既設のまま】	下地調整 【新設】 防滑性ビニル床シート t2.5 【新設】	-	-	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	可動式手摺 【新設】 腰掛便器用手すり 【再取付け】	
	男子トイレ (X4-X5間)	男子トイレ	2,500 ±0	F2 【一部撤去】	〈ビニル床シート t2.5 : L3〉 【撤去】	-	-	W2	陶器質100角タイル張り	C2	化粧石膏ボード張り t9.5	VL	トイレベース : HI. 870 【撤去】		
		男子トイレ	2,500 ±0	F2 【一部新設】	下地調整 【新設】 防滑性ビニル床シート t2.5 【新設】	-	-	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	トイレベース : HI. 900 【新設】 L型手摺 【新設】	
	女子トイレ (X4-X5間)	女子トイレ	2,500 ±0	F2 【一部撤去】	〈ビニル床シート t2.5 : L3〉 【撤去】	-	-	W2	陶器質100角タイル張り	C2	化粧石膏ボード張り t9.5	VL	トイレベース : HI. 870 【撤去】		
		女子トイレ	2,500 ±0	F2 【一部新設】	下地調整 【新設】 防滑性ビニル床シート t2.5 【新設】	-	-	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	トイレベース : HI. 900 【新設】 L型手摺 【新設】	
	男子トイレ (X8-X9間)	男子トイレ	2,500 ±0	F2 【一部撤去】	〈ビニル床シート t2.5 : L3〉 【撤去】	-	-	W2	陶器質100角タイル張り	C2	化粧石膏ボード張り t9.5	VL	トイレベース : HI. 870 【撤去】		
		男子トイレ	2,500 ±0	F2 【一部新設】	下地調整 【新設】 防滑性ビニル床シート t2.5 【新設】	-	-	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	トイレベース : HI. 900 【新設】 L型手摺 【新設】	
	女子トイレ (X8-X9間)	女子トイレ	2,500 ±0	F2 【一部撤去】	〈ビニル床シート t2.5 : L3〉 【撤去】	-	-	W2	陶器質100角タイル張り	C2	化粧石膏ボード張り t9.5	VL	トイレベース : HI. 870 【撤去】		
		女子トイレ	2,500 ±0	F2 【一部新設】	下地調整 【新設】 防滑性ビニル床シート t2.5 【新設】	-	-	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	トイレベース : HI. 900 【新設】 L型手摺 【新設】	
	ホール・通路	ホール・通路	2,700 ±0	F2	〈ビニル床シート t2.5 : L3〉	VH	100	W2	吹付タイル	C3 【一部撤去】	ロックウール化粧吸音板 t9 【一部撤去】	VL	排水溝 : モルタル塗り、排水管埋り : モルタル 【撤去】 アルミルーバー : 900角 【取外し】		
		ホール・通路	2,700 ±0	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	C3 【一部新設】	ロックウール化粧吸音板 t9 【一部新設】	【既設のまま】	排水溝 : ウレタン防水X-2 【新設】 排水口 : φ40用 【新設】、周囲モルタル 【補修】 アルミルーバー : 900角 【再取付け】		
	事務室 (X14-X15間)	事務室	2,500 ±0	F2	〈ビニル床シート t2.5 : L3〉	VH	100	W2	AEP	C2 【一部撤去】	化粧石膏ボード張り t9.5 【一部撤去】	VL			
		事務室	2,500 ±0	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	C2 【一部新設】	化粧石膏ボード張り t9.5 【一部新設】	【既設のまま】			
	相談室	相談室	2,500 ±0	F2	〈ビニル床シート t2.5 : L3〉	VH	100	W2	AEP	C2 【一部撤去】	化粧石膏ボード張り t9.5 【一部撤去】	VL			
		相談室	2,500 ±0	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	C2 【一部新設】	化粧石膏ボード張り t9.5 【一部新設】	【既設のまま】			
	和室	和室	2,500 +200	W	スタイロフォーム t55	畳寄せ	-	W2	じゅうらく壁	C2 【一部撤去】	杉板壁燃合板張り t5.5 敷目貼 【一部撤去】	VL			
		和室	2,500 +200	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	C2 【一部新設】	【既設のまま】	【既設のまま】			
	軽運動室	軽運動室	3,000 ±0	F2	フローリング (ブナ) t15.0 ウレタン塗装 T-1ベニヤ t15.0下地	WH OSV	60	W5	木毛マグネシウム板 t25.0 シナベニヤ t6.0 OSV H2.000	C2 【一部撤去】	木毛マグネシウム板 t25.0 【一部撤去】	VL			
		軽運動室	3,000 ±0	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	C2 【一部新設】	木毛セメント板 t25.0 【一部新設】	【既設のまま】			

■ 共通凡例

C	コンクリート	W	木軸
M	モルタル	PB	石膏ボード
CB	コンクリートブロック	ALC	ALC版
LGS	軽鉄下地 (壁・天井)	S	鉄骨
ECP	押出成形セメント版		

■ 下地凡例

床下地		巾木		壁下地		天井下地		建具・額縁	
F1	コンクリート金コテ押え	CH	コンクリート打放し	W1	コンクリート打放し素地	C1	コンクリート打放し素地	W	木製 (塗装は特記なき限りOSUC)
F2	モルタル	MH	モルタル巾木	W2	C+モルタル塗	C2	LGS	A	アルミ製
F3	防水モルタル	VH	ビニル巾木	W3	LGS+PB t12.5	C3	LGS+PB t9.5		
F4	システム床H50	巻VH	ビニル床シート巻上	W4	LGS+PB t12.5+12.5	C4	LGS+PB t9.5 (不燃)	室名札	
F5	鋼製床下地H400	WH	木製巾木 (塗装は特記なき限りOSUC)	W5	木下地	C5	LGS+PB t9.5 (不燃) (捨張り)	★	アクリル製室名サイン (突出型)
		SH	ステンレス巾木	W6				☆	アクリル製室名サイン (平付型)
		磁タ	磁器質タイル巾木					●	アクリル製ビクトサイン (突出型)
								○	アクリル製ビクトサイン (平付型)

■ 特記事項

- 【OOO】 工事内容を示す。
- 使用材料は、全て無石棉とする。
- 内装材 (建具・家具・取付物含む) は全て (F☆☆☆☆) 適合材とする。
- 内装工事に使用する接着剤は全て (F☆☆☆☆) 適合材とする。
- 特記なき限り、壁・天井の仕上げは準不燃以上とする。
- 長尺塩ビシートは溶接継目とする。
- 現場には、騒音計・振動計・デジタル粉塵計を設置し常時監視し、作業を行うこと。

アスベスト関係

- (OOOO) : アスベスト含有建材を示す。
- LO : アスベスト含有建材レベル1、2、3を示す。
- 『OOOO』 : アスベスト含有なし建材を示す。(アスベスト分析調査をすること。)
- アスベスト分析調査によって、外壁タイル、石膏ボード、岩綿吸音板には含有なしの結果となっている。

内部仕上表 3

階	室名 (改修前)		天井高 (基準F.L.より)	床		巾木		壁		天井		見切縁	備考	日除	室名札	
	改修後	室名 (改修後)		下地	仕上	仕上	H	下地	仕上	下地	仕上					
2階	音楽室		2,700	F 2	フローリング(ブナ) t15.0 ウレタン塗装 T-1ベニヤt12.0下地	WH OSV	60	W5	木毛マグネシウム板t25.0	C2 【一部撤去】	木毛マグネシウム板t25.0【一部撤去】	VL				
			±0													【既設のまま】
	練習室A		2,700	F 2	フローリング(ブナ) t15.0 ウレタン塗装 T-1ベニヤt12.0下地	WH OSV	60	W5	木毛マグネシウム板t25.0	C2 【一部撤去】	木毛マグネシウム板t25.0【一部撤去】	VL				
			±0													
	練習室B		2,500	F 2	フローリング(ブナ) t15.0 ウレタン塗装 T-1ベニヤt12.0下地	WH OSV	60	W5	木毛マグネシウム板t25.0	C2 【一部撤去】	木毛マグネシウム板t25.0【一部撤去】	VL				
			±0													
	練習室C		2,500	F 2	フローリング(ブナ) t15.0 ウレタン塗装 T-1ベニヤt12.0下地	WH OSV	60	W5	木毛マグネシウム板t25.0	C2 【一部撤去】	木毛マグネシウム板t25.0【一部撤去】	VL				
			±0													
	リハーサル室		2,700	F 2	フローリング(ブナ) t15.0 ウレタン塗装 T-1ベニヤt12.0下地	WH OSV	60	W5	木毛マグネシウム板t25.0	C2 【一部撤去】	木毛マグネシウム板t25.0【一部撤去】	VL				
			±0													
	事務室 (X12-X13間)		2,500	F 2	ビニルタイル貼り：L3	VH	100	W2	AEP	C2 【一部撤去】	化粧石膏ボード張りt9.5【一部撤去】	VL				
			±0													
主催者控室		2,500	F 2	ビニルタイル貼り：L3	VH	100	W2	AEP	C2 【一部撤去】	化粧石膏ボード張りt9.5【一部撤去】	VL					
		±0														【既設のまま】
楽屋		2,500	F 2	ビニルタイル貼り：L3	VH	100	W2	AEP	C2 【一部撤去】	化粧石膏ボード張りt9.5【一部撤去】	VL					
		±0														【既設のまま】
舞台		-	F 6	フローリングt15.0(サクラ)ウレタン塗装【一部撤去】 下地合板t15.0+15.0、グラスウールt50【一部撤去】			W1	木毛マグネシウム板t25GL工法	C1	木毛マグネシウム板t25打込みの上 木毛、岩綿吹付け	-		網元保護：ポール・チェーン【撤去】			
		-800														【一部撤去】
		-	F 1【新設】	フローリングt15.0(サクラ)ウレタン塗装【一部新設】 下地合板t15.0+15.0、グラスウールt50【一部新設】			【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	【既設のまま】	-	正面反射板：EP【塗替】(裏面を除く) 網元保護：フェンスH1,800【新設】、ブドウ棚改修：吊り材【新設】			
		-800														【一部新設】
3階	映写室・調光室	映写室・調光室	2,500	F 2	ビニルタイル貼り：L3	WH OSV	60	W5	木毛マグネシウム板t25.0	C2 【一部撤去】	化粧石膏ボード張りt9.5【一部撤去】	VL				
			RSL-1,000													
				2,500												
				RSL-1,000												
																【既設のまま】

■ 共通凡例

C	コンクリート	W	木軸
M	モルタル	PB	石膏ボード
CB	コンクリートブロック	ALC	ALC版
LGS	軽鉄下地(壁・天井)	S	鉄骨
ECP	押出成形セメント版		

■ 下地凡例

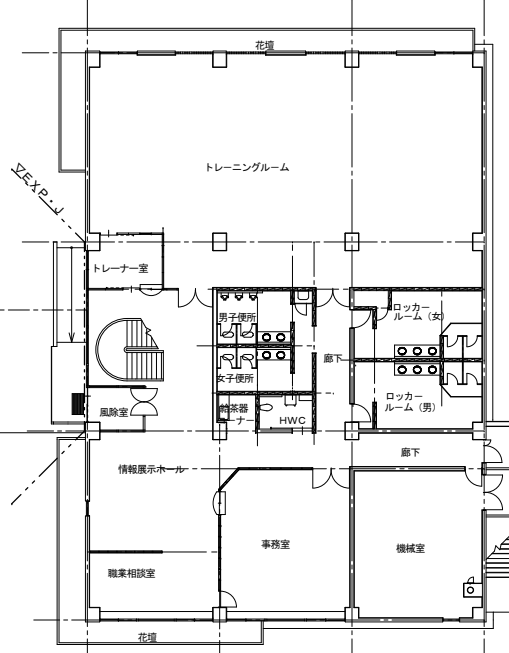
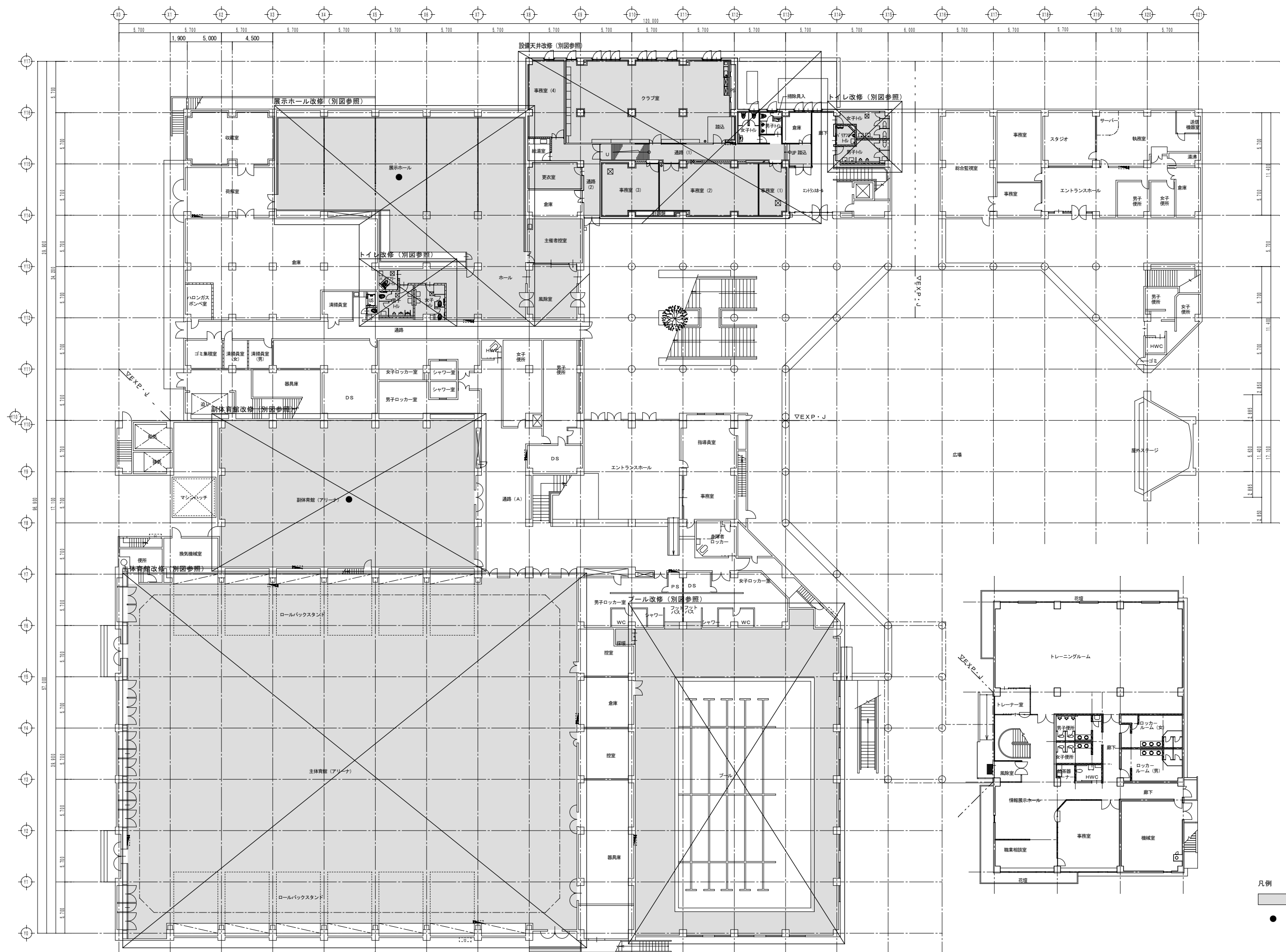
床下地		巾木		壁下地		天井下地		建具縁	
F 1	コンクリート金コテ押え	CH	コンクリート打放し	W1	コンクリート打放し素地	C1	コンクリート打放し素地	W	木製(塗装は特記なき限りOSUC)
F 2	モルタル	MH	モルタル巾木	W2	C+モルタル塗	C2	LGS	A	アルミ製
F 3	防水モルタル	VH	ビニル巾木	W3	LGS+PB t12.5	C3	LGS+PB t9.5		
F 4	システム床H50	巻VH	ビニル床シート巻上	W4	LGS+PB t12.5+12.5	C4	LGS+PB t9.5(不燃)		室名札
F 5	鋼製床下地H400	WH	木製巾木(塗装は特記なき限りOSUC)	W5	木下地	C5	LGS+PB t9.5(不燃)(捨張り)	★	亚克力製室名サイン(突出型)
F 6	木製床下地H250	SH	ステンレス巾木	W6				☆	亚克力製室名サイン(平付型)
		磁タ	磁器質タイル巾木					●	亚克力製ビクトサイン(突出型)
								○	亚克力製ビクトサイン(平付型)
								▲	シート切文字
									日除
				※	S表示はPBをシーシングPBと読み替える	VL	塩ビ製廻縁		
				※	GWは、24kg/m3とする	AL	アルミ製廻縁		
						WL	木製廻縁(塗装は特記なき限りOSCL)	BB	アルミ製ボタサイン(横型)

■ 特記事項

- 【OOO】 工事内容を示す。
- 使用材料は、全て無石練とする。
- 内装材(建具・家具・取付物含む)は全て(F☆☆☆☆)適合材とする。
- 内装工事に使用する接着剤は全て(F☆☆☆☆)適合材とする。
- 特記なき限り、壁・天井の仕上げは準不燃以上とする。
- 長尺塩ビシートは溶接継目とする。
- 現場には、騒音計・振動計・デジタル粉塵計を設置し常時監視し、作業を行うこと。

アスベスト関係

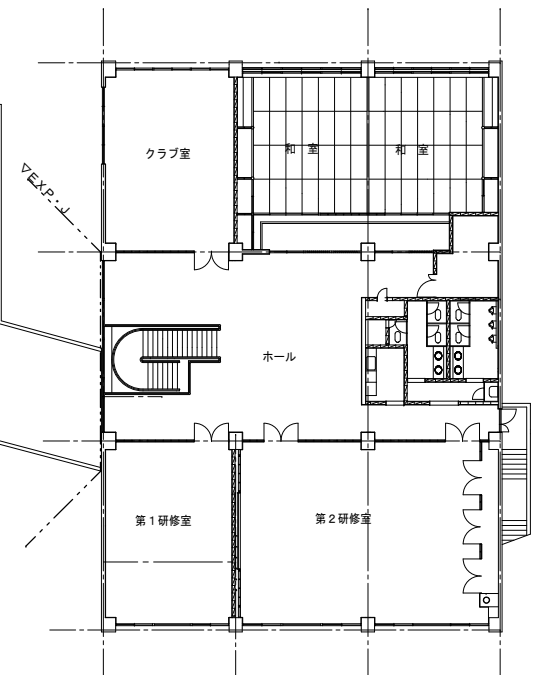
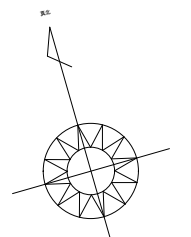
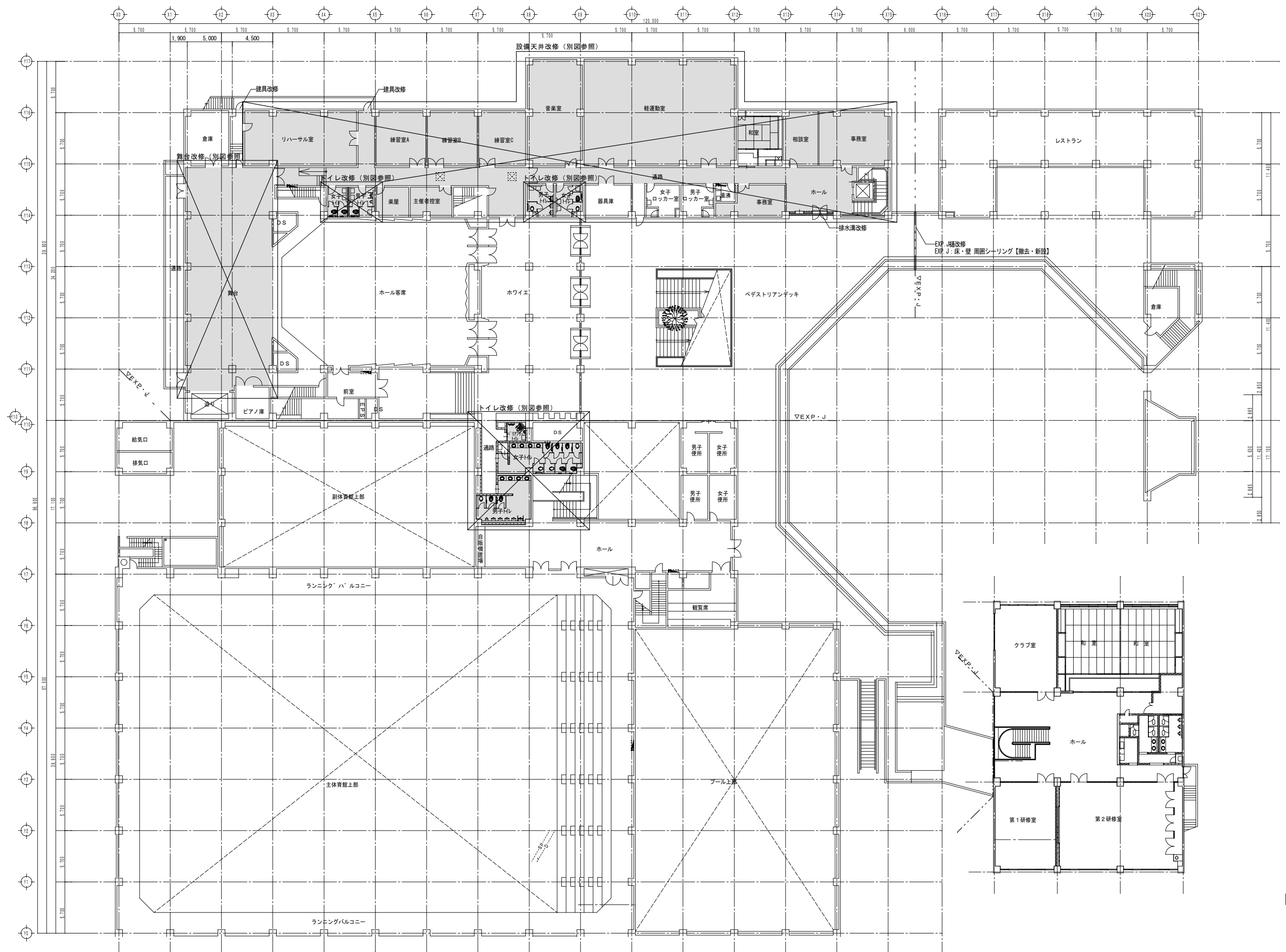
- (OOOO) : アスベスト含有建材を示す。
- LO : アスベスト含有建材レベル1、2、3を示す。
- 『OOOO』 : アスベスト含有なし建材を示す。(アスベスト分析調査をすること。)
- アスベスト分析調査によって、外壁タイル、石膏ボード、岩綿吸音板には含有なしの結果となっている。




- 凡例
- 改修部分を示す。
 - 化学物質濃度測定場所を示す。

株式会社 近代設計コンサルタント
 広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第27978号
 TEL 082-243-5555 (代表) 小瀬 宏 治

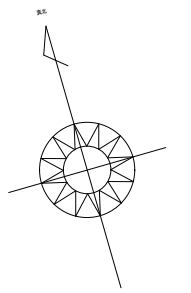
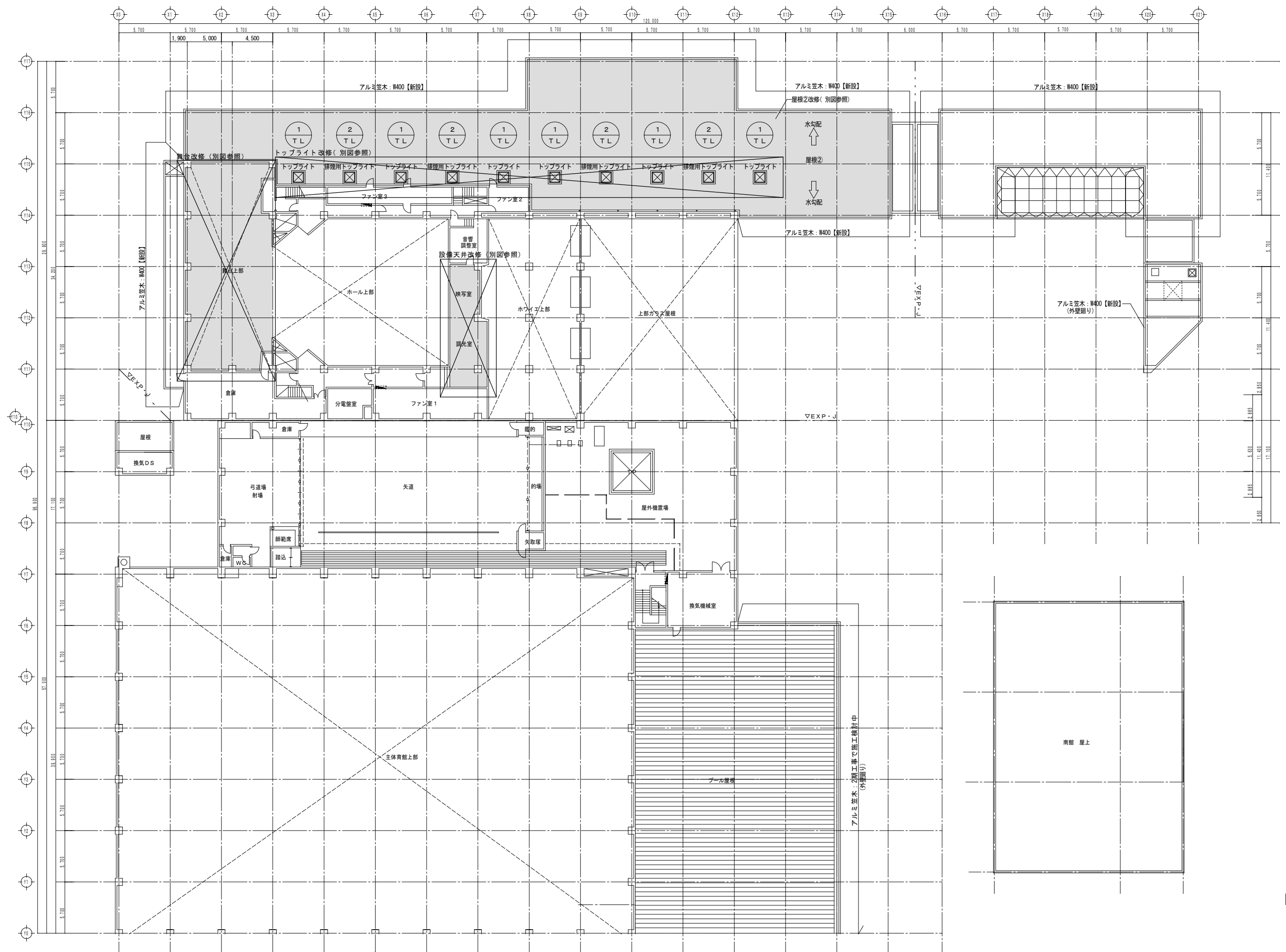
年月日	登録番号	工事名	図面番号
		三原リージョンプラザ長寿命化改修工事 (3期工事) (建築主体工事)	A
照査	設計担当	図面名	1階平面図
		SCALE	A1-1/200
			A3-50%縮小



凡例
 改修部分を示す。

株式会社 近代設計コンサルタント
 広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第27978号
 TEL 082-243-5555 (代表) 小瀬 宏 治

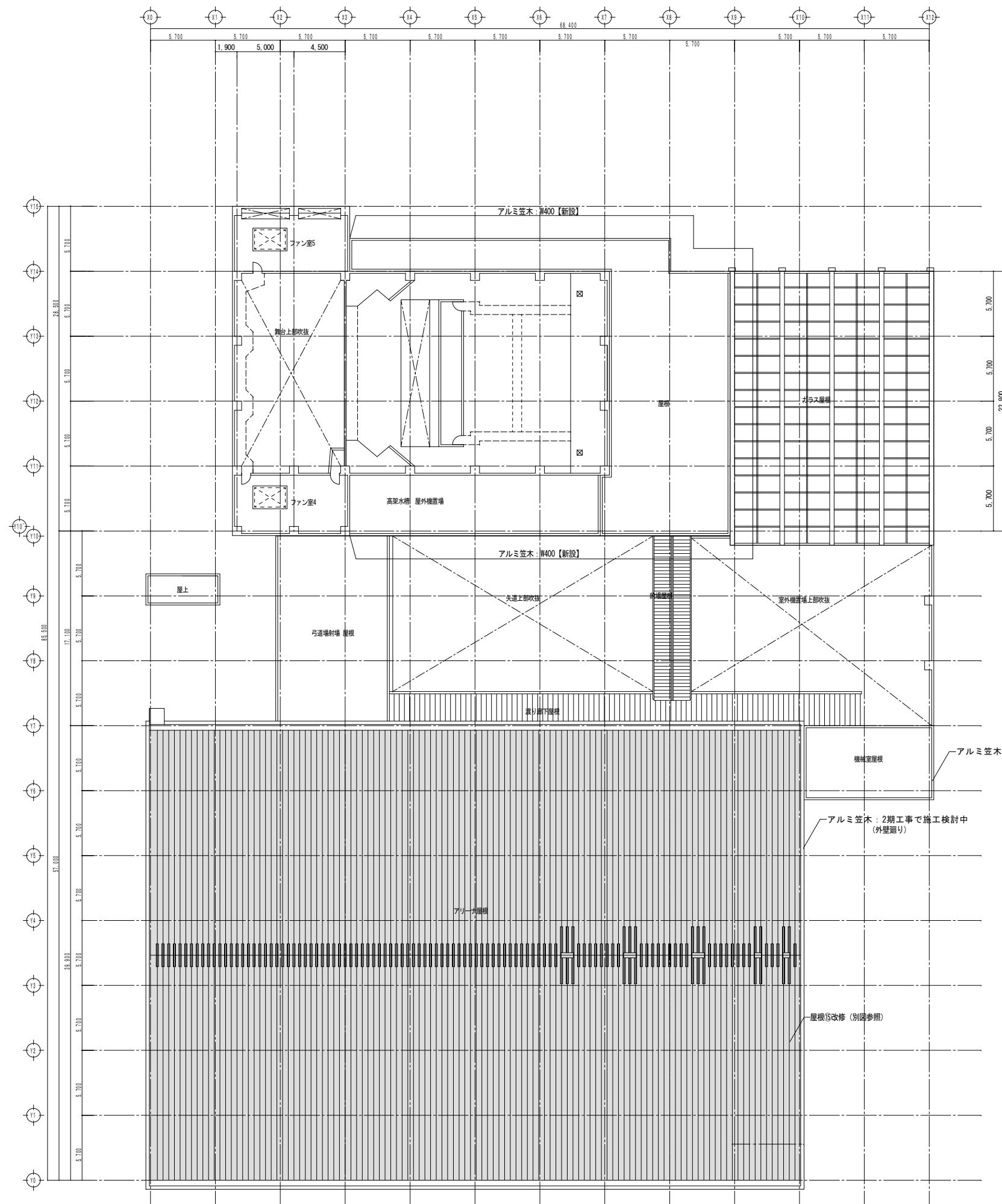
年月日	整理番号	工事名	図面番号
		三原リージョンプラザ長寿命化改修工事 (3期工事) (建築主体工事)	A
照査	設計担当	図面名	SCALE
		2階平面図	A1-1/200 A3-50%縮小



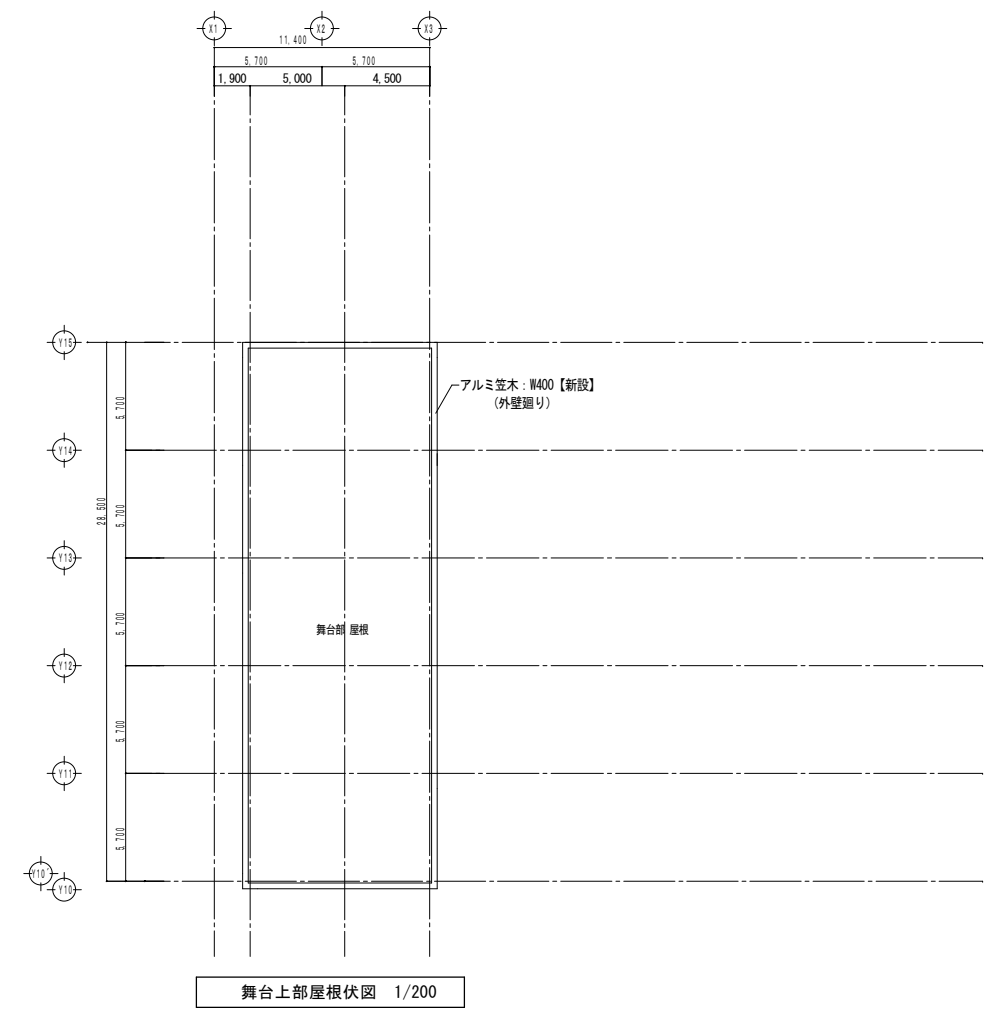
凡例
 改修部分を示す。

株式会社 近代設計コンサルタント
 広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第27978号
 TEL 082-243-5555 (代表) 小瀬 宏 治

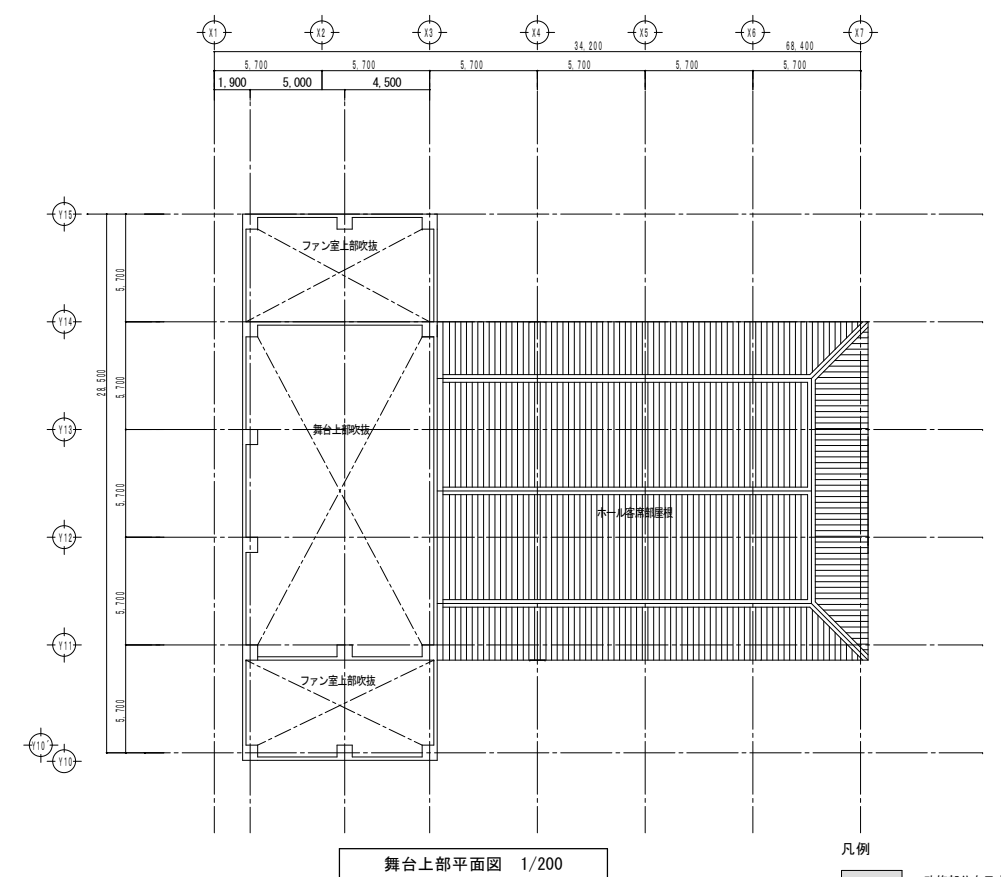
年月日	登録番号	工事名	図面番号
		三原リージョンプラザ長寿命化改修工事 (3期工事) (建築主体工事)	A
照査	設計担当	図面名	21
		3階平面図	
SCALE			
A1-1/200			
A3-50%縮小			



(外壁廻り)

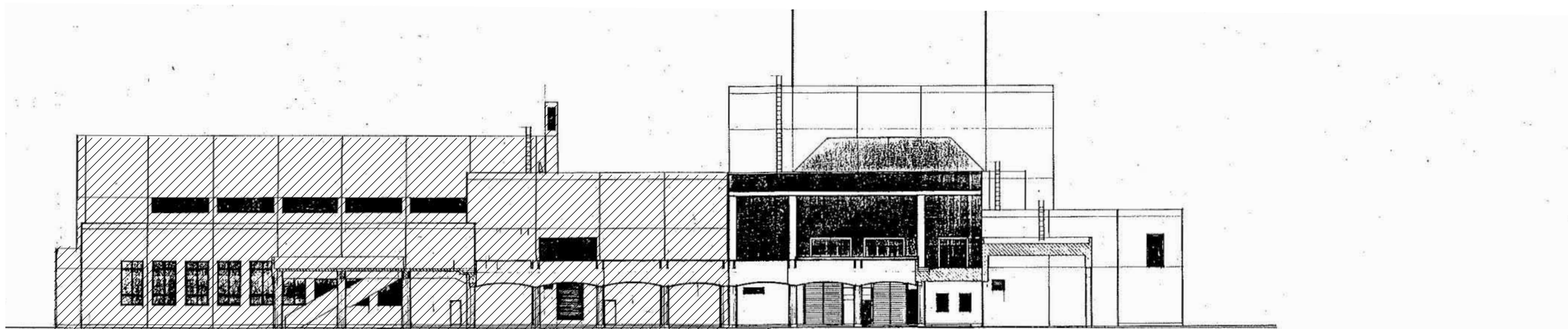


舞台上部屋根伏図 1/200

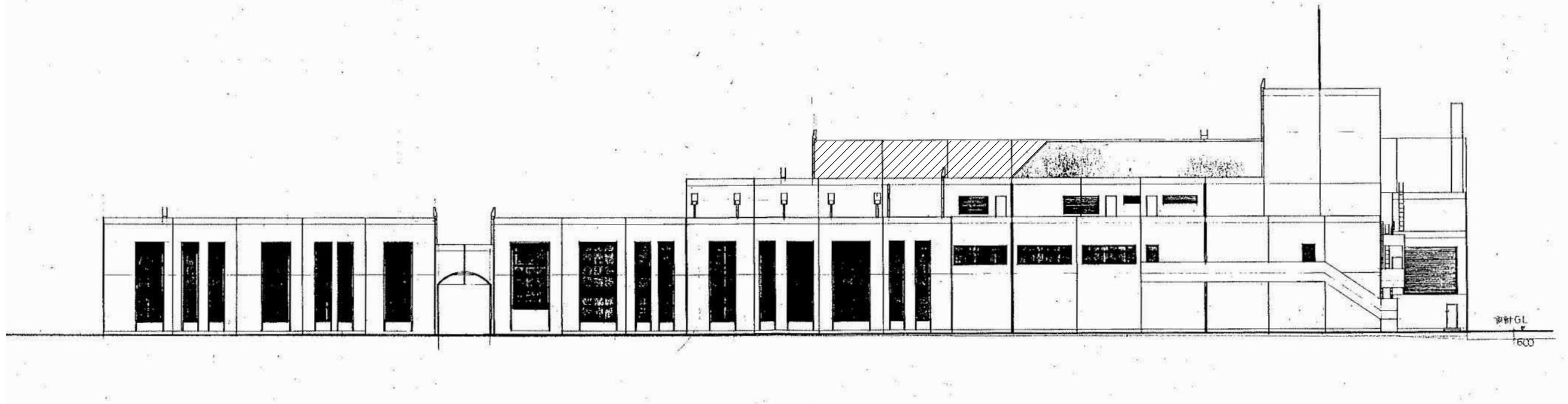


舞台上部平面図 1/200

凡例
 改修部分を示す。





本館 東立面図 1/200



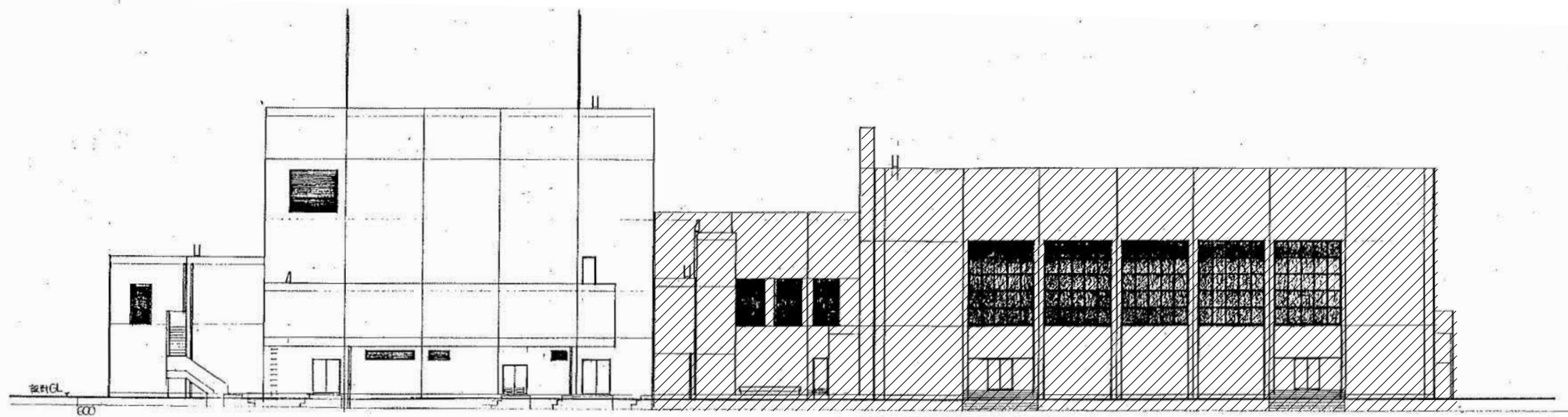
本館 北立面図 1/200

凡例

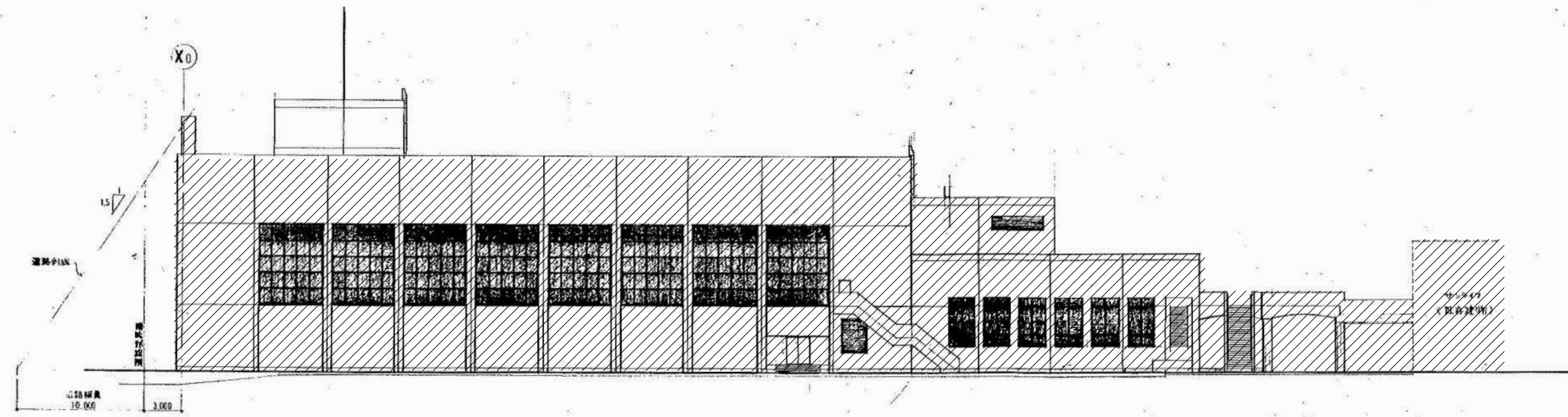
 工事範囲外部分を示す。


株式会社 近代設計コンサルタント
 広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第27978号
 TEL 082-243-5555 (代表) 小瀬 宏 治


年月日	整理番号	工事名	図面番号
		三原リージョンプラザ長寿命化改修工事(3期工事)(建築主体工事)	A
照査	設計担当	図面名	SCALE
		立面図(1)	A1-1/200 A3-50%縮小



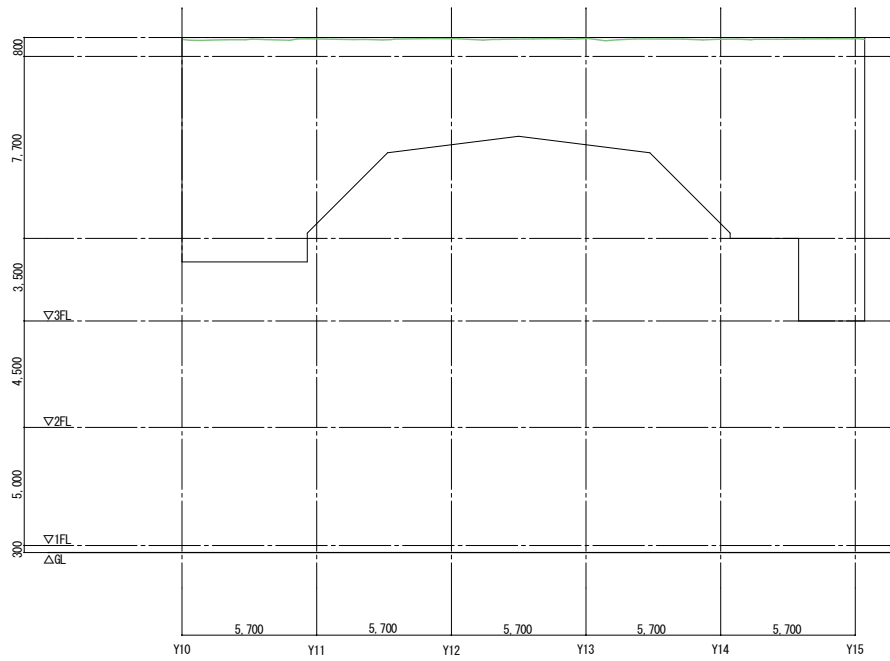
本館 西東立面図 1/200



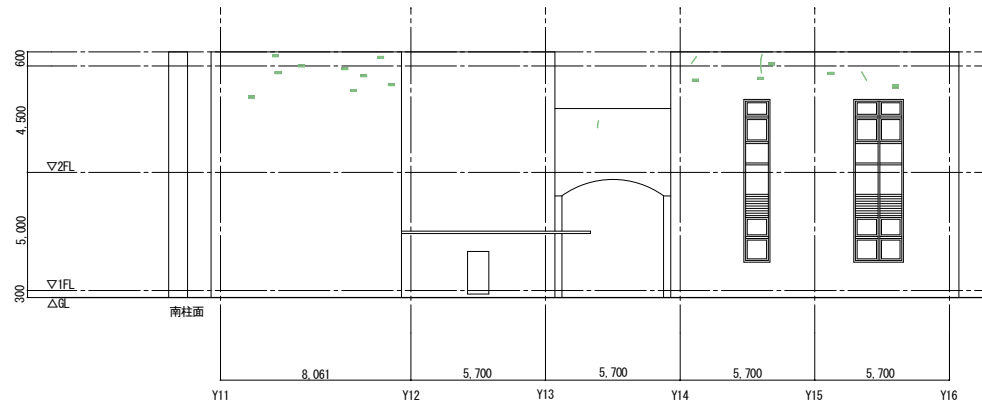
本館 南立面図 1/200

凡例
 工事範囲外部分を示す。

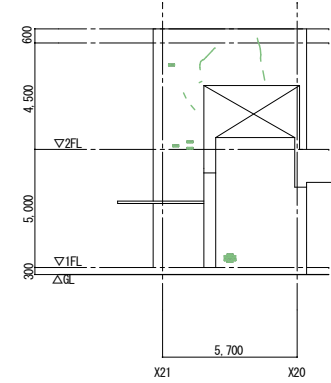
 株式会社 近代設計コンサルタント 広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第27978号 TEL 082-243-5555 (代表) 小瀬 宏 治	年月日	整理番号	工事名	図面番号
	照査	設計担当	図面名	SCALE A1-1/200 A3-50%縮小
			三原リージョンプラザ長寿命化改修工事 (3期工事) (建築主体工事)	A
			立面図 (2)	2/4



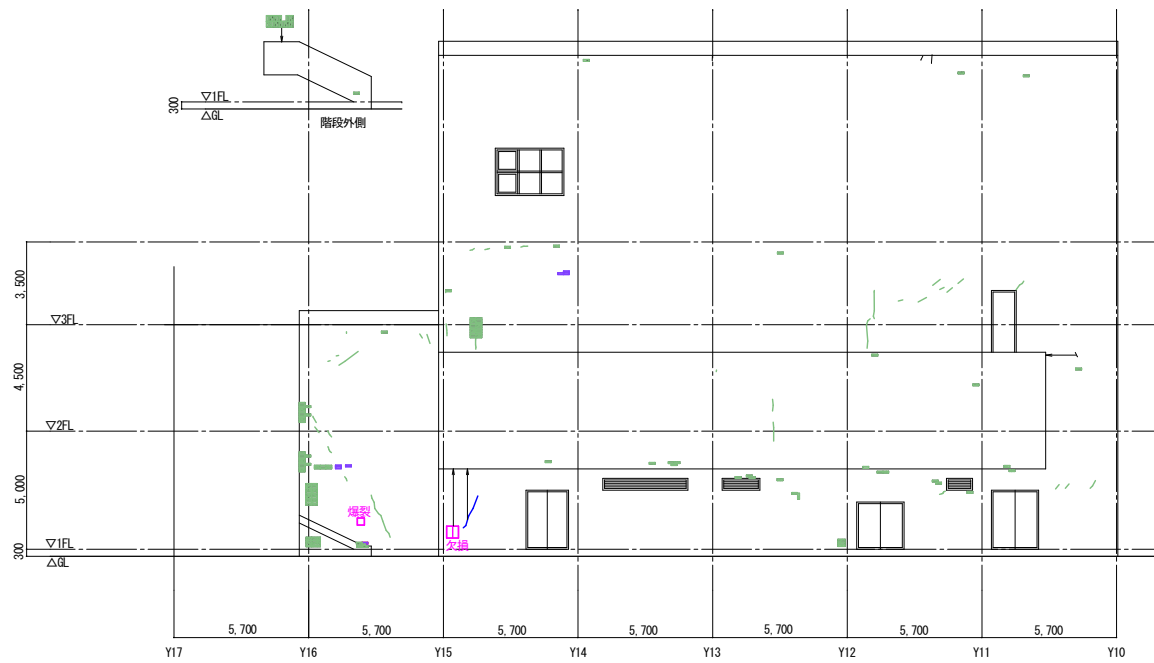
① X3・Y10-Y15通り東立面図



② X21・Y11-Y16通り東立面図



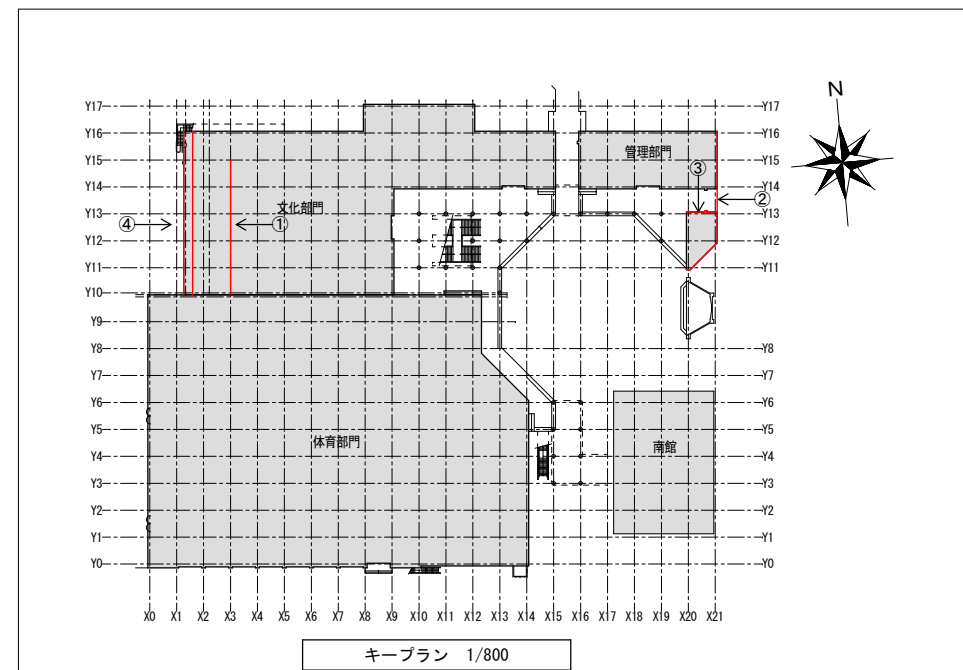
③ Y13・X20-X21通り北立面図



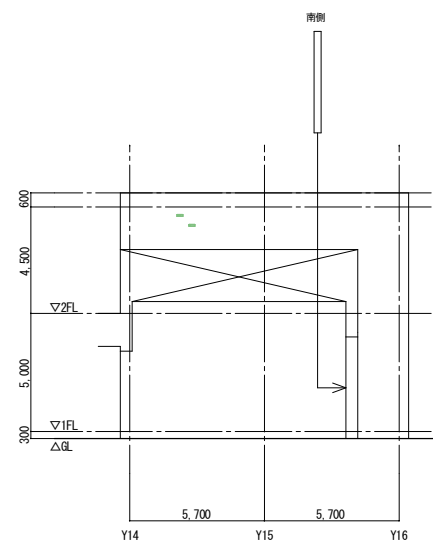
④ X1-X2・Y10-Y16通り西立面図

- 凡例
- : タイル面 ひび割れ
 - : タイル面 浮き
 - : 打放し面 ひび割れ
 - : タイル欠損
 - : その他の劣化現象

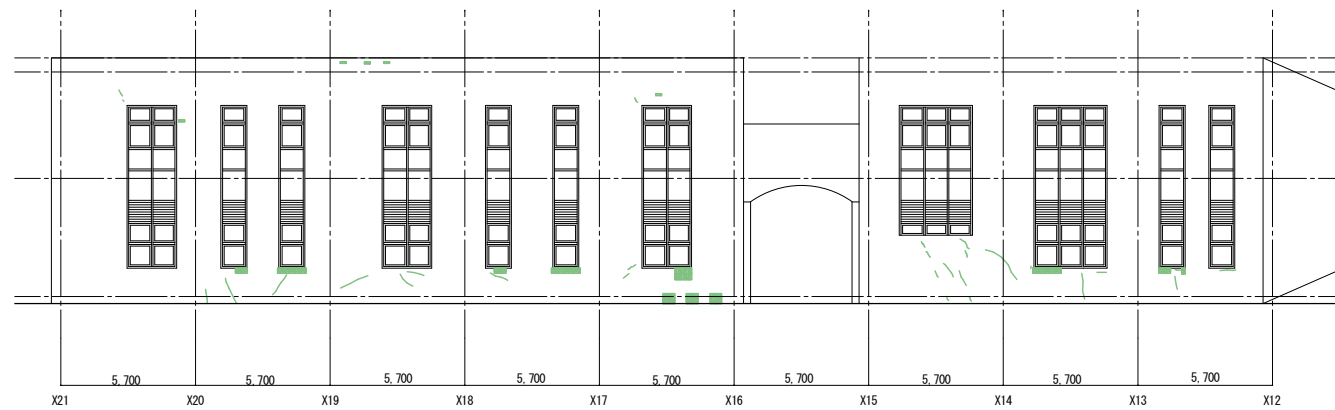
※特記なき限り外壁面は、セツ器質二丁掛けタイル張りとする。
外壁タイルは全面打診調査を行い、劣化部補修後、水洗い清掃とする。



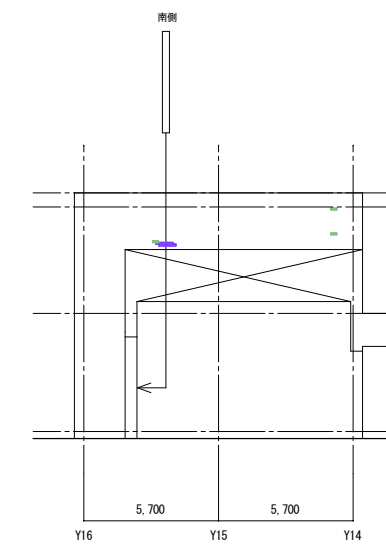
キープラン 1/800



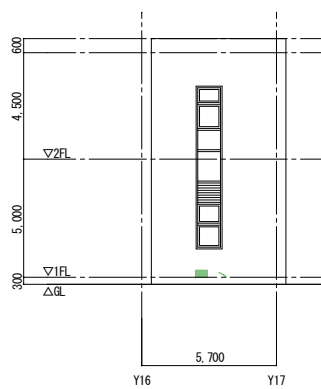
⑤ X15・Y14-Y16通り東立面図



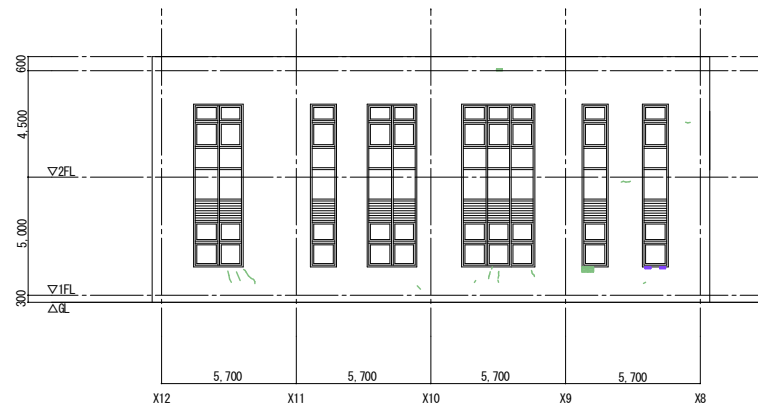
⑥ Y16・X12-X21通り北立面図



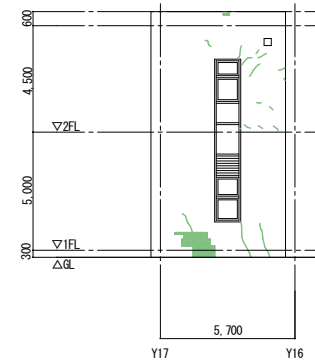
⑦ X16・Y14-Y16通り西立面図



⑧ X12・Y16-Y17通り立面図

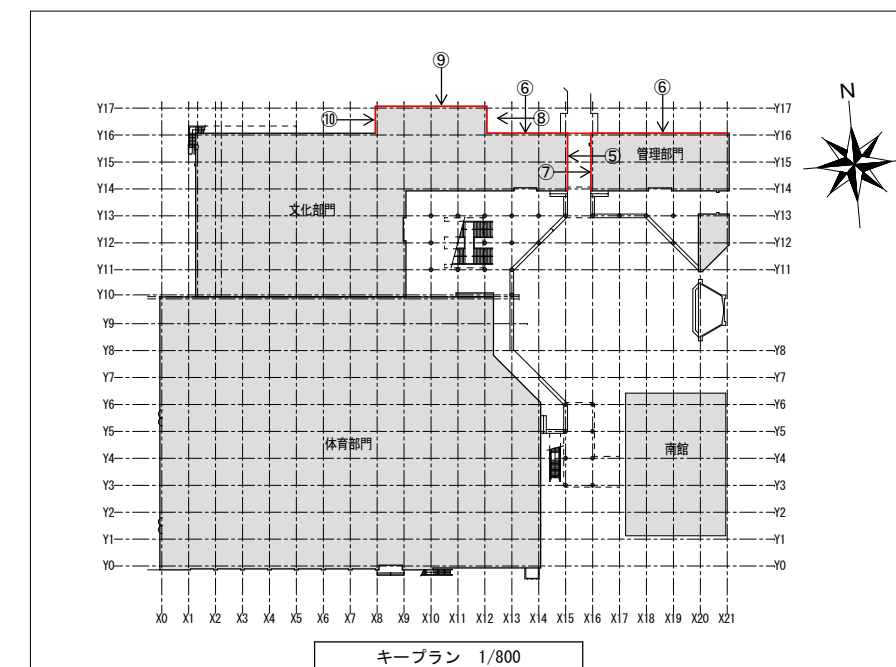


⑨ Y17・X8-X12通り北立面図

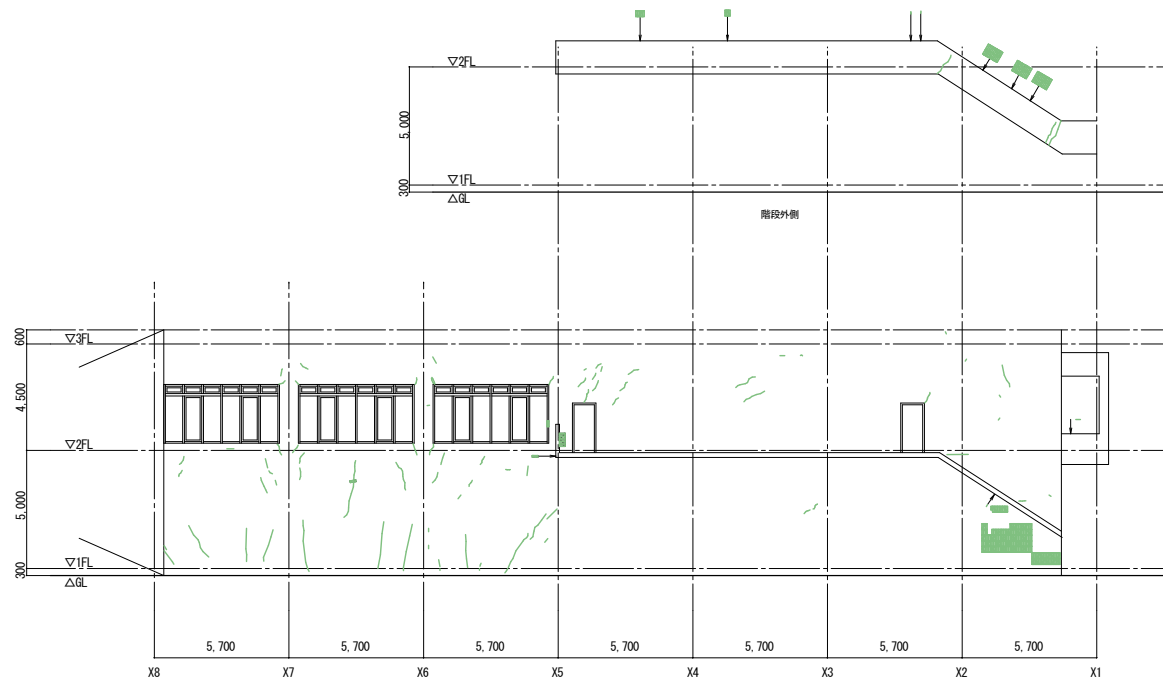


⑩ X8・Y16-Y17通り立面図

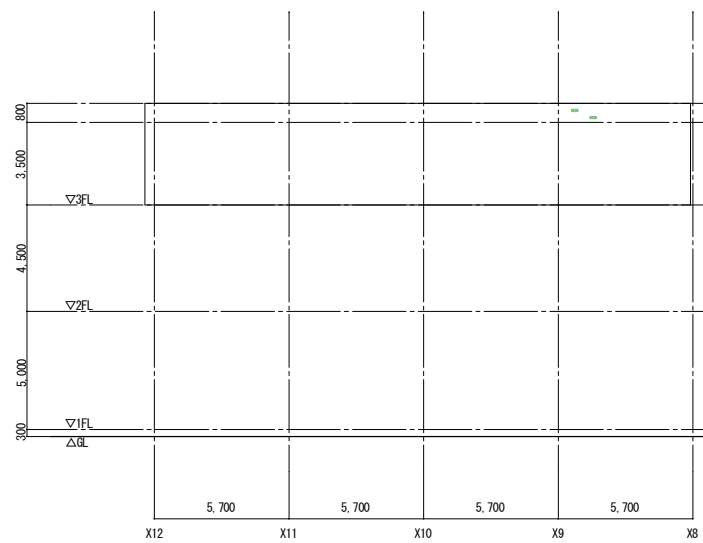
- 凡例
- : タイル面 ひび割れ
 - : タイル面 浮き
 - : 打放し面 ひび割れ
 - : タイル欠損
 - : その他の劣化現象



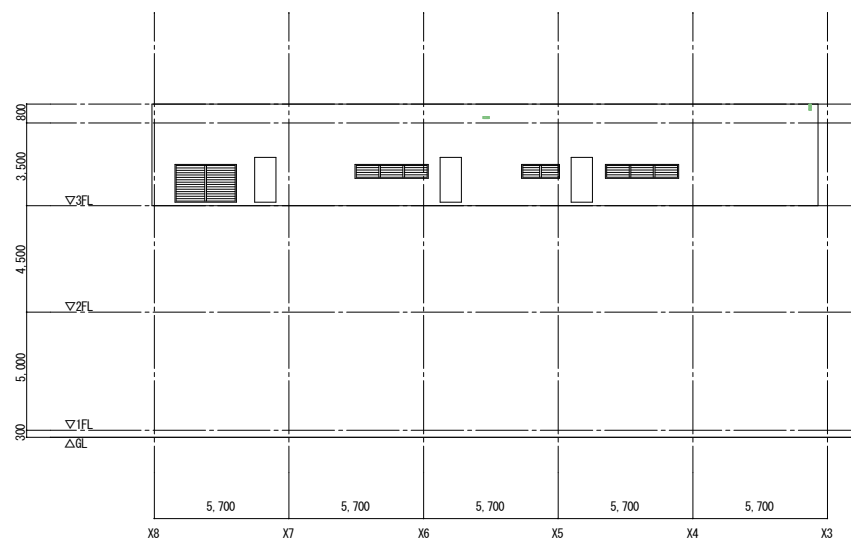
※特記なき限り外壁面は、セツ器質二丁掛けタイル張りとする。
 外壁タイルは全面打診調査を行い、劣化部補修後、水洗い清掃とする。



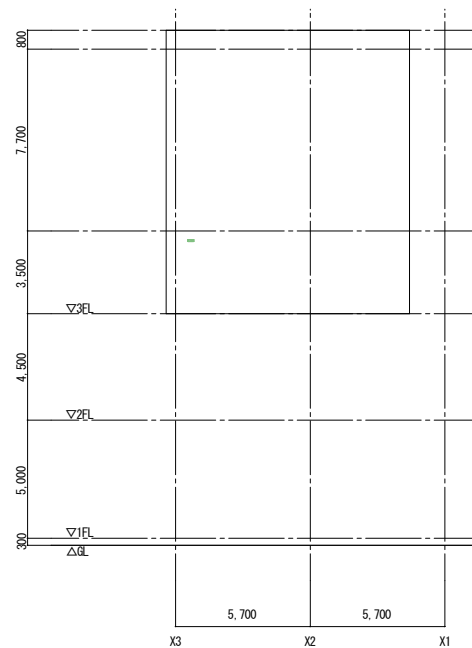
⑪ Y16・X1-X8通り北立面図



⑫ Y14・X8-X12通り北立面図

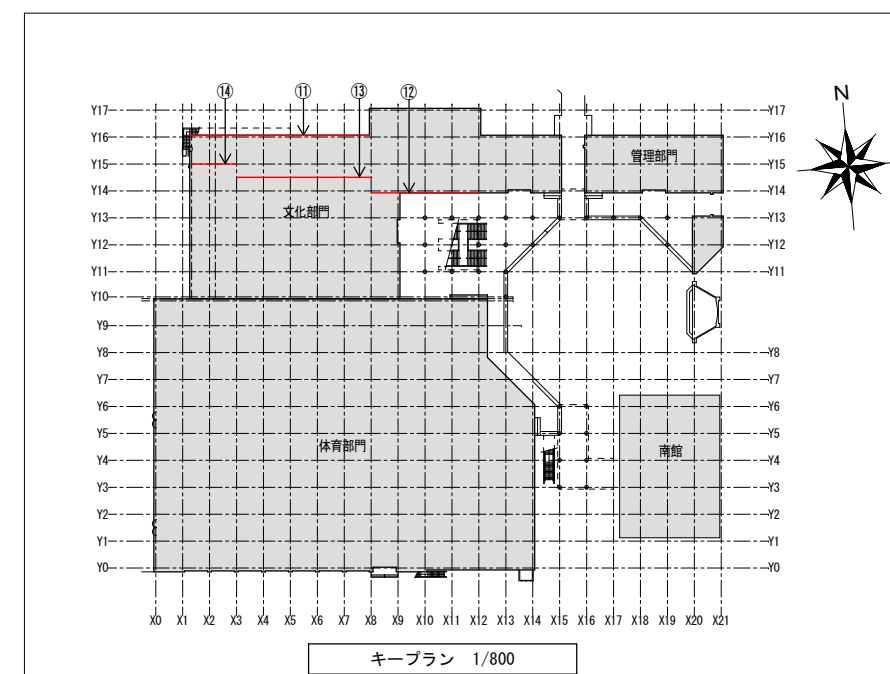


⑬ Y14-Y15・X3-X8通り北立面図



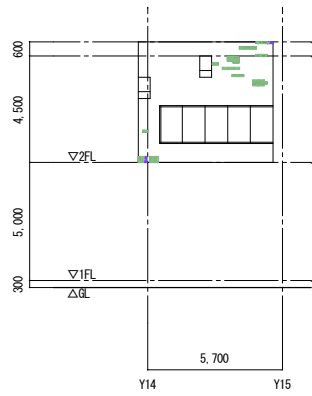
⑭ Y15・X1-X3通り北立面図

- 凡例
- : タイル面 ひび割れ
 - : タイル面 浮き
 - : 打放し面 ひび割れ
 - : タイル欠損
 - : その他の劣化現象

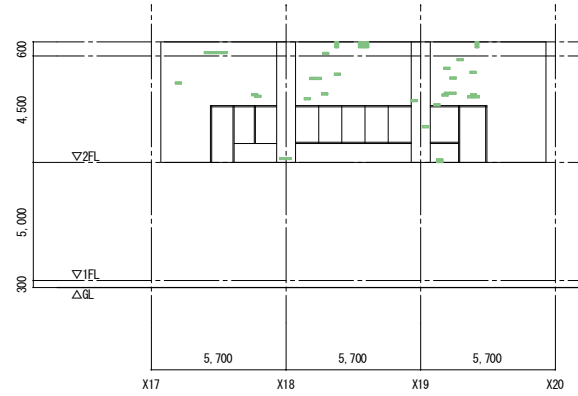


キープラン 1/800

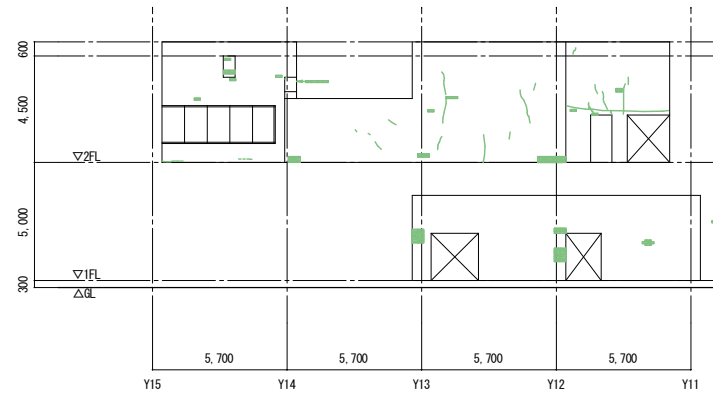
※特記なき限り外壁面は、セツ器質二丁掛けタイル張りとする。
外壁タイルは全面打診調査を行い、劣化部補修後、水洗い清掃とする。



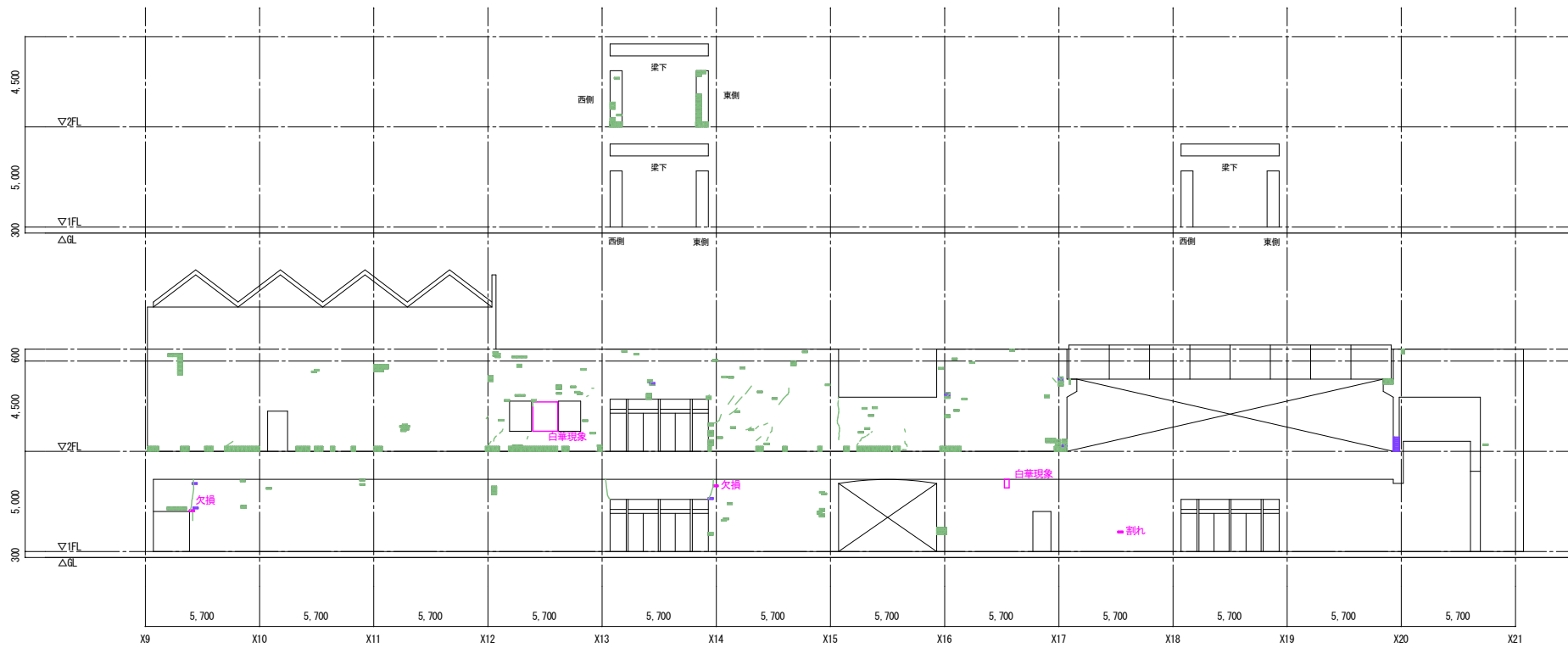
⑮ X17・Y14-Y15通り東立面図



⑯ Y15・X17-X20通り南立面図

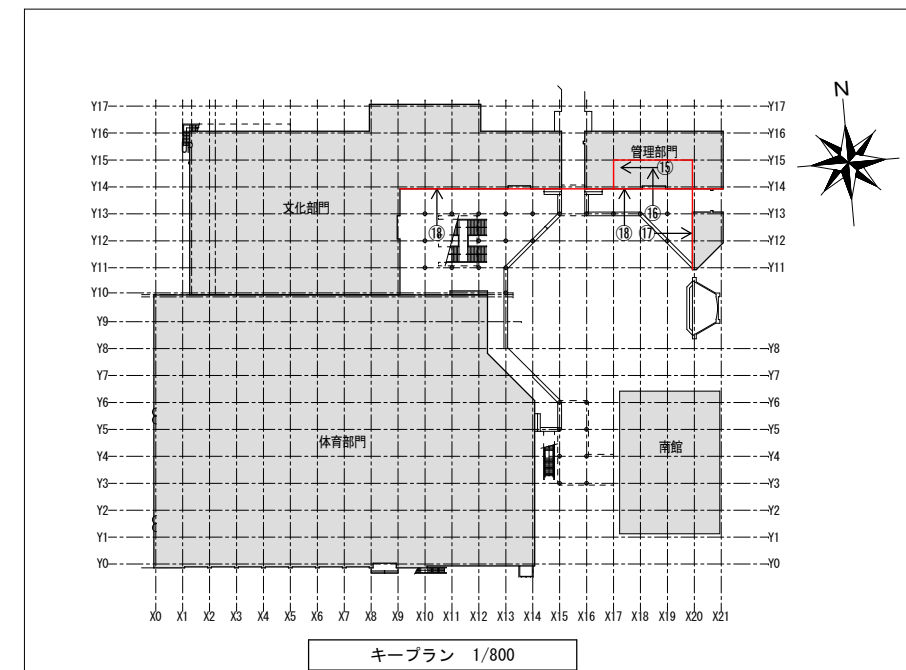


⑰ X20・Y11-Y15通り西立面図

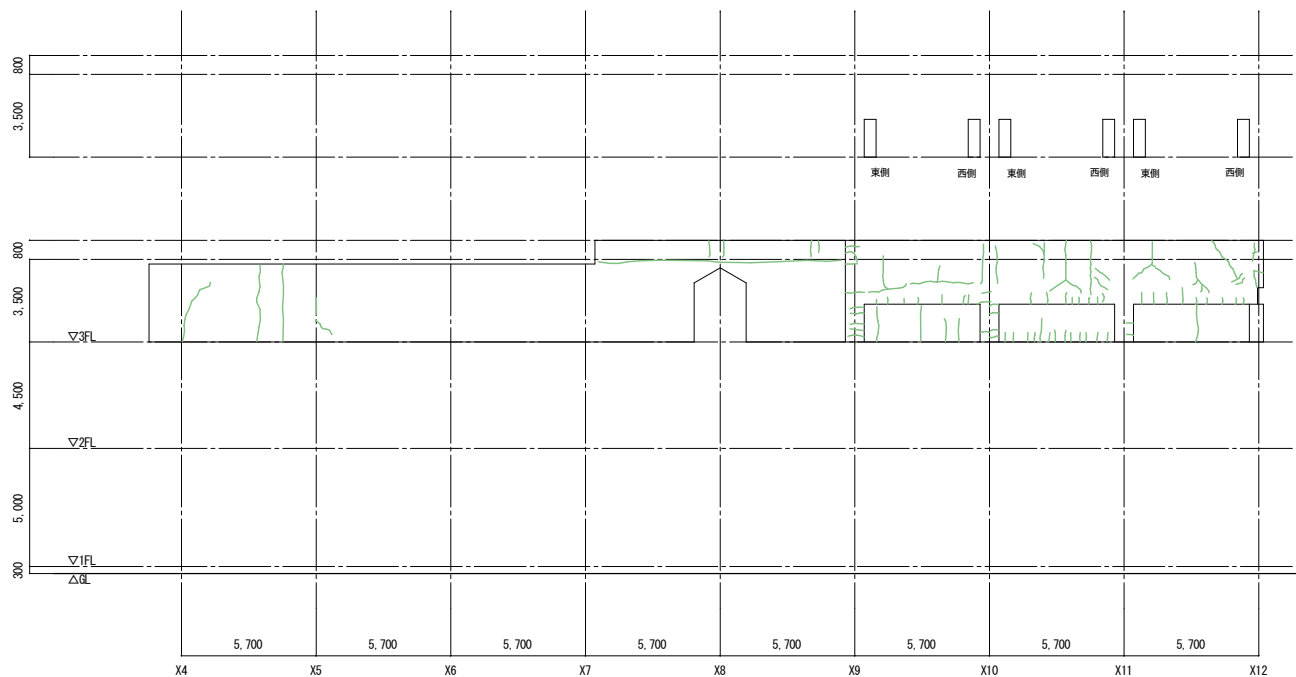


⑱ Y14・X9-X21通り南立面図

- 凡例
- : タイル面 ひび割れ
 - : タイル面 浮き
 - : 打放し面 ひび割れ
 - : タイル欠損
 - : その他の劣化現象

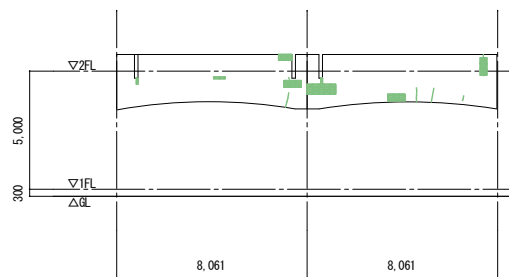


※特記なき限り外壁面は、セツ器質二丁掛けタイル張りとする。
外壁タイルは全面打診調査を行い、劣化部補修後、水洗い清掃とする。

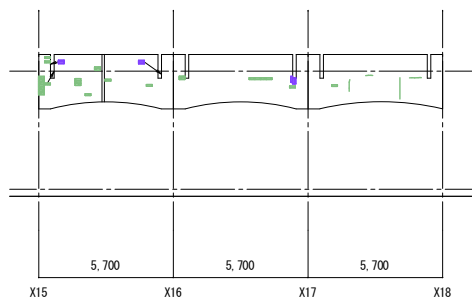


⑱ Y10・X4-X12通り南立面図

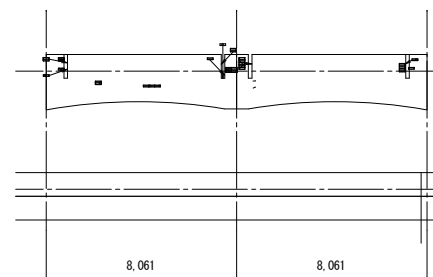
- 凡例
- : タイル面 ひび割れ
 - : タイル面 浮き
 - : 打放し面 ひび割れ
 - : タイル欠損
 - : その他の劣化現象



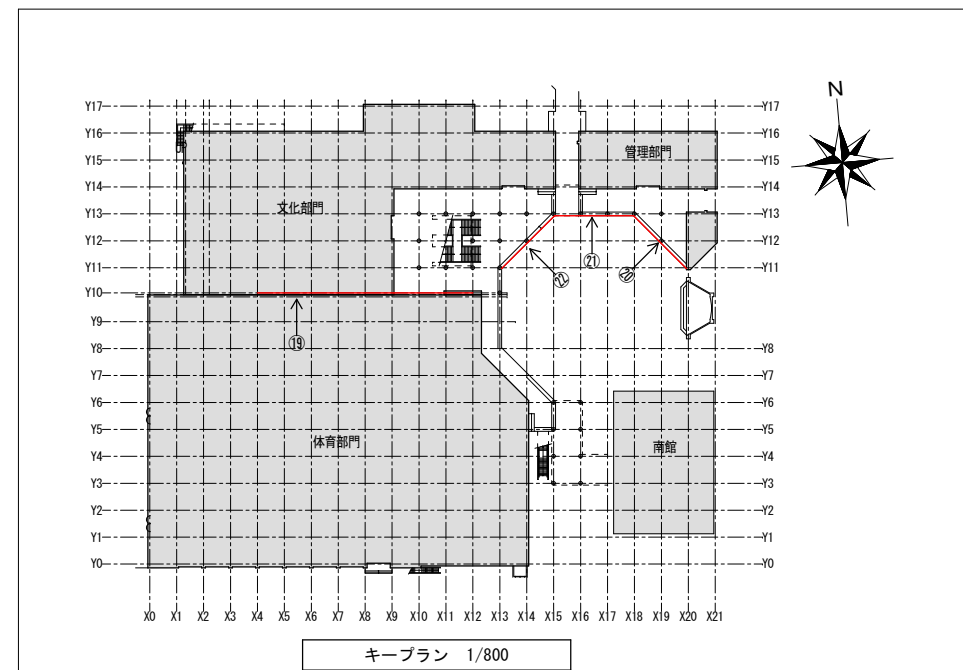
⑳ デッキ立面図



㉑ デッキ立面図



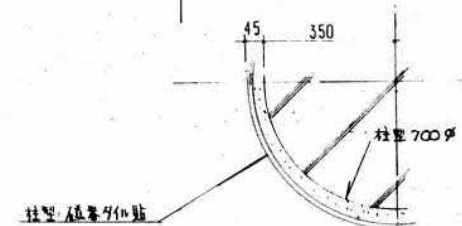
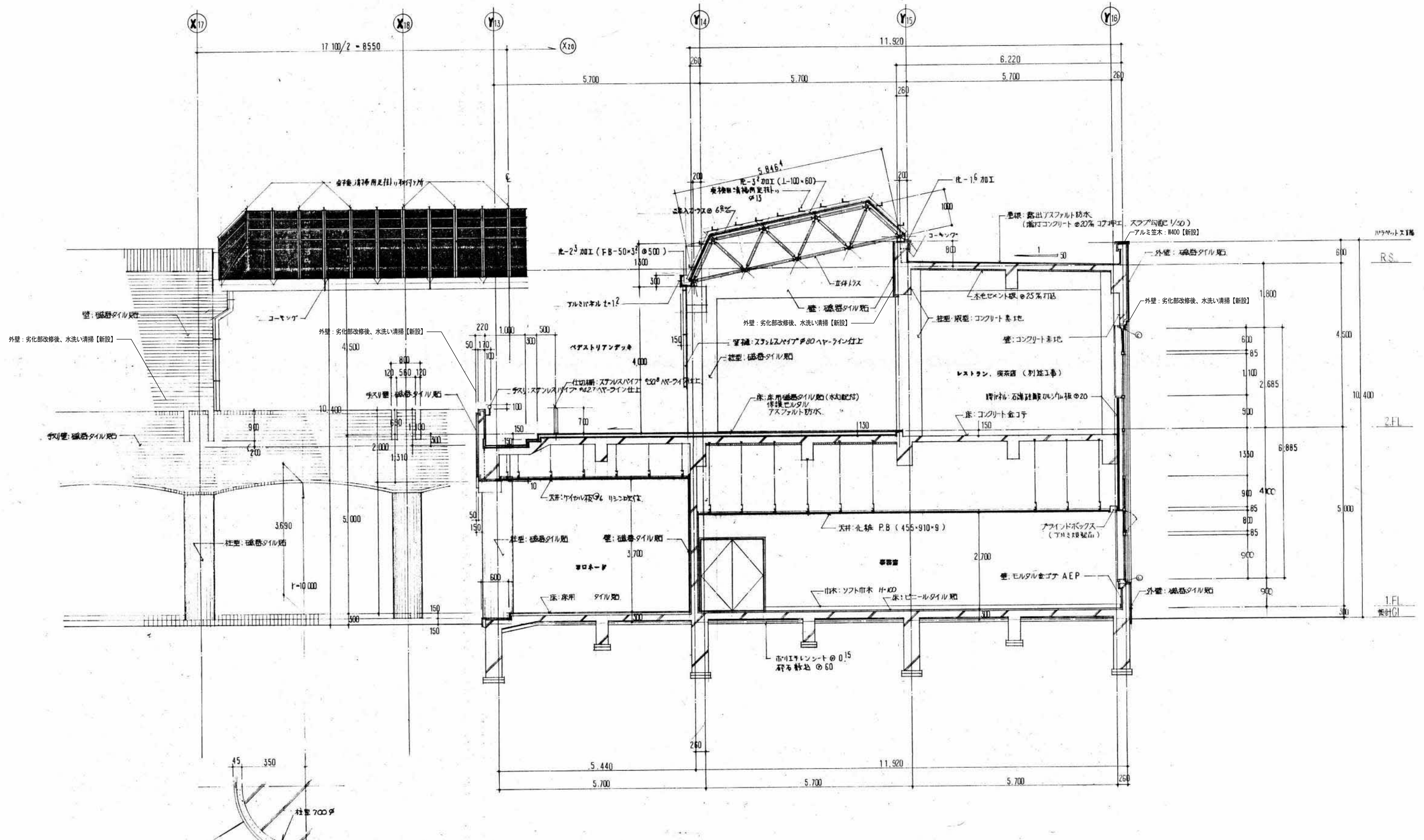
㉒ デッキ立面図



※特記なき限り外壁面は、セツ器質二丁掛けタイル張りとする。
外壁タイルは全面打診調査を行い、劣化部補修後、水洗い清掃とする。

株式会社 近代設計コンサルタント
 広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第27978号
 TEL 082-243-5555 (代表) 小瀬 宏 治

年月日	整理番号	工事名	図面番号
		三原リージョンプラザ長寿命化改修工事 (3期工事) (建築主体工事)	A
照査	設計担当	図面名	SCALE
		外壁調査図 (5)	A1-1/200・1/800 A3-50%縮小



柱詳細図 S-1:10

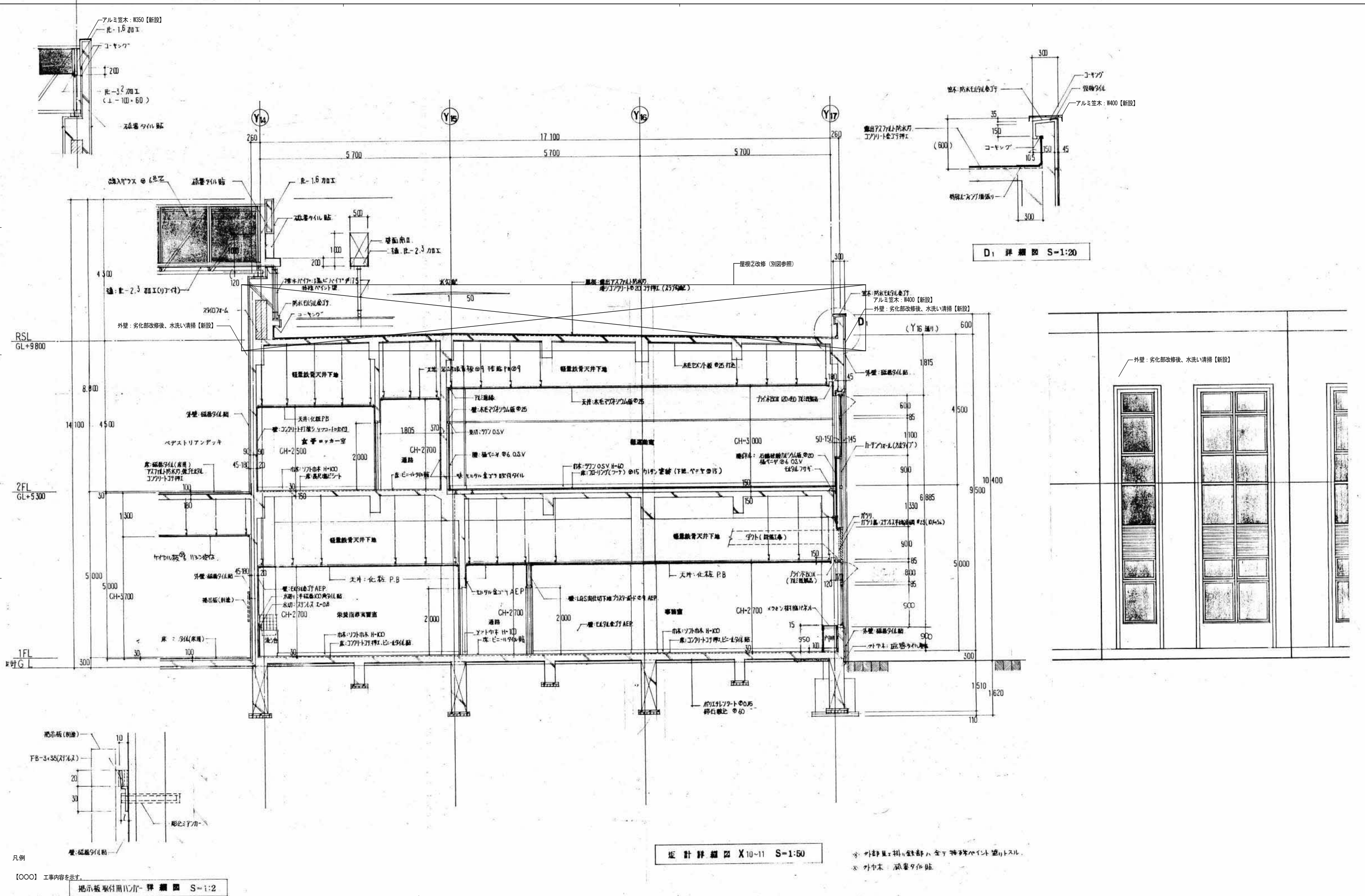
X17 ~ X18 断面詳細図 S-1:50

* ガラス屋根部見出し数部は全量 特殊ヤイト塗リトスル。

凡例
【〇〇〇】 工事内容を示す。

株式会社 近代設計コンサルタント
 広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第277978号
 TEL 082-243-5555 (代表) 小瀬 宏 治

年月日	整理番号	工事名	図面番号
		三原リージョンプラザ長寿命化改修工事 (3期工事) (建築主体工事)	A
照査	設計担当	図面名	31
		矩計図 (1) (既存参考矩計図)	
SCALE			
A1-1/50			
A3-50%縮小			



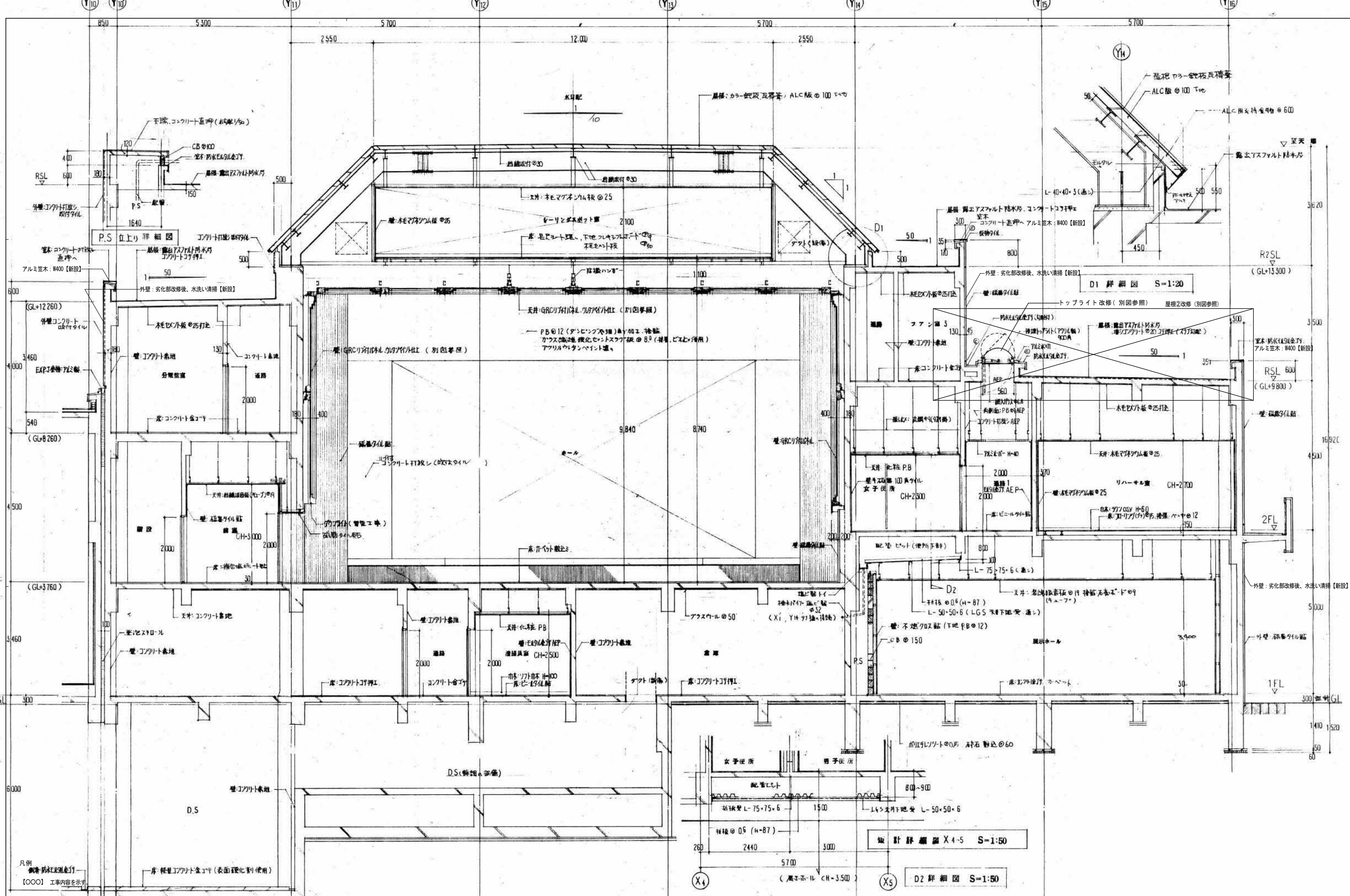
D1 詳細図 S=1:20

断面計詳細図 X10-11 S=1:50

※ 外壁工事は、全部ハ全テ特殊ペイント塗リトスル。
 ※ 外中木 珪藻土仕上。

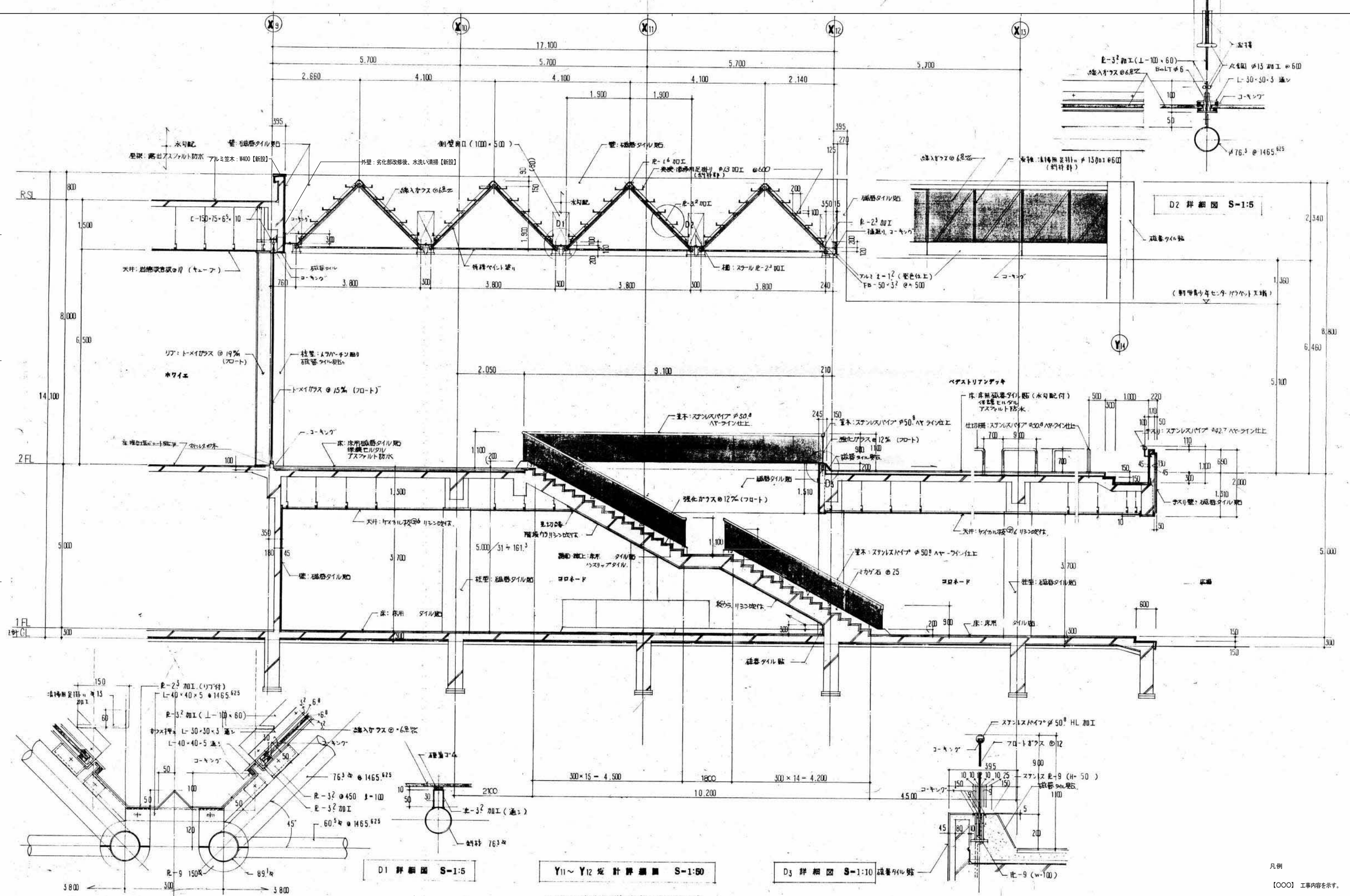
凡例
 【OOO】 工事内容を示す。
 掲示板取付用ハンカ- 詳細図 S=1:2

株式会社 近代設計コンサルタント 広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第277978号 TEL 082-243-5555 (代表) 小瀬 宏 治	年月日	整理番号	工事名	三原リージョンプラザ長寿命化改修工事 (3期工事) (建築主体工事) 図面番号 A 32
	照査	設計担当	図面名	
			短計図 (2) (既存参考短計図) SCALE A1-1/50 A3-50%縮小	



凡例
 ○○○ 工事内容を示す

短計詳細図 X4-5 S=1:50
 D2詳細図 S=1:50



D1 詳細図 S-1:5

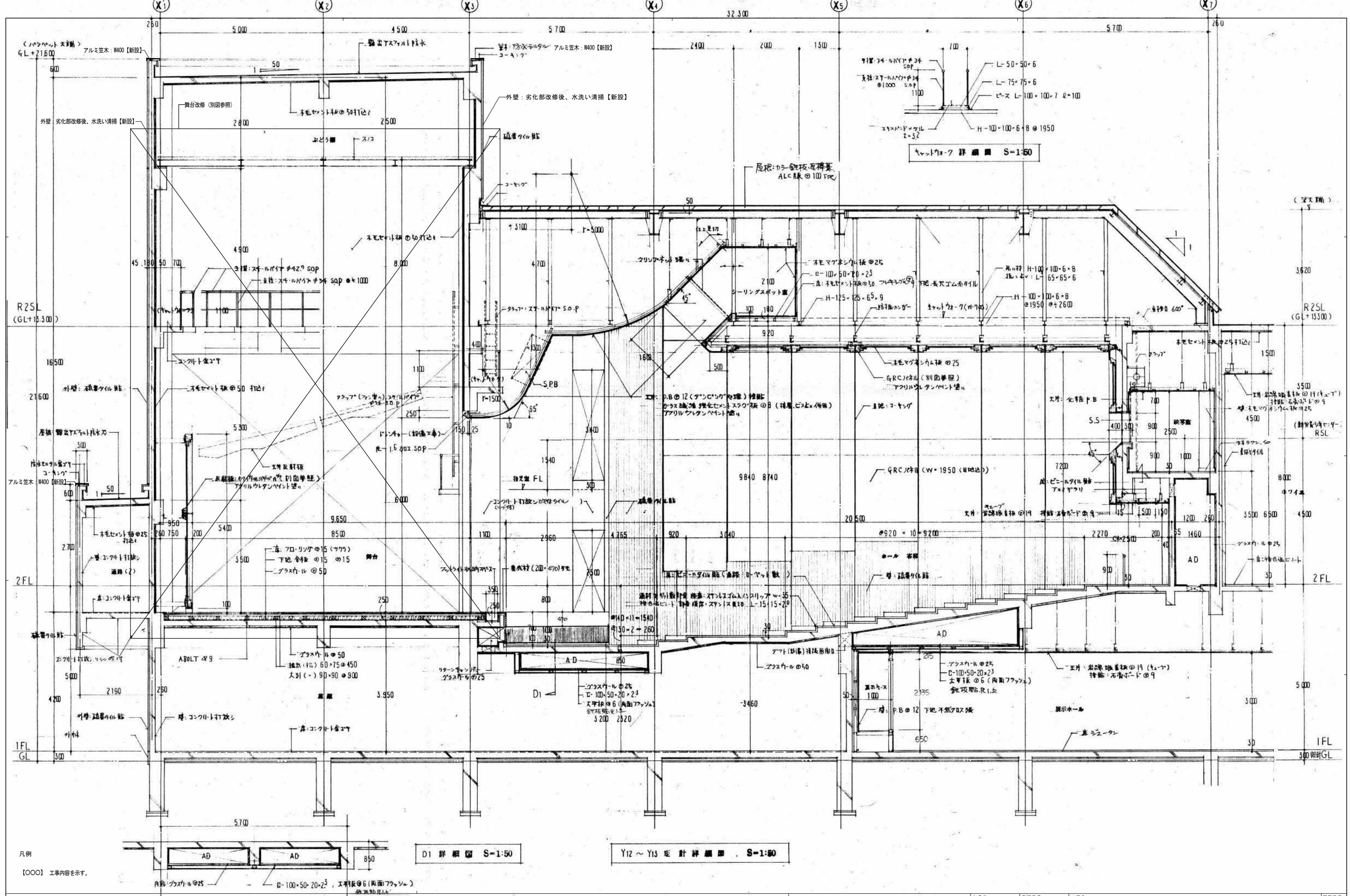
Y11~Y12 短計詳細図 S-1:50

D3 詳細図 S-1:10 磁器タイル貼

凡例
[OOO] 工事内容を示す。

* ガラス窓根柢部は付帯設計の特許ソフトです。

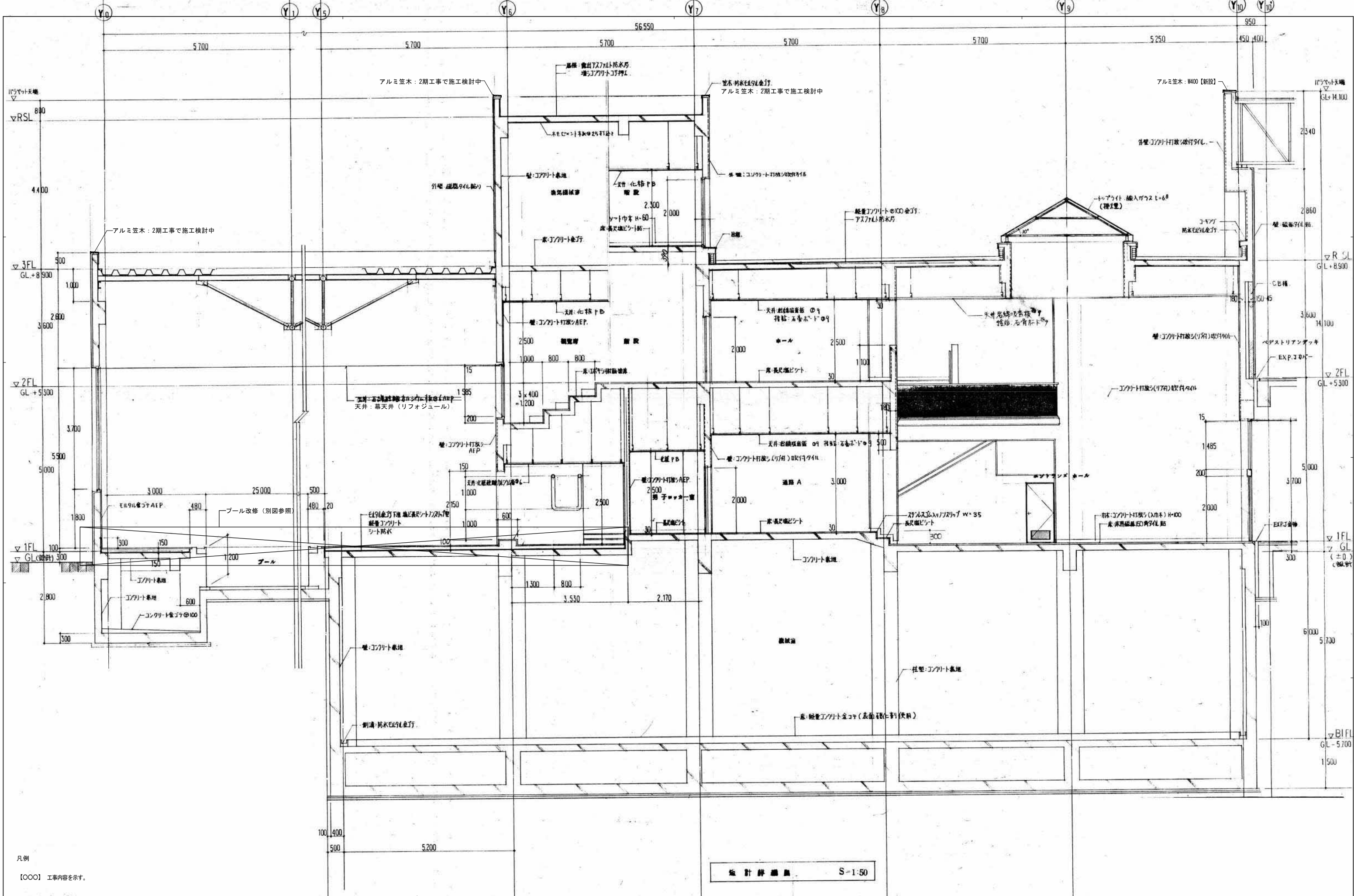
株式会社 近代設計コンサルタント 広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第27978号 TEL 082-243-5555 (代表) 小瀬 宏 治	年月日	整理番号	工事名	図面番号
	照査	設計	担当	図面名
			三原リージョンプラザ長寿命化改修工事 (3期工事) (建築主体工事)	A
			短計図 (4) (既存参考短計図)	34
			SCALE A1-1/50 A3-50%縮小	



凡例
[OOO] 工事内容を示す。

D1 詳細図 S=1:50

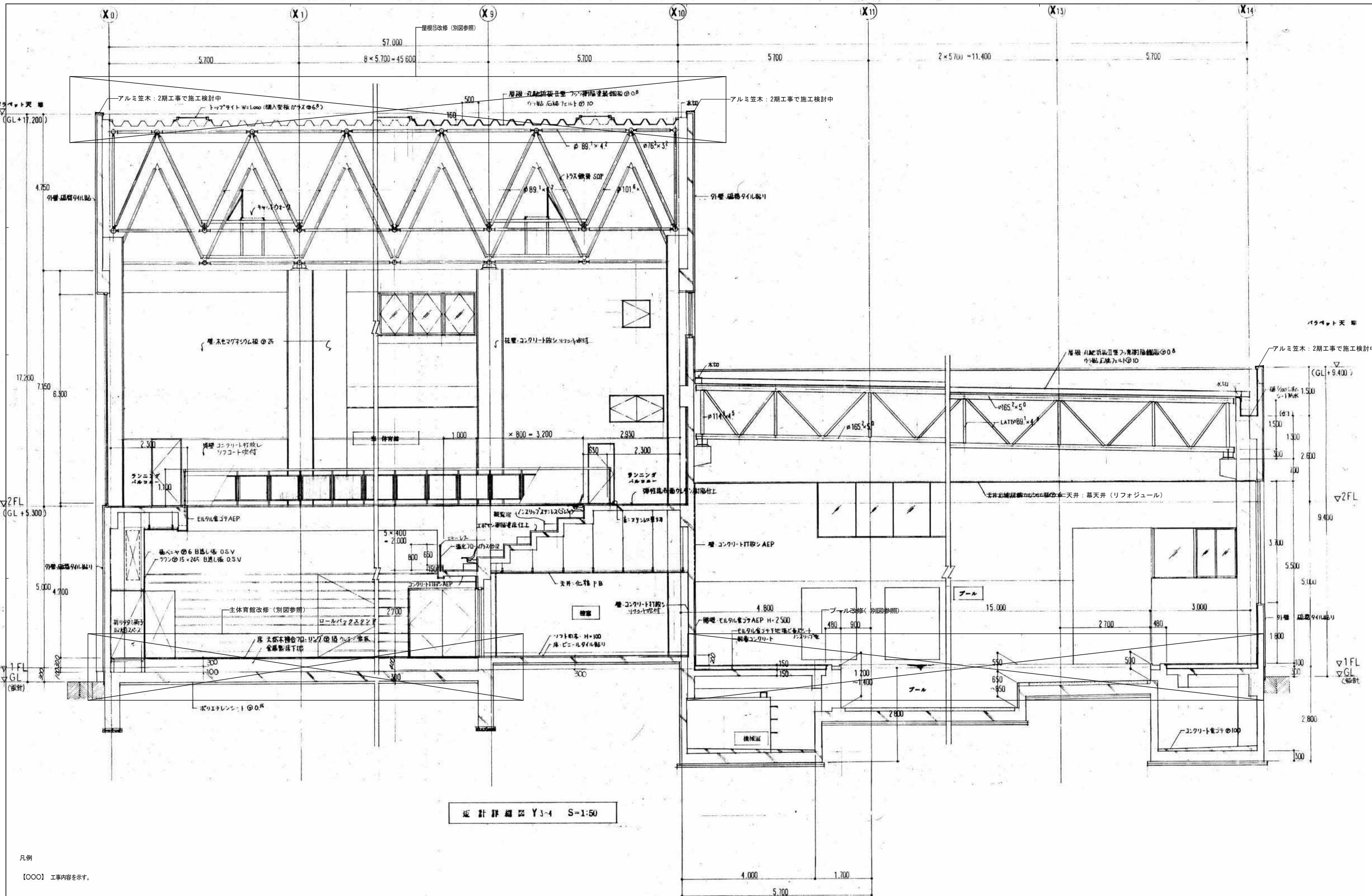
Y12 ~ Y13 断面計詳細図 S=1:50



凡例
 【〇〇〇】 工事内容を示す。

縮尺 1:50

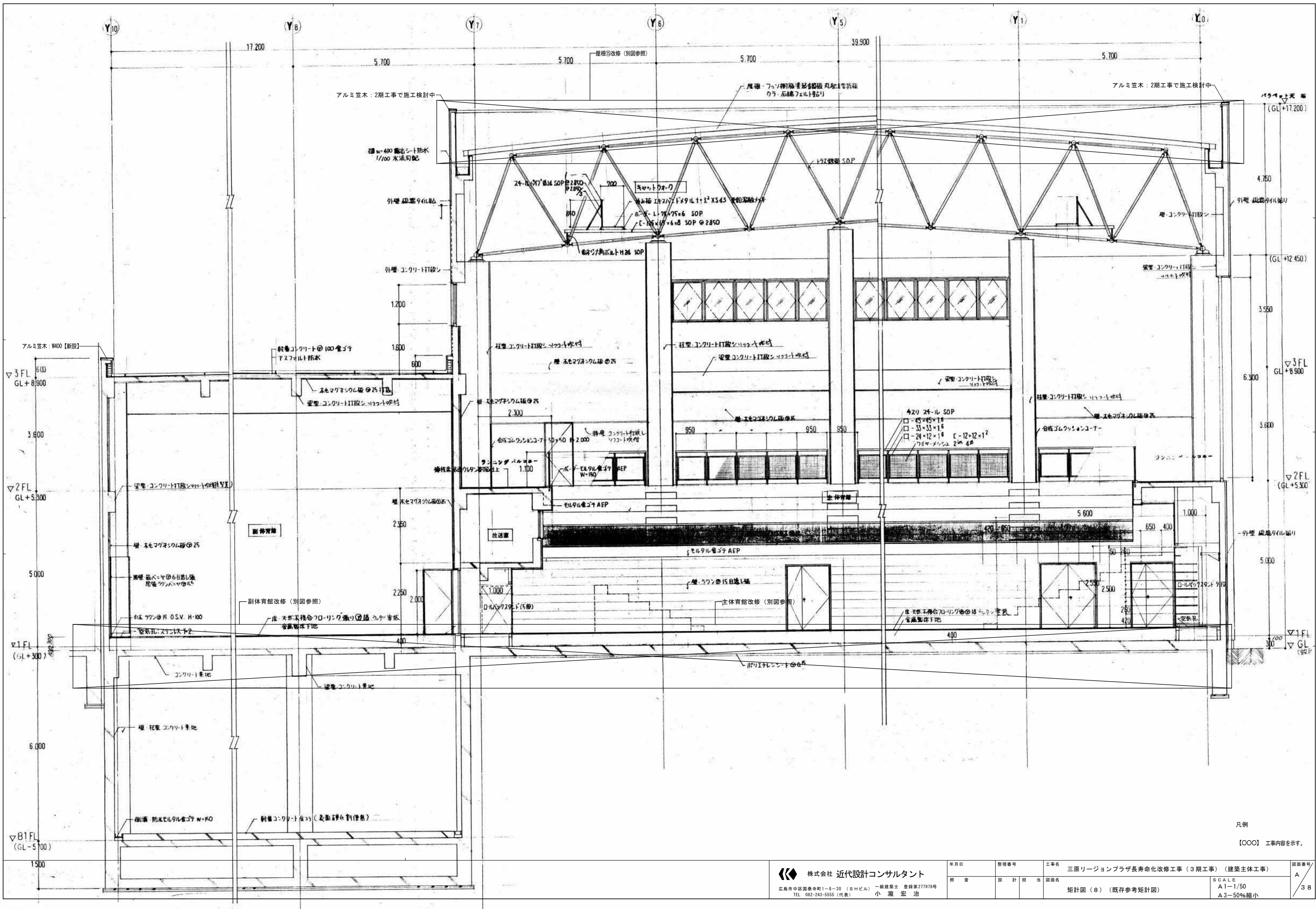
株式会社 近代設計コンサルタント 広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第277978号 TEL 082-243-5555 (代表) 小瀬 宏 治	年月日	整理番号	工事名	図面番号
	照査	設計担当	図面名	A
三原リージョンプラザ長寿命化改修工事 (3期工事) (建築主体工事) 矩計図 (6) (既存参考矩計図)				SCALE A1-1/50 A3-50%縮小



近設計詳細図 Y3-4 S=1:50

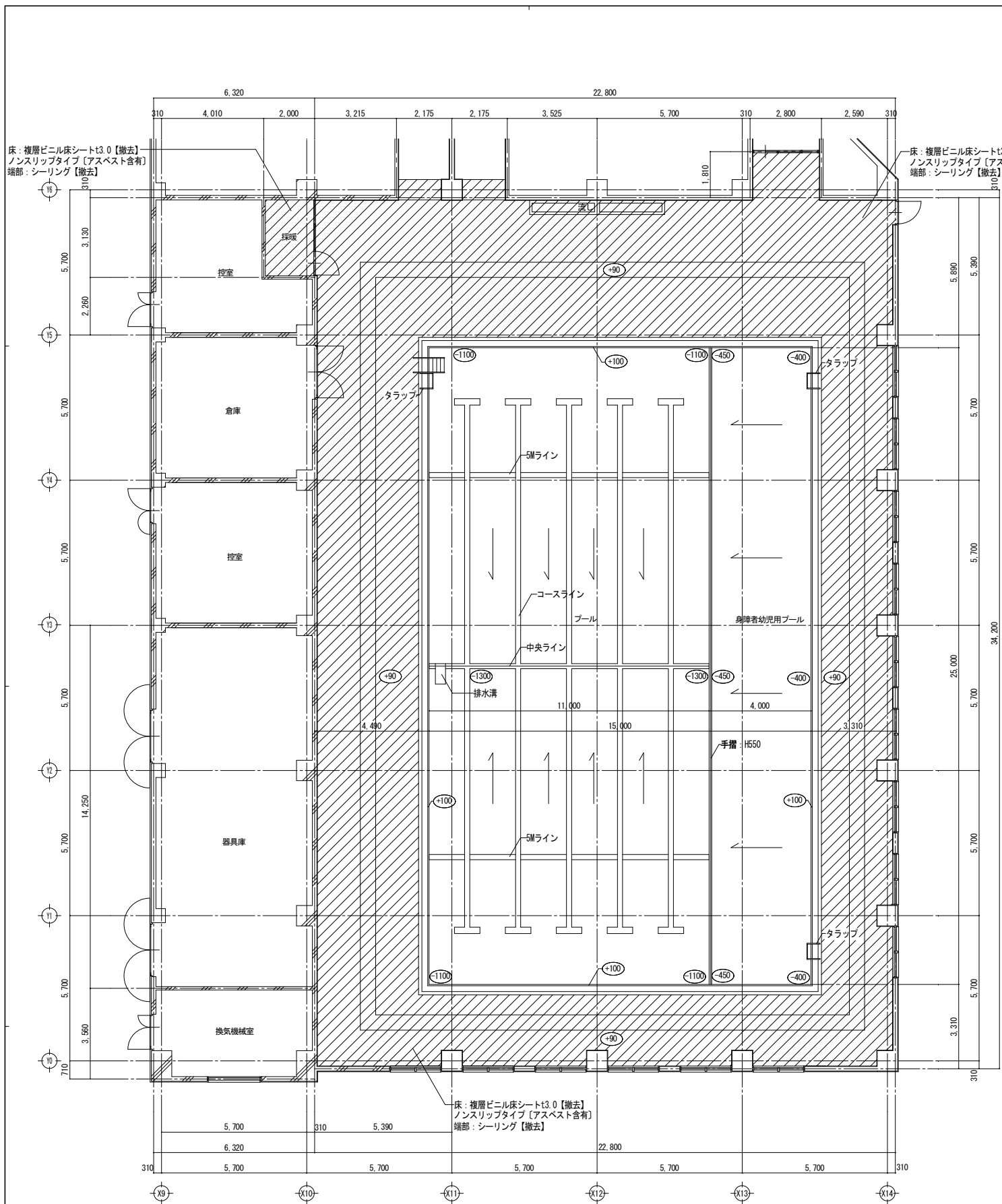
凡例
【〇〇〇】 工事内容を示す。

株式会社 近代設計コンサルタント 広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第277978号 TEL 082-243-5555 (代表) 小瀬 宏 治	年月日	整理番号	工事名	図面番号
	照査	設計担当	図面名	SCALE A1-1/50 A3-50%縮小
			三原リージョンプラザ長寿命化改修工事 (3期工事) (建築主体工事)	A 37
			矩計図 (7) (既存参考矩計図)	



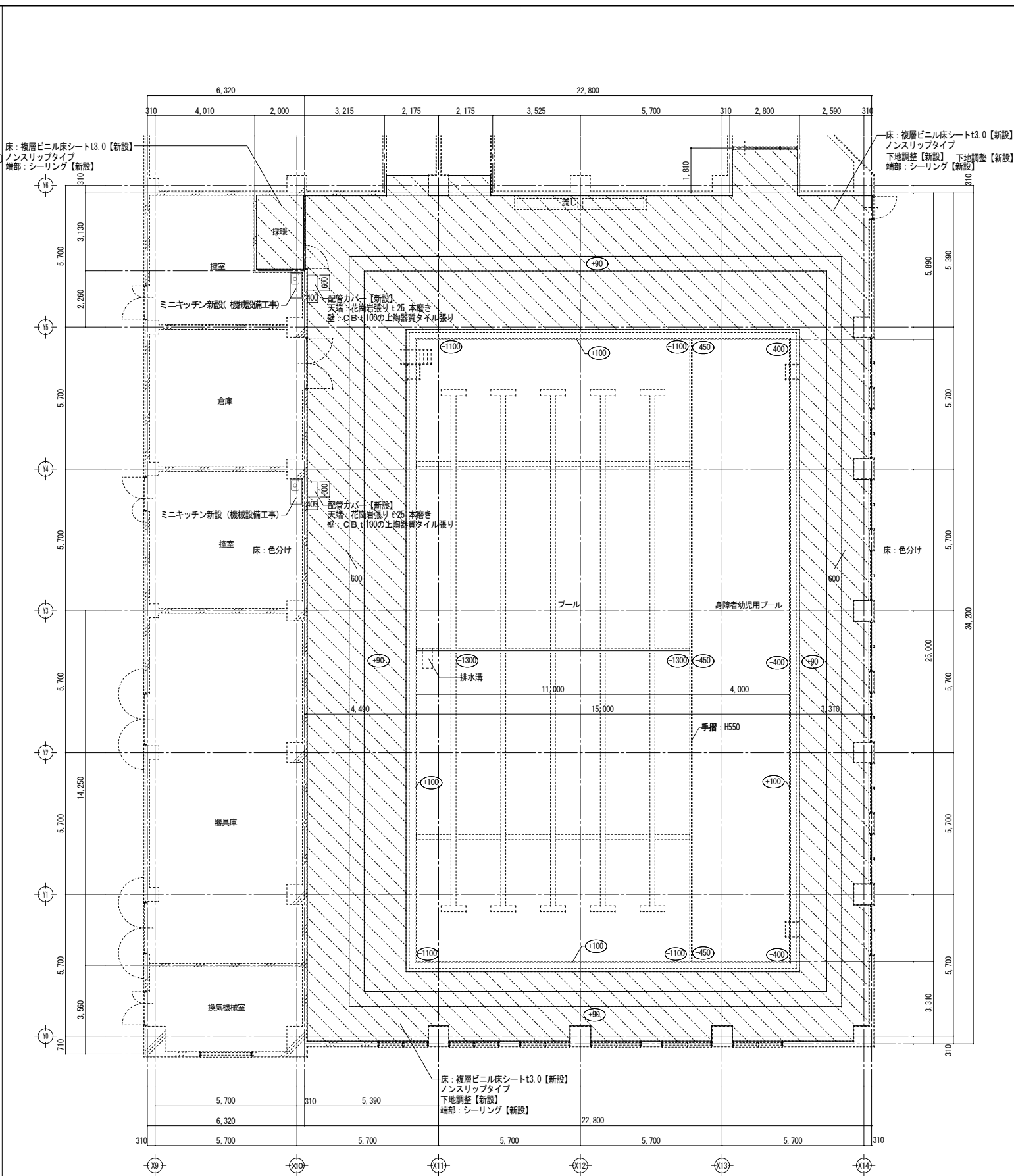
株式会社 近代設計コンサルタント 広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第277978号 TEL 082-243-5555 (代表) 小瀬 宏 治	年月日	整理番号	工事名	図面番号
	照査	設計担当	図面名	SCALE
	三原リージョンプラザ長寿命化改修工事 (3期工事) (建築主体工事) 短計図 (8) (既存参考短計図)			A1-1/50 A3-50%縮小

凡例
[OOO] 工事内容を示す。



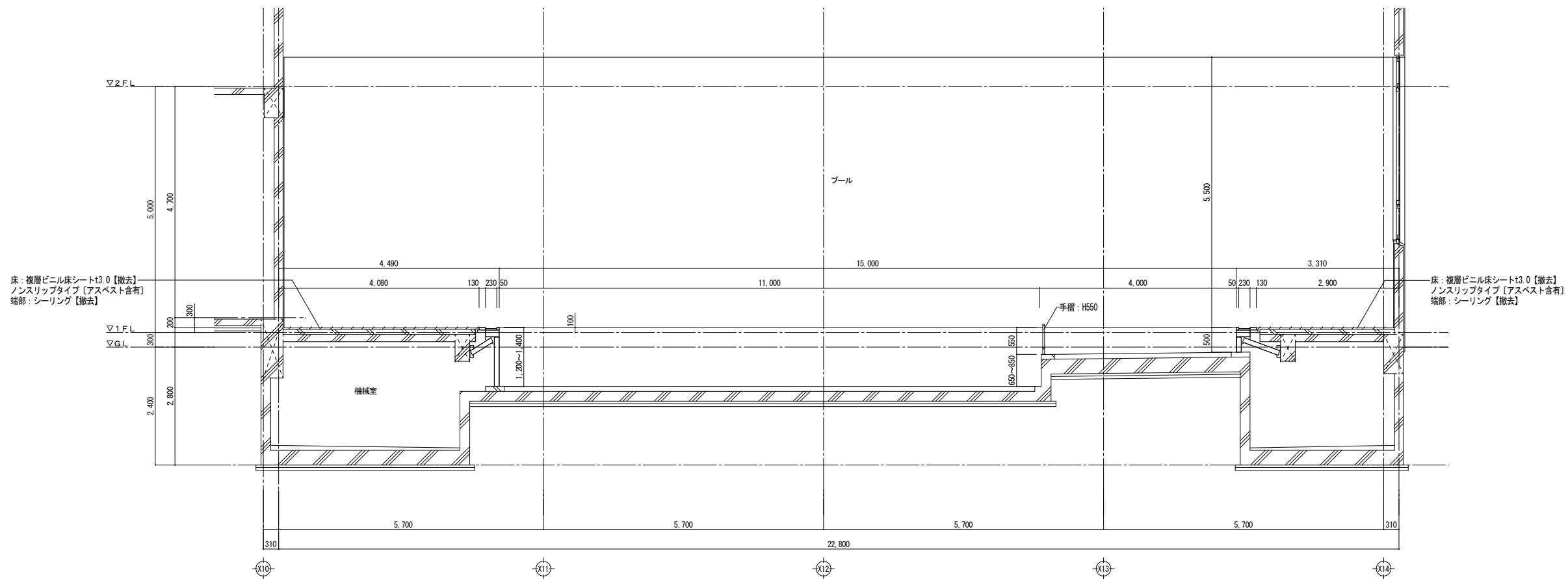
改修前 プール平面図 1/100

- 凡例
- 撤去部分を示す。
 - 工事内容を示す。
 - 1FLからの高さを示す。

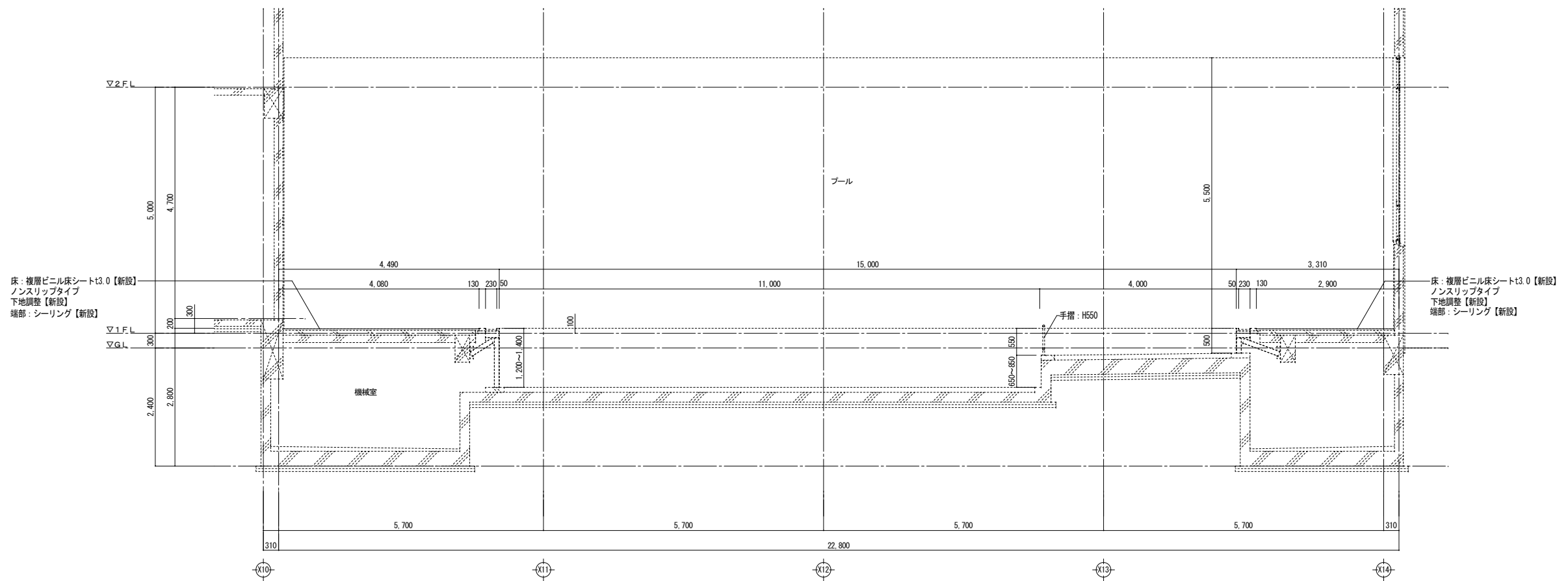


改修後 プール平面図 1/100

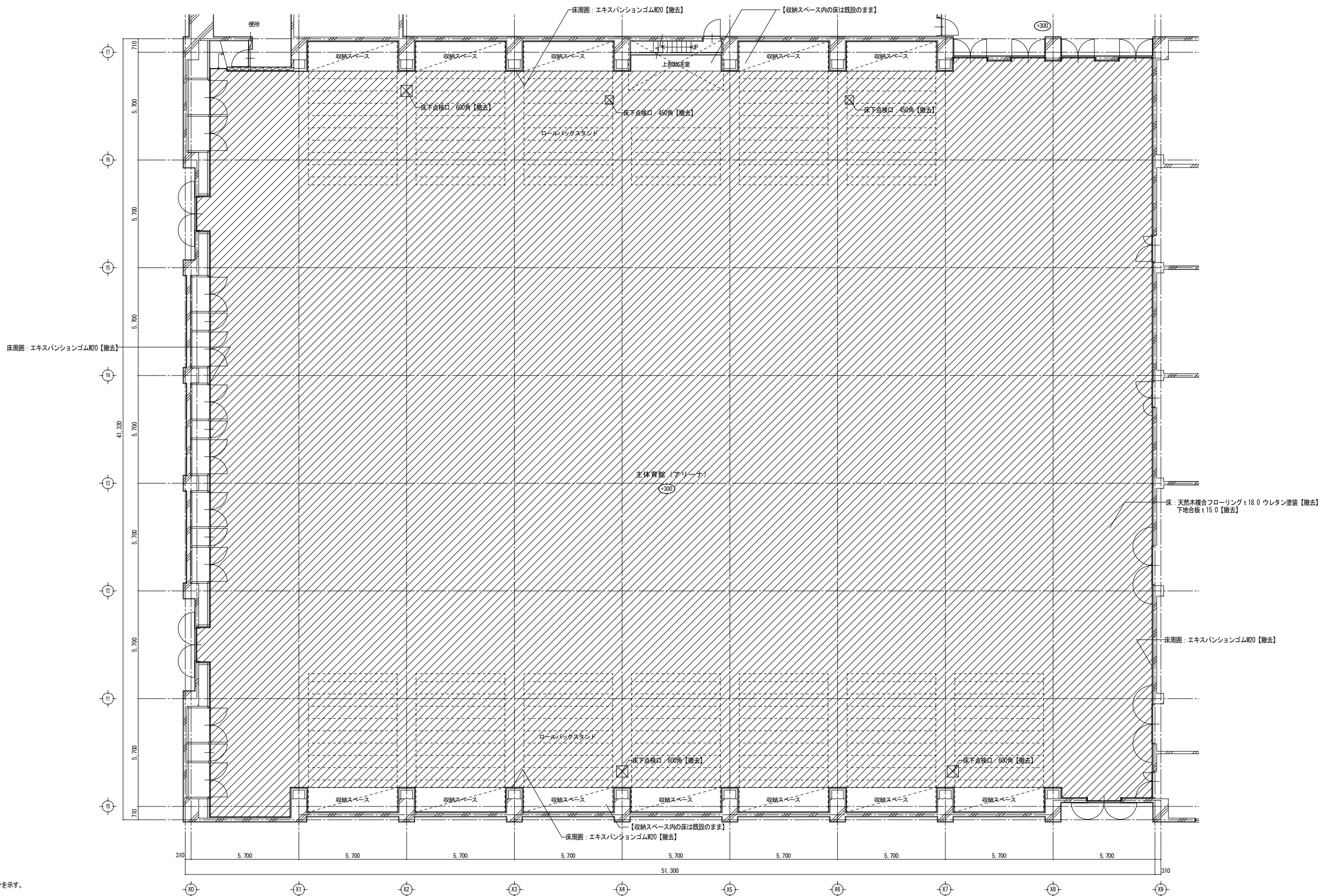
- 凡例
- 既設部分を示す。
 - 新設部分を示す。
 - 床シート張替部分を示す。
 - 工事内容を示す。
 - 1FLからの高さを示す。






改修前 プール断面詳細図 1/50



改修後 プール断面詳細図 1/50

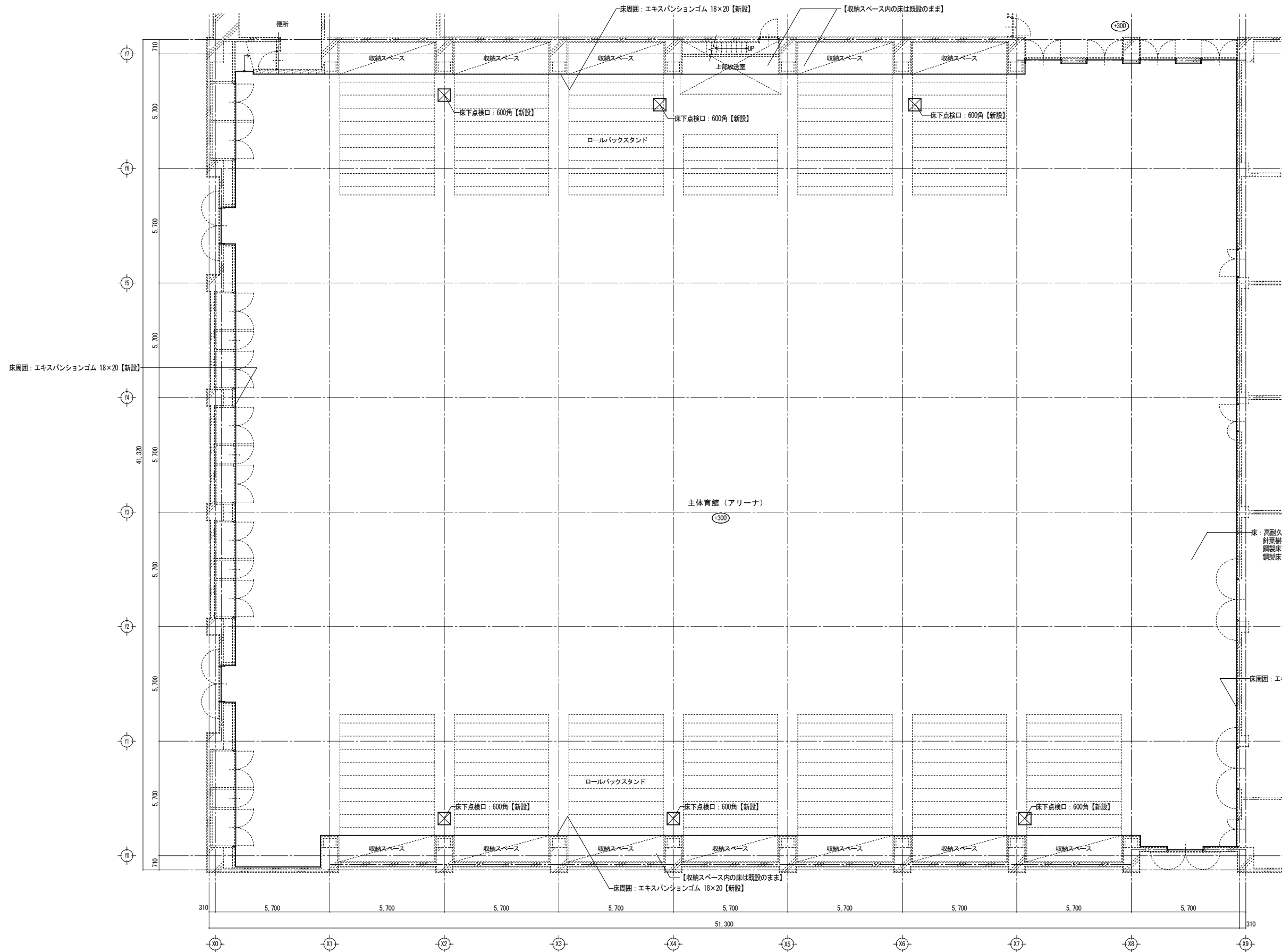


- 凡例
-  撤去部分を示す。
 -  工事内容を示す。
 -  1FLからの高さを示す。

改修前 主体育館(アリーナ) 平面図 1/100

株式会社 近代設計コンサルタント
 広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第277978号
 TEL 082-243-5555 (代表) 小瀬 宏 治

年月日	整理番号	工事名	図面番号
		三原リージョンプラザ長寿命化改修工事(3期工事)(建築主体工事)	A
照査	設計担当	図面名	SCALE
		改修前 1階主体育館(アリーナ) 平面図	A1-1/100 A3-50%縮小



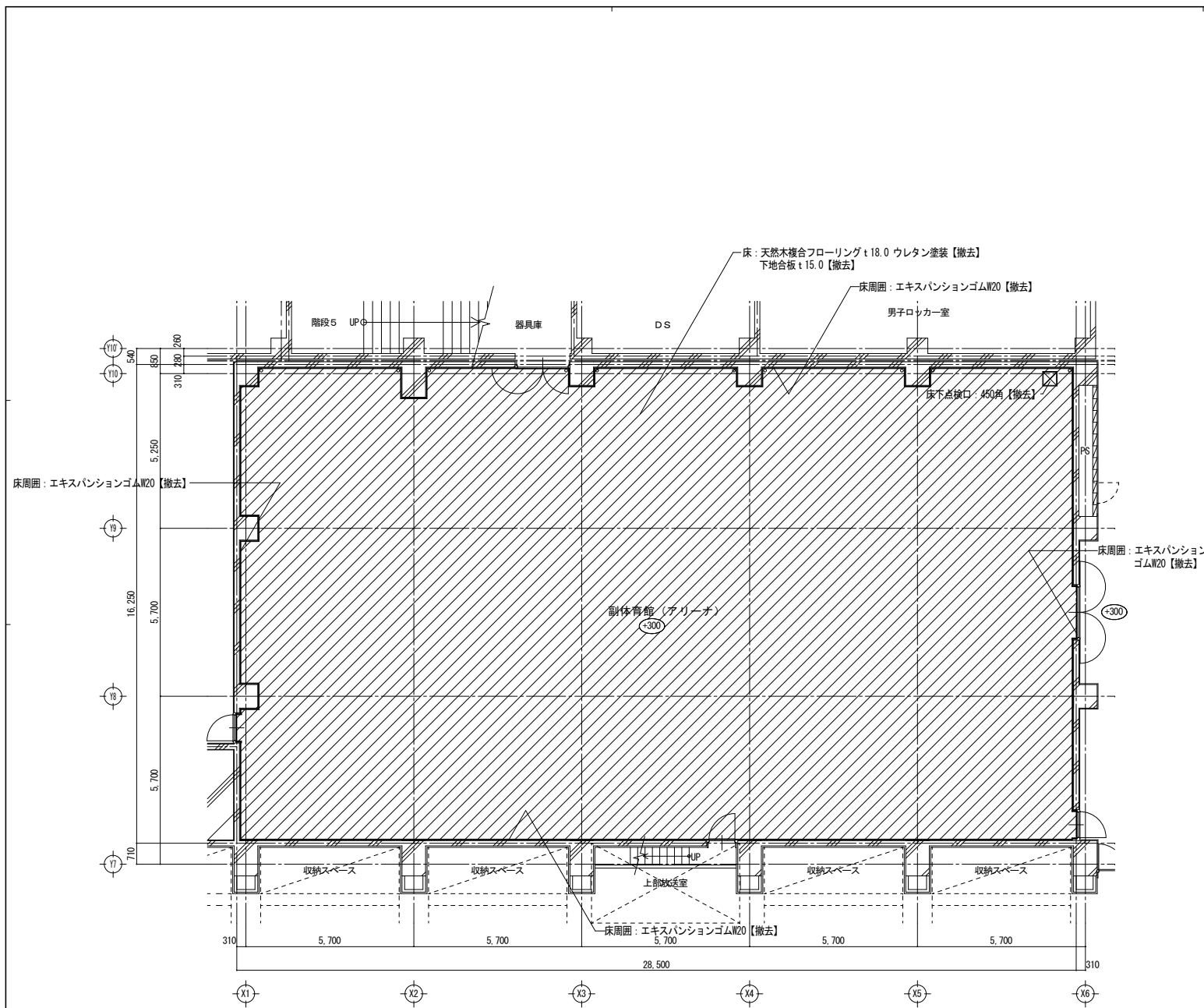
- 凡例
- 既設部分を示す。
 - 新設部分を示す。
 - [OOO] 工事内容を示す。

改修後 主体育館（アリーナ）平面図 1/100

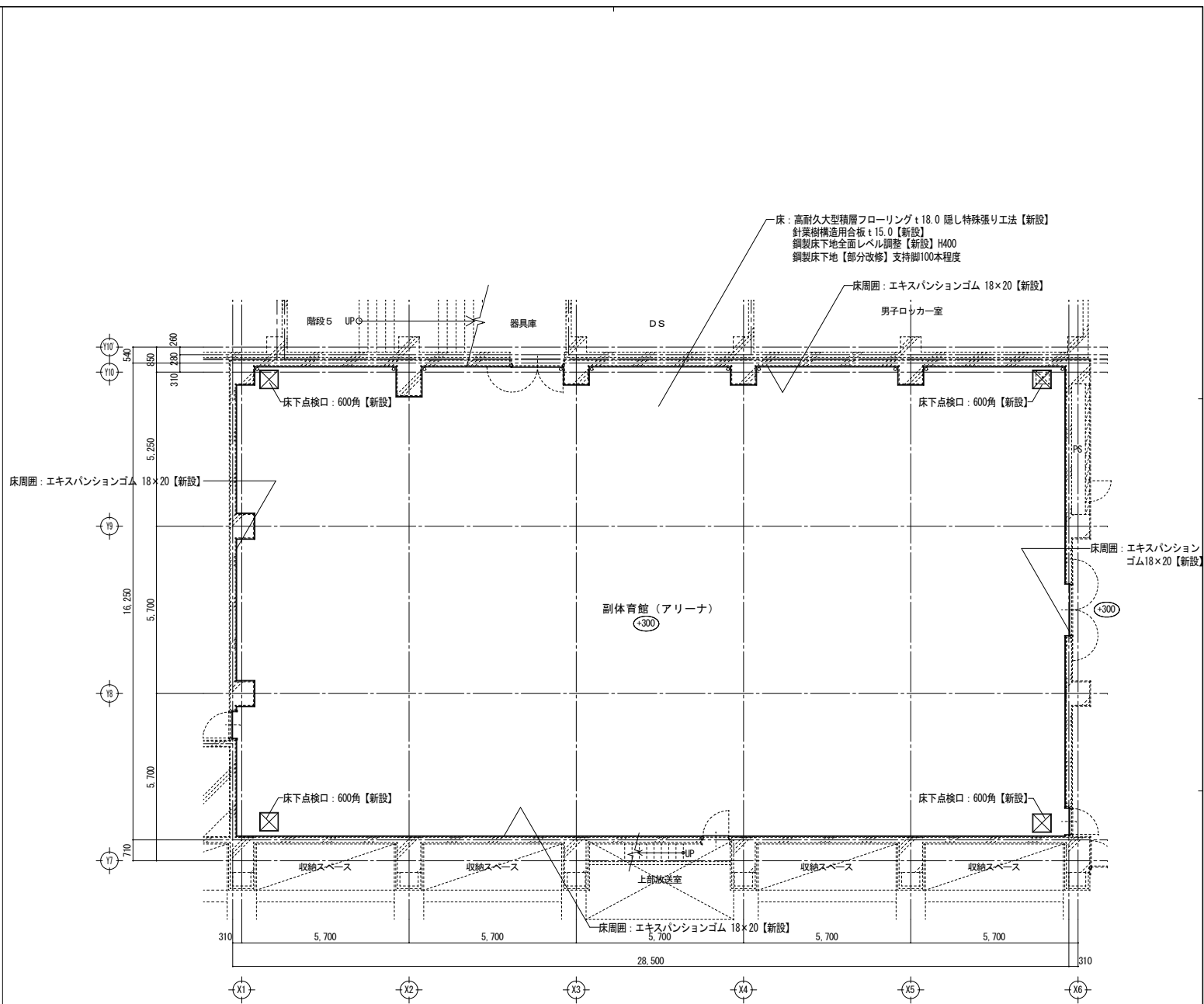
※高耐久大型積層フローリング t18.0: 北海道バケット工業 スペシャルハイド Ver. IV 同等品以上
 (体育館用床材の県内産材が無い場合)
 天然木ひき板カバ t6.0+耐水合板 t12.0×217×1800
 加圧樹脂含浸寸法安定化高度処理 ジョイントシーリング処理
 サンダー掛け及び1液湿気硬化型ウレタン塗料3回塗り

株式会社 近代設計コンサルタント
 広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第27978号
 TEL 082-243-5555 (代表) 小瀬 宏 治

年月日	整理番号	工事名	図面番号
		三原リージョンプラザ長寿命化改修工事 (3期工事) (建築主体工事)	A
照査	設計担当	図面名	SCALE
		改修後 1階主体育館 (アリーナ) 平面図	A1-1/100 A3-50%縮小



改修前 副体育館 (アリーナ) 平面図 1/100



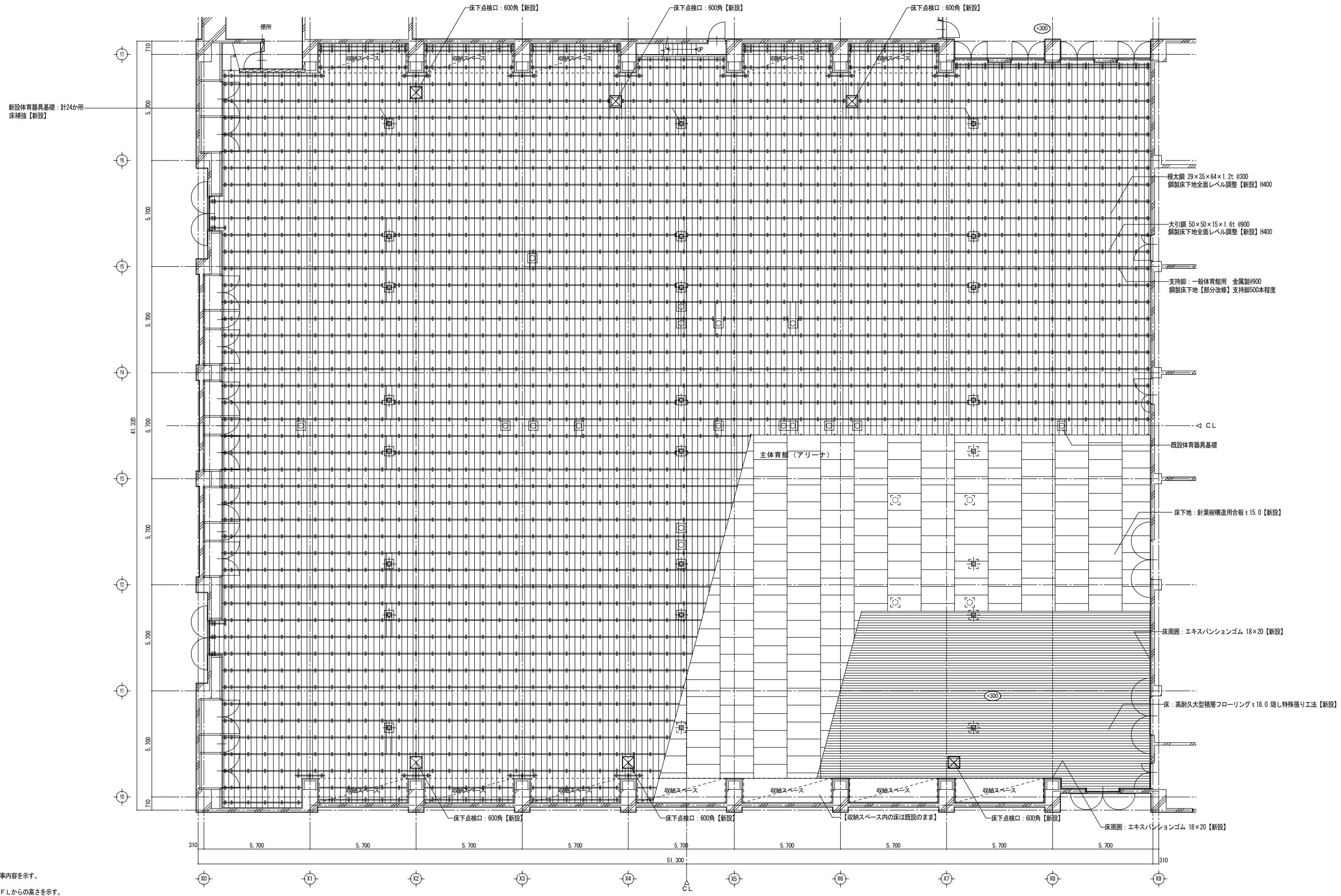
改修後 副体育館 (アリーナ) 平面図 1/100

- 凡例
- 撤去部分を示す。
 - 工事内容を示す。
 - 1FLからの高さを示す。

- 凡例
- 既設部分を示す。
 - 新設部分を示す。
 - 工事内容を示す。

※高耐久大型積層フローリング t18.0: 北海道パーク工業 スペシャルハイド Ver. IV 同等品以上 (体育館用床材の県内産材が無い場合)
 天然木ひき板カバ t6.0+耐水合板 t12.0×217×1800
 加圧樹脂含浸寸法安定化高度処理 ジョイントシーリング処理
 サンダー掛け及び1液湿気硬化型ウレタン塗料3回塗り

株式会社 近代設計コンサルタント <small>広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第277978号 TEL 082-243-5555 (代表) 小瀬 宏 治</small>	年月日	整理番号	工事名	三原リージョンプラザ長寿命化改修工事 (3期工事) (建築主体工事) 改修前・後 1階副体育館 (アリーナ) 平面図	図面番号 A 4 3
	照査	設計担当	図面名		



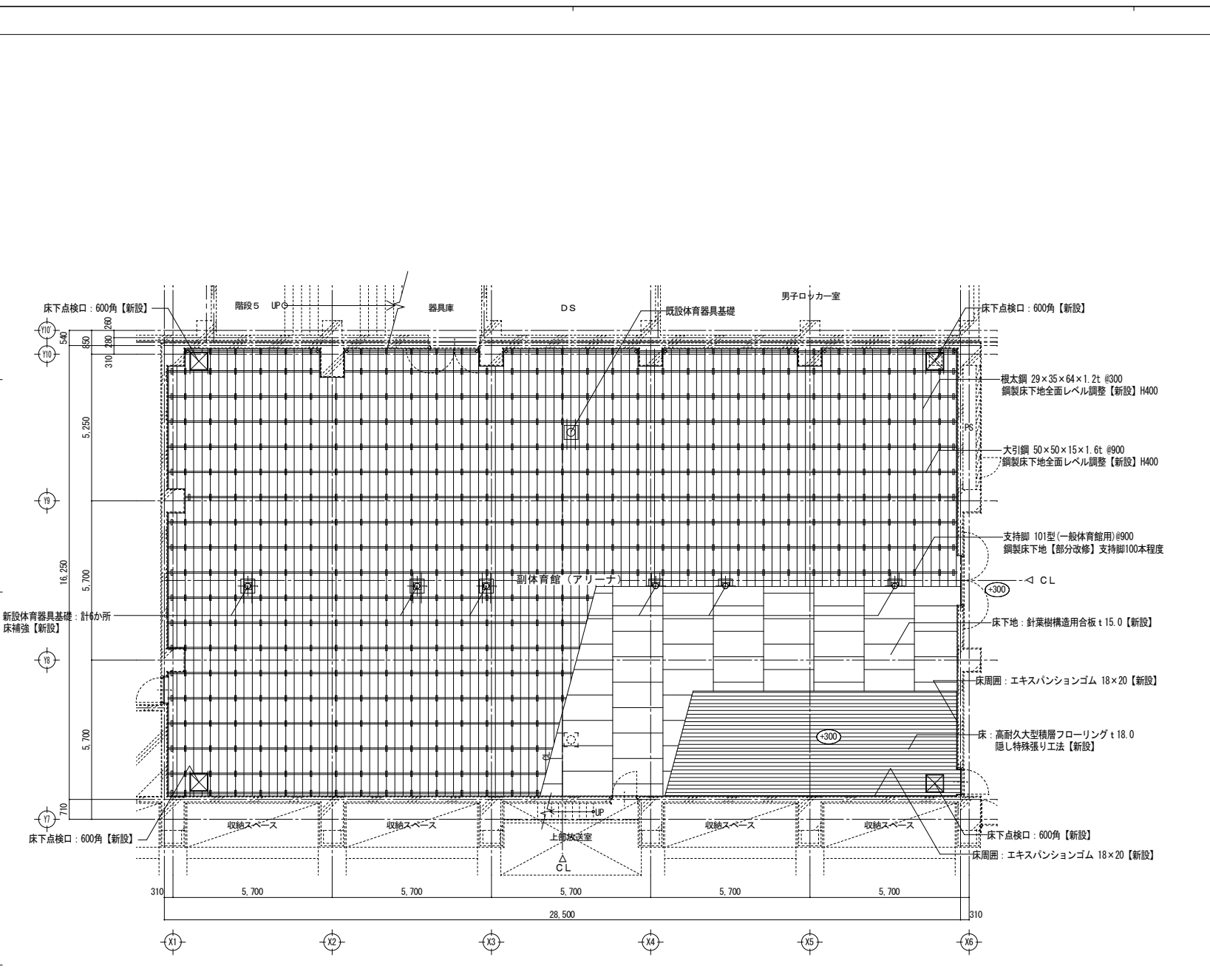
凡例
 [〇〇〇] 工事内容を示す。
 ※ 1F Lからの高さを示す。

改修前 主体育館 (アリーナ) 床伏図 1/100

※高耐久大型積層フローリング t18.0: 北海道パーケット工業 スペシャルハイド Ver. IV 同等品以上
 (体育館用床材の県内産材が無い場合)
 天然木ひき板カバ t6.0+耐水合板 t12.0x217x1800
 加圧樹脂含浸寸法安定化高度処理 ジョイントシーリング処理
 サンダー掛け及び1液湿気硬化型ウレタン塗料3回塗り

株式会社 近代設計コンサルタント 広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第27978号 TEL 082-243-5555 (代表) 小瀬 宏 治	年月日	登録番号	工事名	三原リージョンプラザ長寿命化改修工事 (3期工事) (建築主体工事) 改修後 1階主体育館 (アリーナ) 床伏図	図面番号 A 44
	照査	設計担当	図面名		

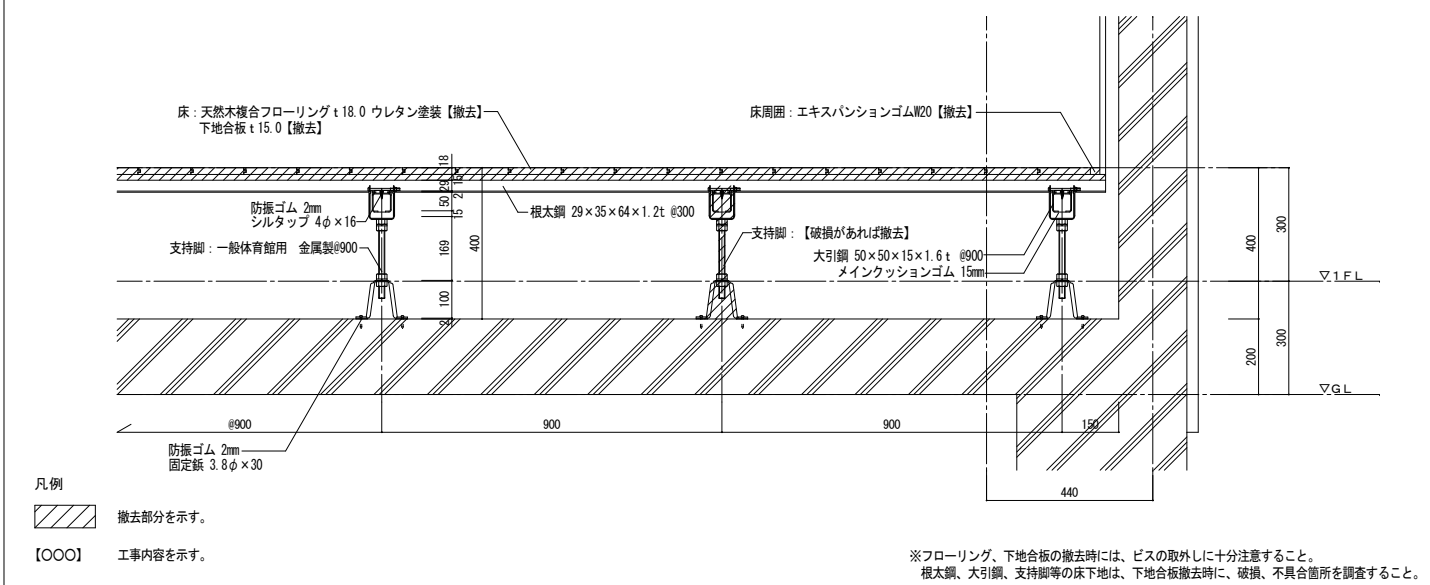
SCALE
 A1-1/100
 A3-50%縮小



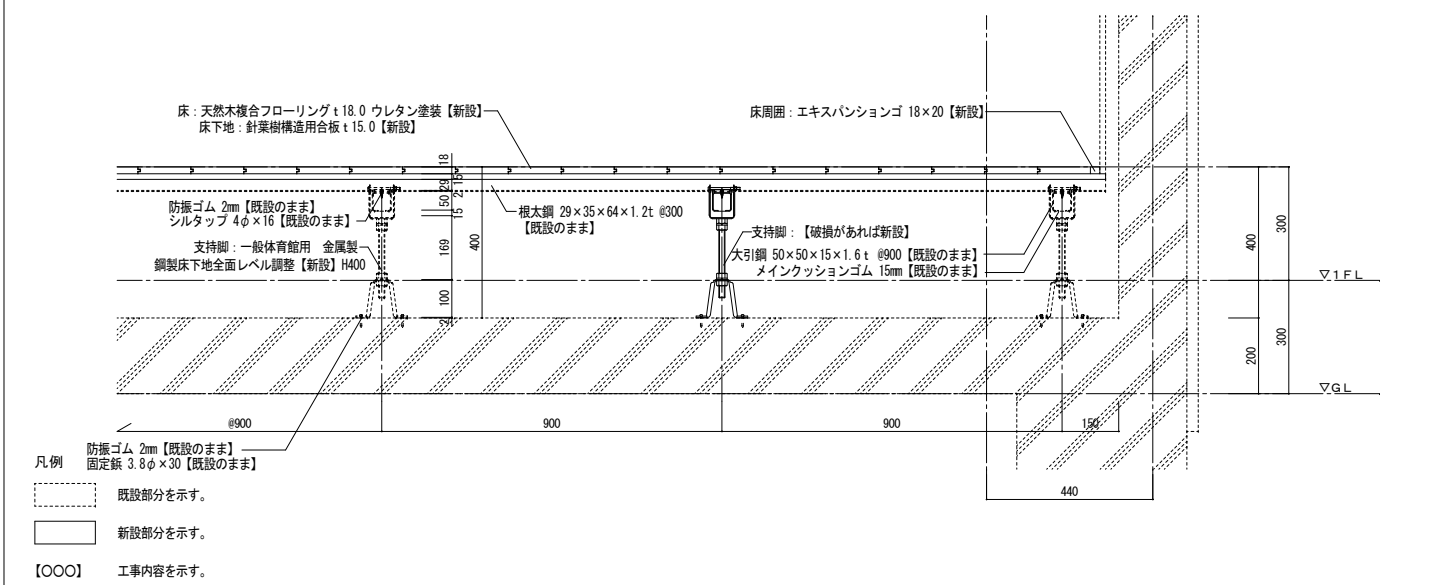
改修後 副体育館（アリーナ）床伏図 1/100

凡例
 [〇〇〇] 工事内容を示す。
 ※ 1FLからの高さを示す。

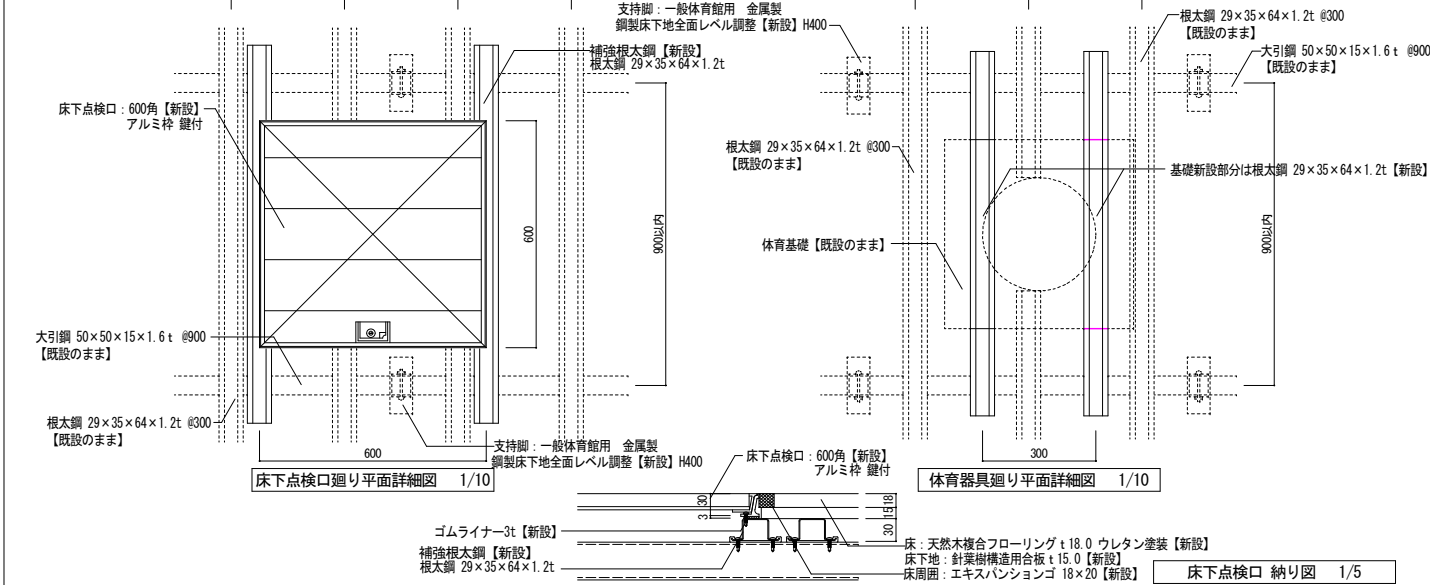
※高耐久大型積層フローリング t18.0: 北海道パークネット工業 スペシャルハイド Ver. IV 同等品以上 (体育館用床材の県内産材が無い場合)
 天然木ひき板カバ t6.0+耐水合板 t12.0x217x1800
 加圧樹脂含浸寸法安定化高度処理 ジョイントシーリング処理
 サンダー掛け及び1液湿気硬化型ウレタン塗料3回塗り

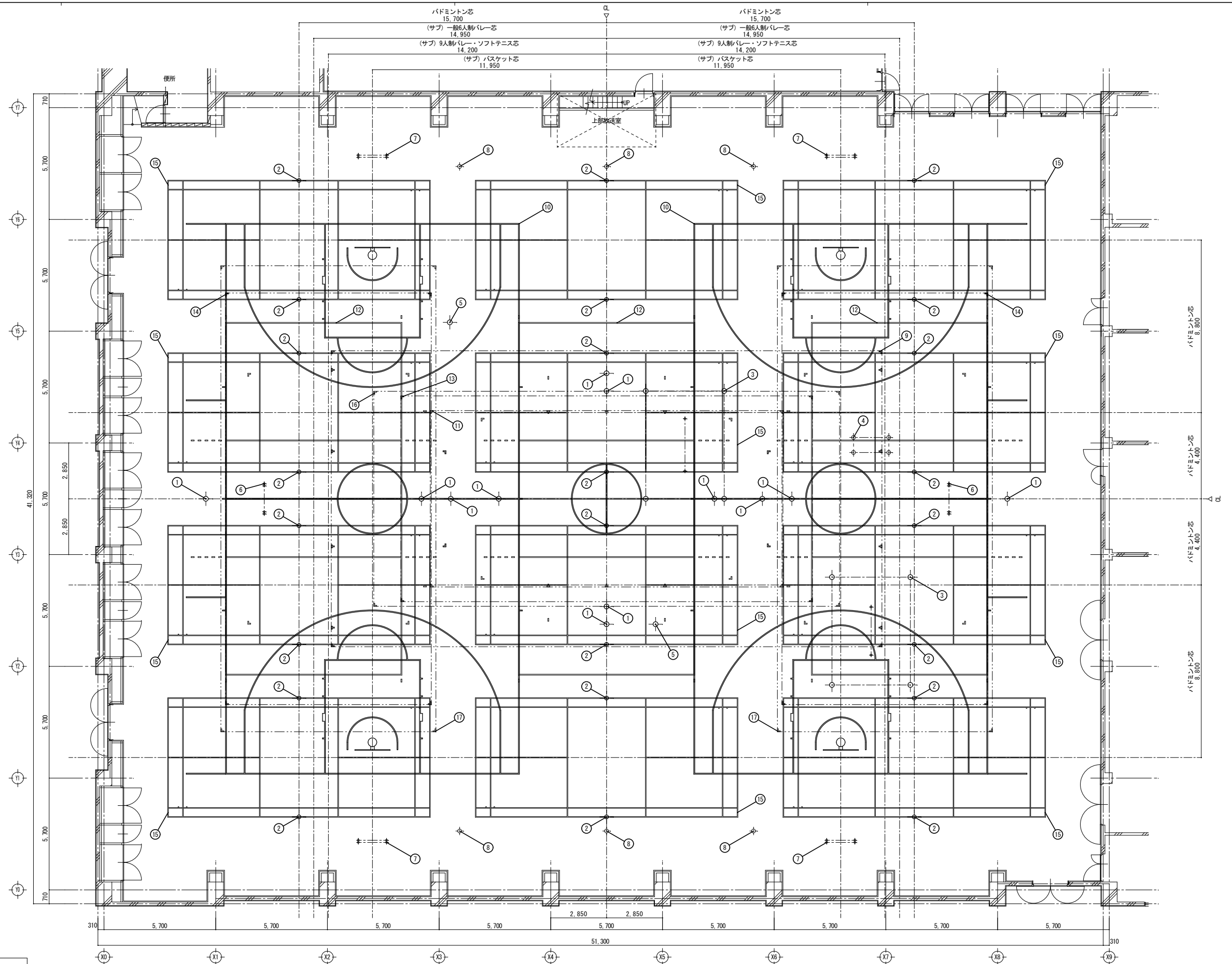


体育館 床改修 詳細図 1/10



体育館 床改修 詳細図 1/5・1/10



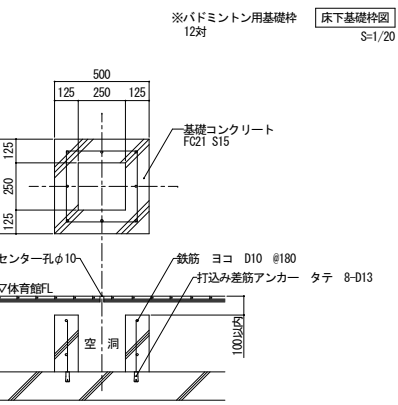
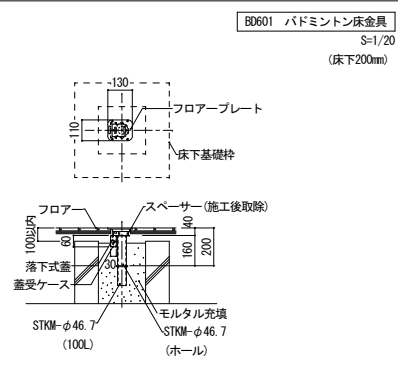
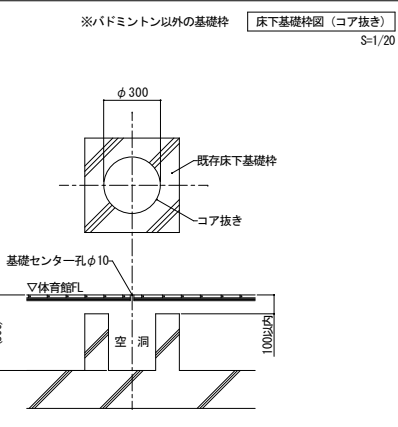
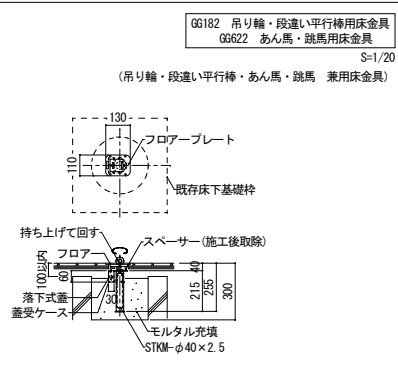
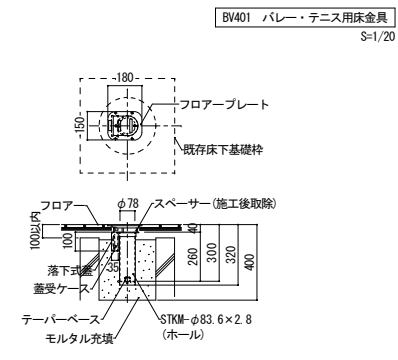
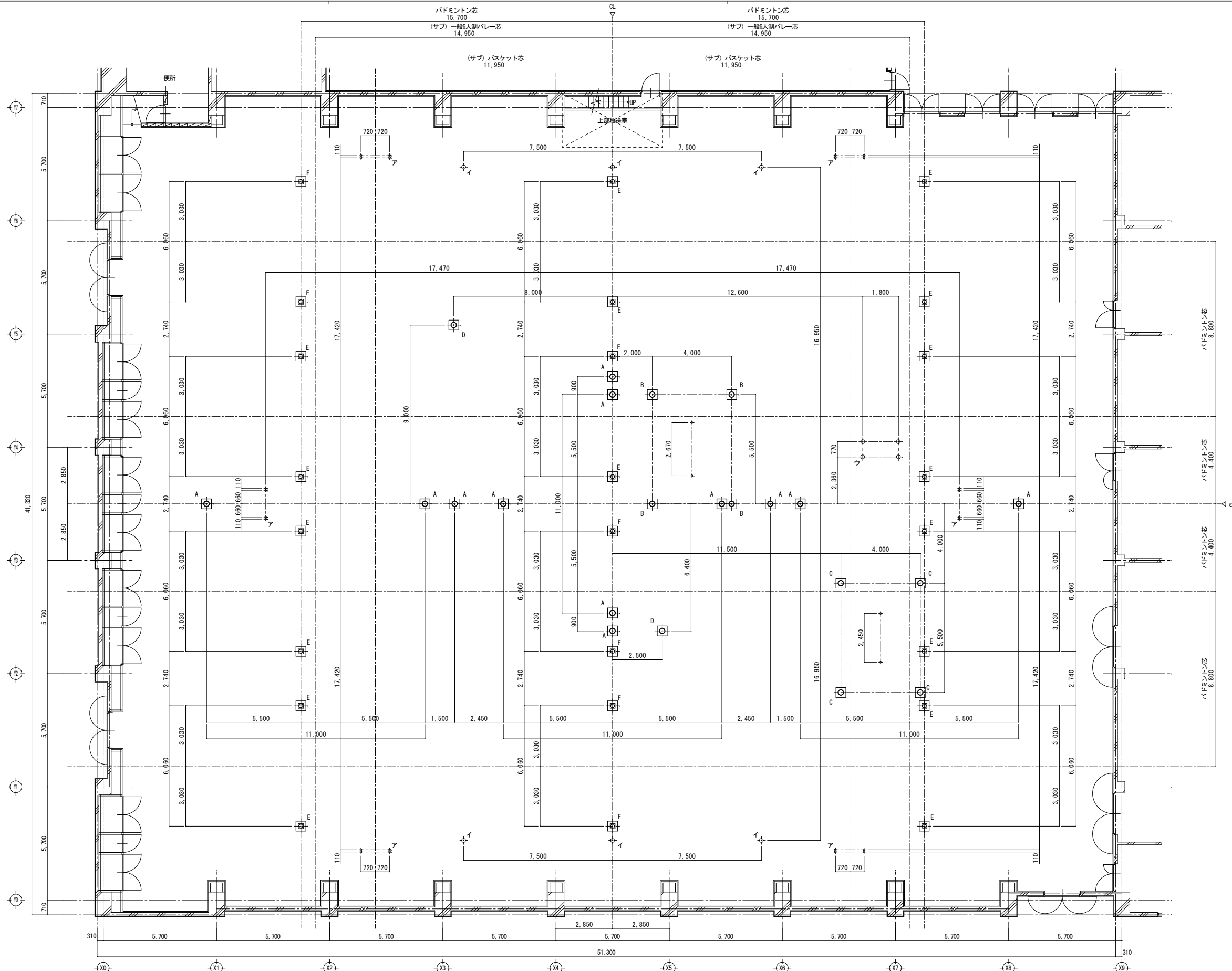


NO	品番	数量	品名 / 仕様
1	BV401	12個	バレー・テニス用床止金具 フローリング用 完全落蓋型 亜鉛ダイカスト製
2	BD601	12枚	バドミントン用床止金具 フローリング用 完全落蓋型 亜鉛ダイカスト製
3	GG182	2組	吊り輪・段違い平行棒用床止金具 フローリング用 アンカー式 完全落蓋型 亜鉛ダイカスト製
4	GG281	1組	平行棒男子用床止金具 フローリング用 丸座 真鍮製
5	GG622	2個	あん馬・跳馬用床止金具 フローリング用 完全落蓋型 亜鉛ダイカスト製
6	BB763	8個	(メイン) 移動式バスケット台用 丸座
7	BB763	16個	(サブ) 移動式バスケット台用 丸座
8	SD120	6個	防球ネット用床止金具 フローリング用 φ60mm

NO	品番	数量	品名 / 仕様	ライン色	ライン巾	優先順位
9	SL211	1面	(メイン) バスケットボールコート 28,000×15,000 コーナー及びポイント L=8 T=8 センターサークルのみ全線 (センターライン付き)	黄色	50mm	
10	SL211	2面	(サブ) バスケットボールコート 28,000×14,900 全線 ペンチエリア付き	黄色	50mm	
11	SL213	1面	(メイン) 一般6人制バレーボールコート 18,000×9,000 コーナー及びポイント L=4 I=8 T=6 バックアタック破線1個 (外側) 付き	白色	50mm	
12	SL213	3面	(サブ) 一般6人制バレーボールコート 18,000×9,000 全線 バックアタック破線付き サイドラインを(サブ)バスケットボールと兼用あり (外側2面は外側の1本・真ん中1面は両サイドの2本)	白色	50mm	

NO	品番	数量	品名 / 仕様	ライン色	ライン巾	優先順位
13	SL214	1面	(メイン) 一般9人制バレーボールコート 21,000×10,500 コーナー L=4	赤色	50mm	
14	SL214	2面	(サブ) 一般9人制バレーボールコート 21,000×10,500 コーナー L=4	赤色	50mm	
15	SL215	12面	バドミントンダブルスコート 13,400×6,100 全線	緑色	40mm	
16	SL218	1面	(メイン) ソフトテニスコート 23,770×10,970 コーナー L=8	青色	50mm	
17	SL218	2面	(サブ) ソフトテニスコート 23,770×10,970 コーナー L=8	青色	50mm	

※優先順位・ライン色は、打合せ等により決定のこと



床下基礎内訳表 (既存基礎コア抜き・既設金具は撤去)

記号	名称	個数	空洞深さ
A	バレー・テニス用	12	400
B	吊り輪用	4	300
C	段違い平行棒用	4	300
D	あん馬・跳馬用	2	300
合計		22	

丸座内訳表

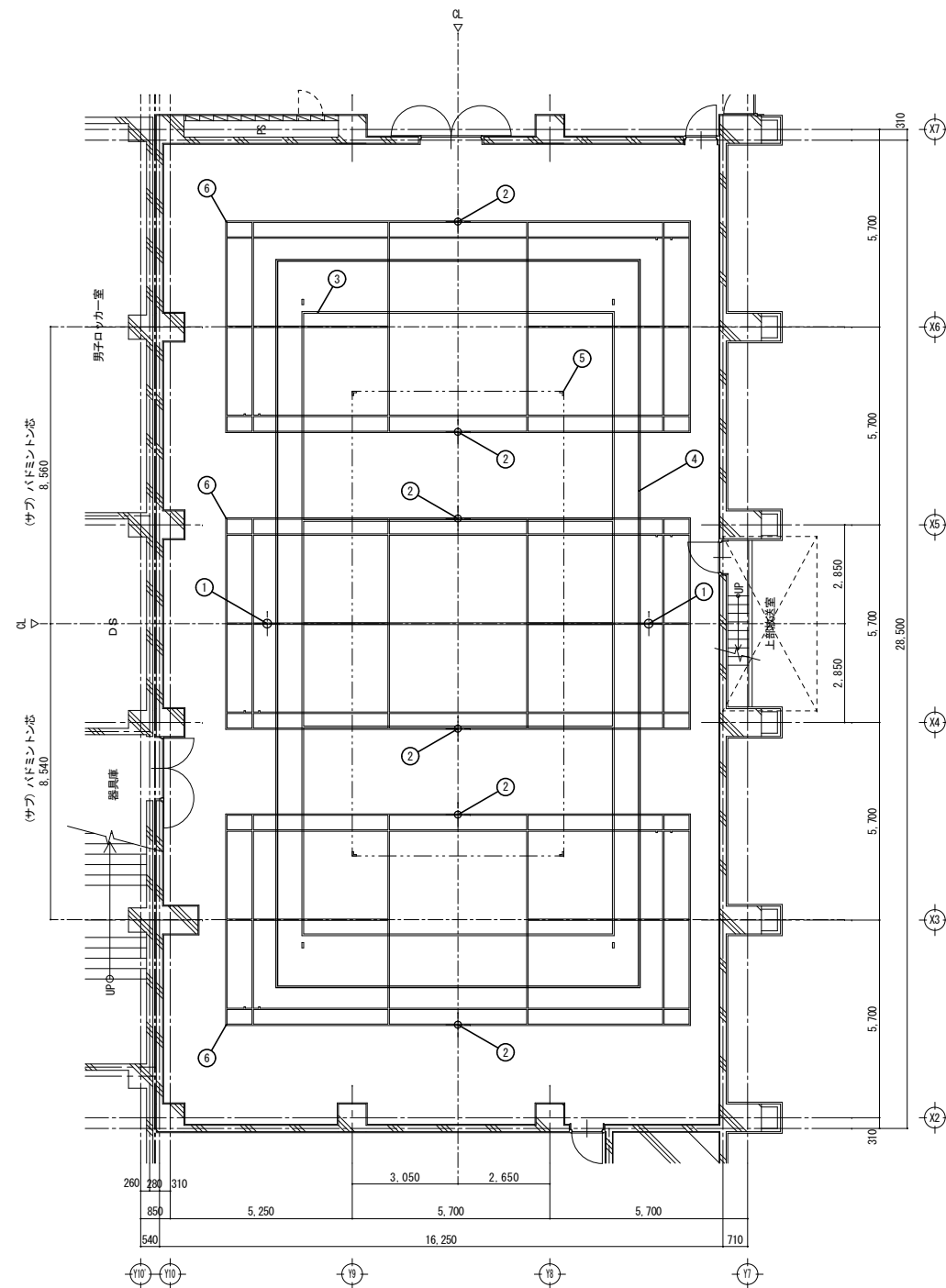
記号	名称	個数
A	移動式バスケット台用	24
イ	防球ネット用	6
ウ	平行棒男子用	4
合計		34

床下基礎内訳表

記号	名称	個数
E	バドミントン用	24
合計		24

株式会社 近代設計コンサルタント
 広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第27978号
 TEL 082-243-5555 (代表) 小瀬 宏 治

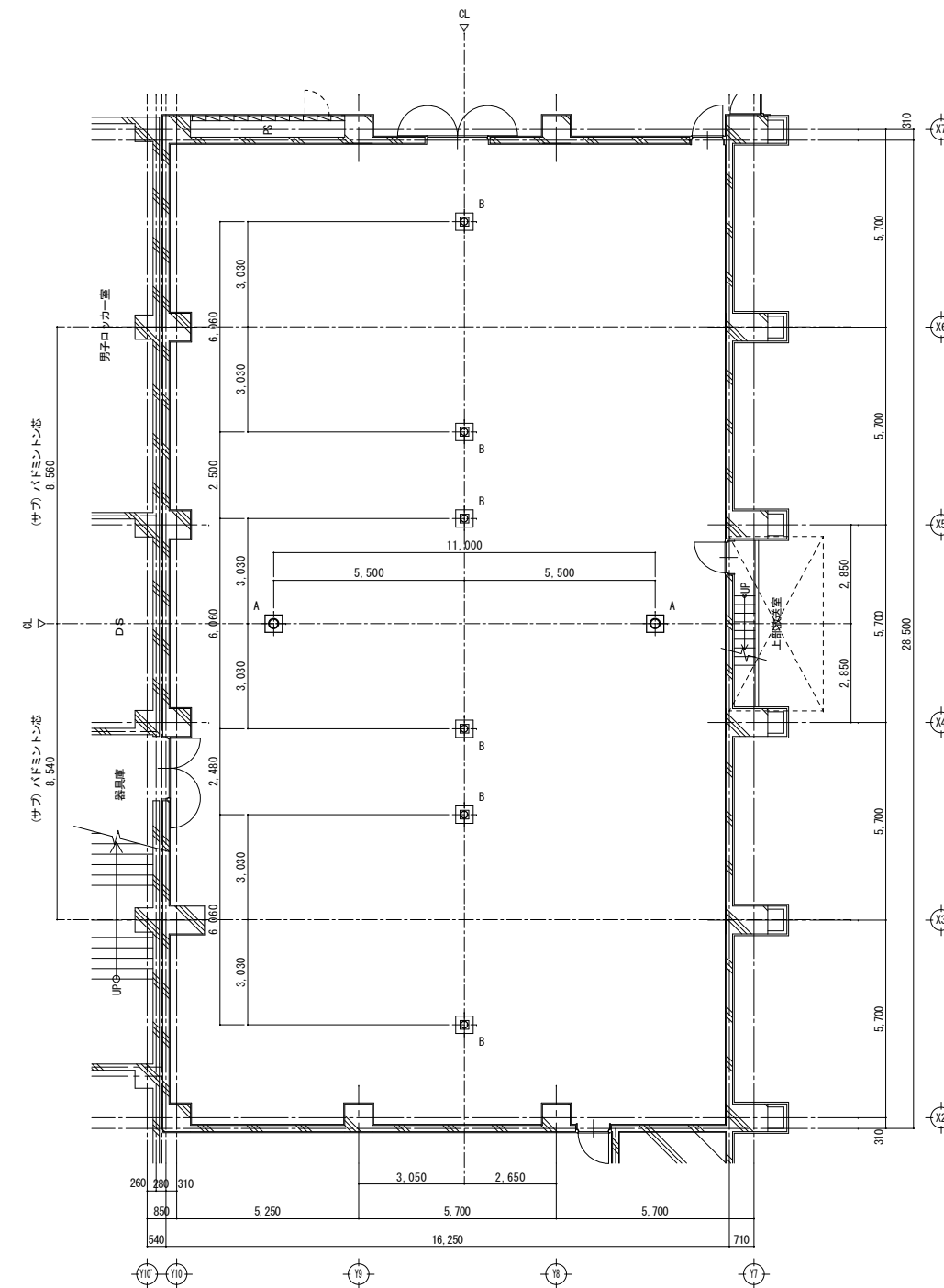
年月日 整理番号 工事名 三原リージョンプラザ長寿命化改修工事 (3期工事) (建築主体工事)
 照査 設計担当 図面名 改修後 1階主体体育館 (アリーナ) 体育器具図 (2)
 図面番号 A 47
 SCALE A1=1/100・1/20 A3=50%縮小



体育器具工事一覧表

NO	品番	数量	品名 / 仕様	優先順位
1	BV401	1対	バレー用床止金具 フローリング用 完全落蓋型 亜鉛ダイカスト製	
2	BD601	3対	バドミントン用床止金具 フローリング用 完全落蓋型 亜鉛ダイカスト製	ライン色 ライン巾 優先順位
3	SL213	1面	(メイン) 一般6人制バレーボールコート 18,000×9,000 全線	白色 50mm 1
4	SL214	1面	(メイン) 一般9人制バレーボールコート 21,000×10,500 全線	赤色 50mm 2
5	SL215	1面	(メイン) バドミントンダブルスコート 13,400×6,100 コーナー L=4	緑色 40mm
6	SL215	3面	(サブ) バドミントンダブルスコート 13,400×6,100 全線	緑色 40mm 3

※優先順位・ライン色は、打合せ等により決定のこと

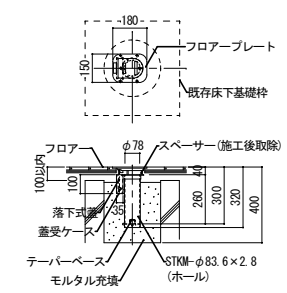


床下基礎内訳表 (既存基礎コア抜き・既設床金具は撤去)

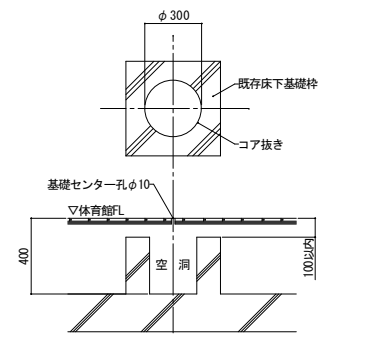
記号	名称	個数	空洞深さ
A	バレー用	2	400
B	バドミントン用	6	
	合計	2	

床下基礎内訳表

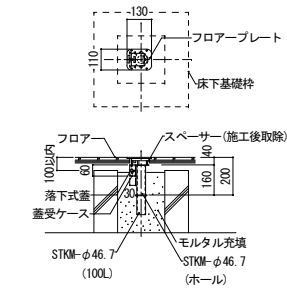
記号	名称	個数
B	バドミントン用	6
	合計	6



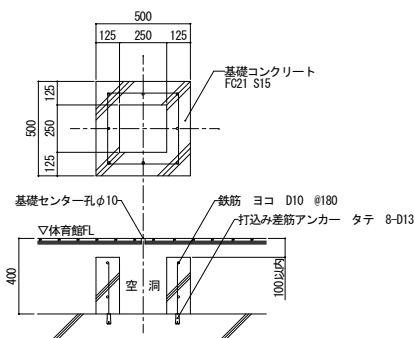
※バレー用基礎枠 床下基礎枠図 (コア抜き) S=1/20

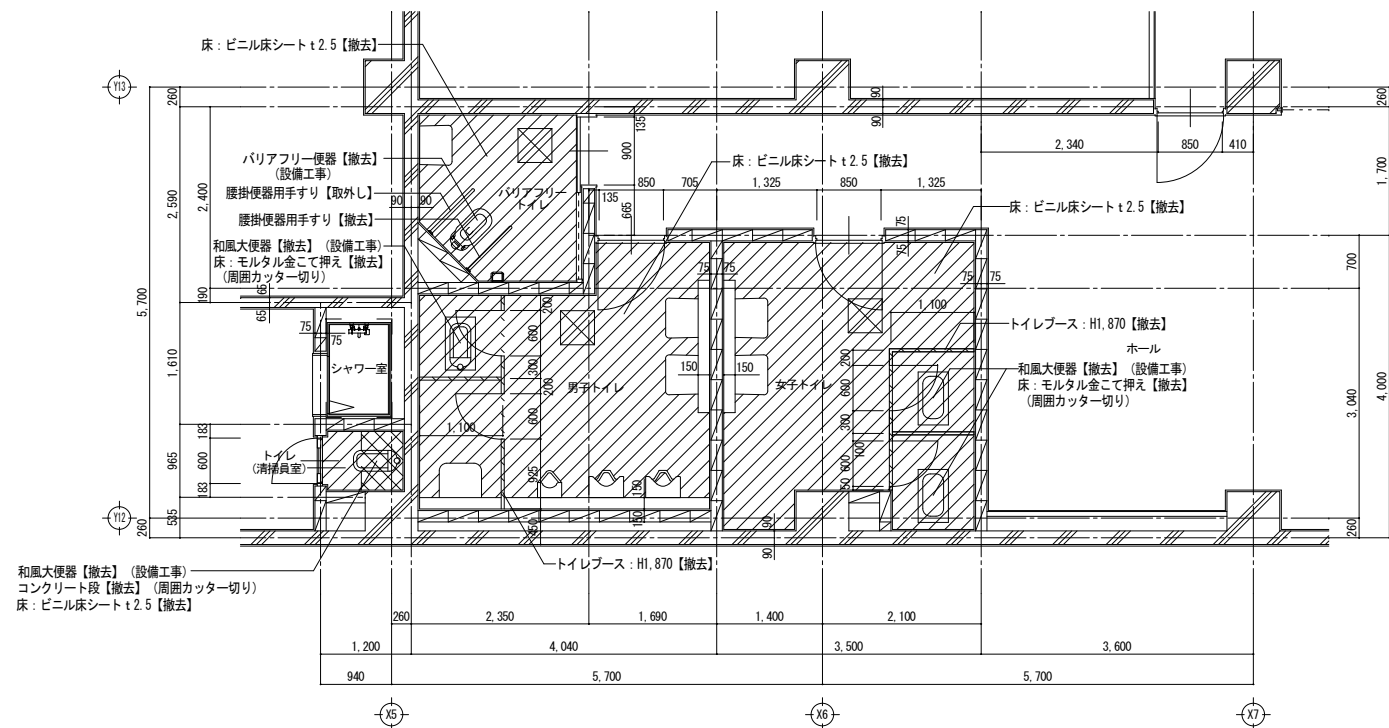


BD601 バドミントン床金具 S=1/20 (床下200mm)

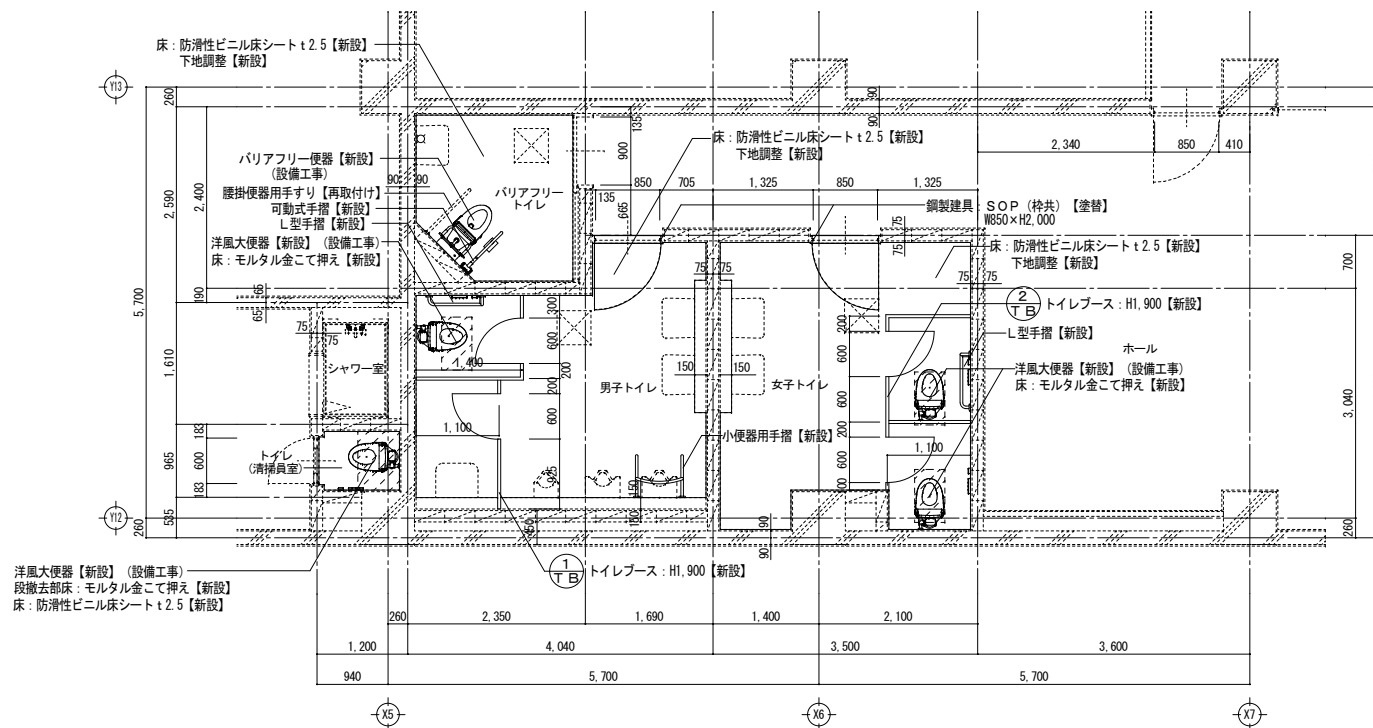


※バドミントン用基礎枠 床下基礎枠図 3対 S=1/20

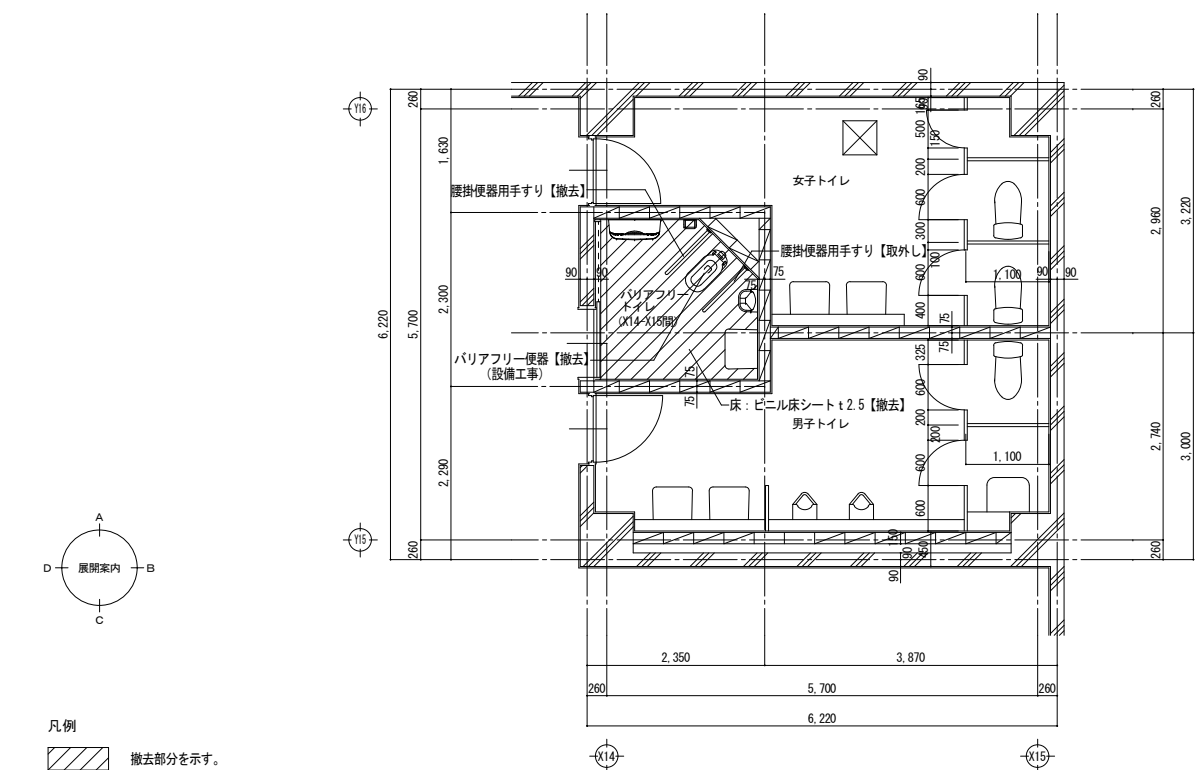




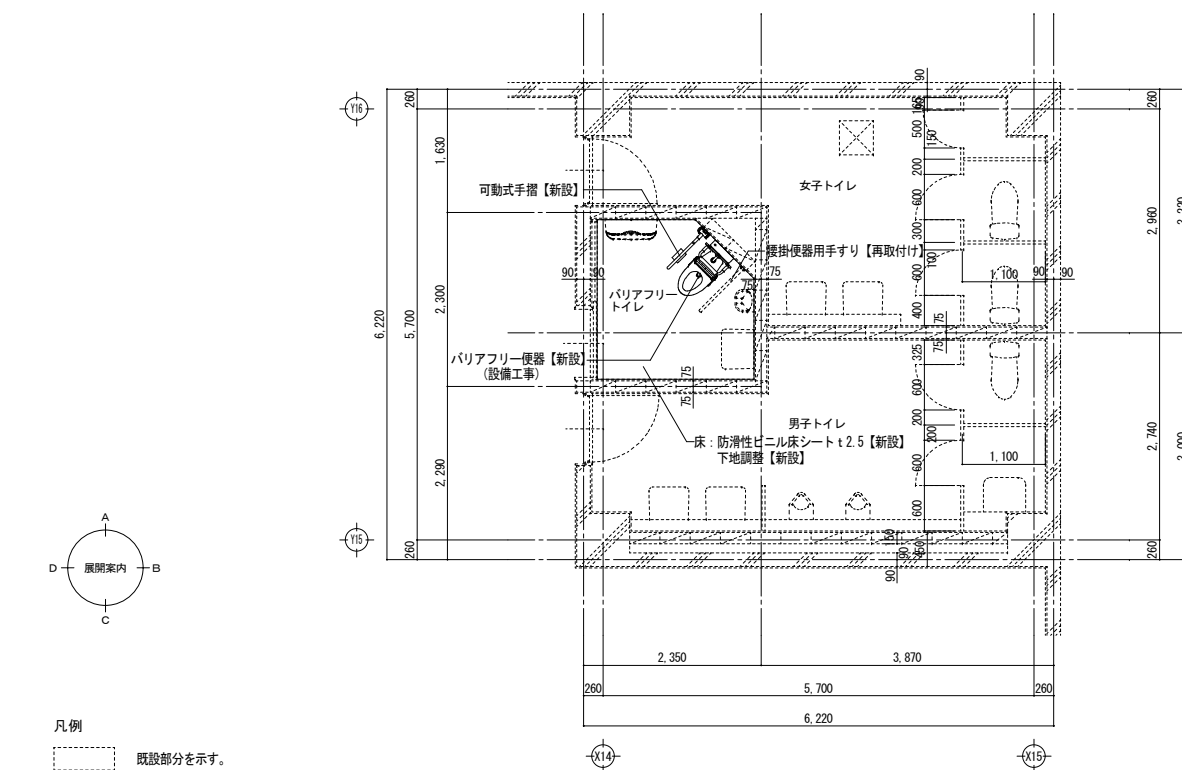
改修前 1階ホールエリア X5-X7間トイレ廻り平面詳細図 1/50



改修後 1階ホールエリア X5-X7間トイレ廻り平面詳細図 1/50



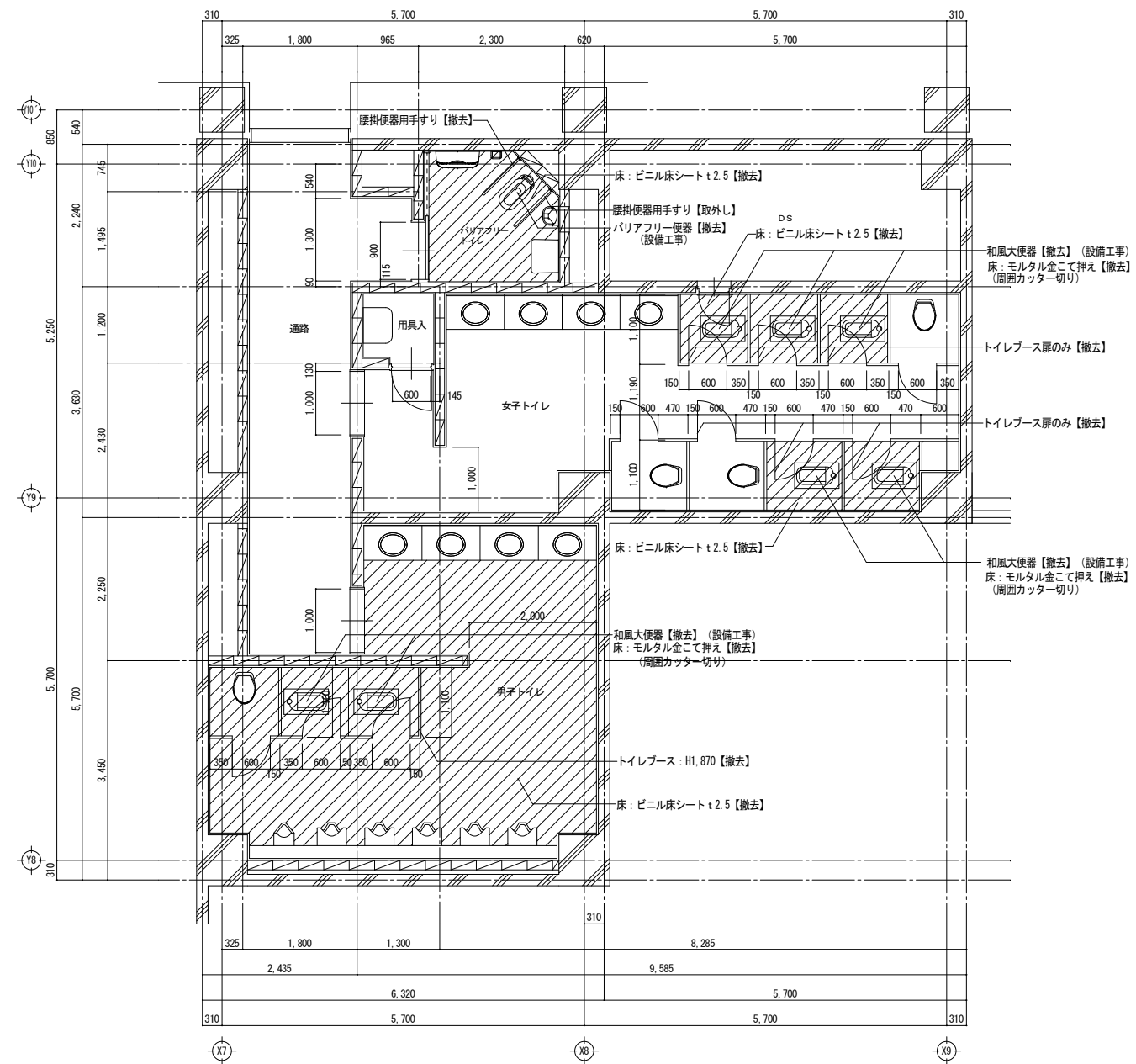
改修前 1階ホールエリア X14-X15間トイレ廻り平面詳細図 1/50



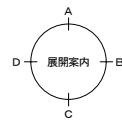
改修後 1階ホールエリア X14-X15間トイレ廻り平面詳細図 1/50

- 凡例
- 撤去部分を示す。
 - 躯体共撤去部分を示す。
 - 【OOO】 工事内容を示す。

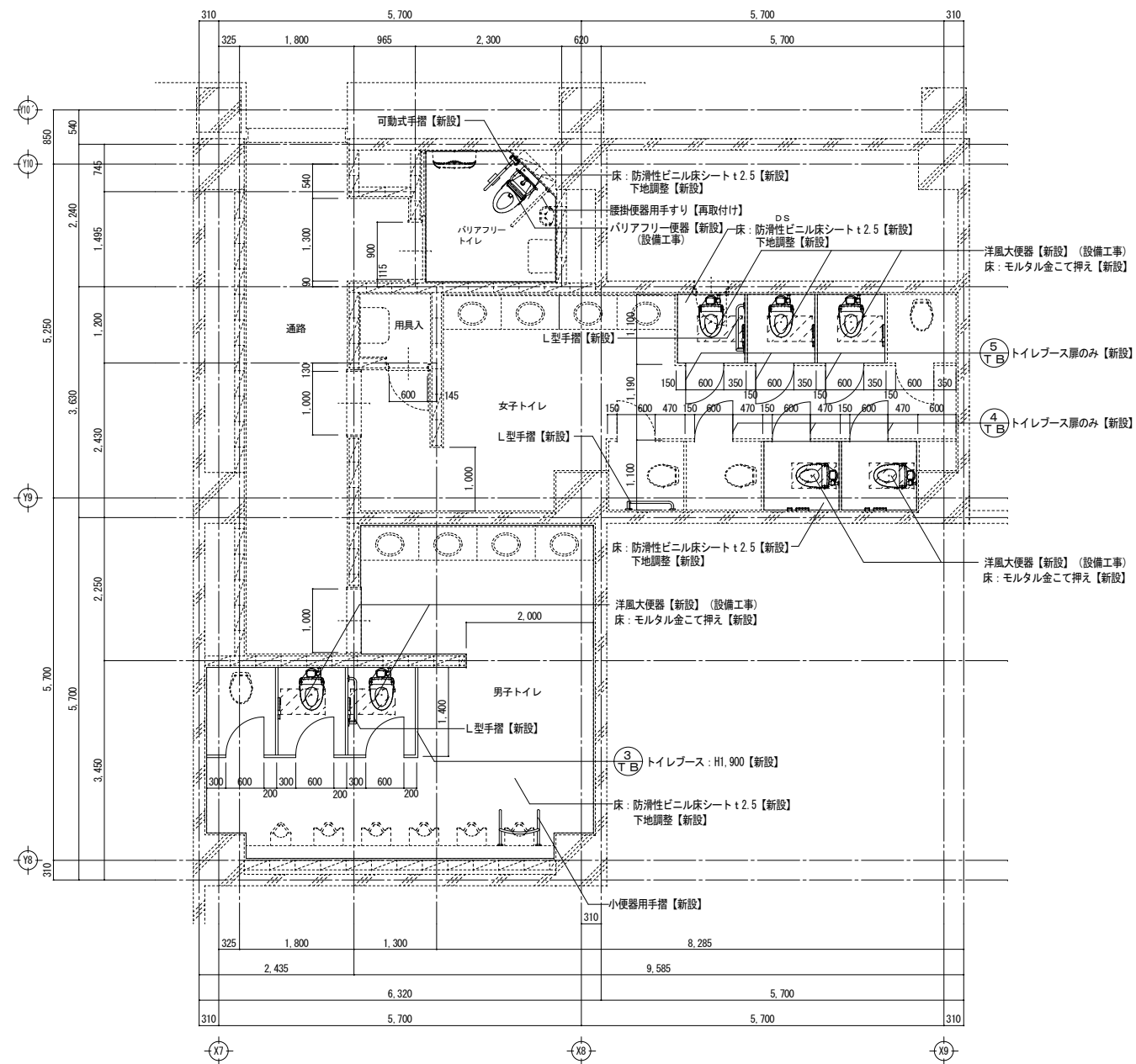
- 凡例
- 既設部分を示す。
 - 新設部分を示す。
 - モルタル下地新設部分を示す。
 - 【OOO】 工事内容を示す。



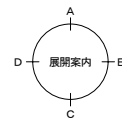
改修前 2階ホールエリア X7-X9間トイレ廻り平面詳細図 1/50



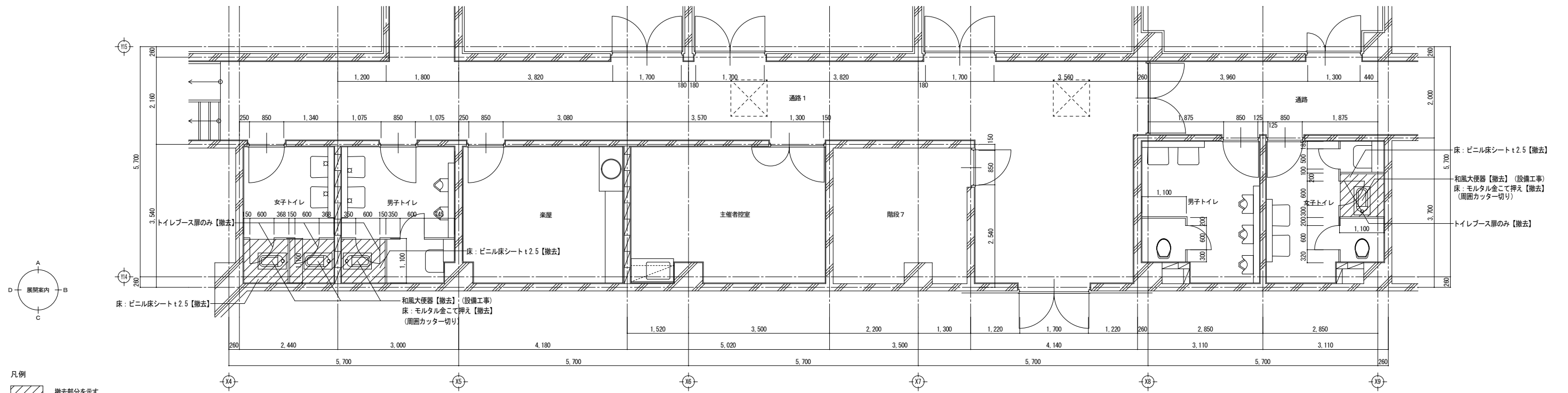
- 凡例
- 撤去部分を示す。
 - 工事内容を示す。



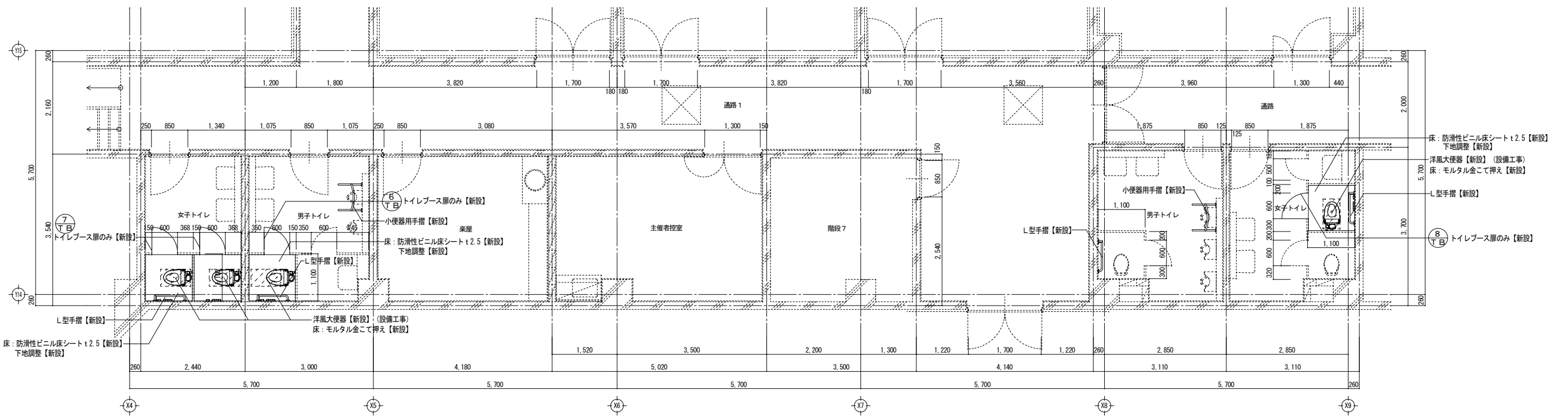
改修後 2階ホールエリア X7-X9間トイレ廻り平面詳細図 1/50



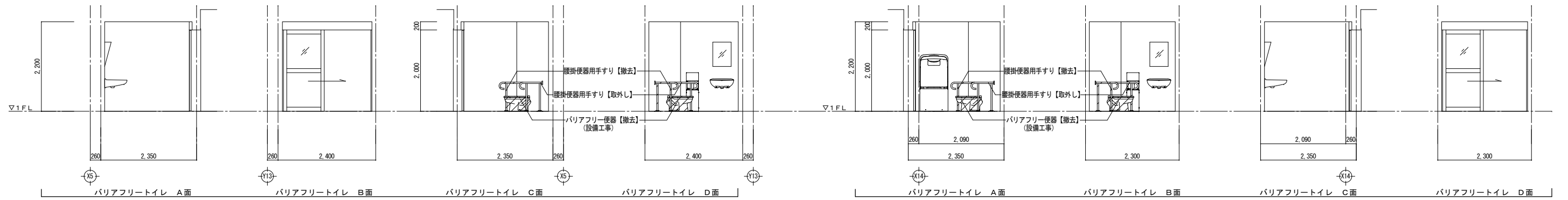
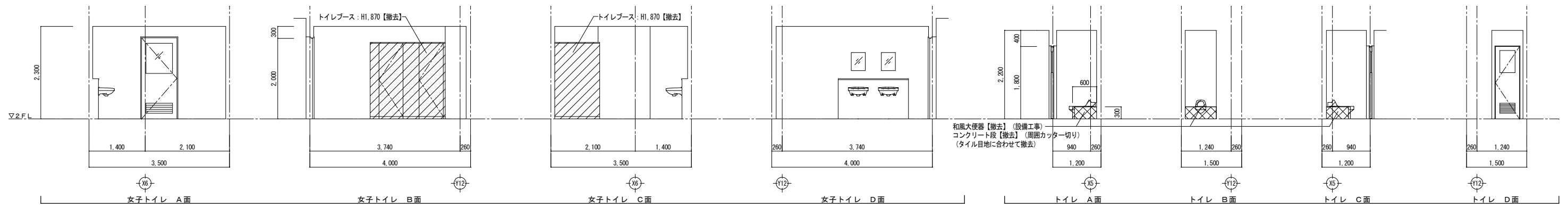
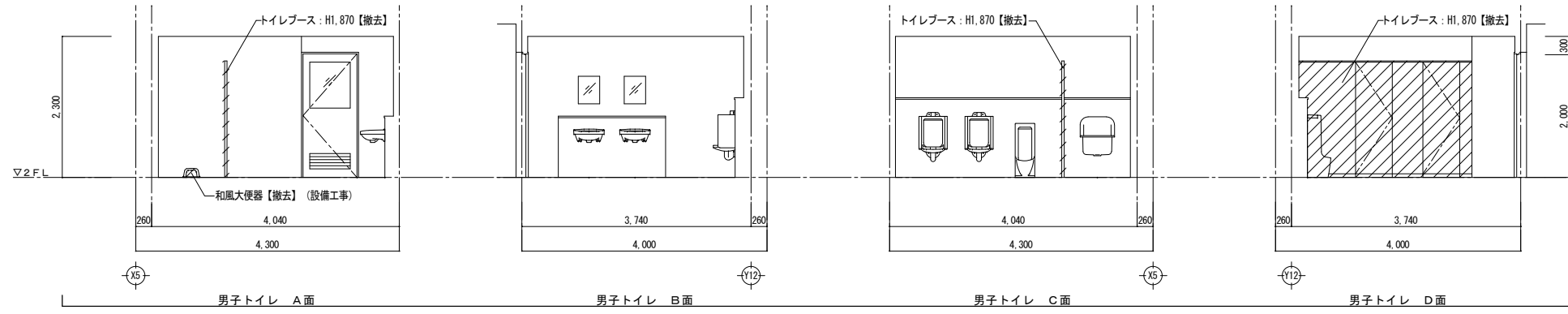
- 凡例
- 既設部分を示す。
 - 新設部分を示す。
 - モルタル下地新設部分を示す。
 - 工事内容を示す。





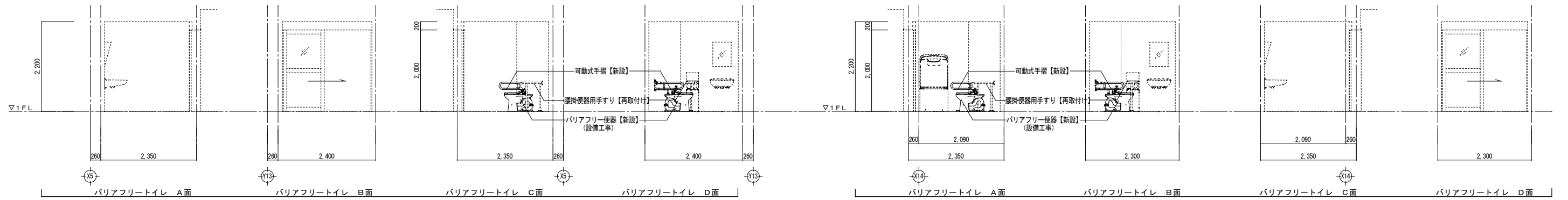
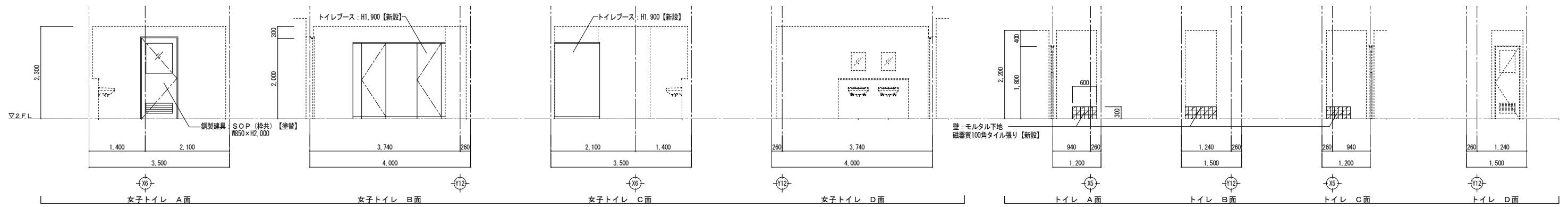
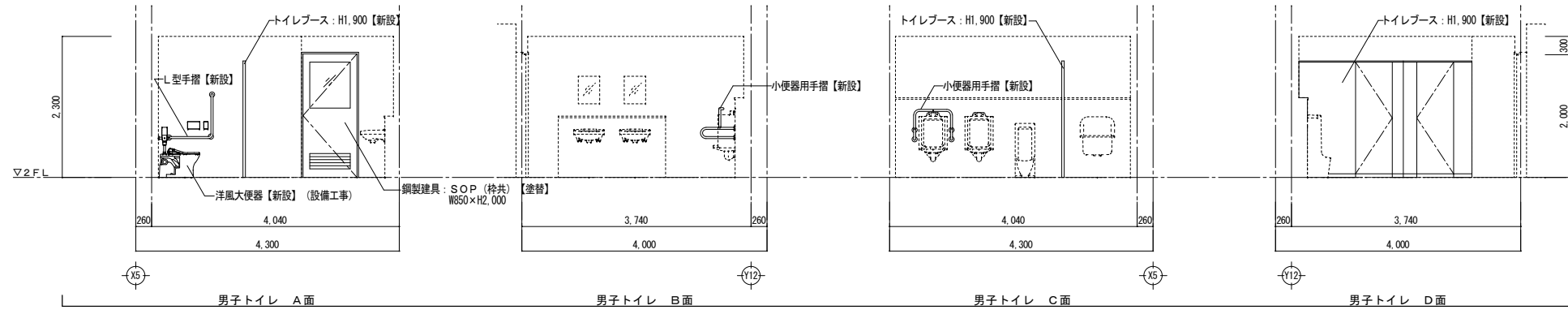
改修前 2階ホールエリア X4-X9間トイレ廻り平面詳細図 1/50



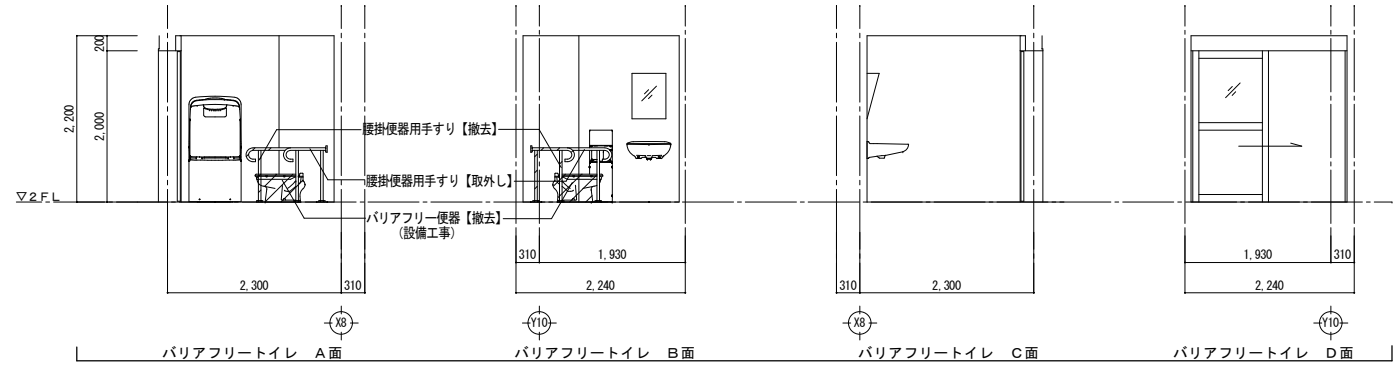
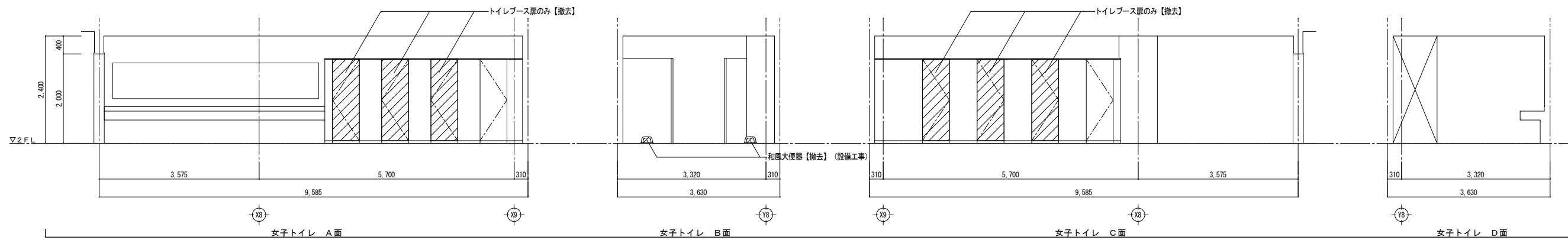
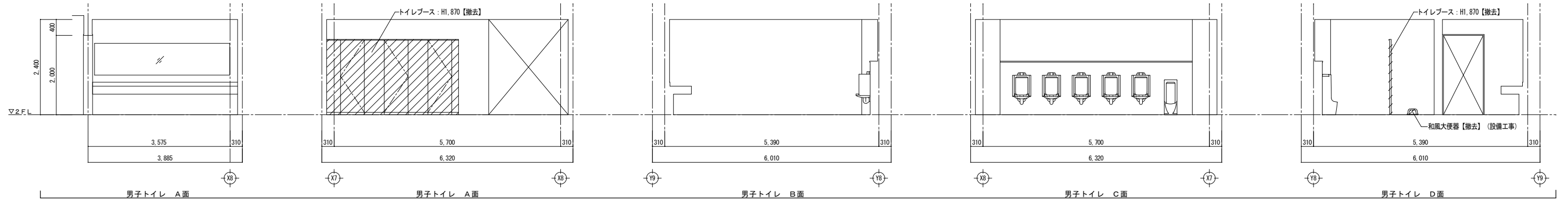
改修後 2階ホールエリア X4-X9間トイレ廻り平面詳細図 1/50




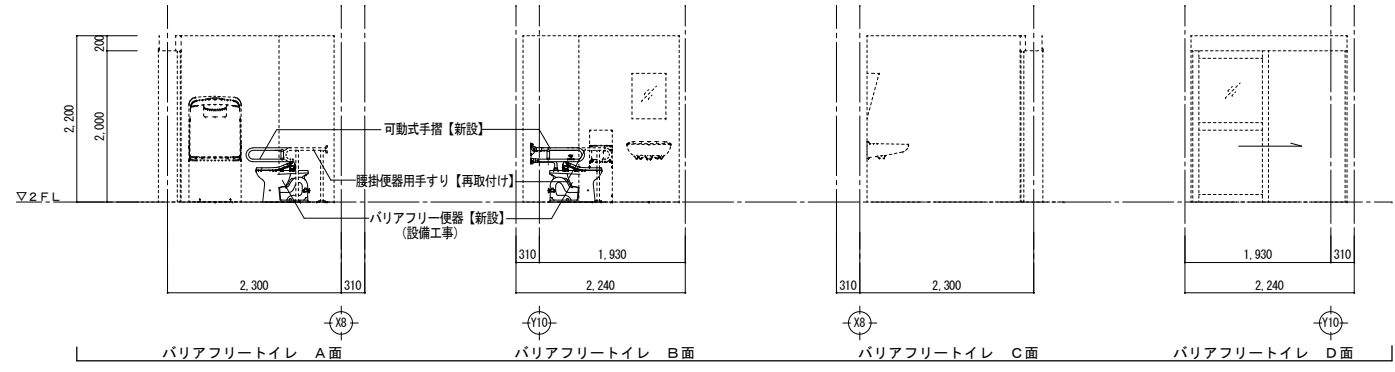
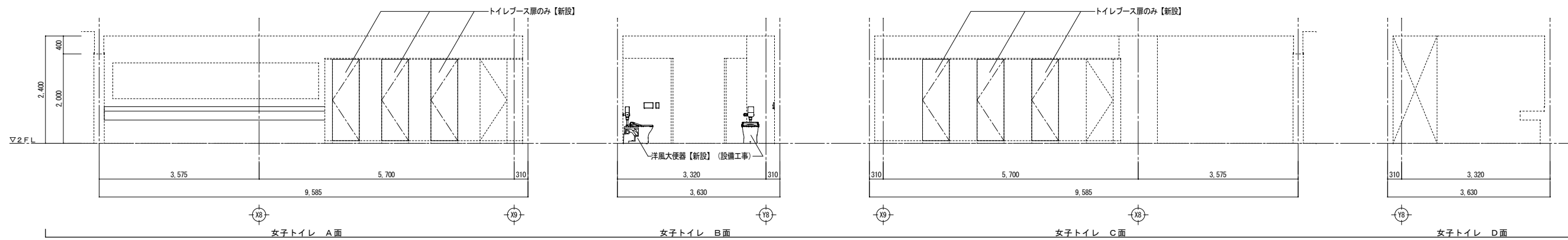
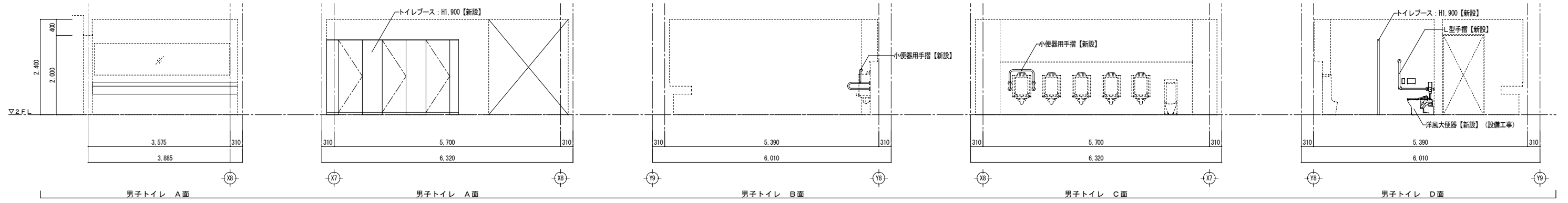
- 凡例
-  撤去部分を示す。
 -  躯体共撤去部分を示す。
 - [OOO] 工事内容を示す。



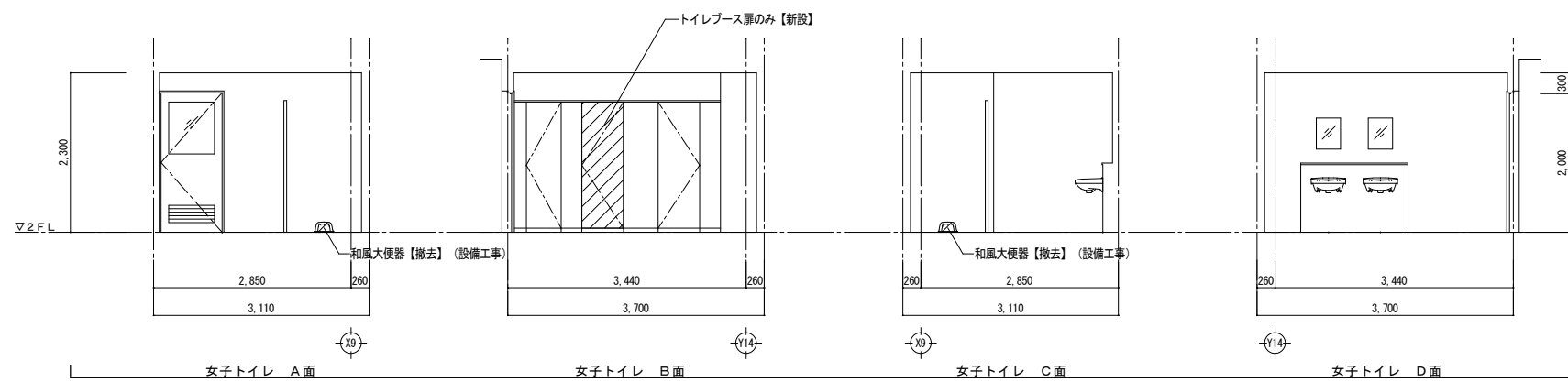
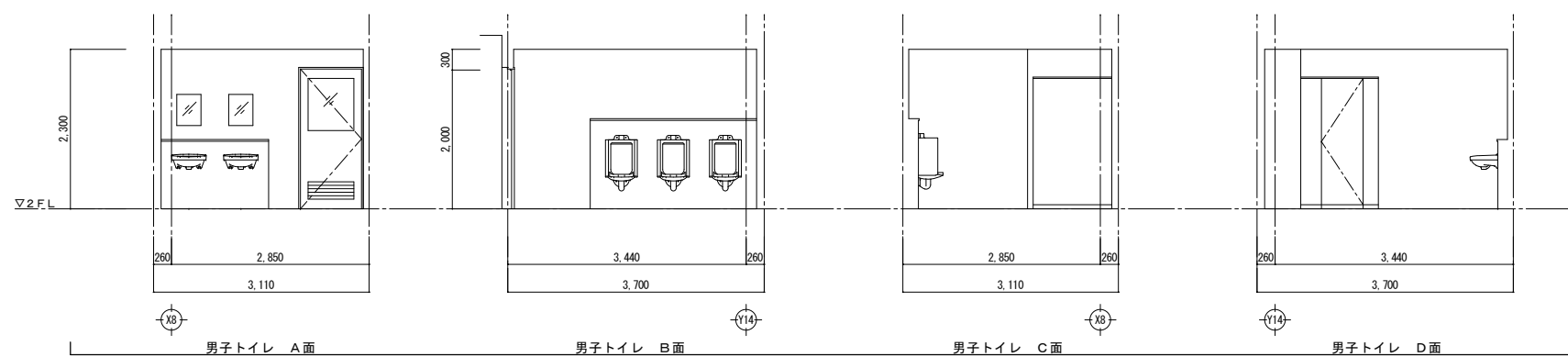
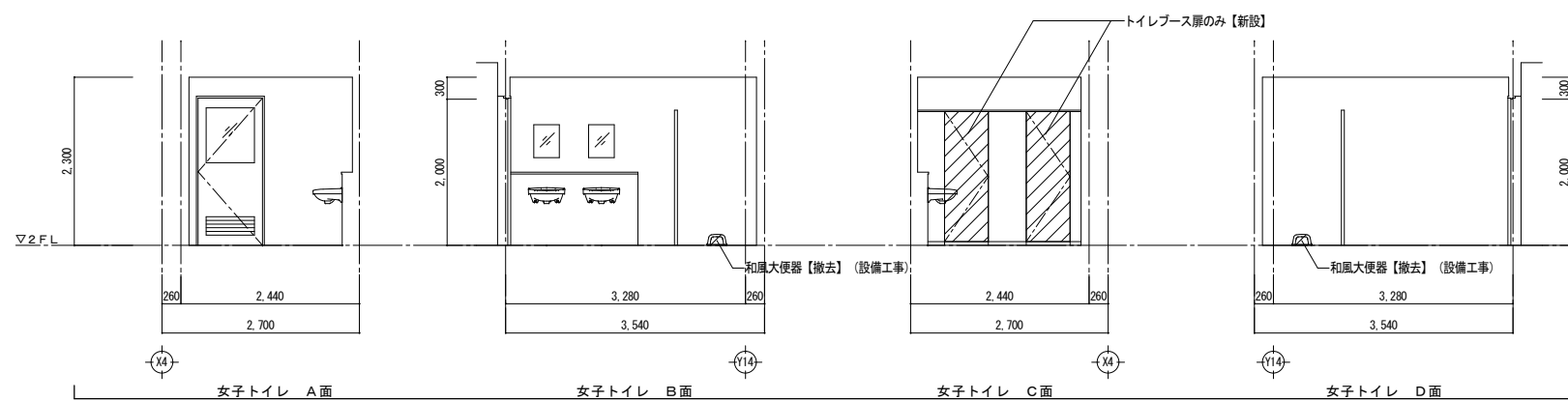
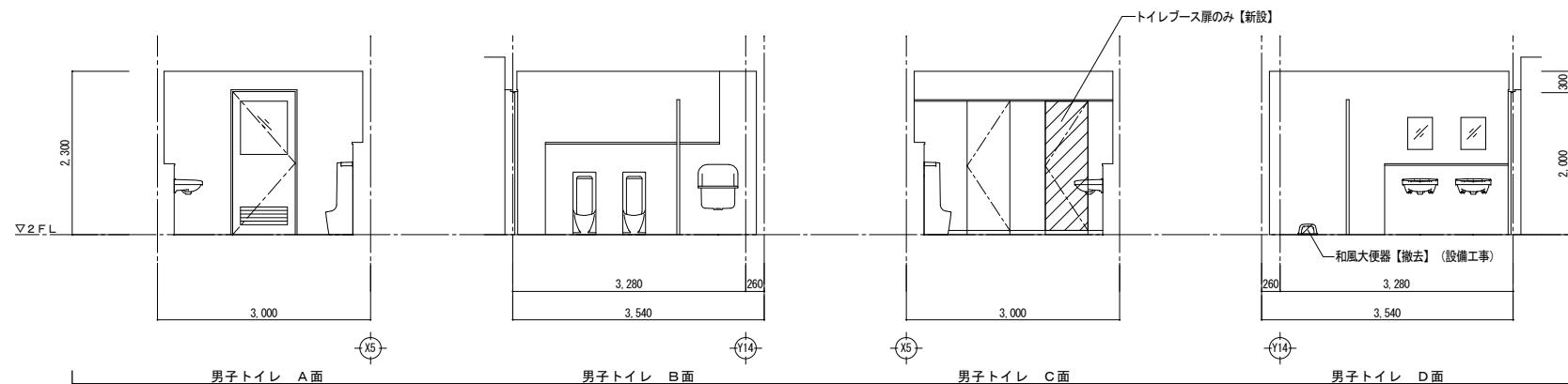
- 凡例
- 既設部分を示す。
 - 新設部分を示す。
 - モルタル下地新設部分を示す。
 - [OOO] 工事内容を示す。




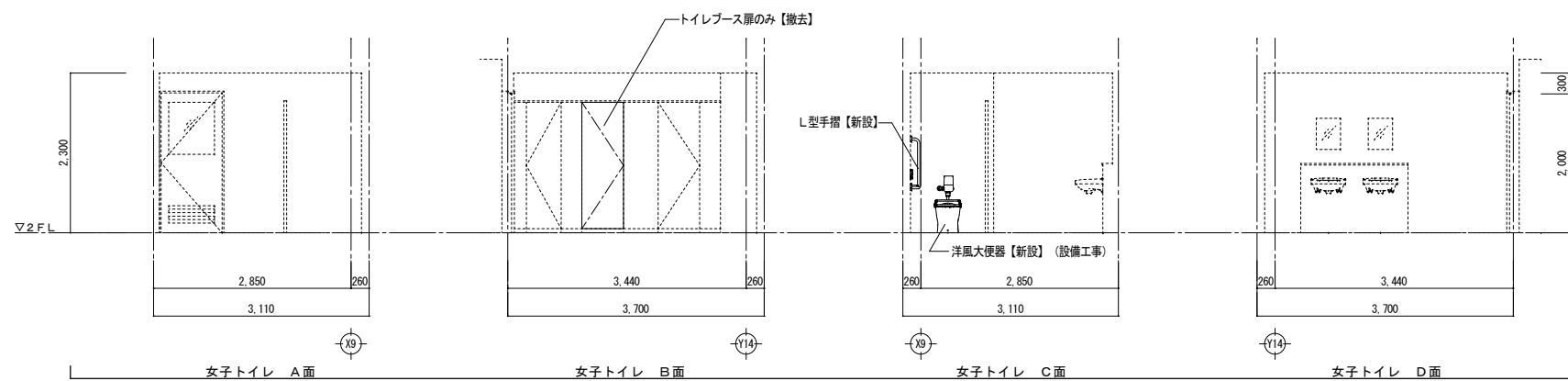
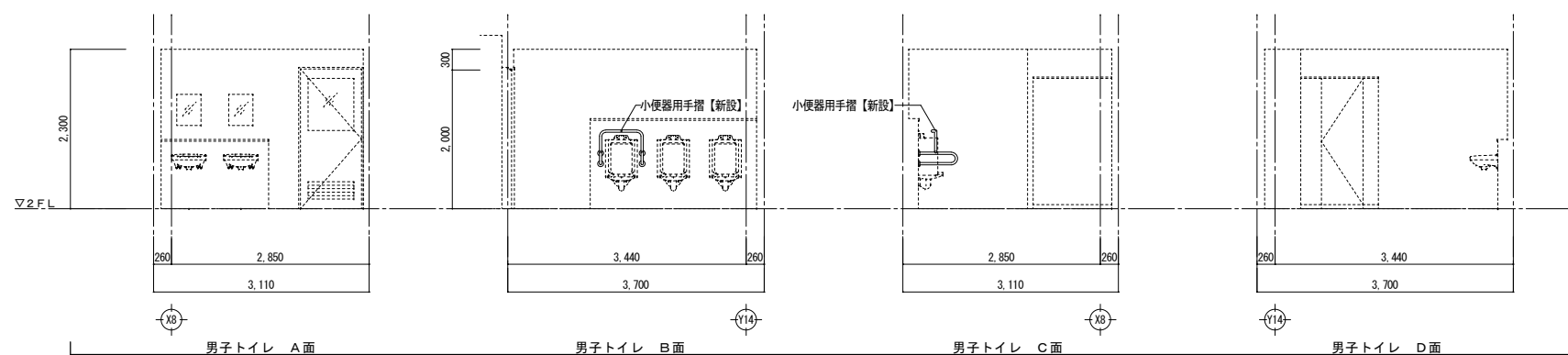
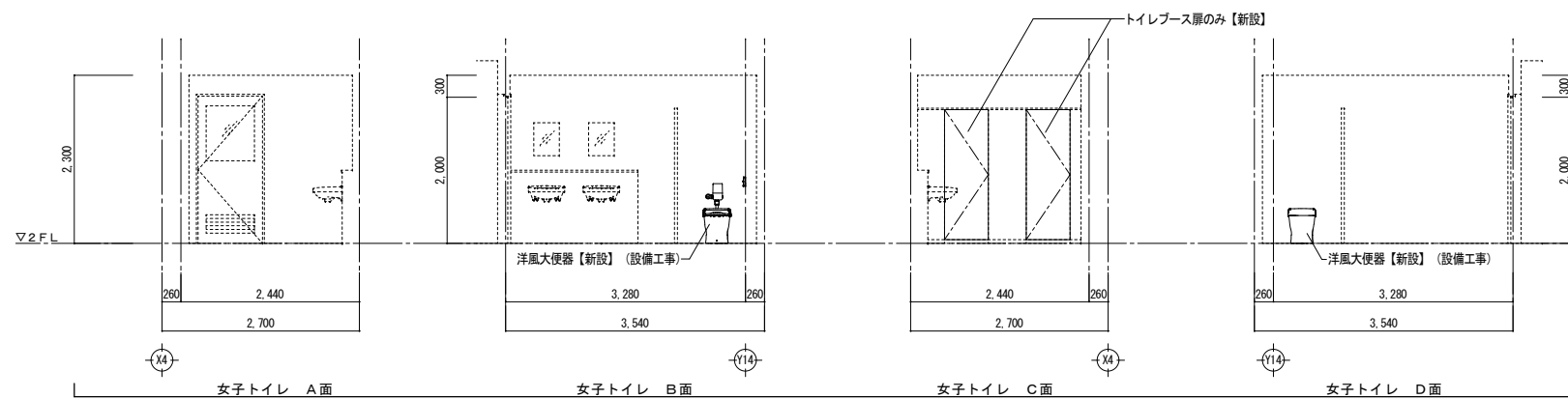
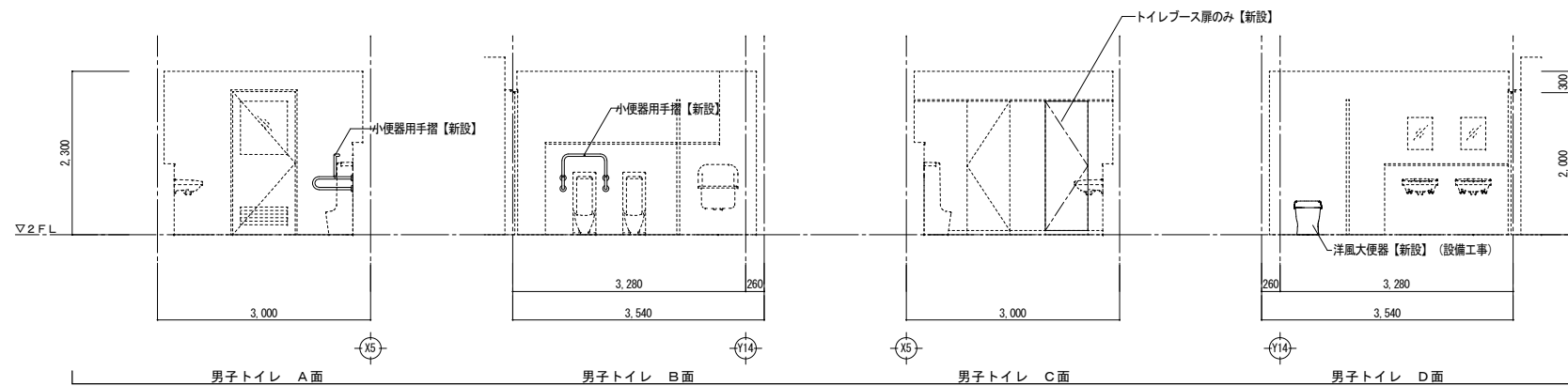
凡例
 撤去部分を示す。
 [OOO] 工事内容を示す。



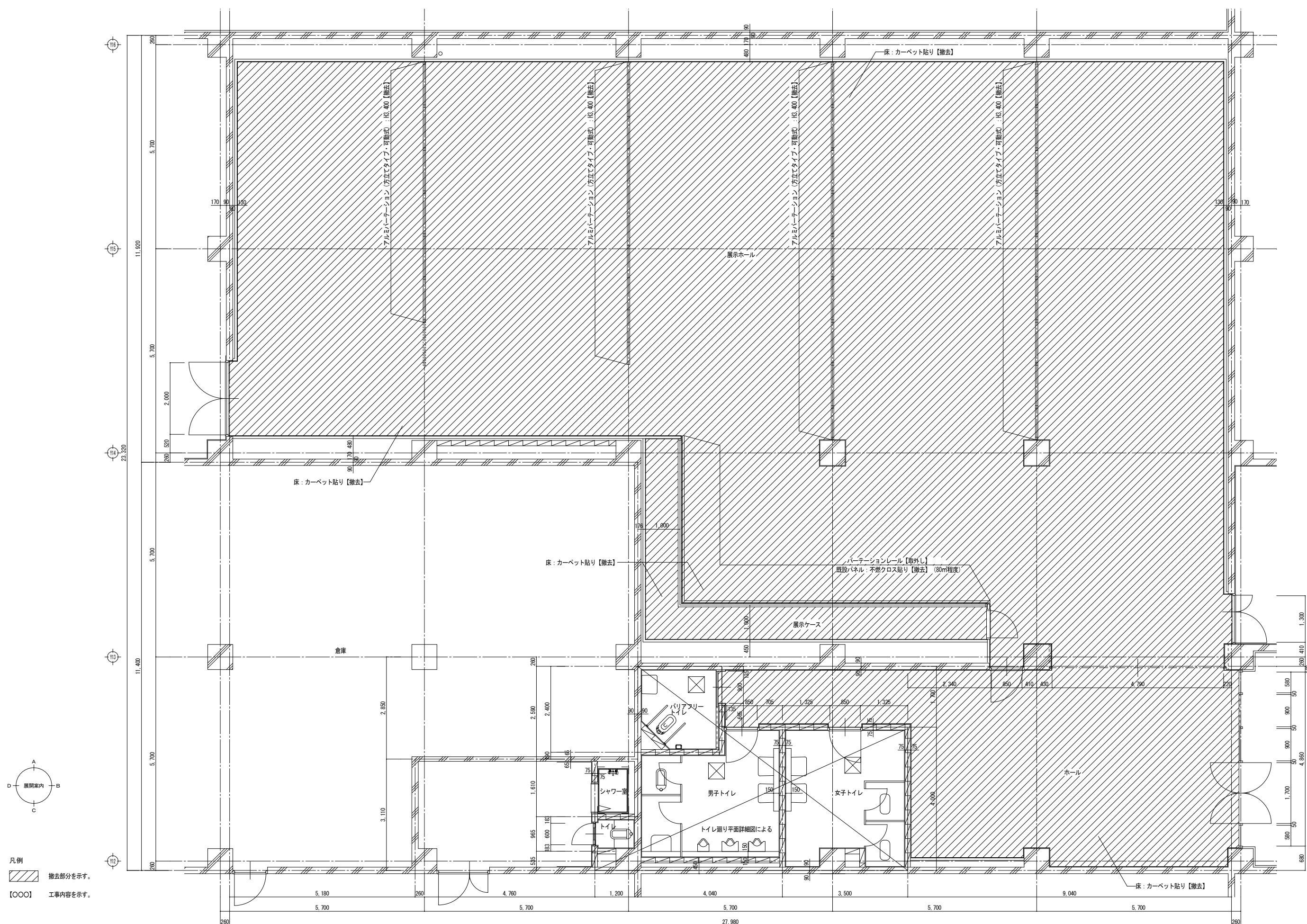
- 凡例
- 既設部分を示す。
 - 新設部分を示す。
 - [OOO] 工事内容を示す。



凡例
 撤去部分を示す。
 【〇〇〇】 工事内容を示す。



- 凡例
- 既設部分を示す。
 - 新設部分を示す。
 - OOO 工事内容を示す。

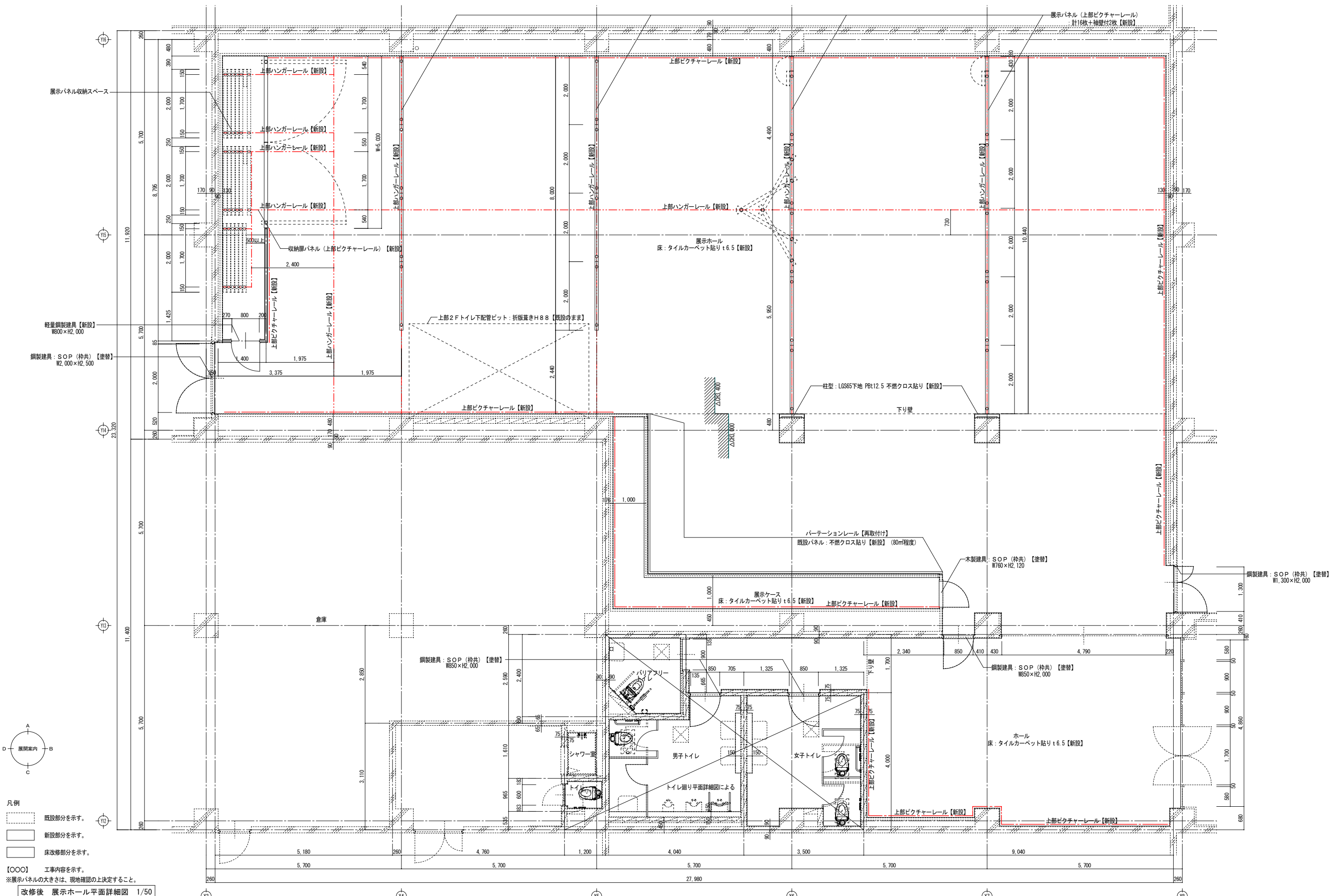


凡例
 [〰〰〰] 撤去部分を示す。
 [〇〇〇] 工事内容を示す。

改修前 展示ホール平面詳細図 1/50

株式会社 近代設計コンサルタント
 広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第27978号
 TEL 082-243-5555 (代表) 小瀬 宏 治

年月日	整理番号	工事名	図面番号
		三原リージョンプラザ長寿命化改修工事 (3期工事) (建築主体工事)	A
照査	設計担当	図面名	SCALE
		改修前 1階文化部門 展示ホール平面詳細図	A1-1/50 A3-50%縮小

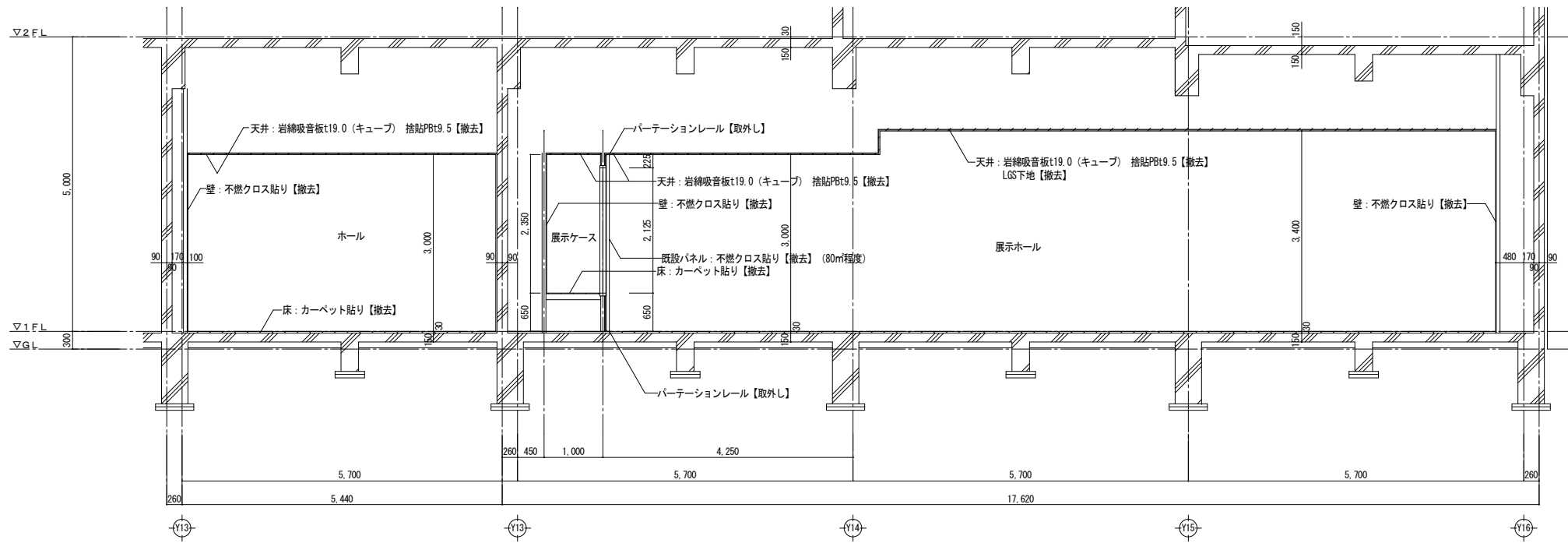


凡例

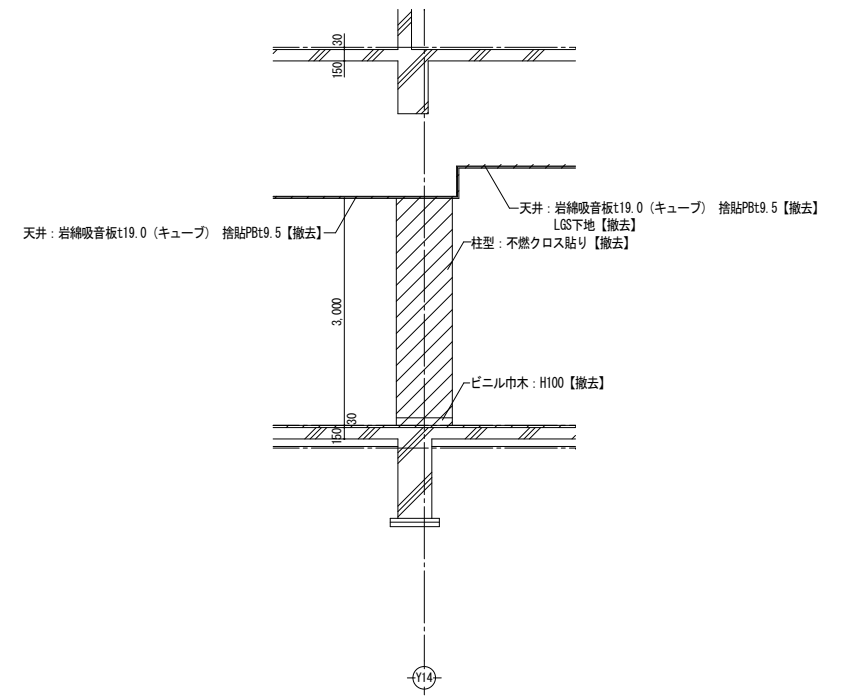
- 既設部分を示す。
- 新設部分を示す。
- 床改修部分を示す。

【〇〇〇】 工事内容を示す。
※展示パネルの大きさは、現地確認の上決定すること。

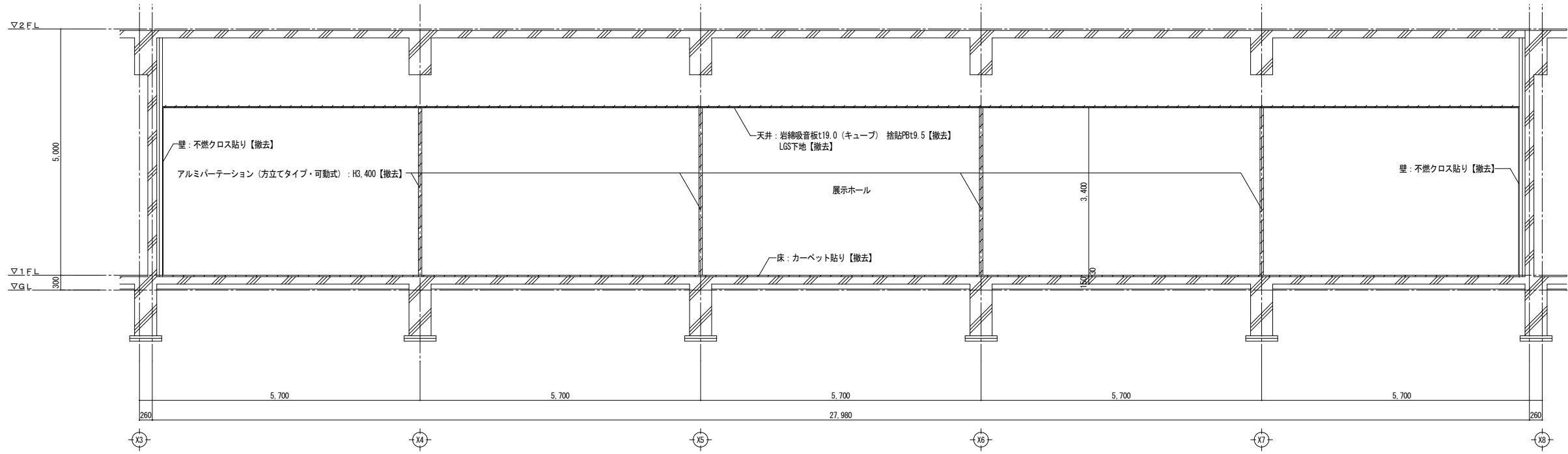
改修後 展示ホール平面詳細図 1/50




改修前 展示ホール断面詳細図 1/50

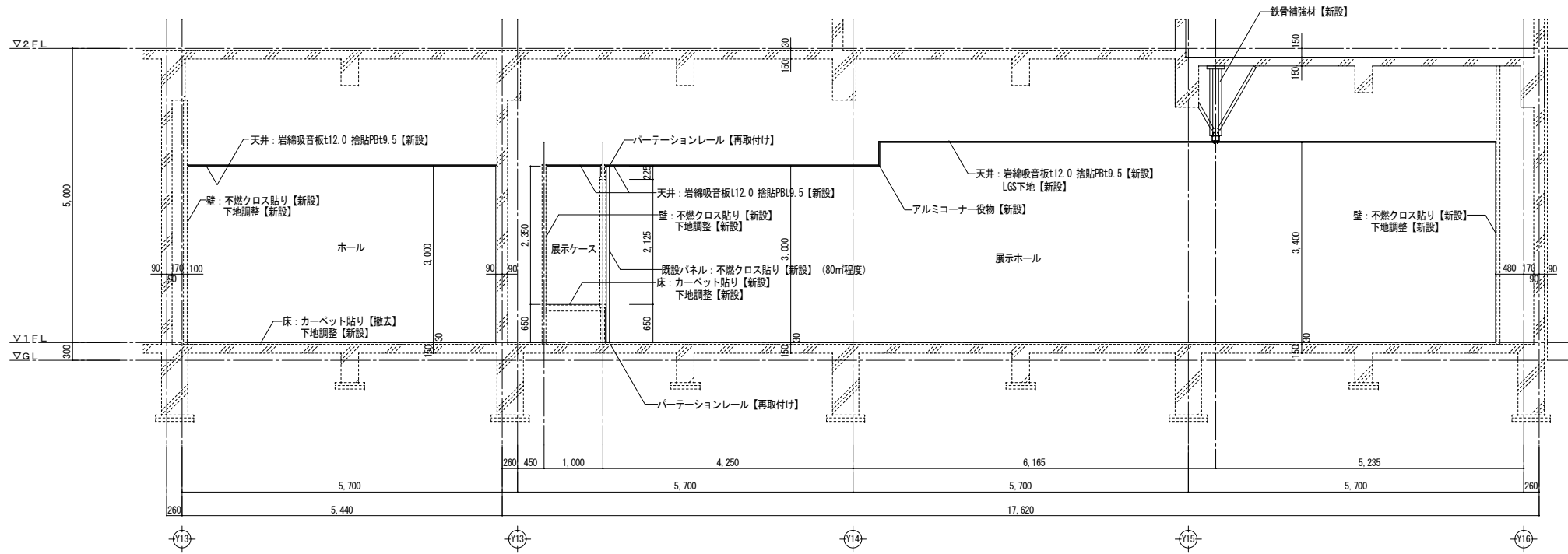


改修前 X6、X7通り 展示ホール断面詳細図 1/50

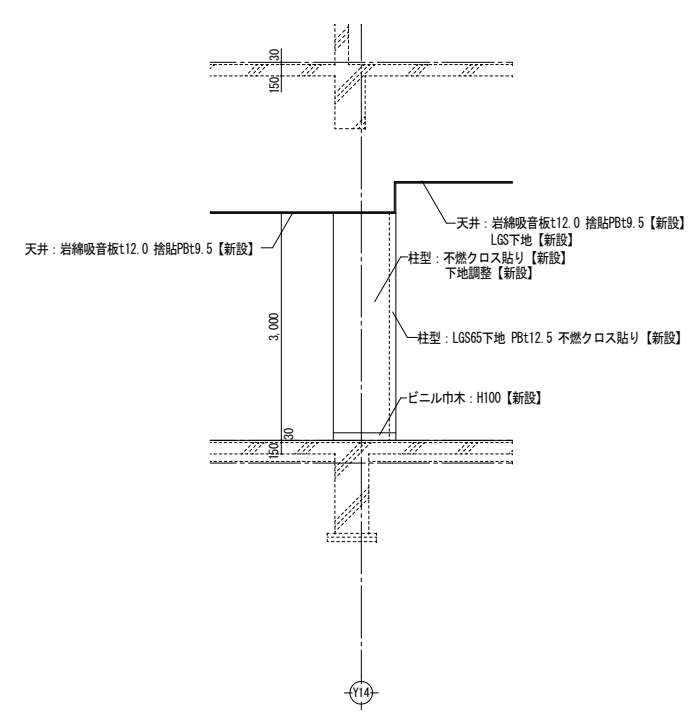


改修前 展示ホール断面詳細図 1/50

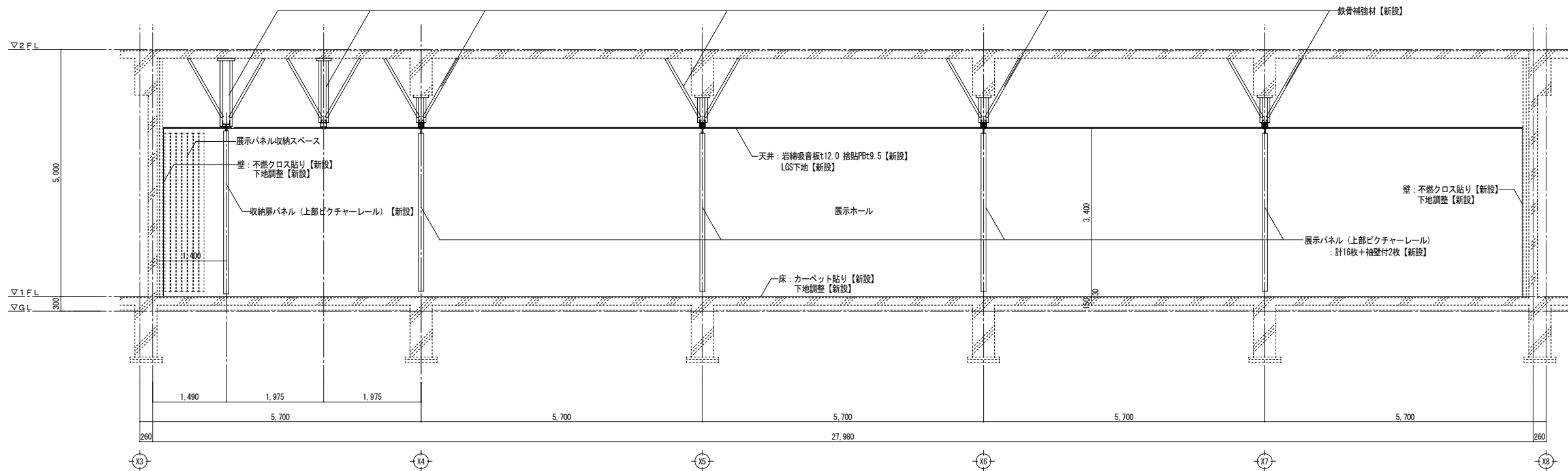
凡例
 撤去部分を示す。
 [OOO] 工事内容を示す。



改修後 展示ホール断面詳細図 1/50

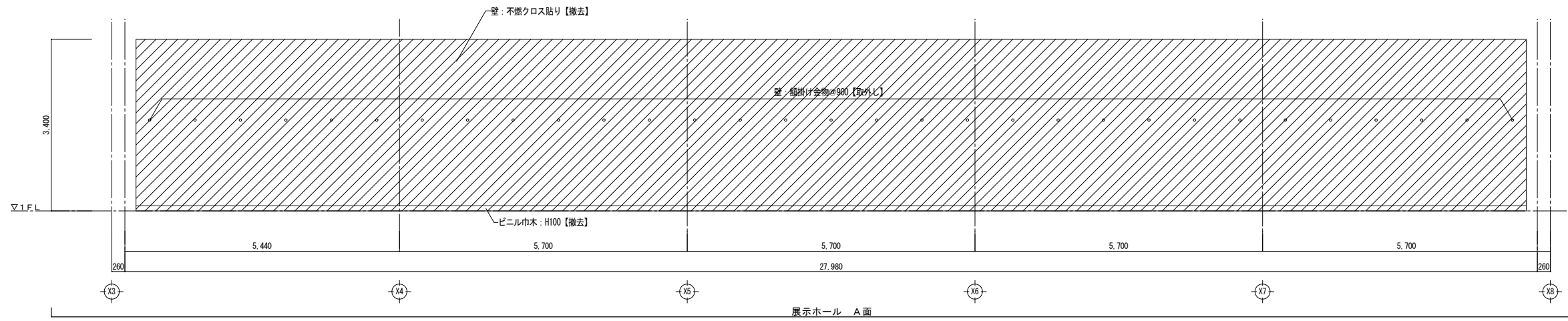
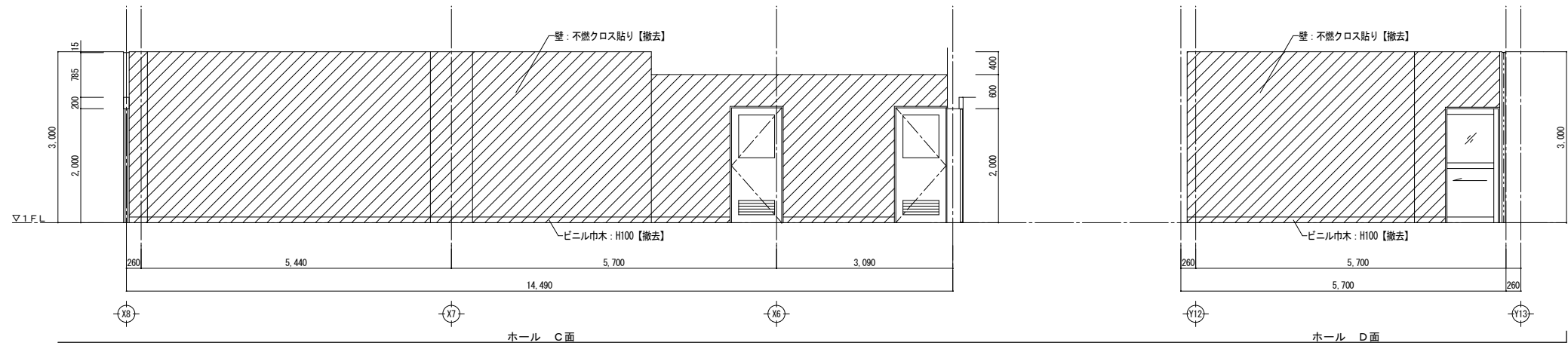
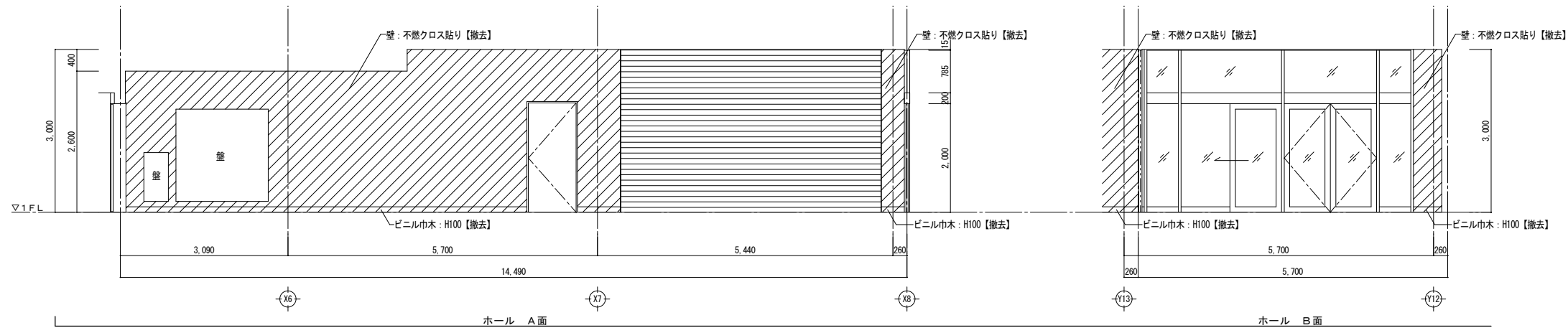



改修後 X6、X7通り 展示ホール断面詳細図 1/50

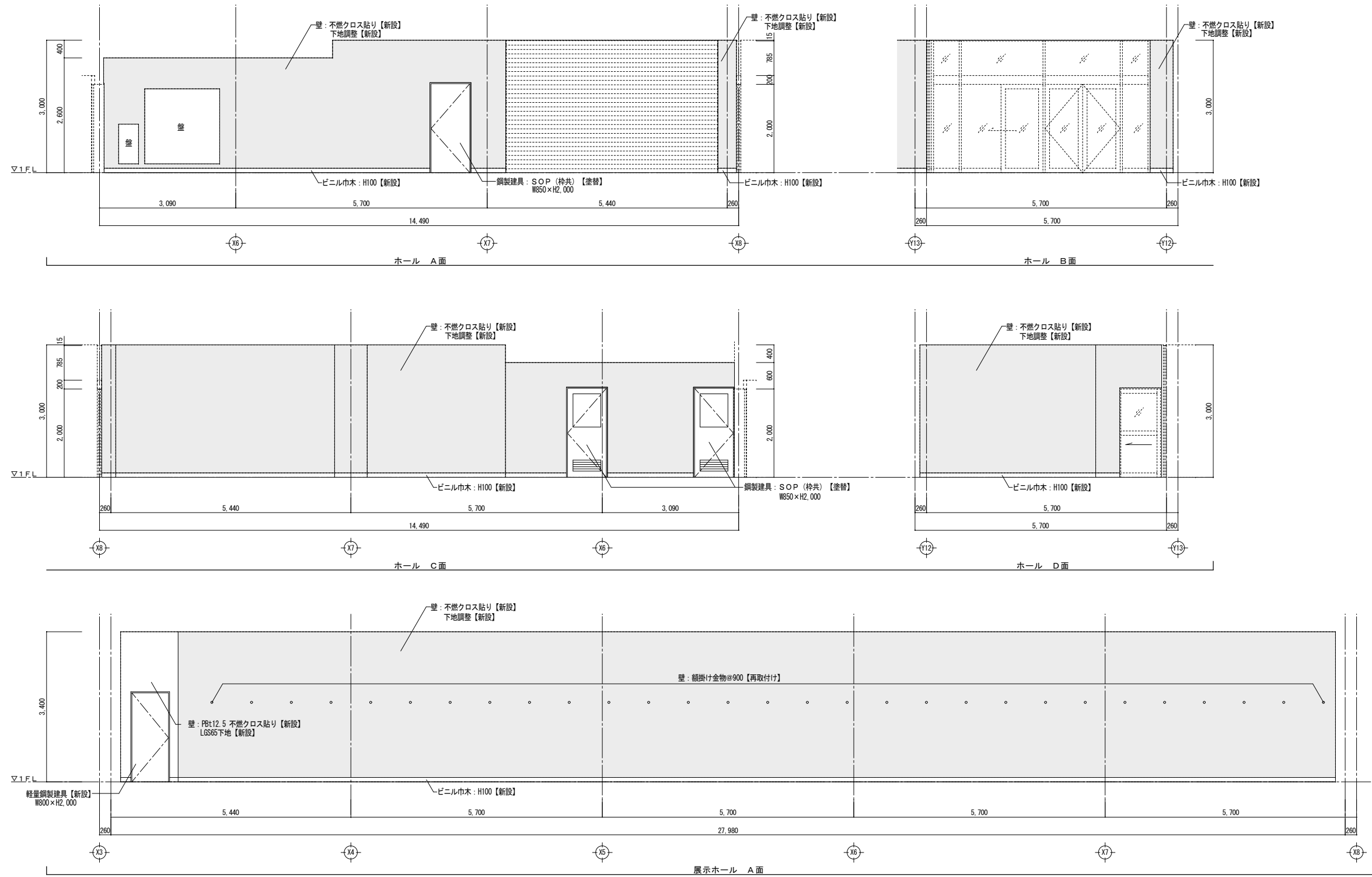


改修後 展示ホール断面詳細図 1/50

- 凡例
- 既設部分を示す。
 - 新設部分を示す。
 - [OOO] 工事内容を示す。

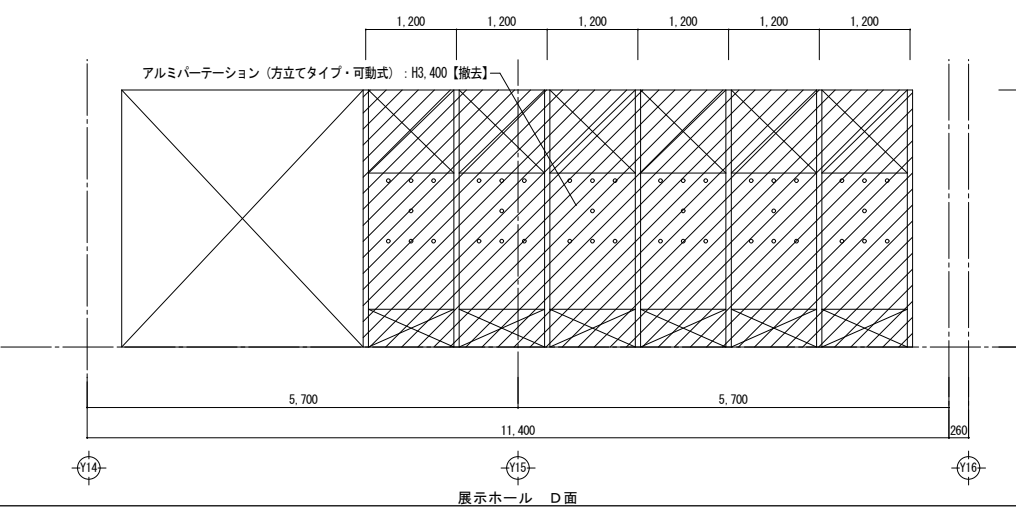
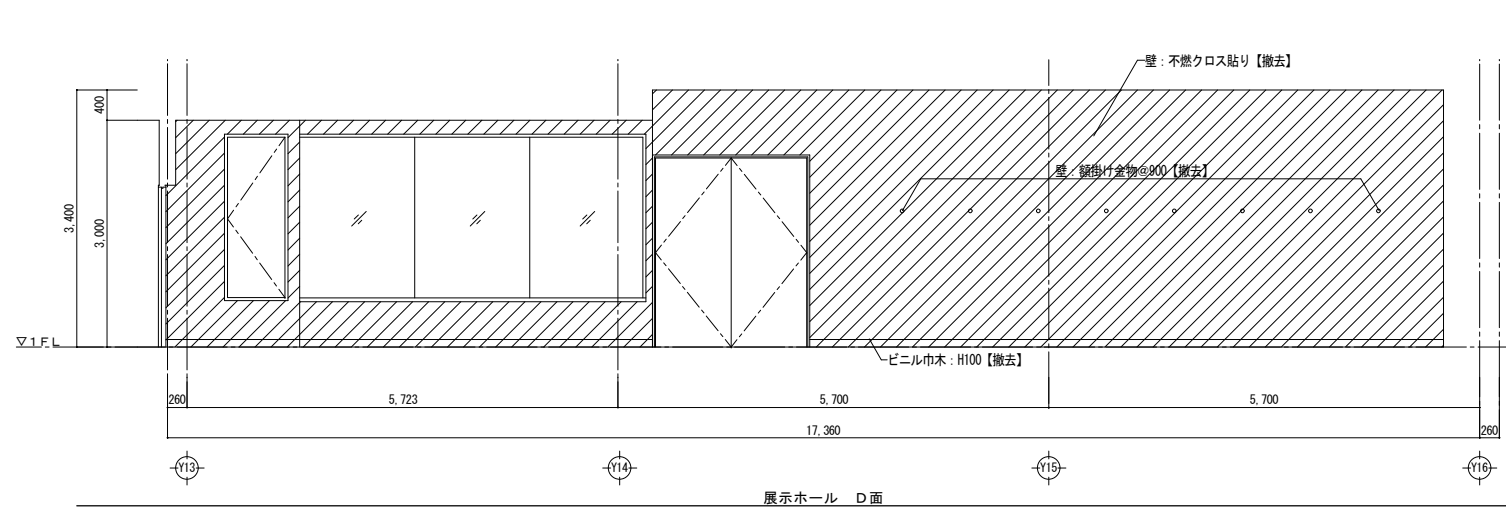
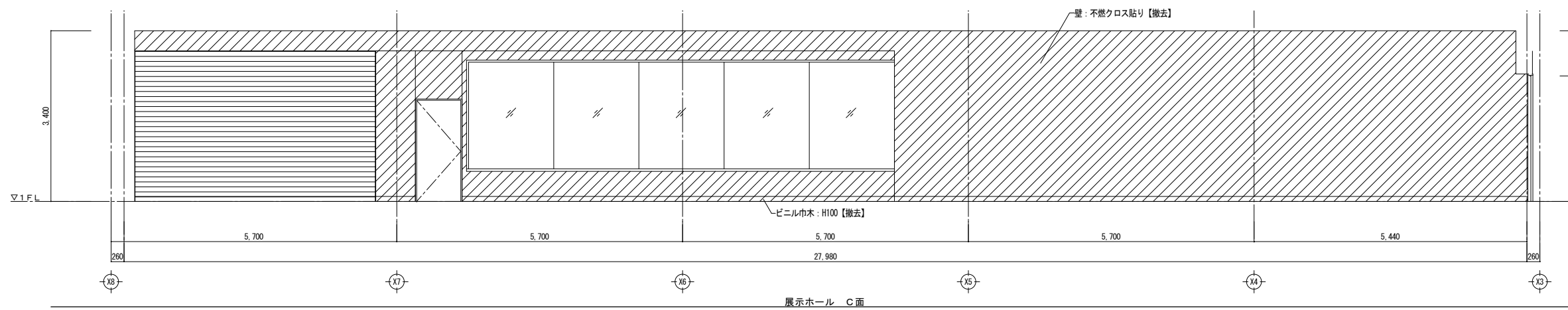
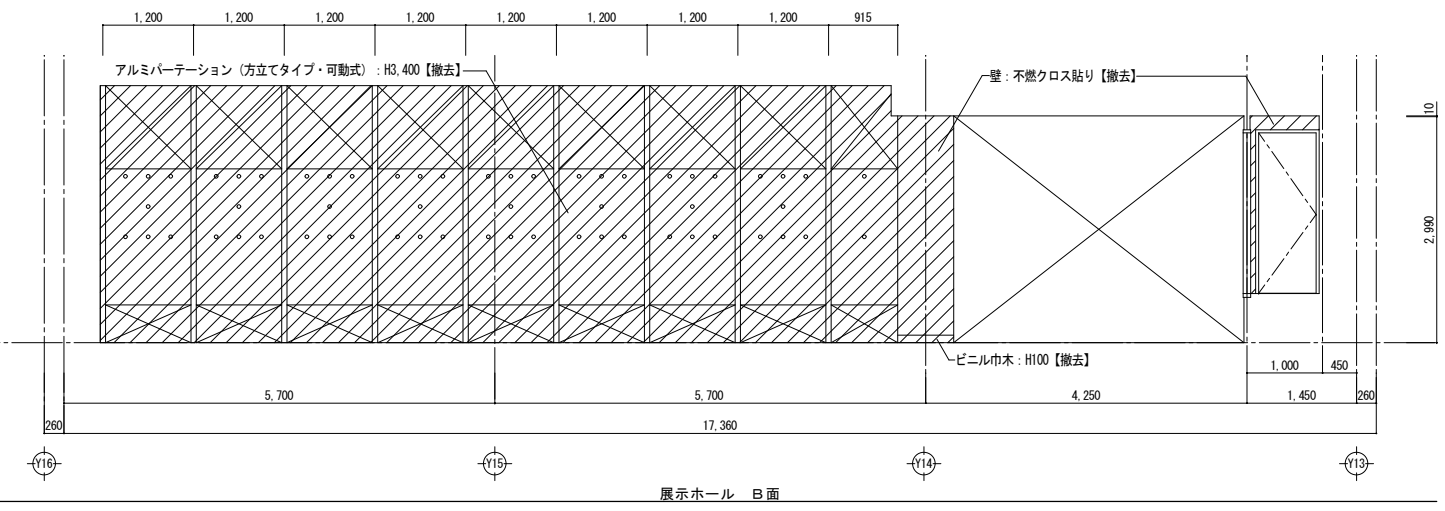
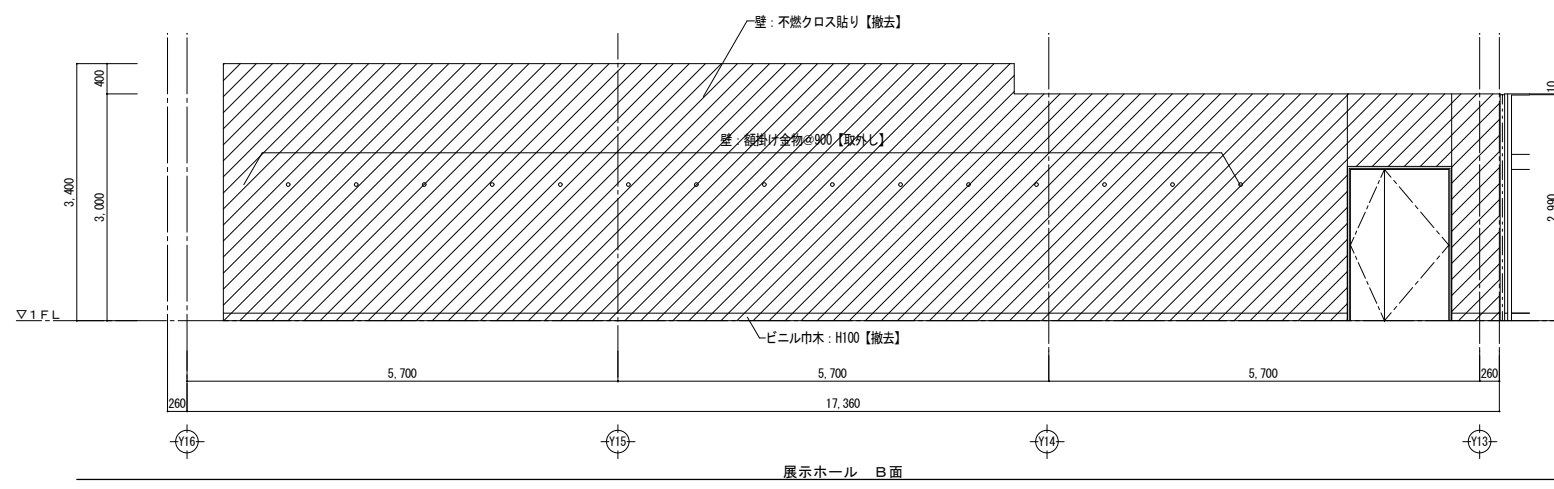



凡例
 撤去部分を示す。
 [OOO] 工事内容を示す。

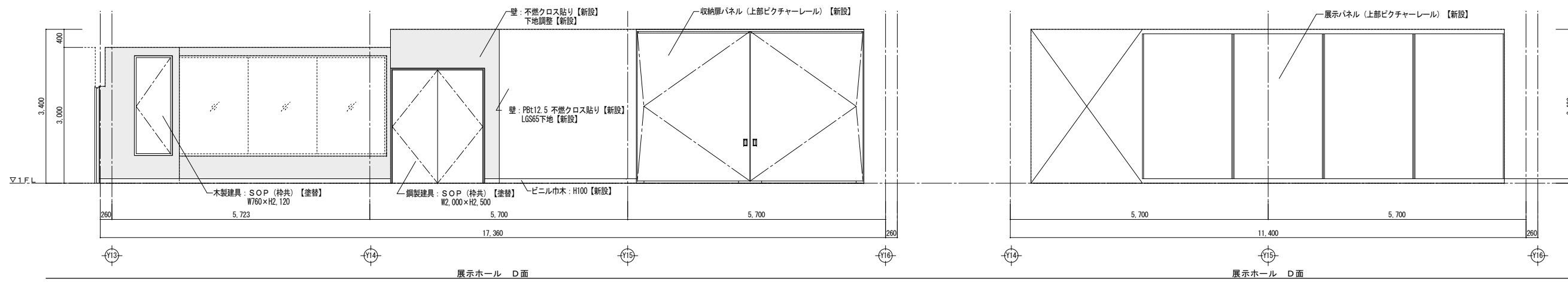
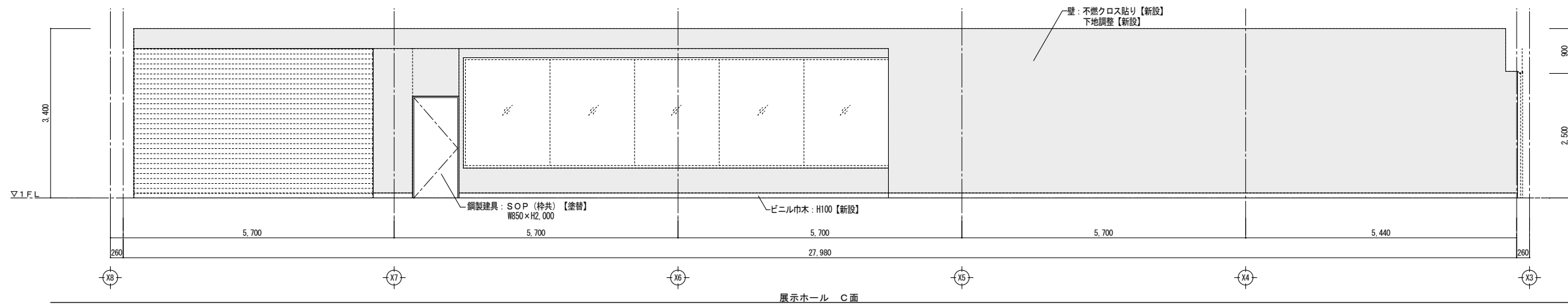
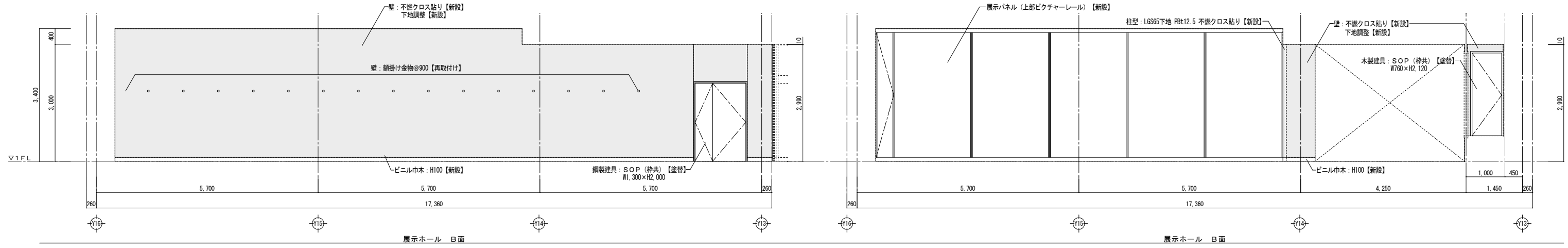


凡例

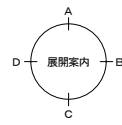
- 既設部分を示す。
- 新設部分を示す。
- 壁紙張替部分を示す。
- [000] 工事内容を示す。



凡例
 撤去部分を示す。
 [OOO] 工事内容を示す。

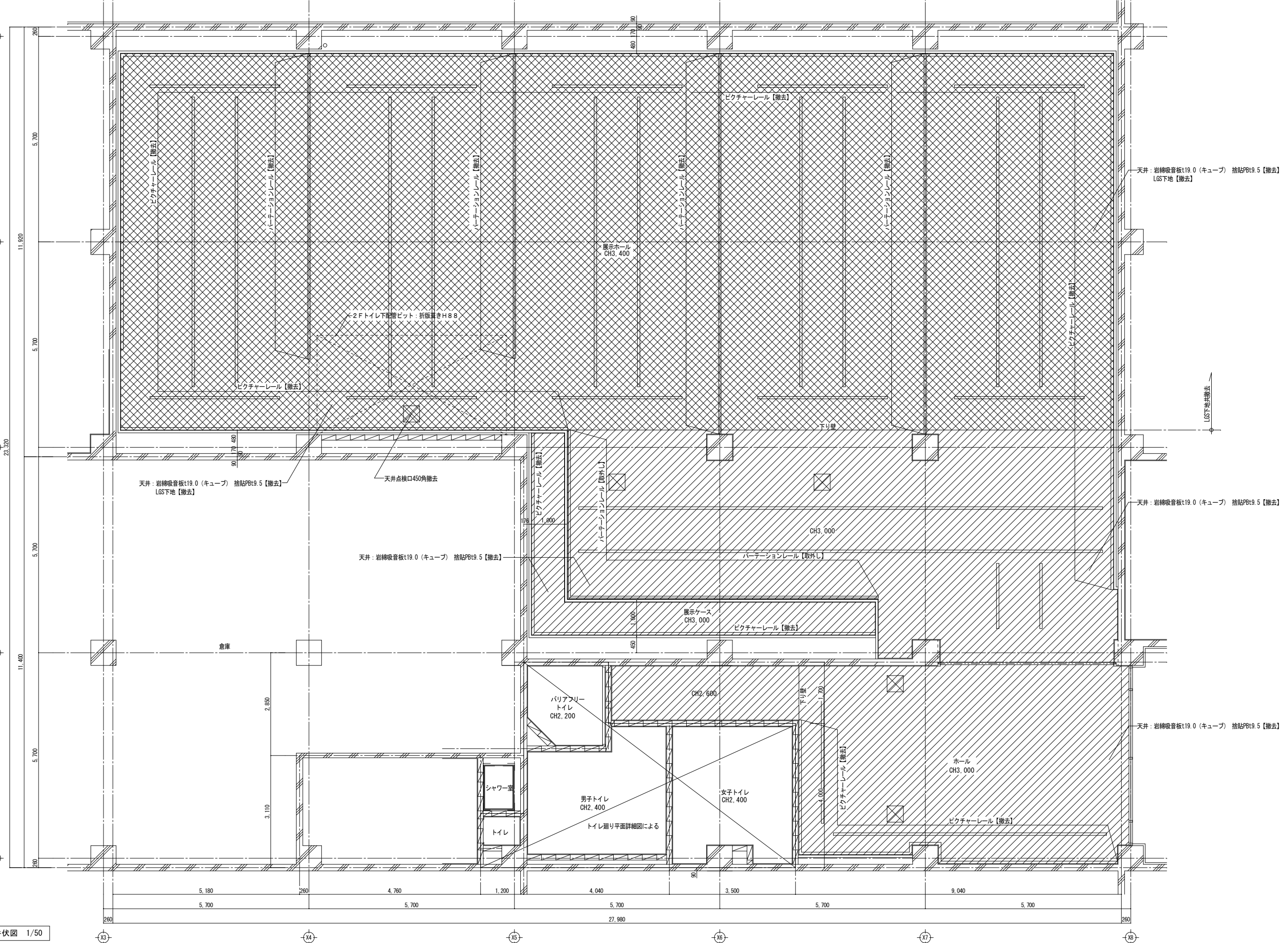


- 凡例
- 既設部分を示す。
 - 新設部分を示す。
 - 壁改修部分を示す。
 - 【OOO】 工事内容を示す。



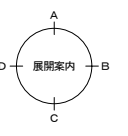
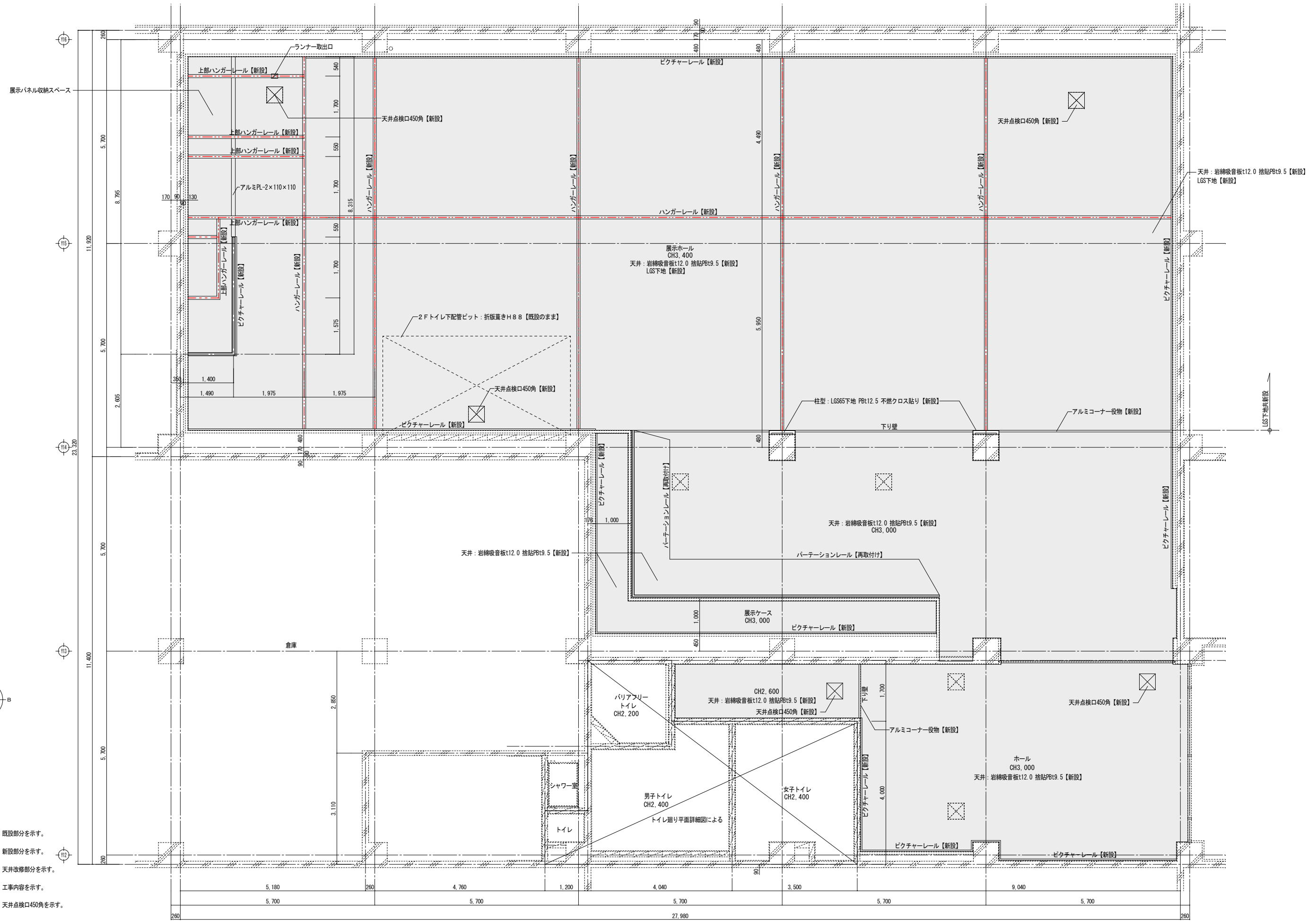
- 凡例
- 撤去部分を示す。
 - 下地共撤去部分を示す。
 - [OOO]** 工事内容を示す。
 - 天井点検口450角を示す。

改修前 展示ホール天井伏図 1/50



株式会社 近代設計コンサルタント
 広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第27978号
 TEL 082-243-5555 (代表) 小瀬 宏 治

年月日	整理番号	工事名	図面番号
		三原リージョンプラザ長寿命化改修工事(3期工事)(建築主体工事)	A
照査	設計担当	図面名	SCALE
		改修前 1階文化部門 展示ホール天井伏図	A1-1/50 A3-50%縮小



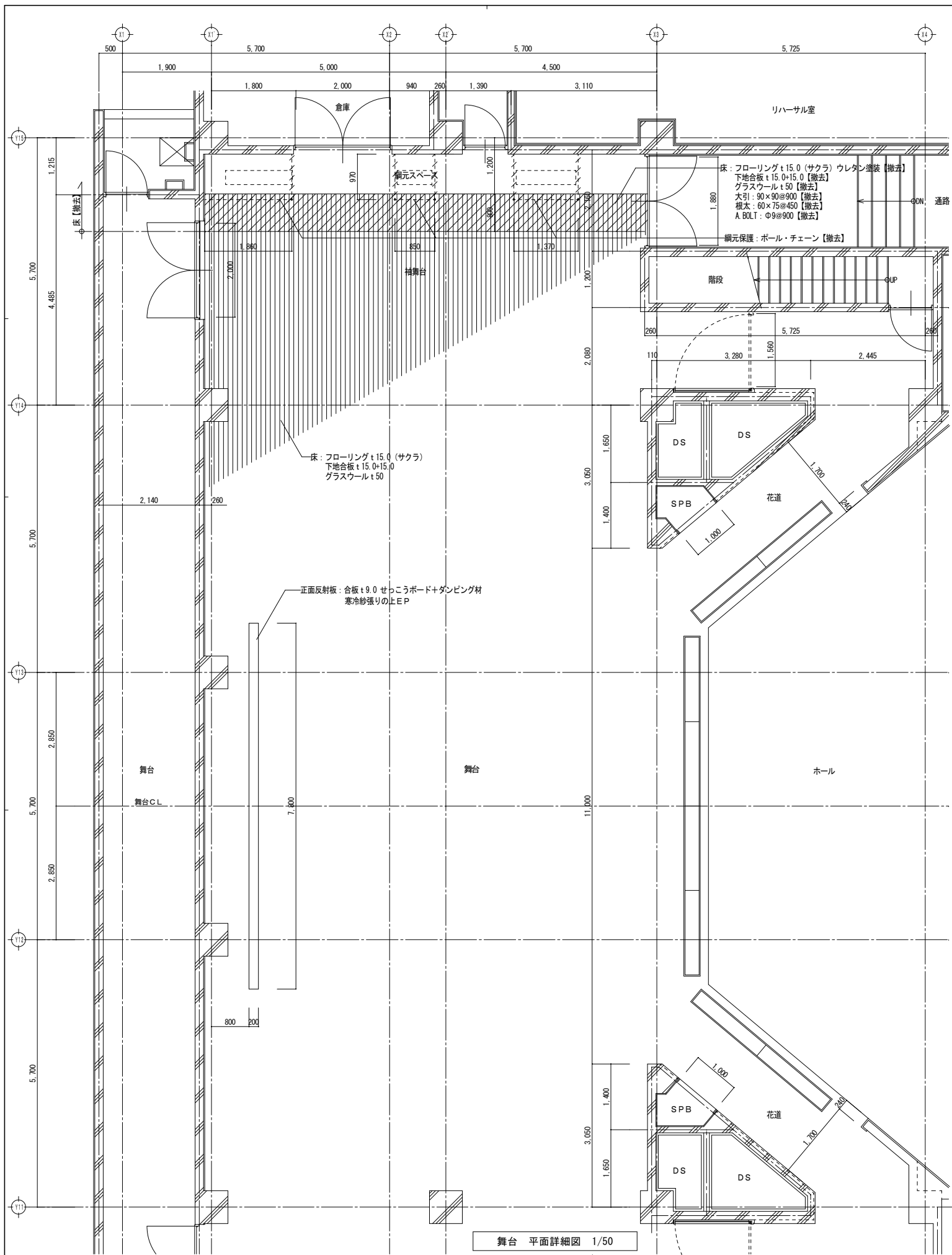
- 凡例
- 既設部分を示す。
 - 新設部分を示す。
 - 天井改修部分を示す。
 - 工事内容を示す。
 - 天井点検口450角を示す。

改修前 展示ホール天井伏図 1/50

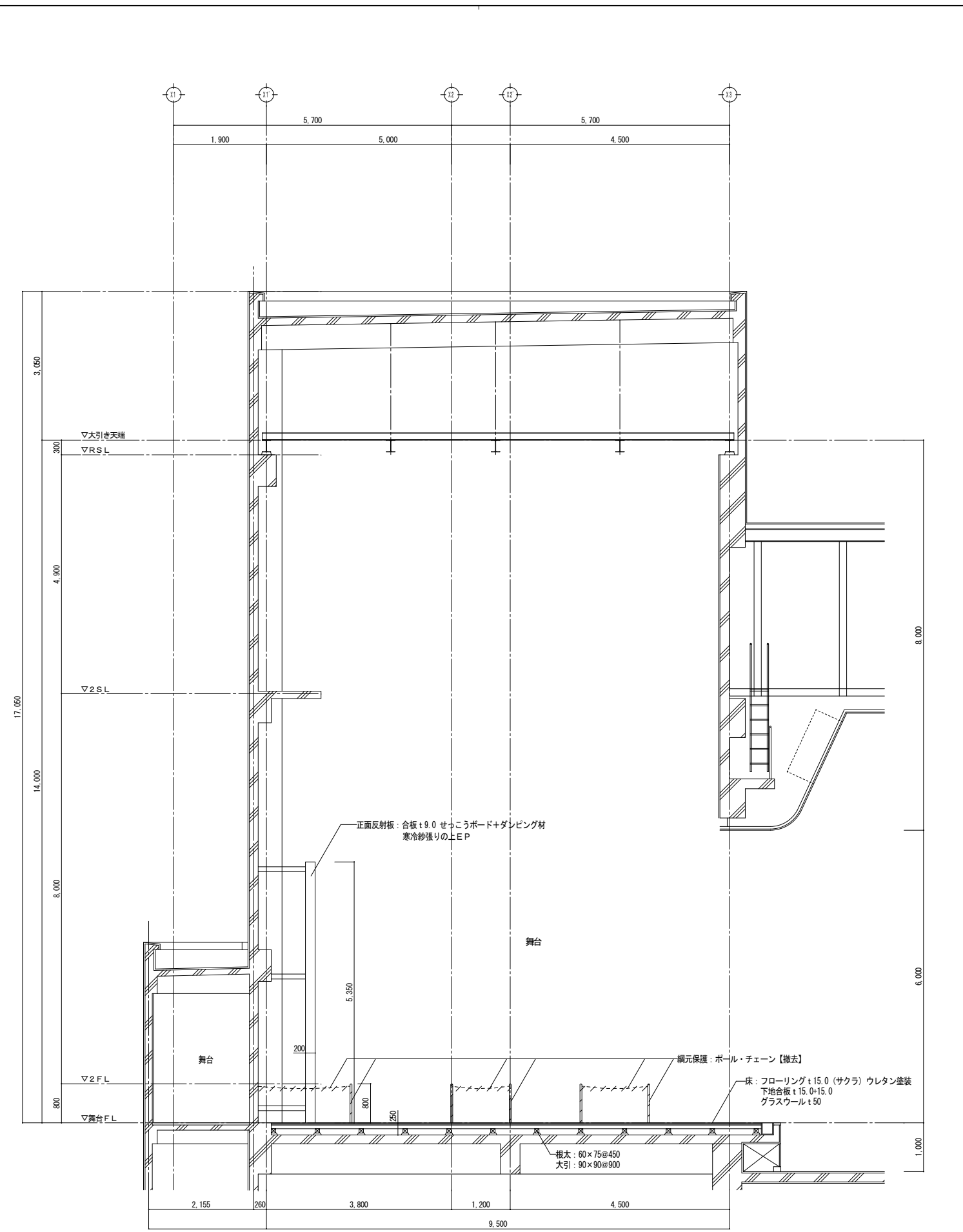
天井部ピクチャーレール：タキヤ：A-1A（アルマイト）同等品以上
 ステンレスフック：合計150個 タキヤ：Aフリーフック同等品以上 セフティハンガーセットA同等品以上

株式会社 近代設計コンサルタント
 広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第277978号
 TEL 082-243-5555 (代表) 小瀬 宏 治


年月日	整理番号	工事名	図面番号
		三原リージョンプラザ長寿命化改修工事(3期工事)(建築主体工事)	A
照査	設計	担当	図面名
			改修後 1階文化部門 展示ホール天井伏図
SCALE			図面番号
A 1-1/50			A
A 3-50%縮小			67

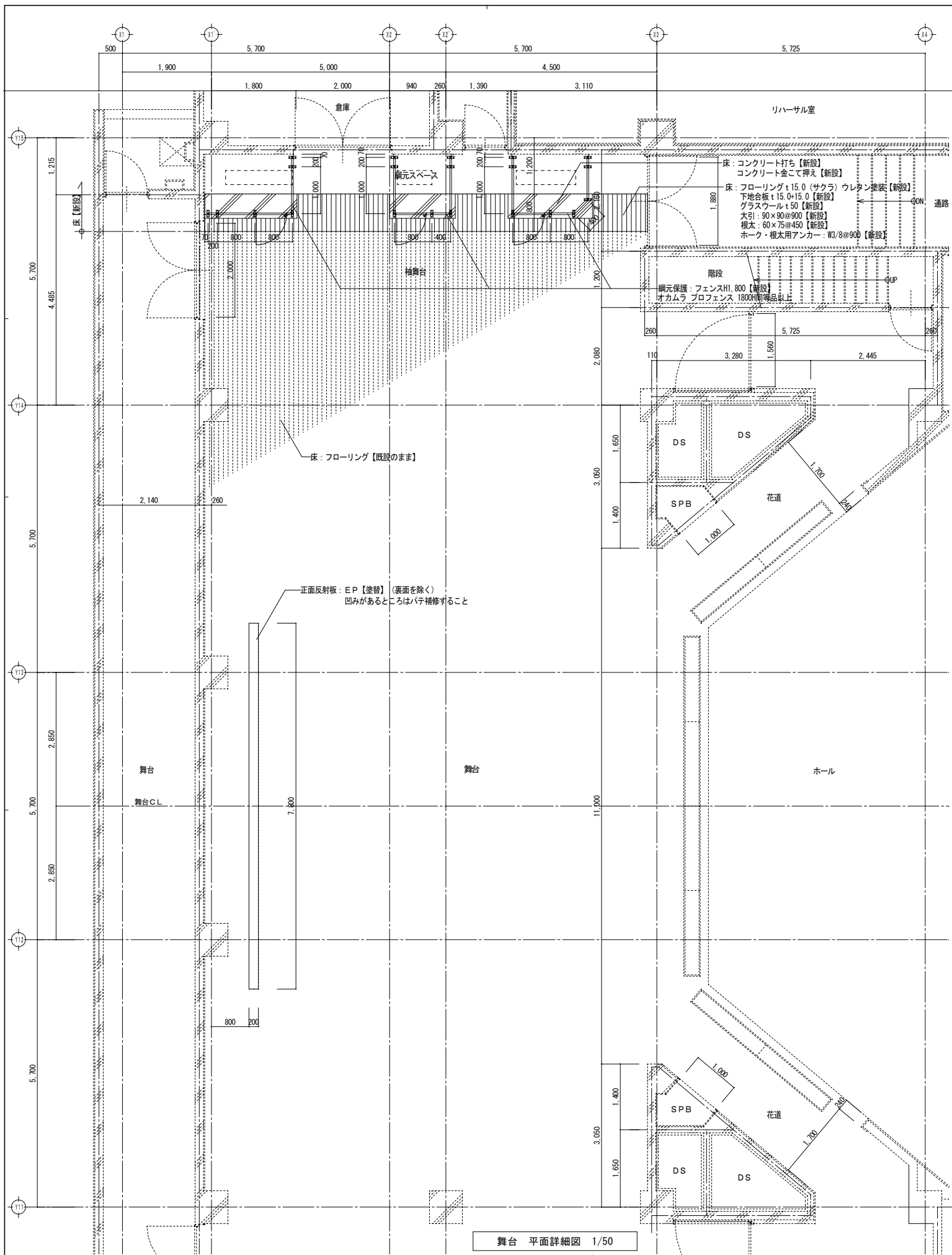


舞台 平面詳細図 1/50

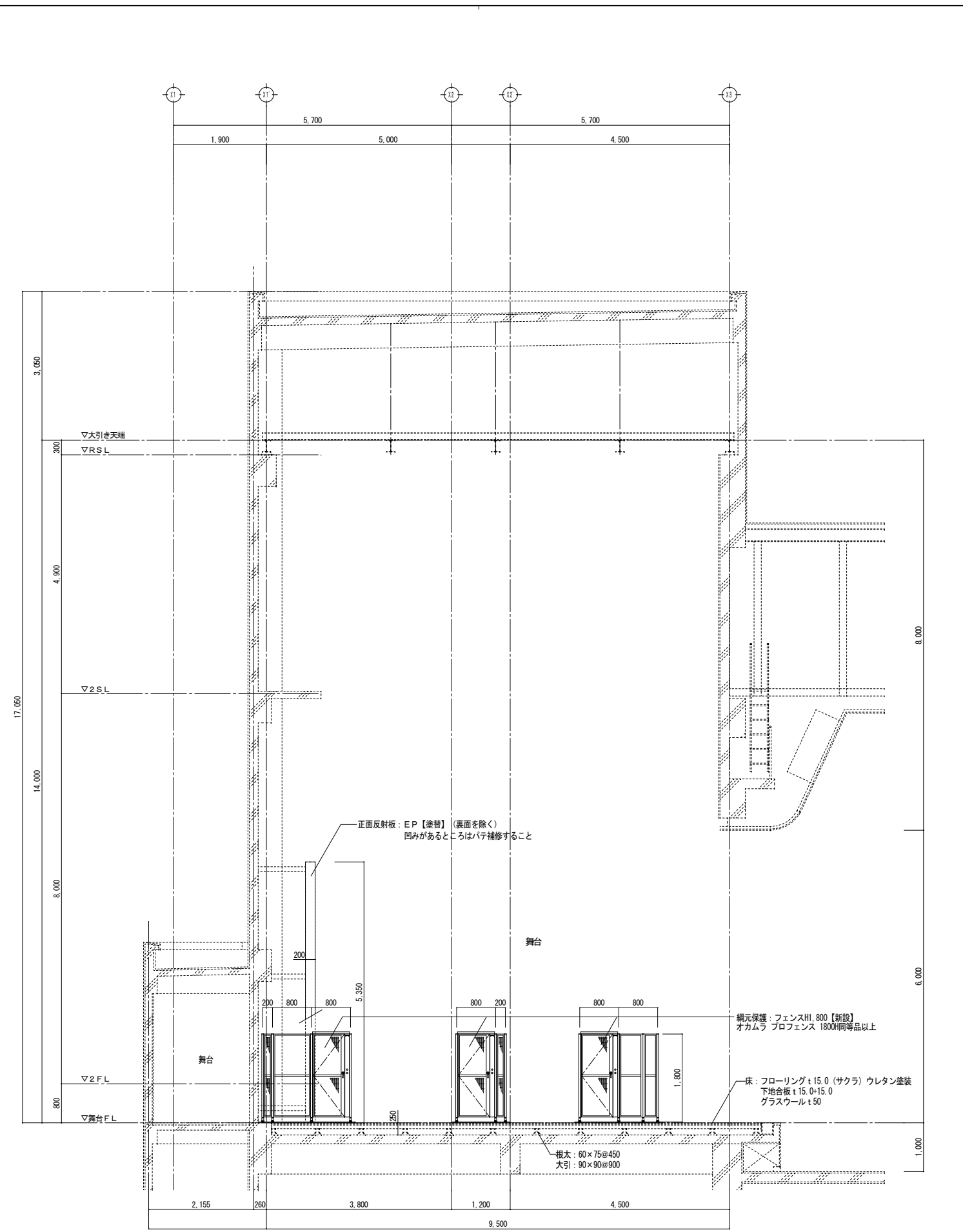


舞台 断面詳細図 1/50

凡例
 撤去部分を示す。
 [OOO] 工事内容を示す。

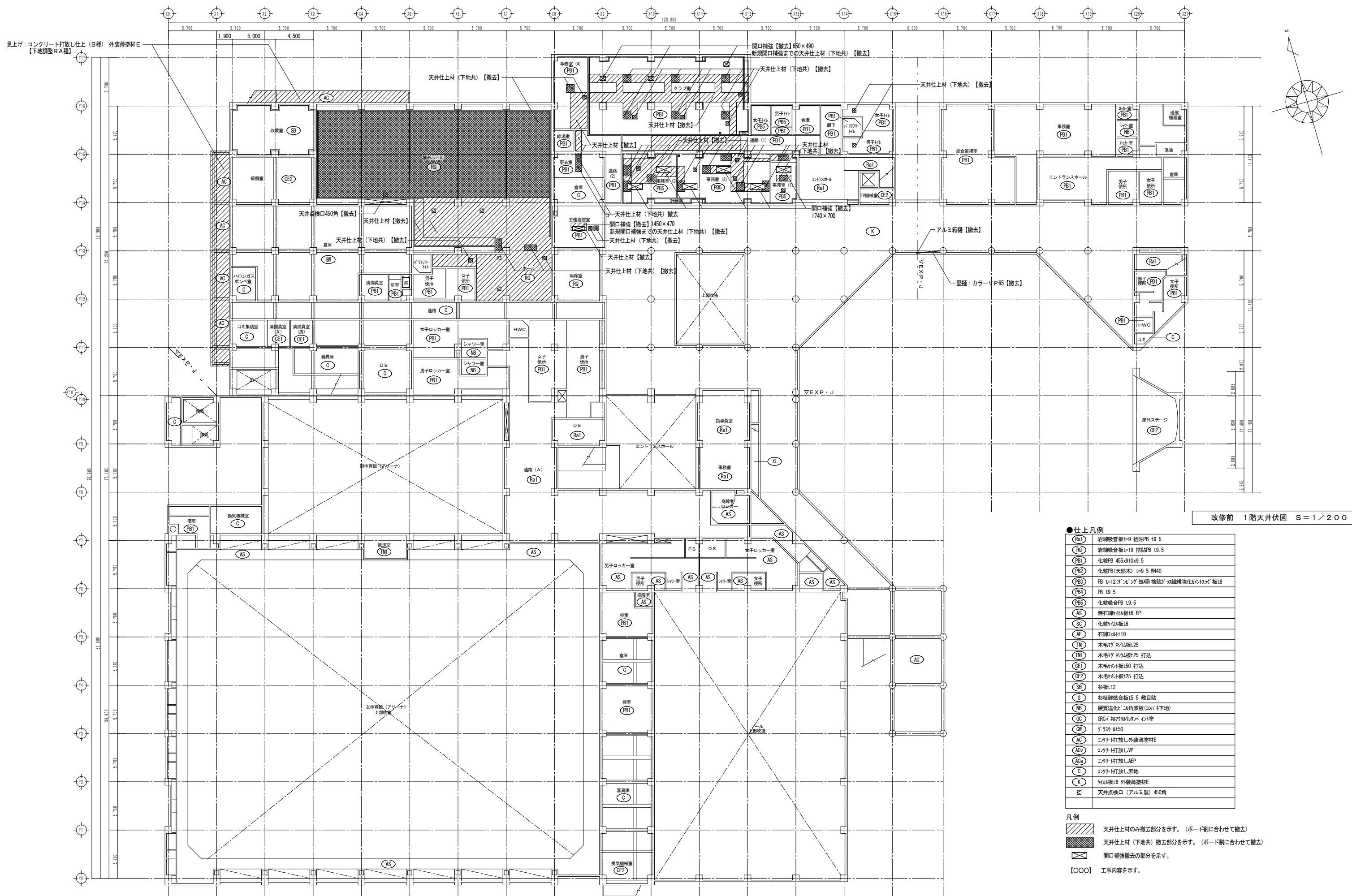


舞台 平面詳細図 1/50



舞台 断面詳細図 1/50

凡例
 撤去部分を示す。
 【OOO】 工事内容を示す。



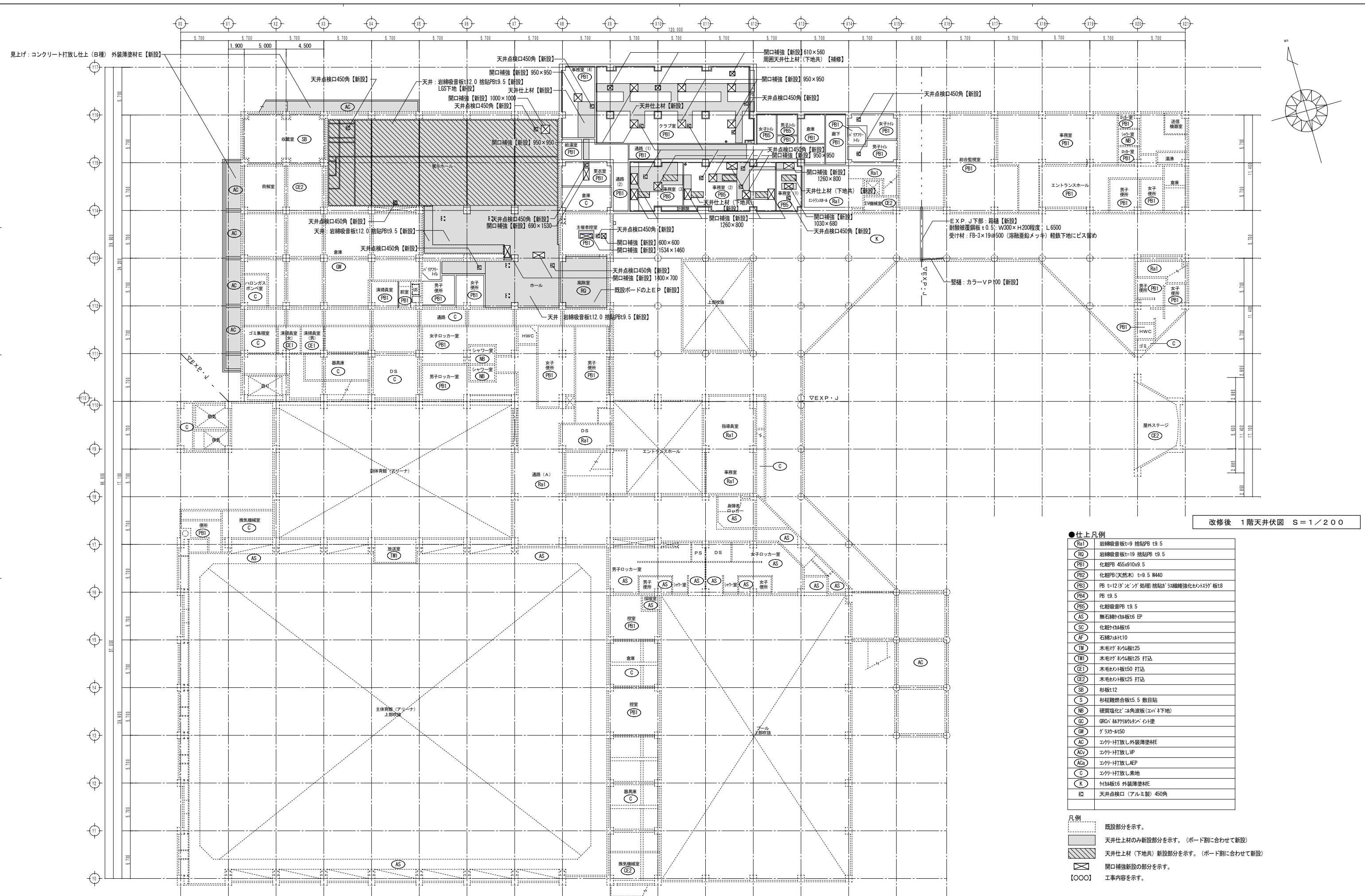
改修前 1階天井伏図 S=1/200

●仕上凡例

Ra1	岩綿吸音板t=9 捨貼PB t9.5
R0	岩綿吸音板t=19 捨貼PB t9.5
PB1	化粧PB 455x10x9.5
PB2	化粧PB(天然木) t=9.5 W440
PB3	PB t=12(9'メッキ)処理 捨貼 5mm繊維強化セメント入り板t8
PB4	PB t9.5
PB5	化粧吸音PB t9.5
AS	無石棉ケレン板t6 EP
SC	化粧ケレン板t6
AF	石棉ケレン板t10
TM	木毛マダケ板t25
TM1	木毛マダケ板t25 打込
CE1	木毛セト板t50 打込
CE2	木毛セト板t25 打込
SB	杉板t12
S	杉板難燃合板t5.5 敷目貼
NB	硬質塩化ビニル角波板(コバ)下地
GC	GRG 12.7mm厚ベニヤ合板
GN	ケレン板t50
AC	カラー打放し外装薄塗材E
ACa	カラー打放しAEP
C	カラー打放し素地
K	ケレン板t6 外装薄塗材E
SA	天井点検口(アルミ製)450角

凡例

- 天井仕上材のみ撤去部分を示す。(ボード割に合わせて撤去)
- 天井仕上材(下地共)撤去部分を示す。(ボード割に合わせて撤去)
- 開口補強撤去の部分を示す。
- [OOO] 工事内容を示す。

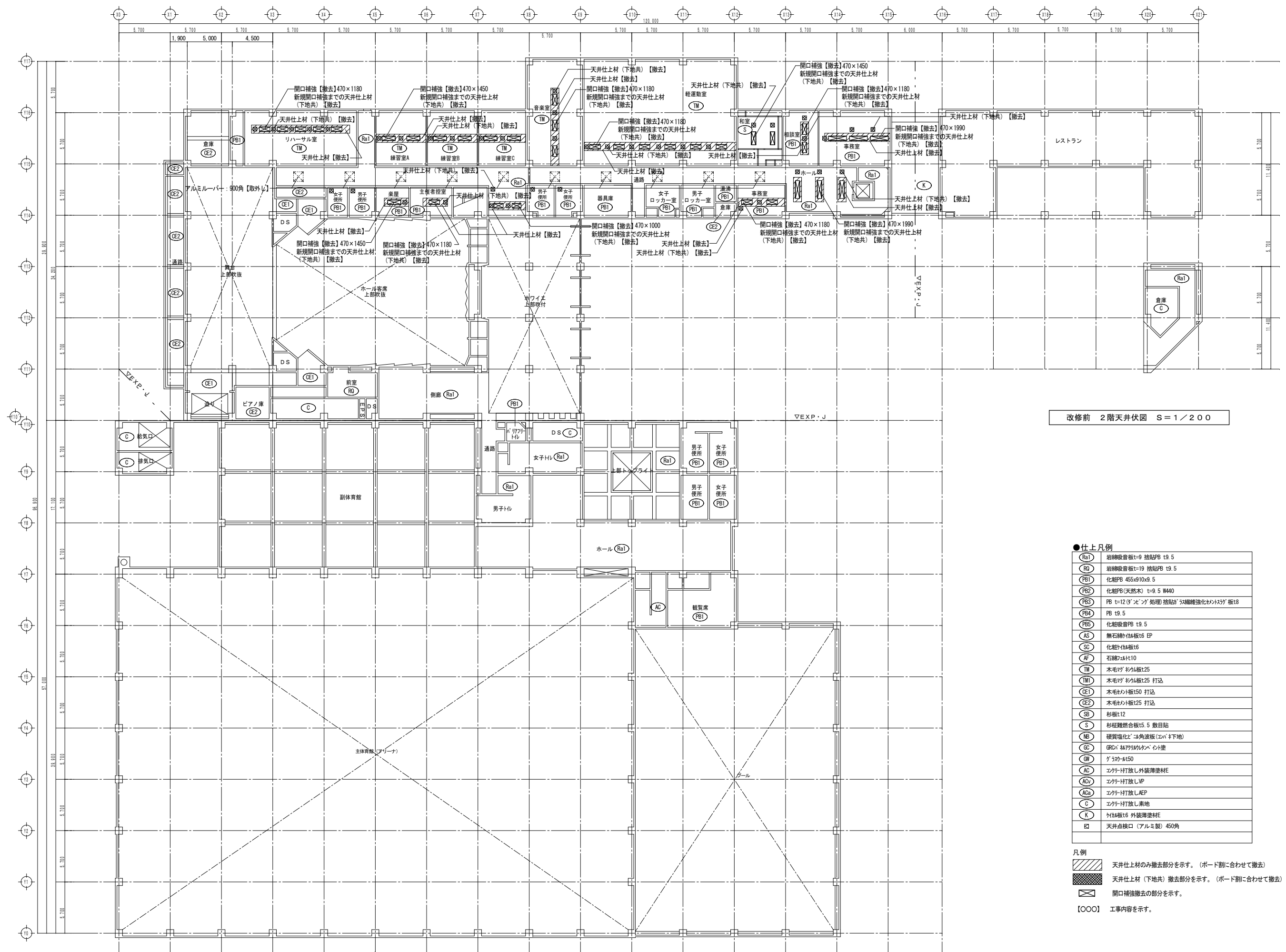


改修後 1階天井伏図 S=1/200

●仕上凡例

Ra1	岩綿吸音板t=9 捨貼PB t9.5
R0	岩綿吸音板t=19 捨貼PB t9.5
PB1	化粧PB 455x910x9.5
PB2	化粧PB(天然木) t=9.5 W440
PB3	PB t=12 (9'メッキ) 処理 捨貼PB 5mm繊維強化セメントボードt8
PB4	PB t9.5
PB5	化粧吸音PB t9.5
AS	無石綿付M板t6 EP
SC	化粧M板t6
AF	石綿付M板t10
TM	木毛マツ 杉M板t25
TM1	木毛マツ 杉M板t25 打込
CE1	木毛セトM板t50 打込
CE2	木毛セトM板t25 打込
SB	杉板t12
S	杉板難燃合板t5.5 敷目貼
NE	硬質塩化ビニル角波板(コバ)下地
GC	GRG 6mm厚/10mm厚ベイト塗
GM	グラスウールt50
AC	カラー打放し外装薄塗材E
AC1	カラー打放しMP
AC2	カラー打放しAEP
C	カラー打放し素地
K	ケム板t6 外装薄塗材E
□	天井点検口(アルミ製) 450角

- 凡例
- 既設部分を示す。
 - 天井仕上材のみ新設部分を示す。(ボード割に合わせて新設)
 - 天井仕上材(下地共)新設部分を示す。(ボード割に合わせて新設)
 - 開口補強新設の部分を示す。
 - [○○○] 工事内容を示す。

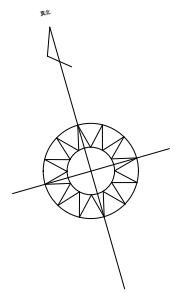
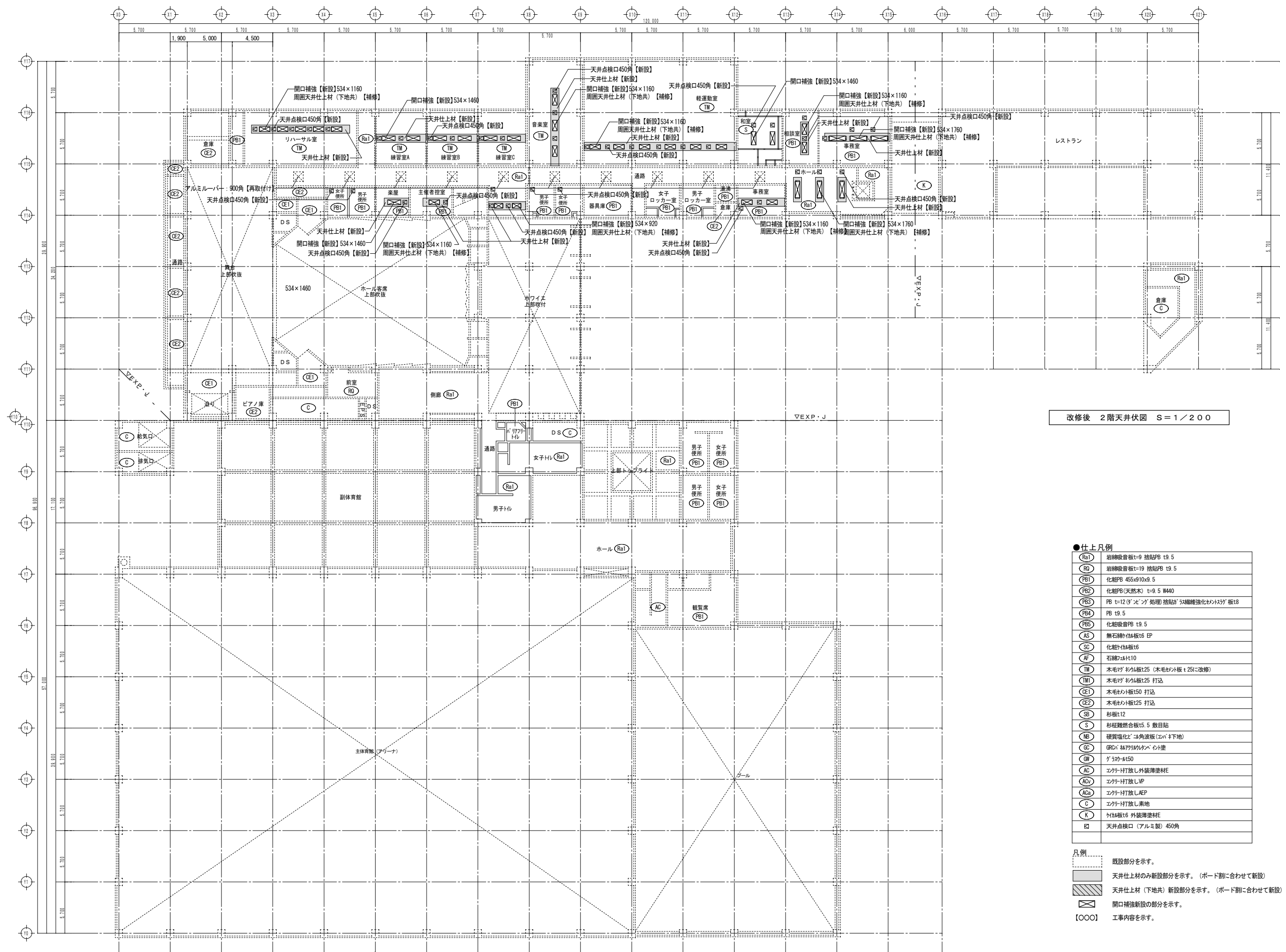


改修前 2階天井伏図 S=1/200

●仕上凡例

Ra1	岩綿吸音板t=9 捨貼PB t9.5
R0	岩綿吸音板t=19 捨貼PB t9.5
PB1	化粧PB 455x10x9.5
PB2	化粧PB(天然木) t=9.5 W440
PB3	PB t=12(9'メ'メ) 処理 捨貼ラミネート強化セメント石膏板t8
PB4	PB t9.5
PB5	化粧吸音PB t9.5
AS	無石棉石膏板t6 EP
SC	化粧石膏板t6
AF	石膏ボードt10
TM	木毛セメント板t25
TM1	木毛セメント板t25 打込
CE1	木毛セメント板t50 打込
CE2	木毛セメント板t25 打込
SB	杉板t12
S	杉板難燃合板t5.5 敷目貼
NE	硬質塩化ビニル波板(コバ)下地
GC	GRG 特殊珪藻土ベント塗
GM	グラスウールt50
AC	コクリト打放し外装薄塗材E
AC1	コクリト打放しMP
AC2	コクリト打放しAEP
C	コクリト打放し素地
K	化粧板t6 外装薄塗材E
IS	天井点検口(アルミ製) 450角

- 凡例
- 天井上材のみ撤去部分を示す。(ボード割に合わせて撤去)
 - 天井上材(下地共)撤去部分を示す。(ボード割に合わせて撤去)
 - 開口補強撤去の部分を示す。
 - [OOO]** 工事内容を示す。

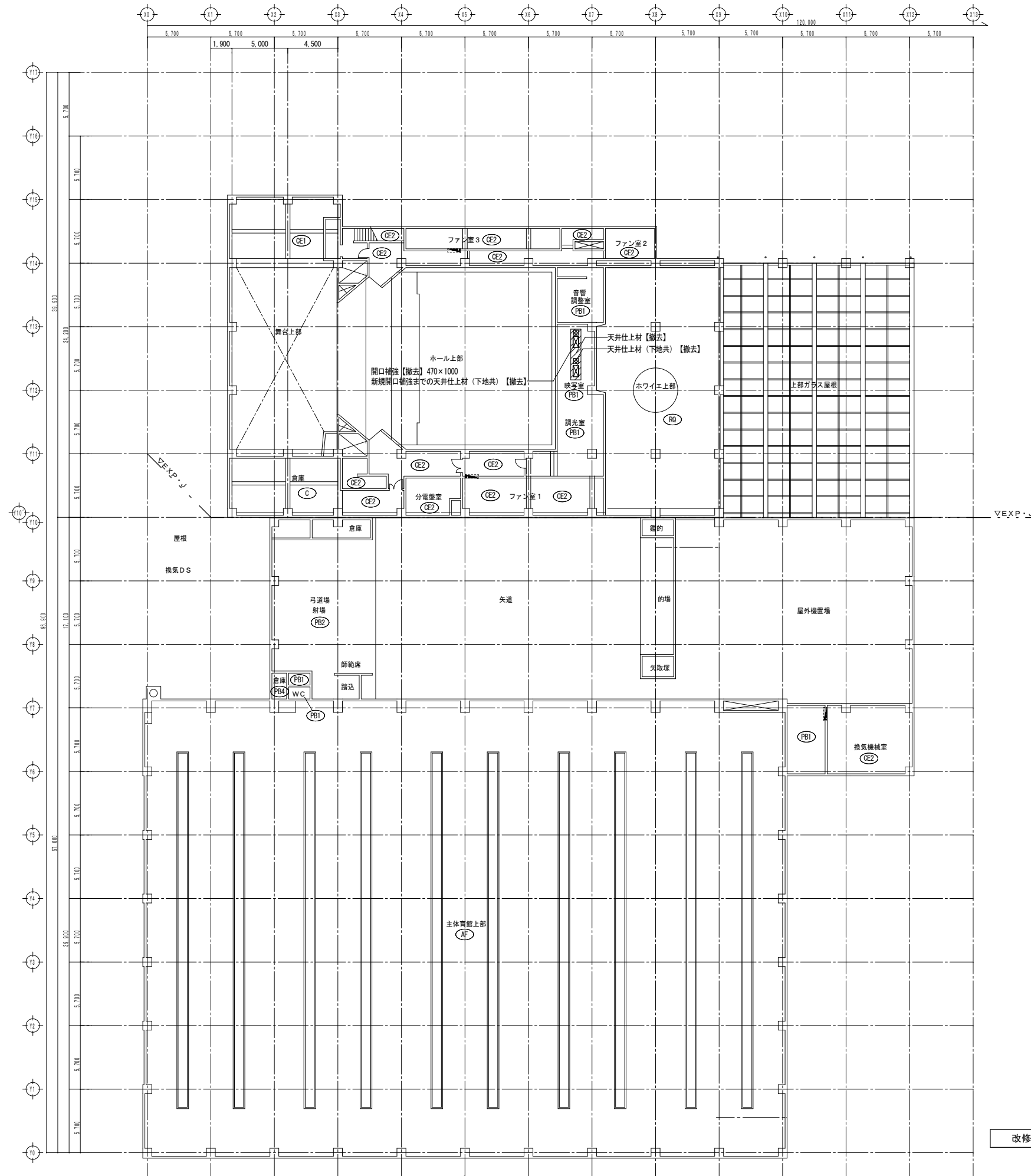
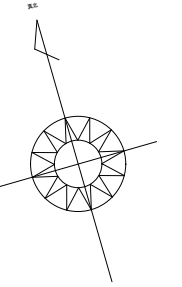


改修後 2階天井伏図 S=1/200

●仕上凡例

Ra1	岩綿吸音板t=9 捨貼PB t9.5
R0	岩綿吸音板t=19 捨貼PB t9.5
PB1	化粧PB 455x10x9.5
PB2	化粧PB(天然木) t=9.5 W440
PB3	PB t=12(9'メッキ処理)捨貼ラミネート強化セメント系75°板t8
PB4	PB t9.5
PB5	化粧吸音PB t9.5
AS	無石棉サッシ板t6 EP
SC	化粧サッシ板t6
AF	石綿サッシt10
TM	木毛サッシ板t25 (木毛サッシ板t25に改修)
TM1	木毛サッシ板t25 打込
CE1	木毛サッシ板t50 打込
CE2	木毛サッシ板t25 打込
SB	杉板t12
S	杉板難燃合板t5.5 敷目貼
NE	硬質塩化ビニル波板(コバ)下地
GC	GRG 600x600x10mmベント塗
GM	グラス板t50
AC	コクリト打放し外装薄塗材E
AC1	コクリト打放しMP
AC2	コクリト打放しAEP
C	コクリト打放し素地
K	化粧板t6 外装薄塗材E
IS	天井点検口(アルミ製)450角

- 凡例
- 既設部分を示す。
 - 天井仕上材のみ新設部分を示す。(ボード割に合わせて新設)
 - 天井仕上材(下地共)新設部分を示す。(ボード割に合わせて新設)
 - 開口補強新設の部分を示す。
 - [OOO] 工事内容を示す。

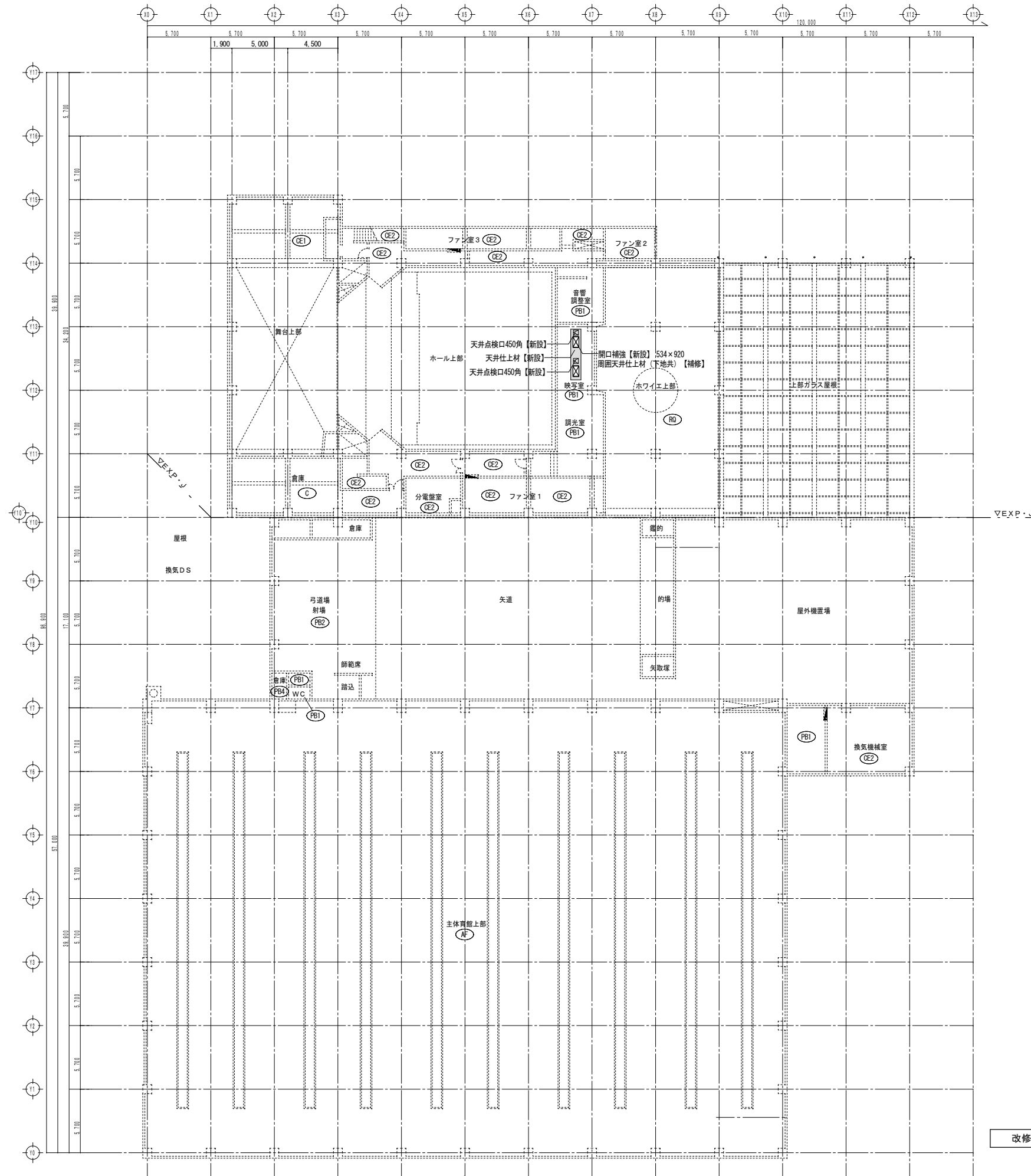
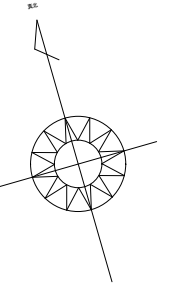


改修前 3階天井伏図 S=1/200

●仕上凡例

Ra1	岩綿吸音板 t=9 捨貼PB t9.5
RO	岩綿吸音板 t=19 捨貼PB t9.5
PB1	化粧PB 455x10x9.5
PB2	化粧PB (天然木) t=9.5 W440
PB3	PB t=12 (9'メソング) 処理 捨貼ラミネート強化セメント系PB板 t8
PB4	PB t9.5
PB5	化粧吸音PB t9.5
AS	無石棉強化板 t6 EP
SC	化粧強化板 t6
AF	石綿強化板 t10
TM	木毛珪藻土板 t25
TM1	木毛珪藻土板 t25 打込
CE1	木毛珪藻土板 t50 打込
CE2	木毛珪藻土板 t25 打込
SB	杉板 t12
S	杉板難燃合板 t5.5 敷目貼
NE	硬質塩化ビニル角波板 (天井下地)
GC	GRG 4477191/10ベント塗
GM	グラスウール t50
AC	カラー打放し 外装薄塗材E
AC1	カラー打放し MP
AC2	カラー打放し AEP
C	カラー打放し 素地
K	化粧板 t6 外装薄塗材E
IS	天井点検口 (アルミ製) 450角

- 凡例
- 天井仕上材のみ撤去部分を示す。(ボード割に合わせて撤去)
 - 天井仕上材 (下地共) 撤去部分を示す。(ボード割に合わせて撤去)
 - 開口補強撤去の部分を示す。
 - [OOO] 工事内容を示す。

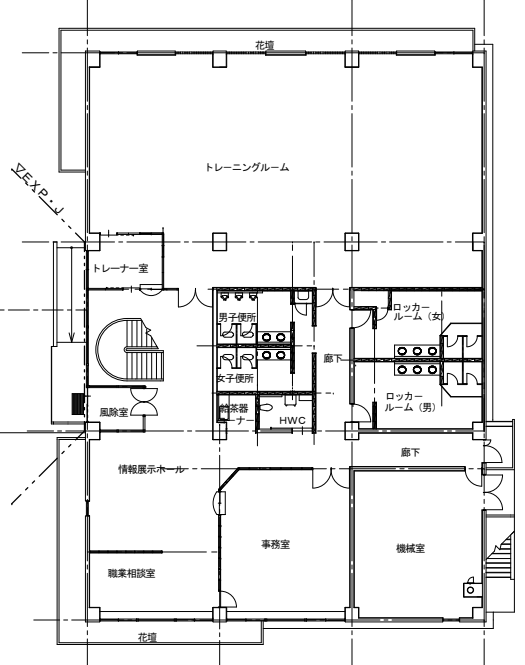
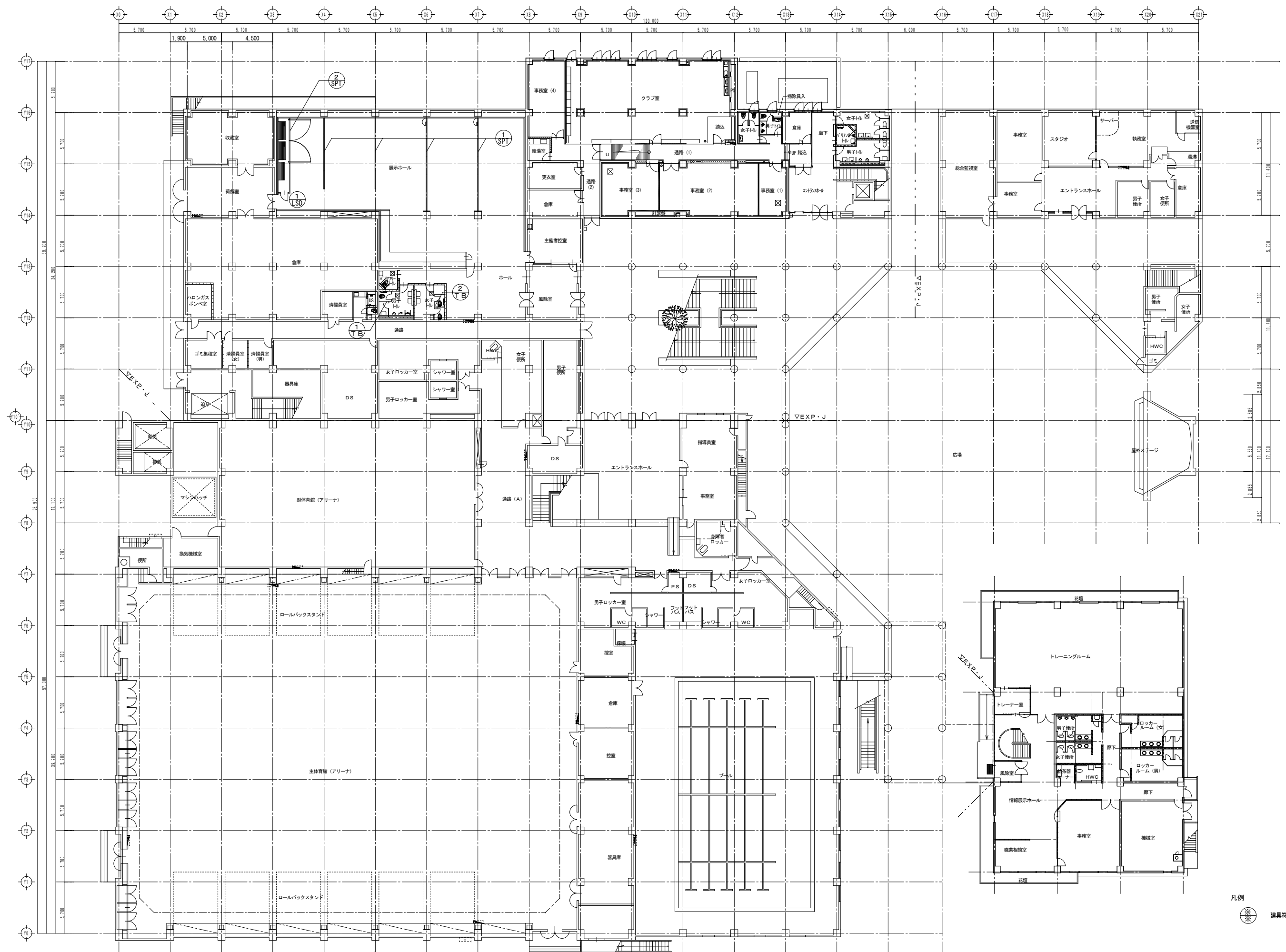


●仕上凡例

Ra1	岩綿吸音板 t=9 捨貼PB t9.5
RO	岩綿吸音板 t=19 捨貼PB t9.5
PB1	化粧PB 455x10x9.5
PB2	化粧PB (天然木) t=9.5 W440
PB3	PB t=12 (9'メソング) 処理 捨貼が 5mm繊維強化セメント板 t8
PB4	PB t9.5
PBS	化粧吸音PB t9.5
AS	無石棉強化M板 t6 EP
SC	化粧強化M板 t6
AF	石綿強化M板 t10
TM	木毛マダ 杉M板 t25
TM1	木毛マダ 杉M板 t25 打込
CE1	木毛セト板 t50 打込
CE2	木毛セト板 t25 打込
SB	杉板 t12
S	杉板難燃合板 t5.5 敷目貼
NE	硬質塩化ビニル角波板 (コウキ下地)
GC	GRC 珪砂質珪砂ペイント塗
GM	グラスウール t50
AC	コウキ打放し 外装薄塗材 E
AC1	コウキ打放し MP
AC2	コウキ打放し AEP
C	コウキ打放し 素地
K	化粧M板 t6 外装薄塗材 E
□	天井点検口 (アルミ製) 450角

- 凡例
- 既設部分を示す。
 - 天井仕上材のみ新設部分を示す。(ボード割に合わせて新設)
 - 天井仕上材 (下地共) 新設部分を示す。(ボード割に合わせて新設)
 - 開口補強新設の部分を示す。
 - [○○○] 工事内容を示す。

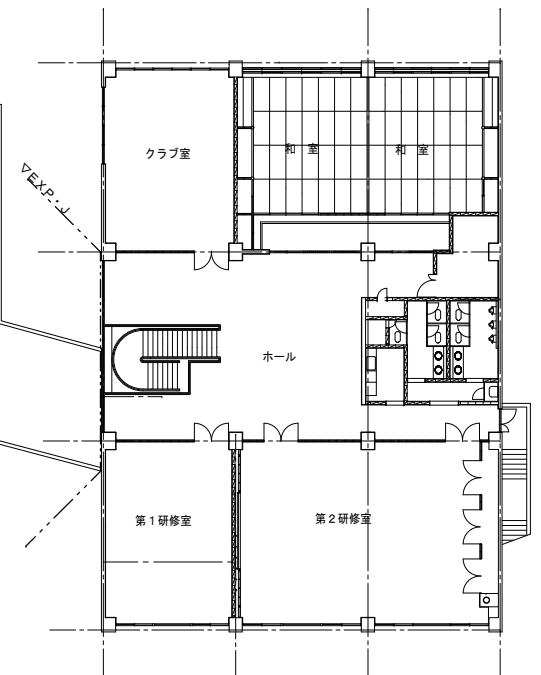
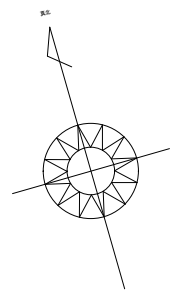
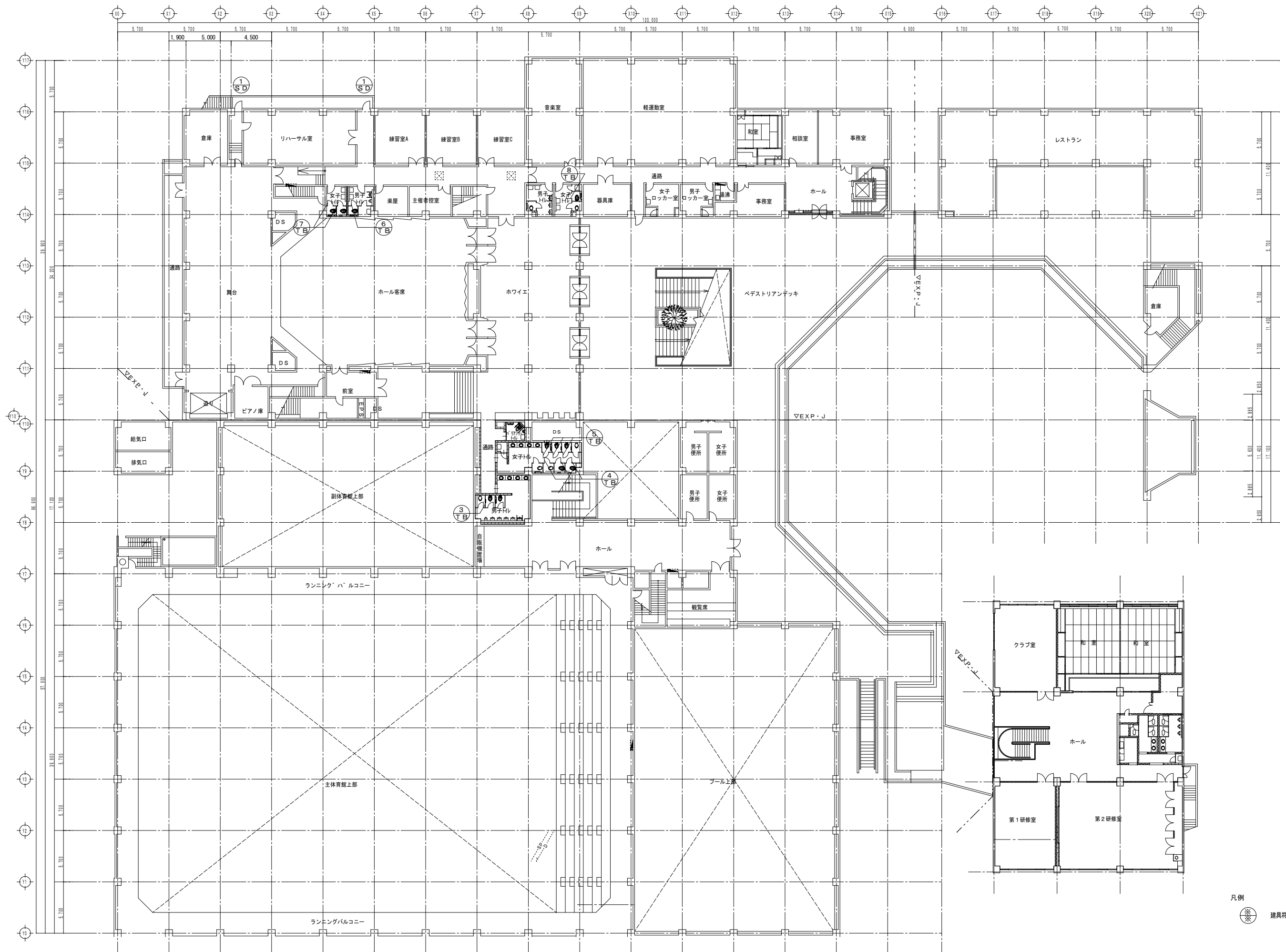
改修後 3階天井伏図 S=1/200



凡例
 建具符号を示す。

株式会社 近代設計コンサルタント
 広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第27978号
 TEL 082-243-5555 (代表) 小瀬 宏 治

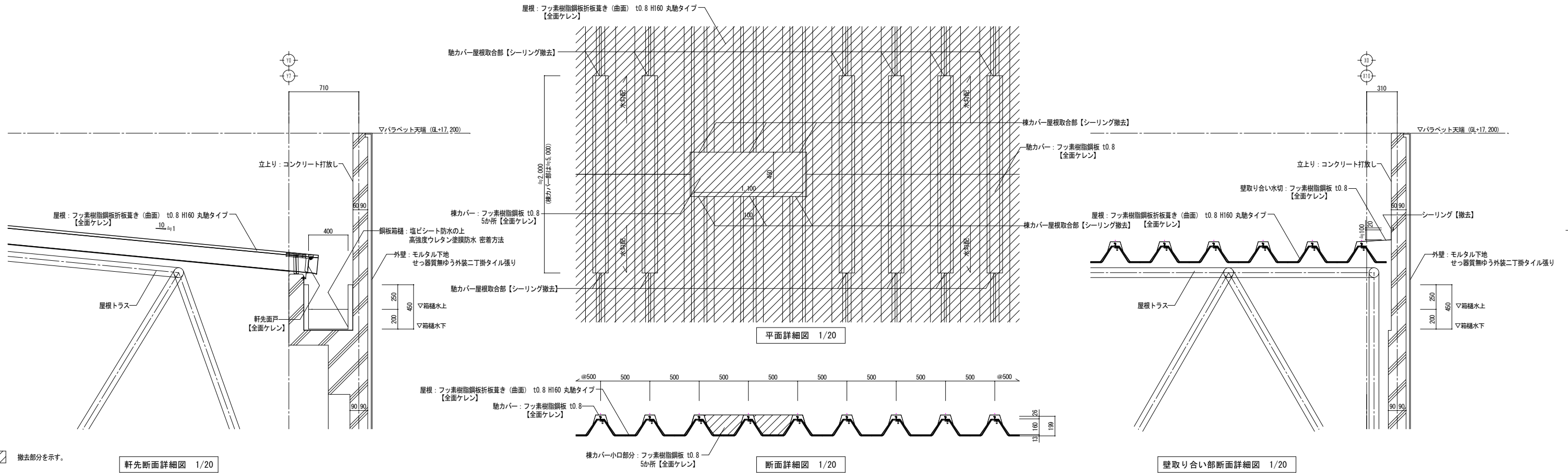
年月日	整理番号	工事名	図面番号
		三原リージョンプラザ長寿命化改修工事 (3期工事) (建築主体工事)	A
照査	設計担当	図面名	76
		改修後 1階建具配置図	
SCALE			
A1-1/200			
A3-50%縮小			



凡例
 建具符号を示す。

株式会社 近代設計コンサルタント
 広島市中区国泰寺町1-8-30 (SHビル) 一級建築士 登録第27978号
 TEL 082-243-5555 (代表) 小瀬 宏 治

年月日	登録番号	工事名	図面番号
		三原リージョンプラザ長寿命化改修工事 (3期工事) (建築主体工事)	A
照査	設計担当	図面名	SCALE
		改修後 2階建具配置図	A1-1/200 A3-50%縮小



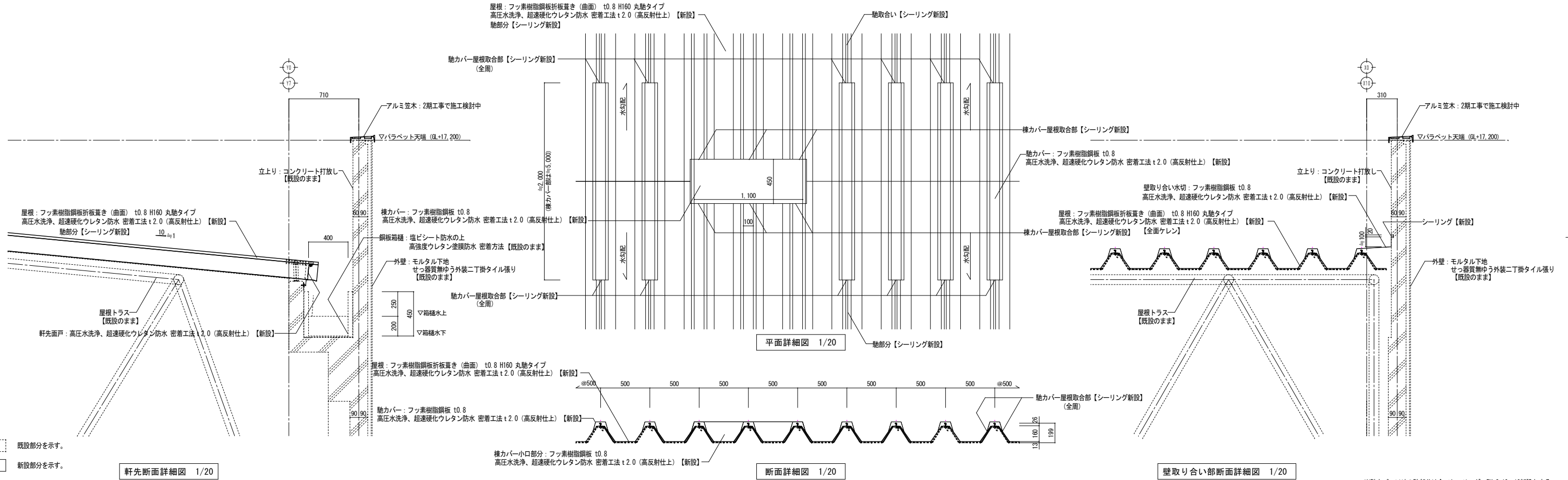
凡例
 撤去部分を示す。
 工事内容を示す。

軒先断面詳細図 1/20

断面詳細図 1/20

壁取り付け部断面詳細図 1/20

※ケレンはR8種とする。



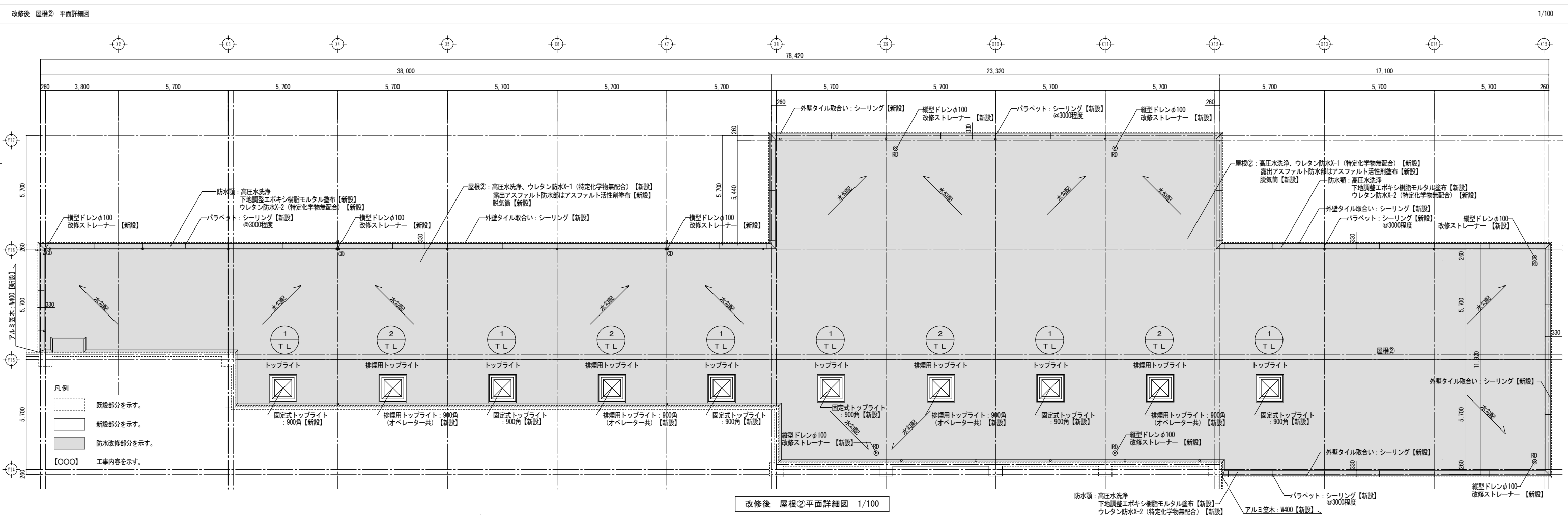
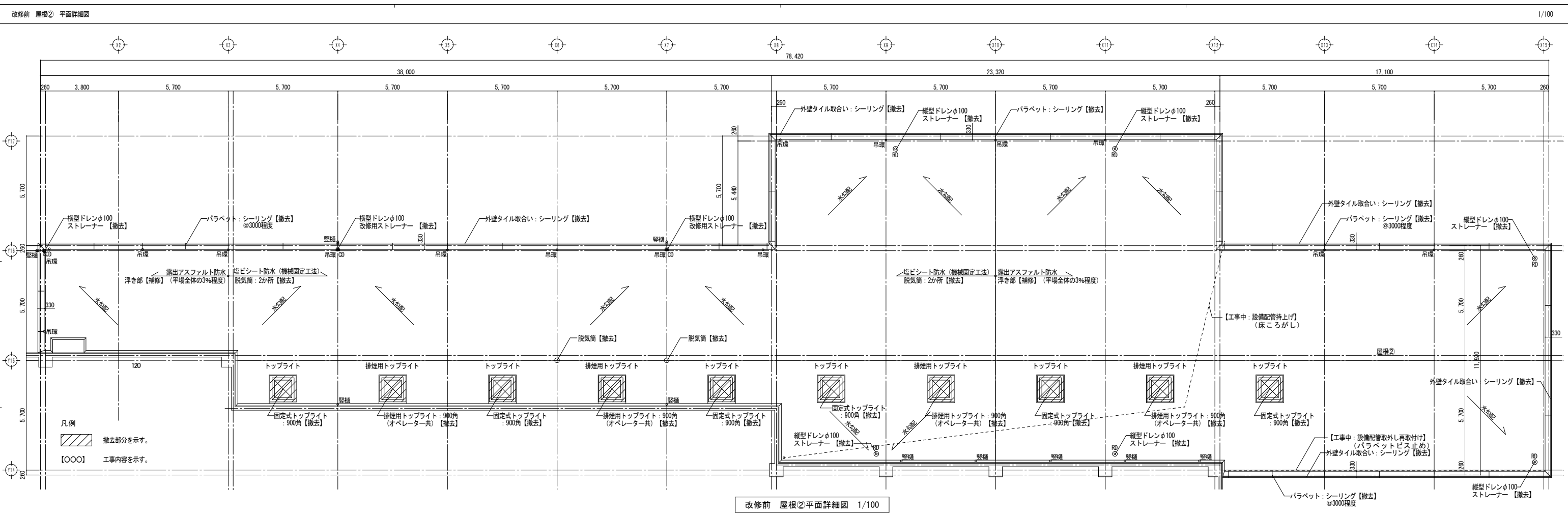
凡例
 既設部分を示す。
 新設部分を示す。
 工事内容を示す。

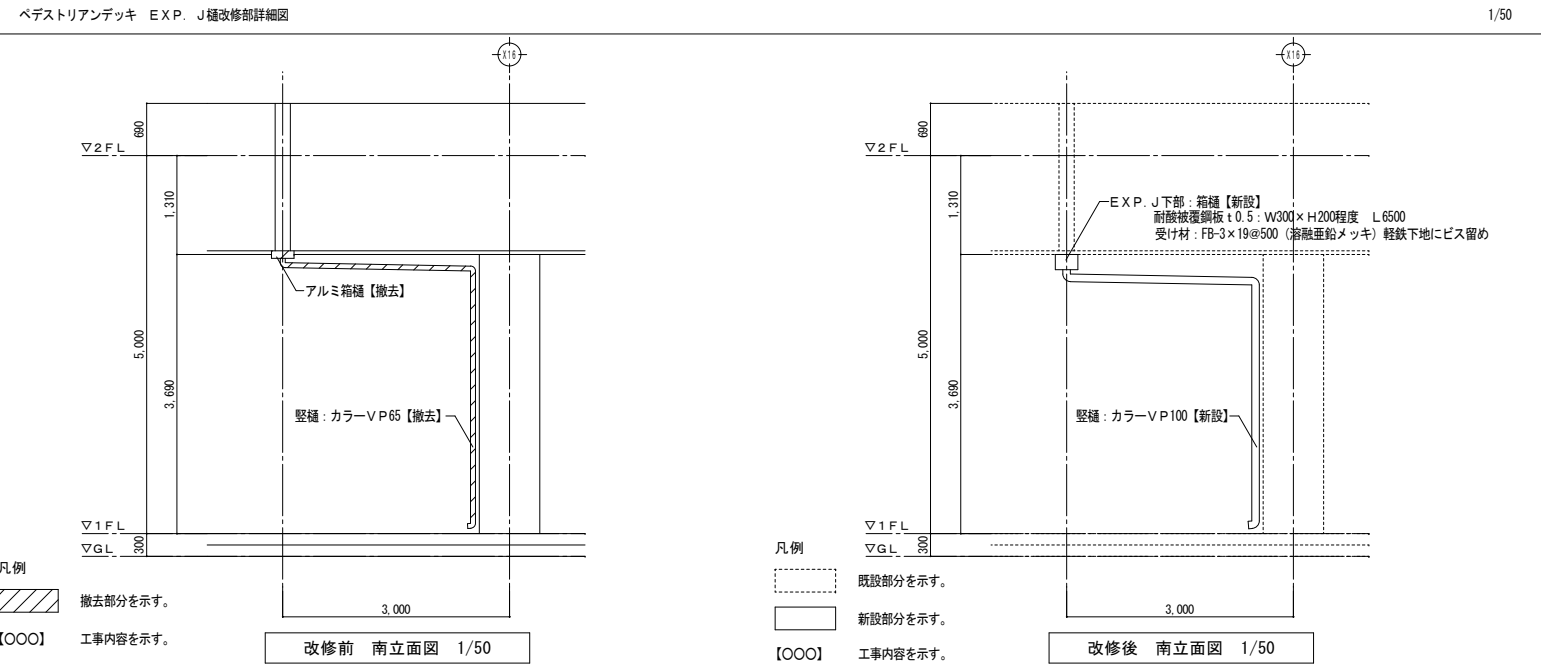
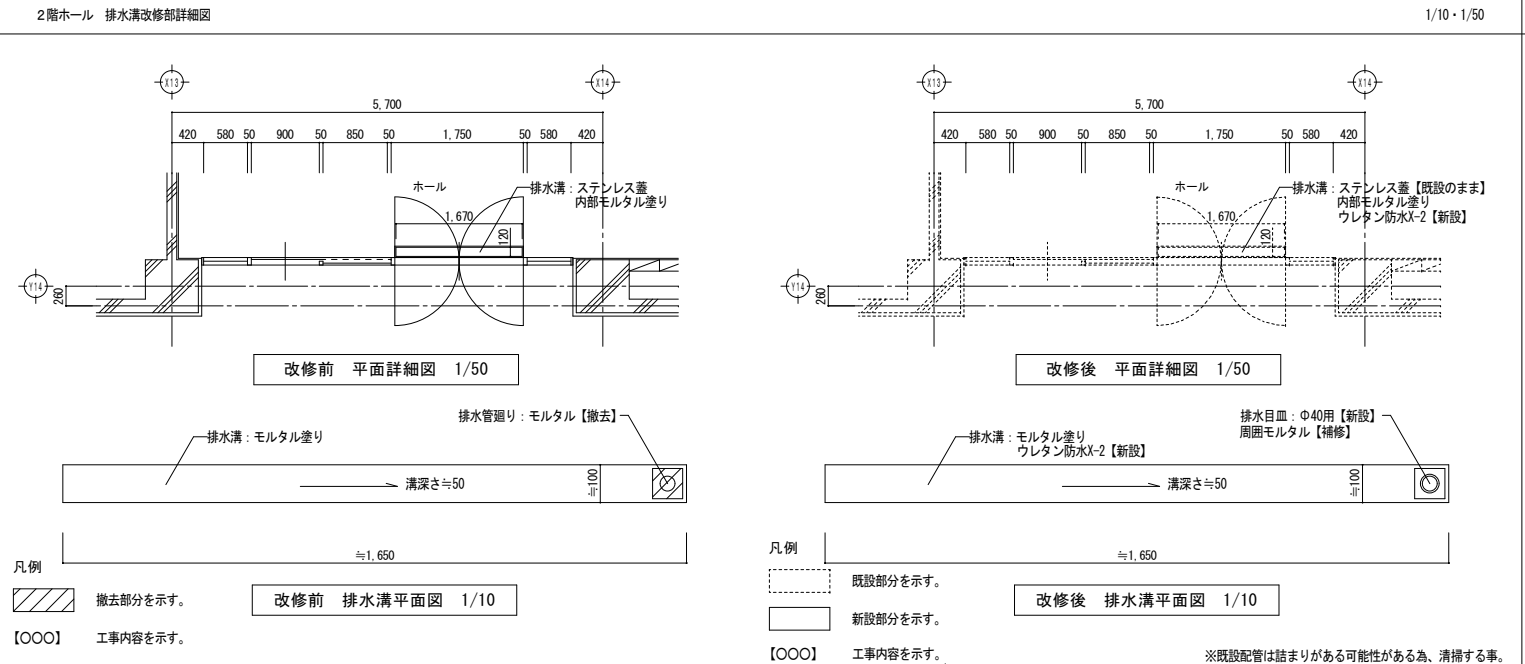
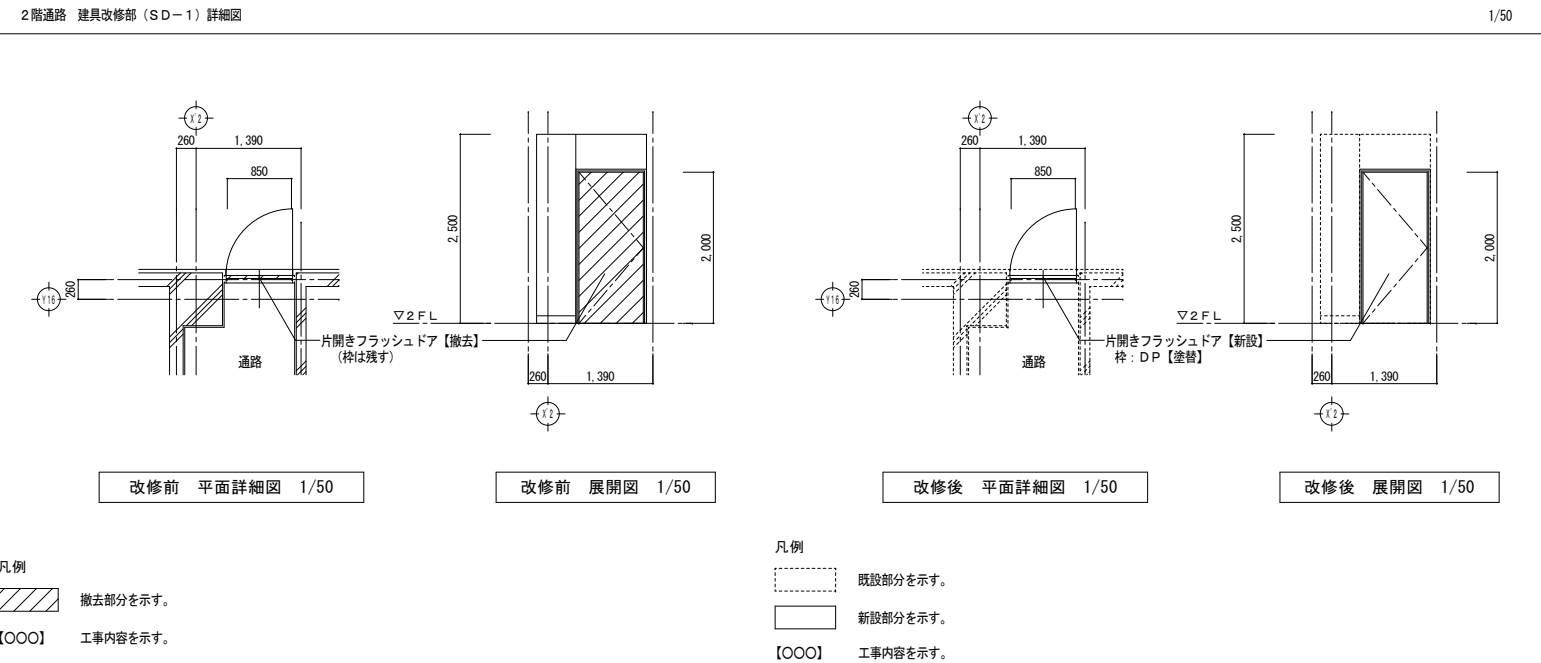
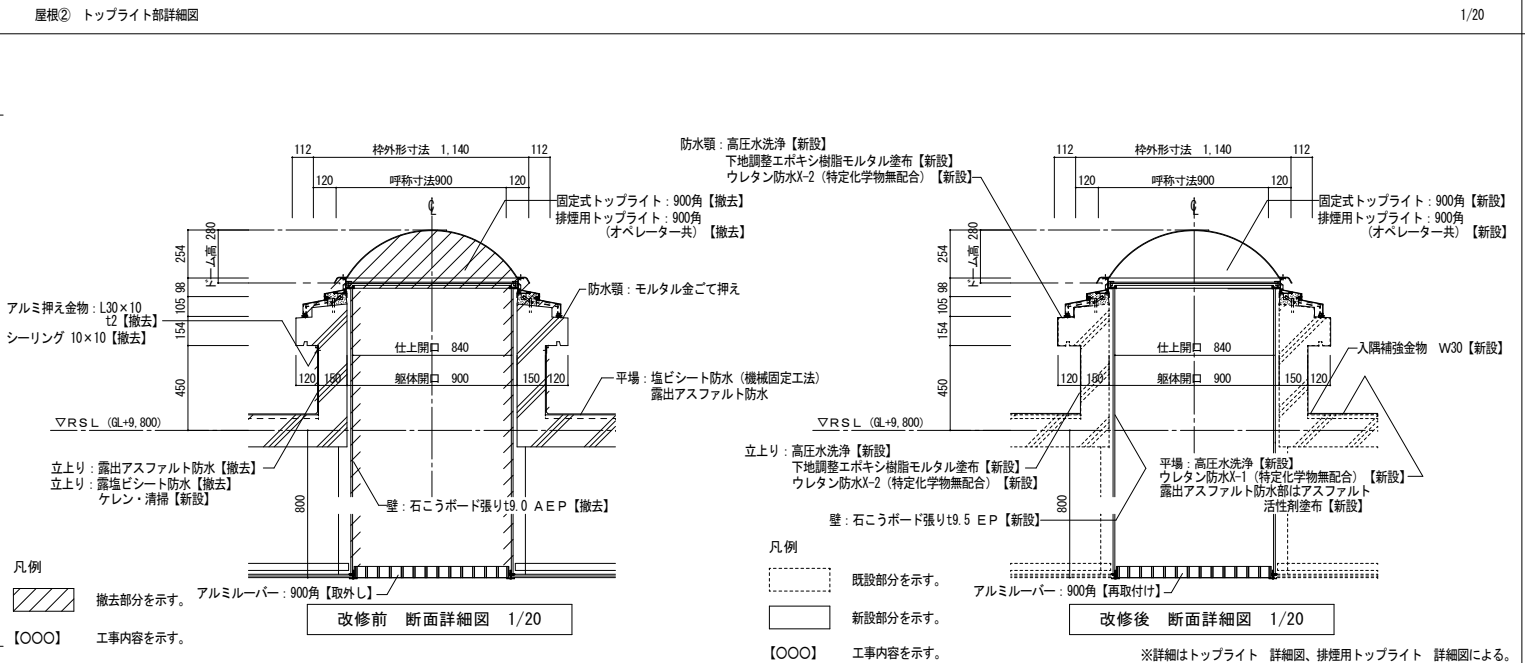
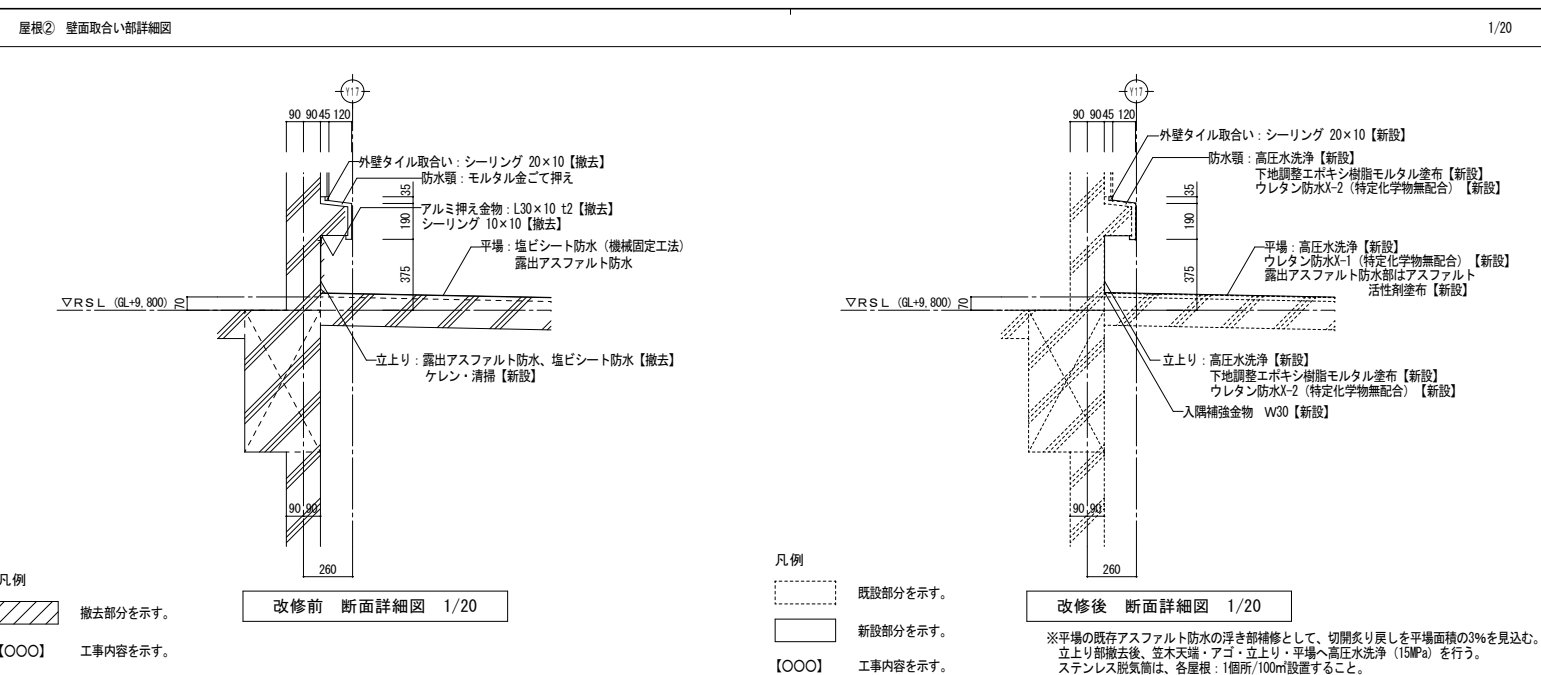
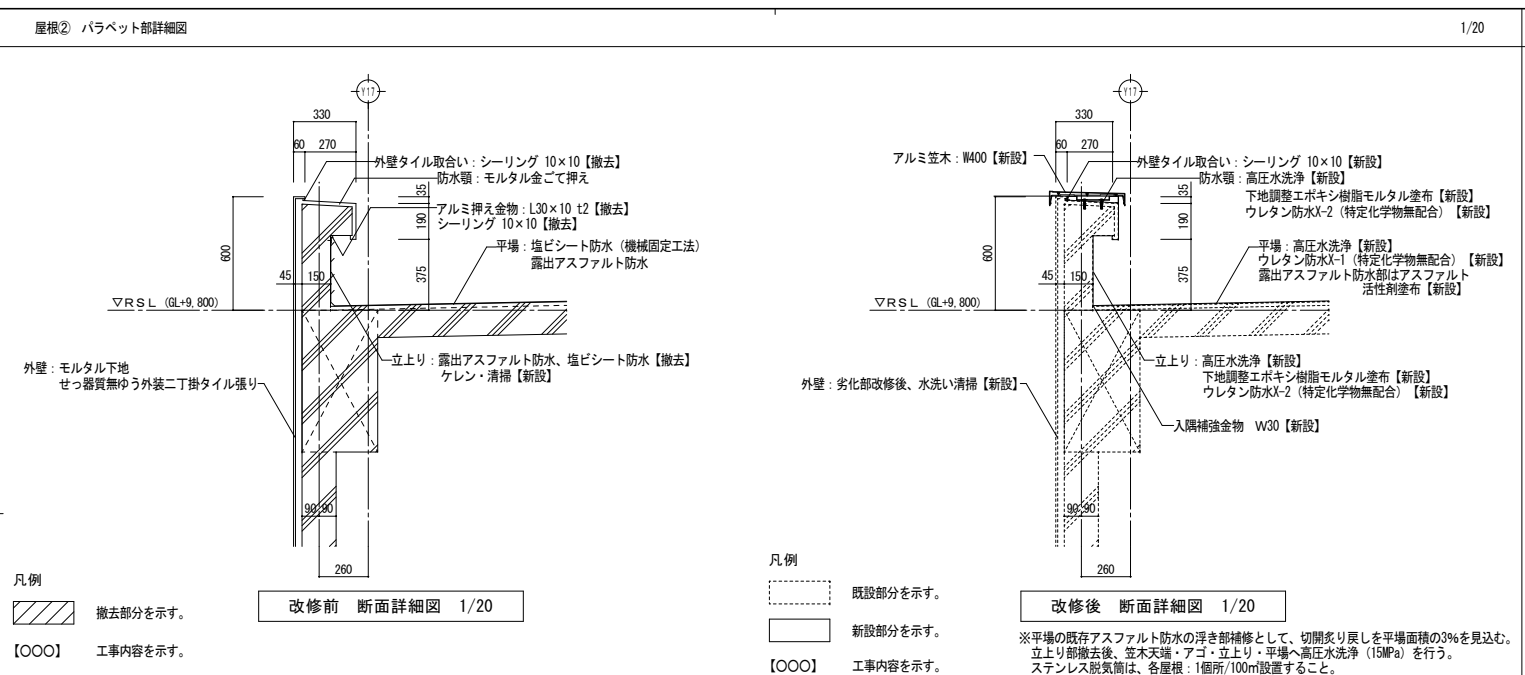
軒先断面詳細図 1/20

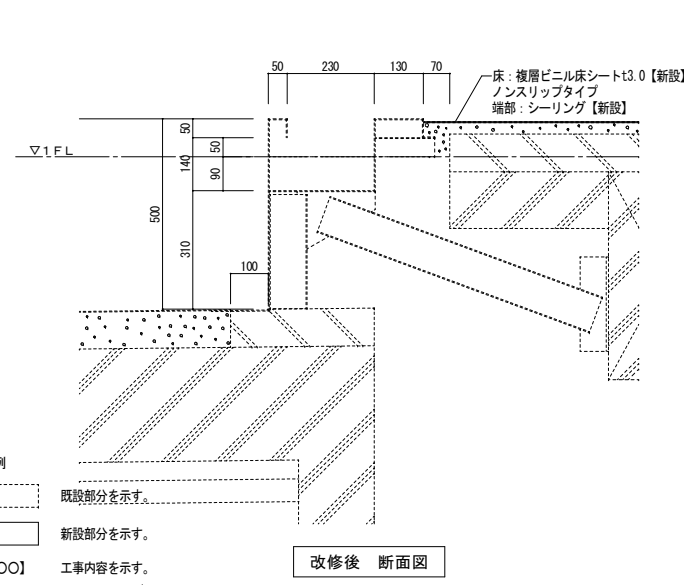
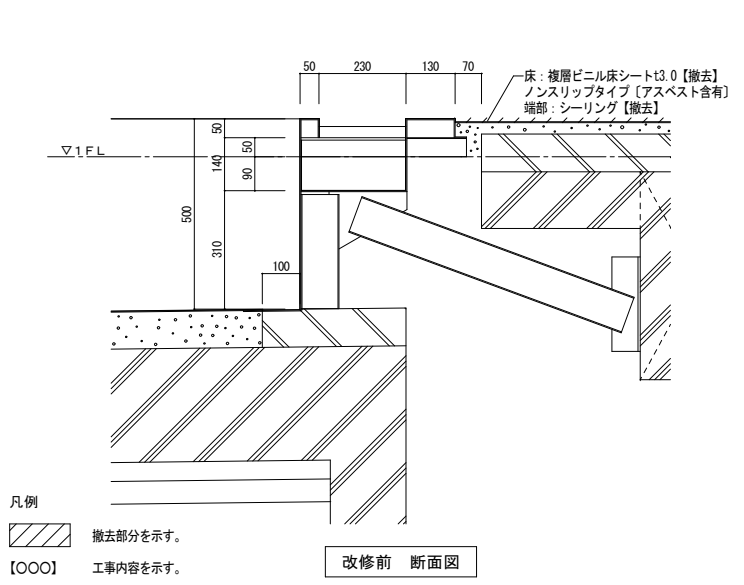
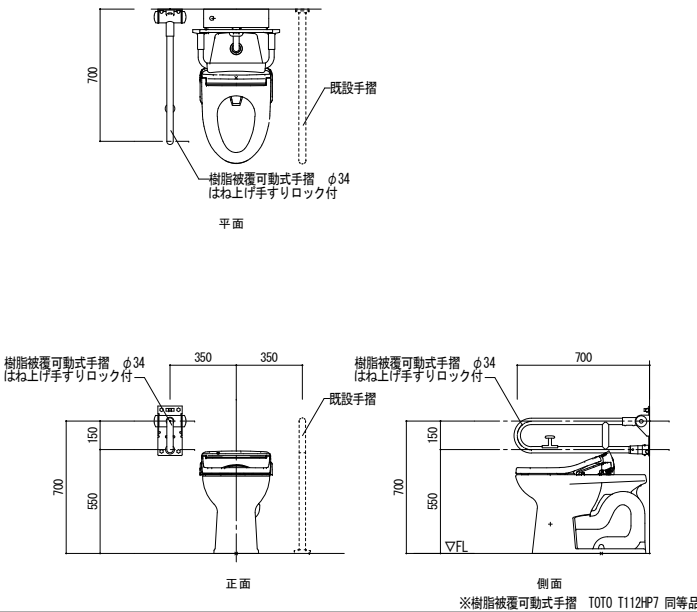
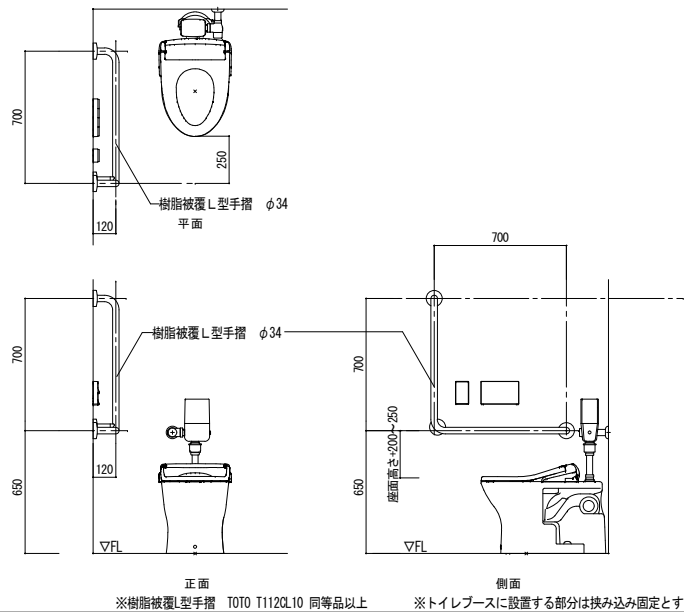
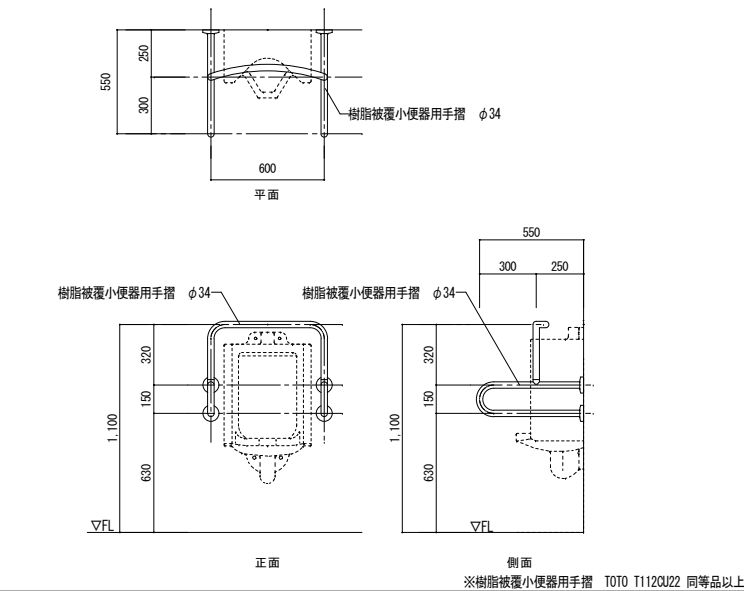
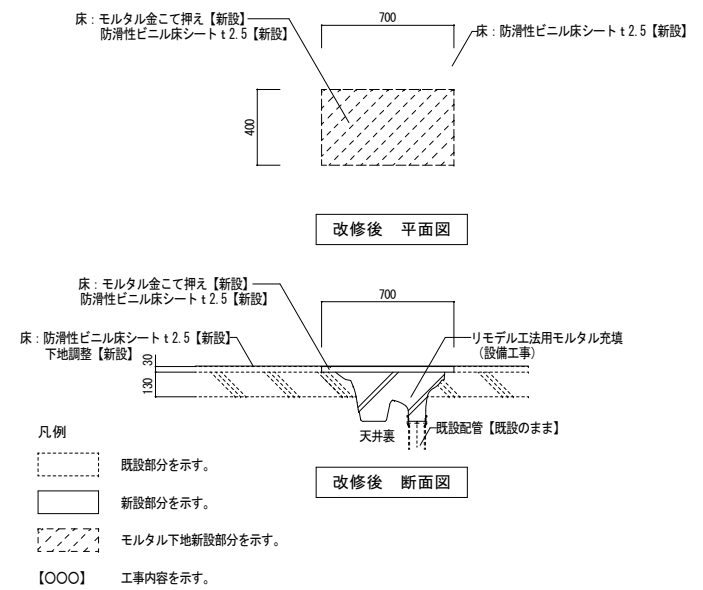
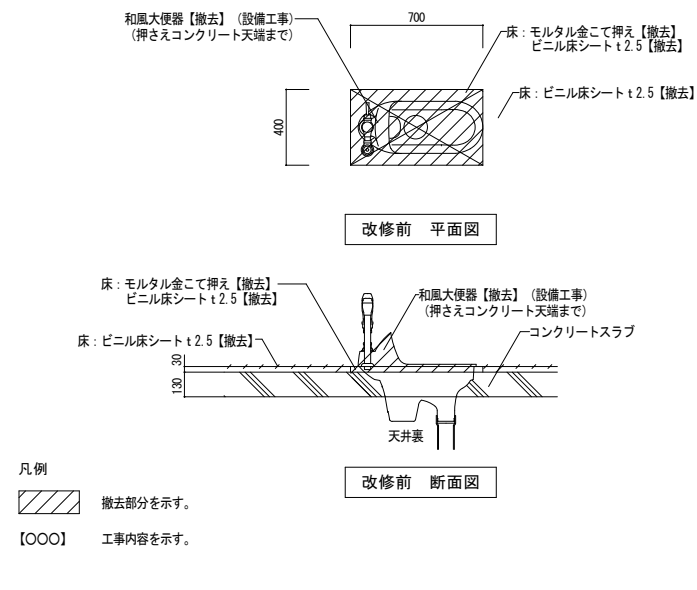
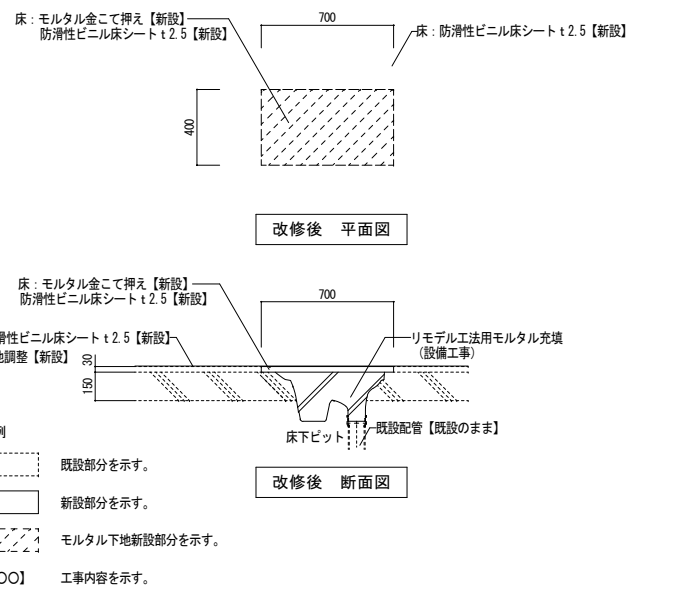
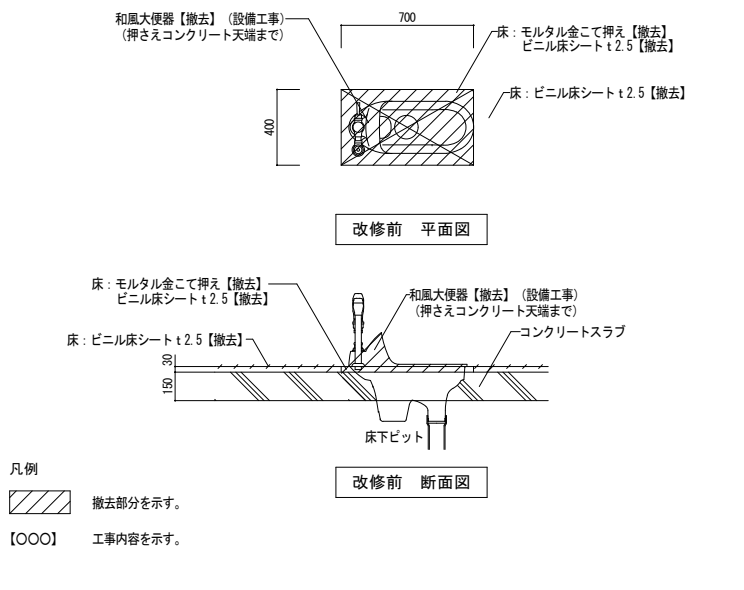
断面詳細図 1/20

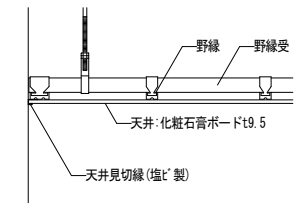
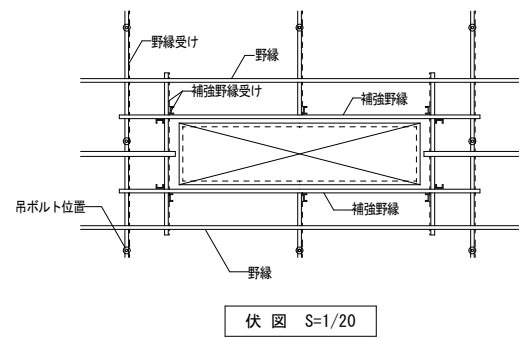
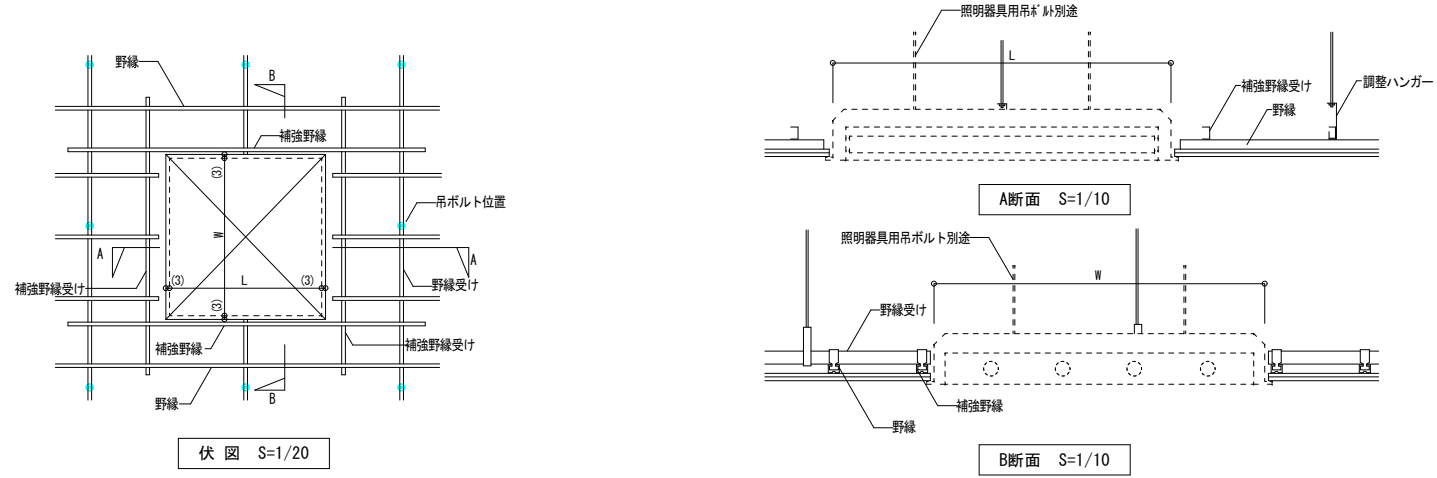
壁取り付け部断面詳細図 1/20

※馳カバー以外の馳部分は全てシーリング: PU-2 10×10新設とする。
 ※超速硬化ウレタン防水 密着工法 t 2.0 (高反射仕上) はX-2Hとする。

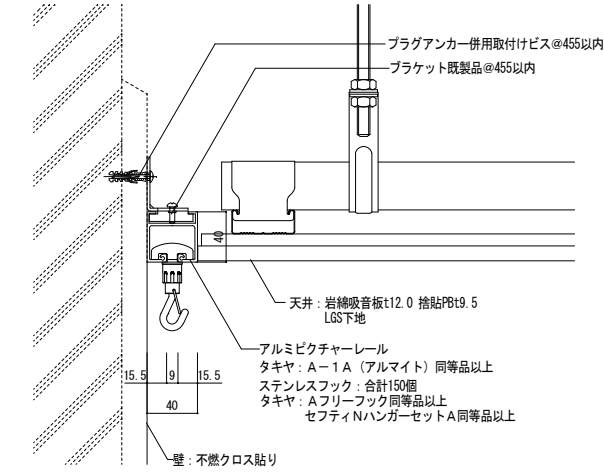
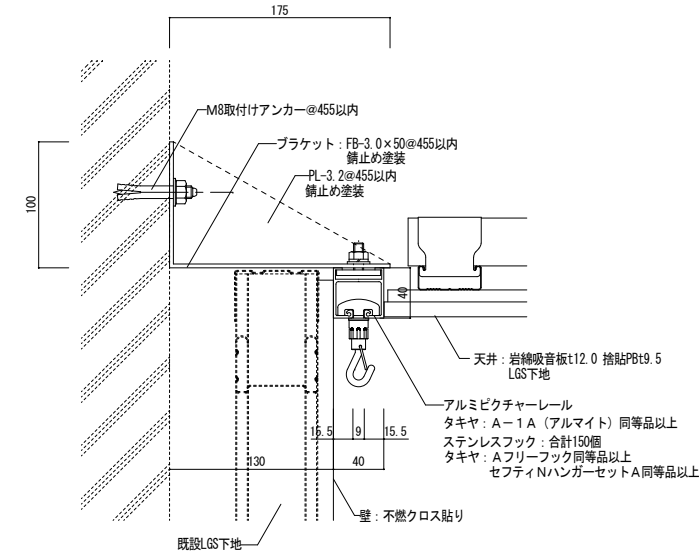
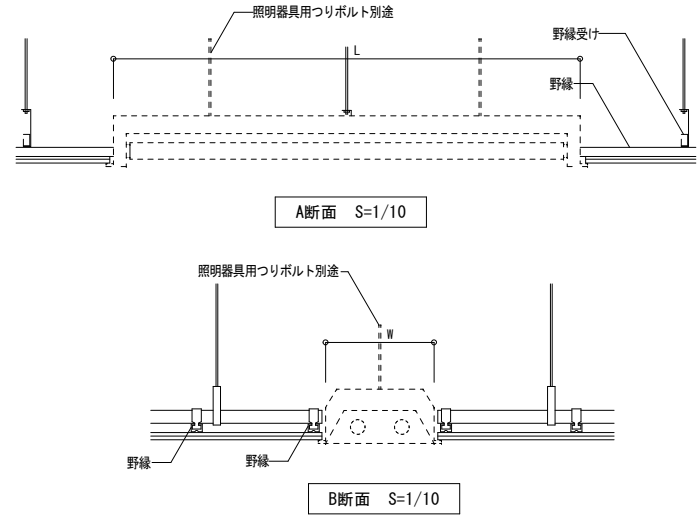
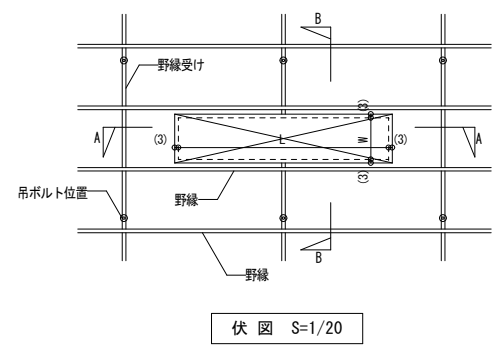




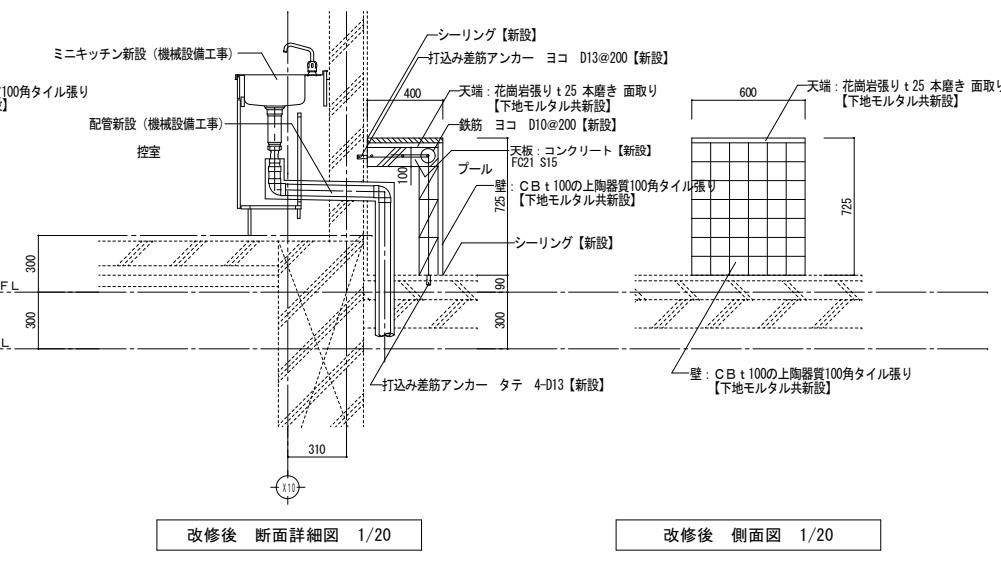
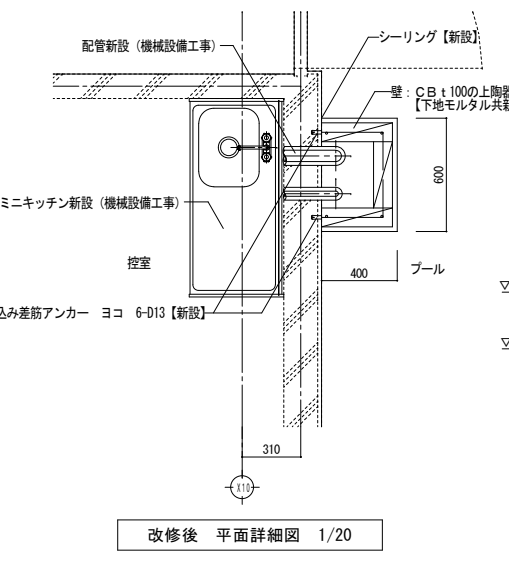
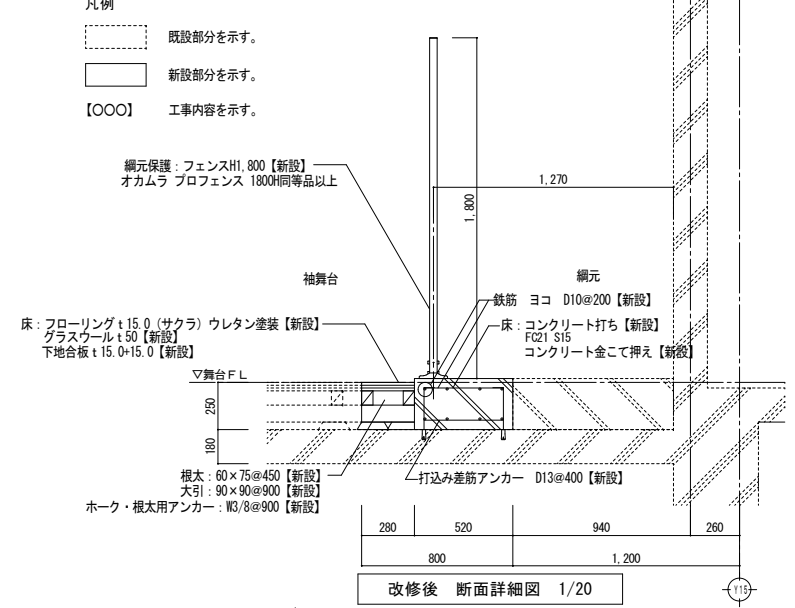
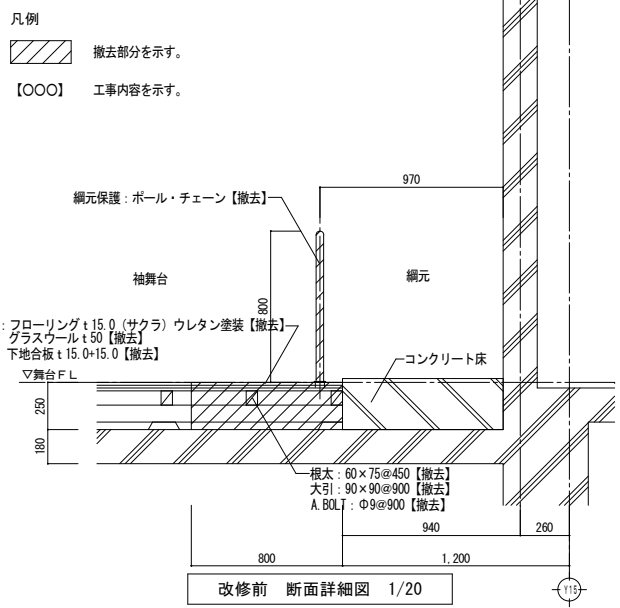




- 1) 照明器具等は別途とする。
- 2) 補強野線受材は野線受材と同等とする。
- 3) 野線受けの持出しが300mm以上の場合は増しづりを行う。
- 4) 図は下地張りありの場合を示す。



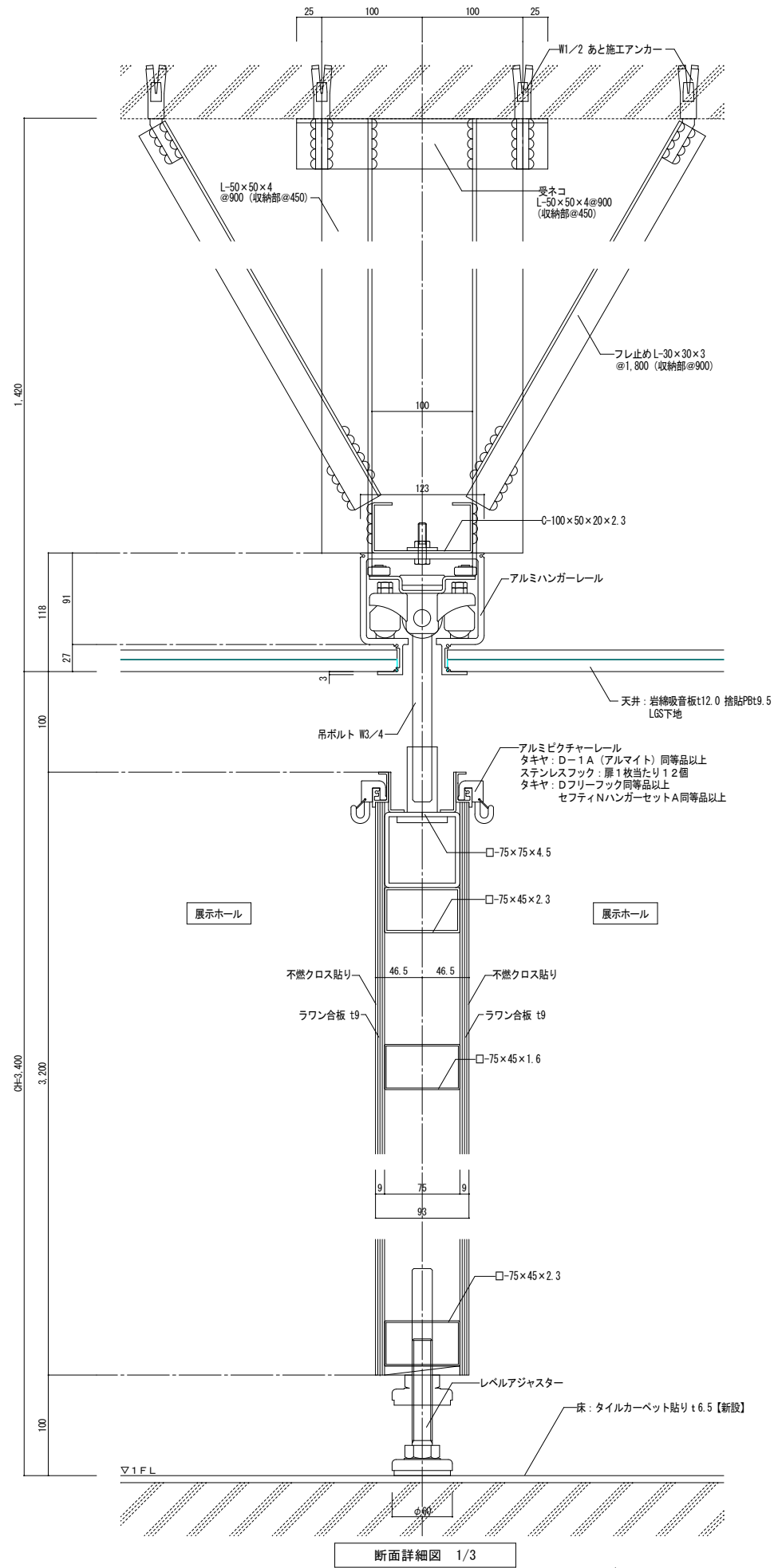
1) 野線を切断しない場合も必要に応じ補強野線を取付ける。



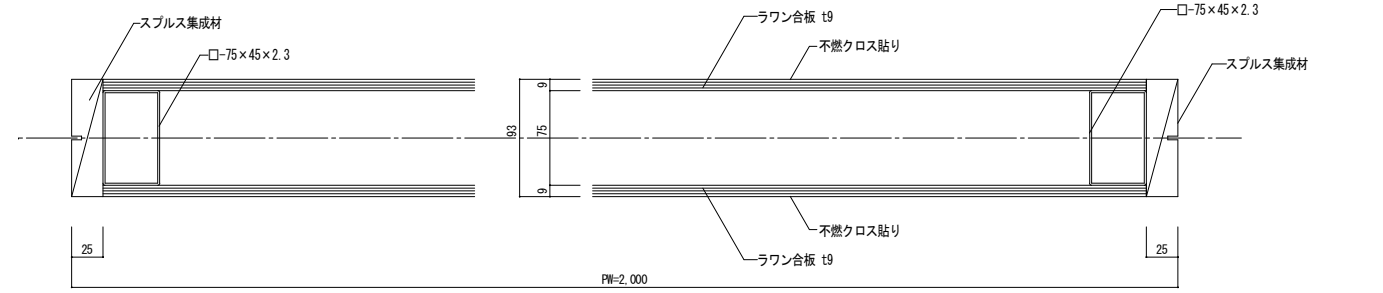
凡例
 [斜線] 撤去部分を示す。
 [〇〇〇] 工事内容を示す。

凡例
 [点線] 既設部分を示す。
 [実線] 新設部分を示す。
 [〇〇〇] 工事内容を示す。

※コーナーは鋭利にならない様注意すること。

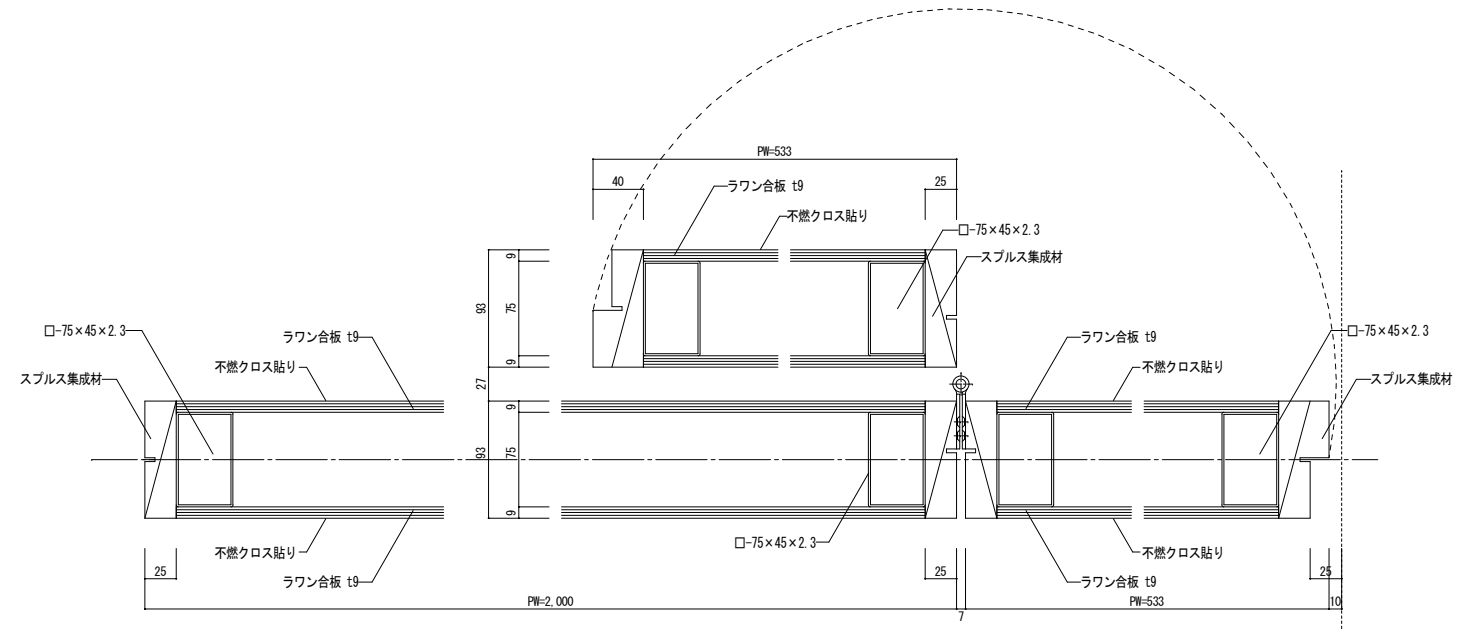


断面詳細図 1/3



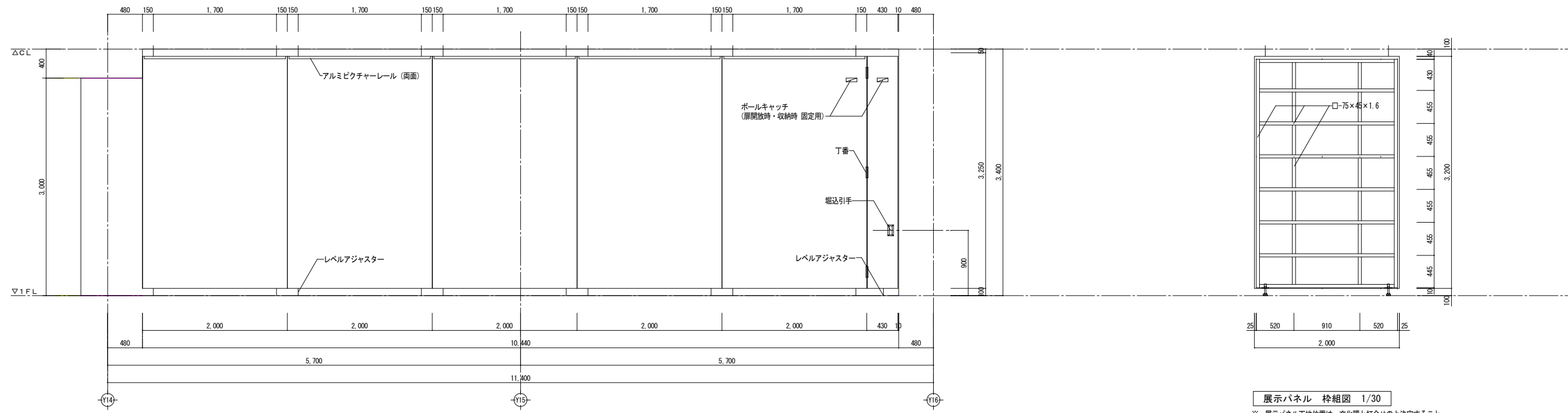
一般パネル 平面詳細図 1/3

※展示パネル: エスイー工業 展示パネルDP-100 同等品以上 枚数: 16枚

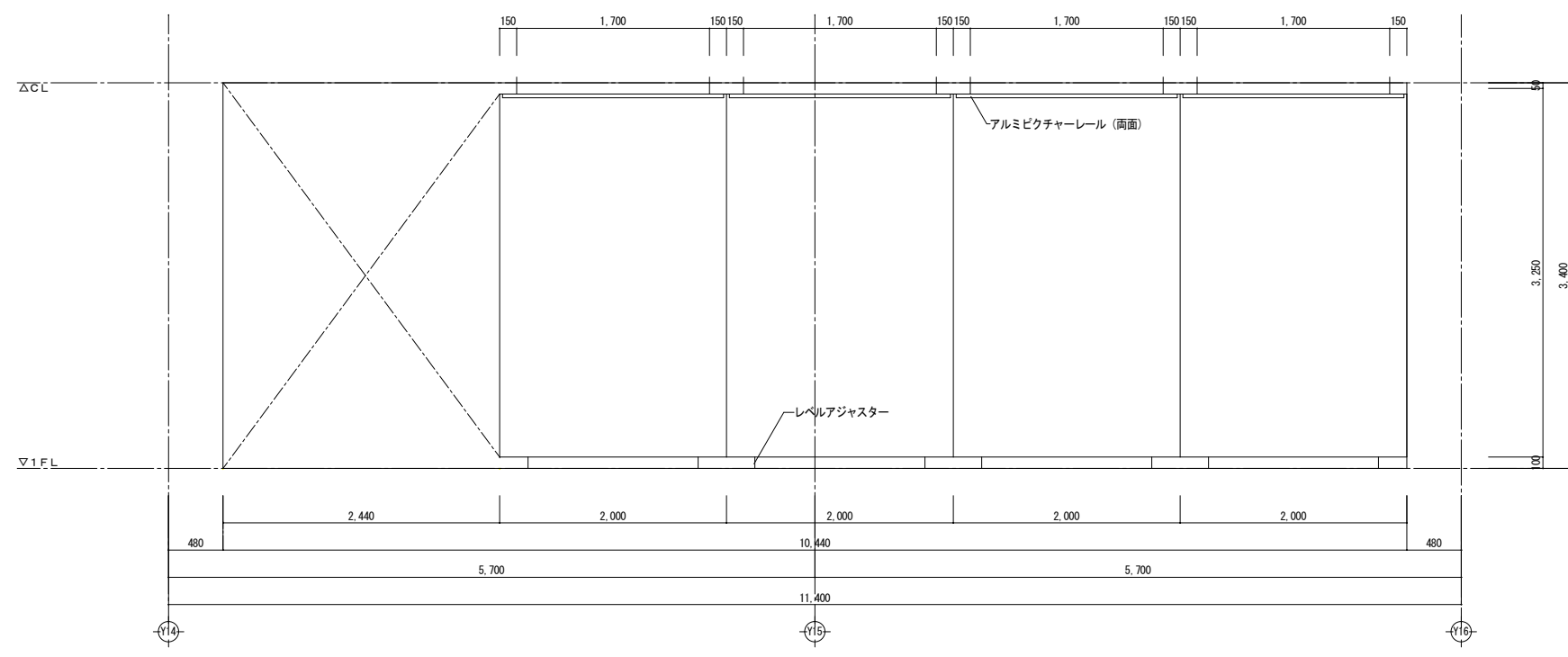


袖壁付パネル 平面詳細図 1/3

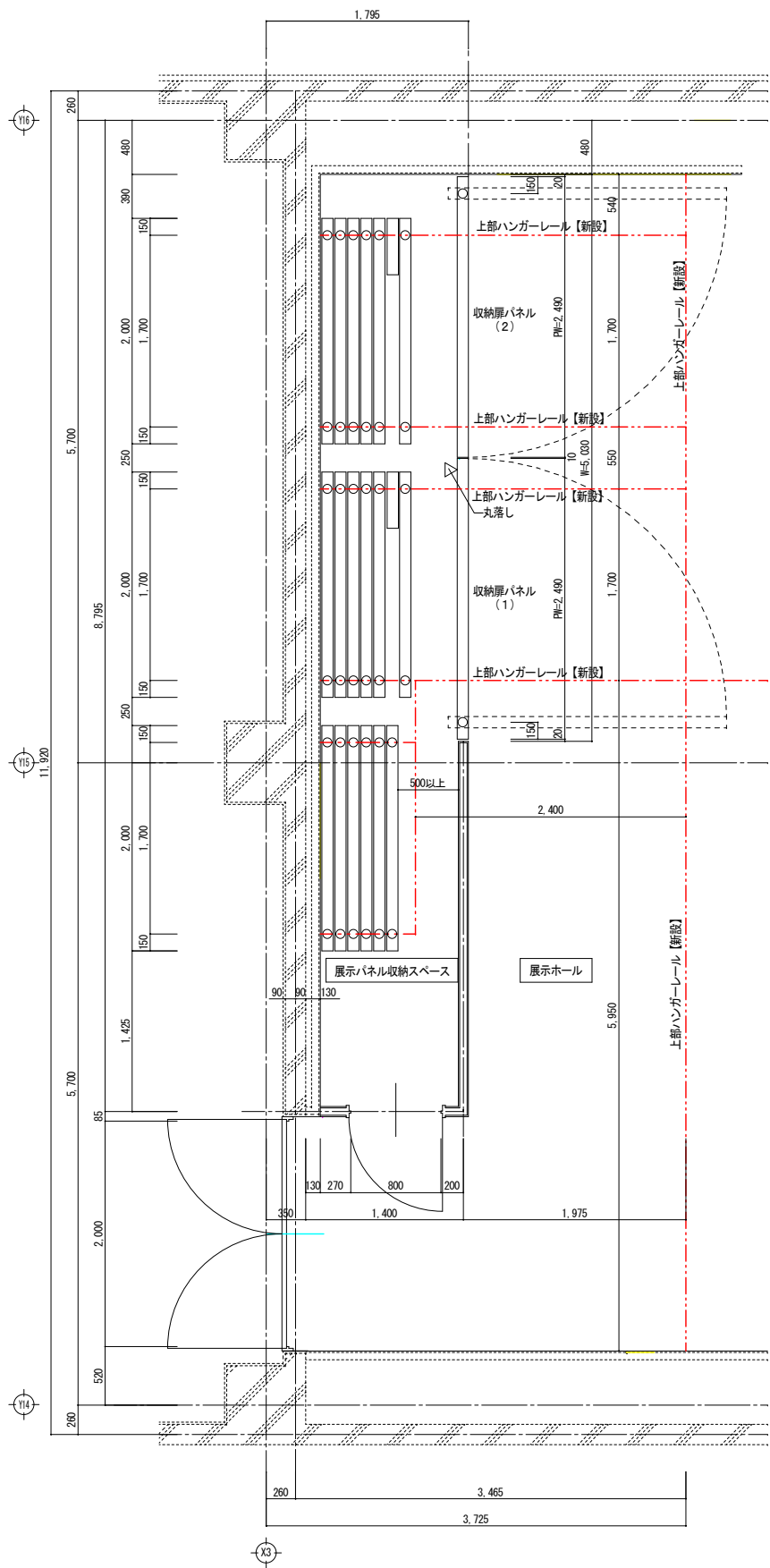
※展示パネル: エスイー工業 展示パネルDP-100 同等品以上
小松ウォール工業 移動間仕切 小松ランニング RW-100E 同等品以上
枚数: 2枚



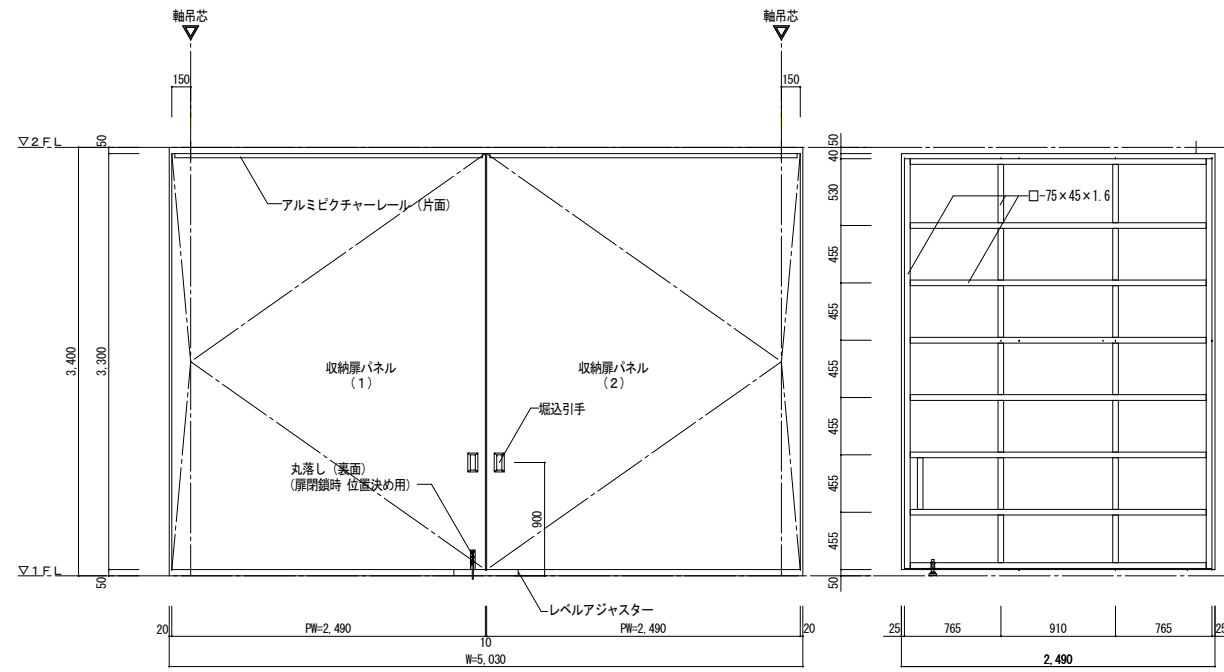
展示パネル 枠組図 1/30
 ※ 展示パネル下地位置は、文化課と打合せの上決定すること。



X 4、X 5 通り展示パネル 姿図 1/30



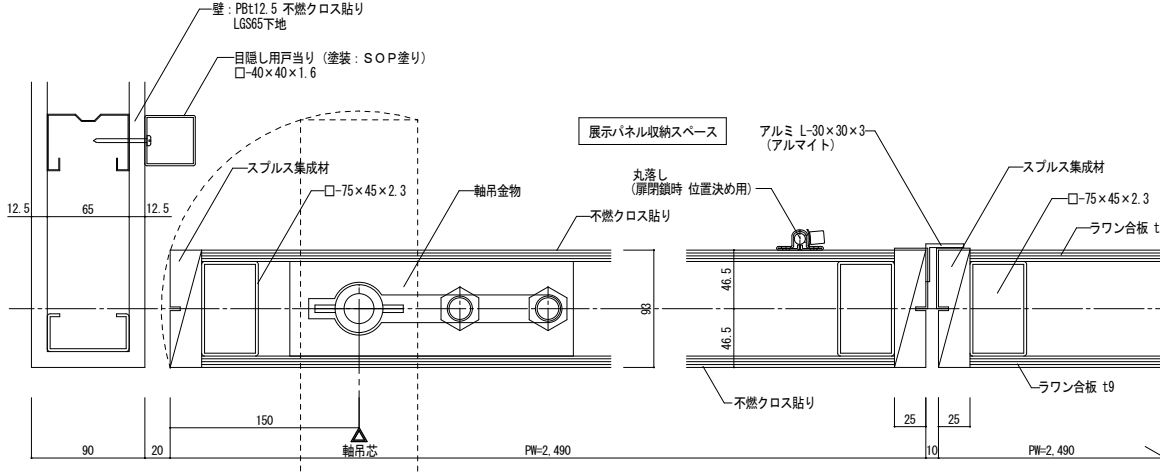
収納部 平面図 1/30



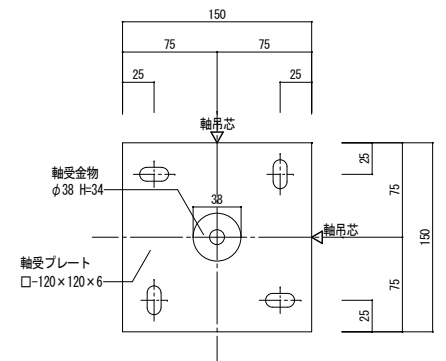
収納パネル 姿図 1/30

収納パネル 枠組図 1/30

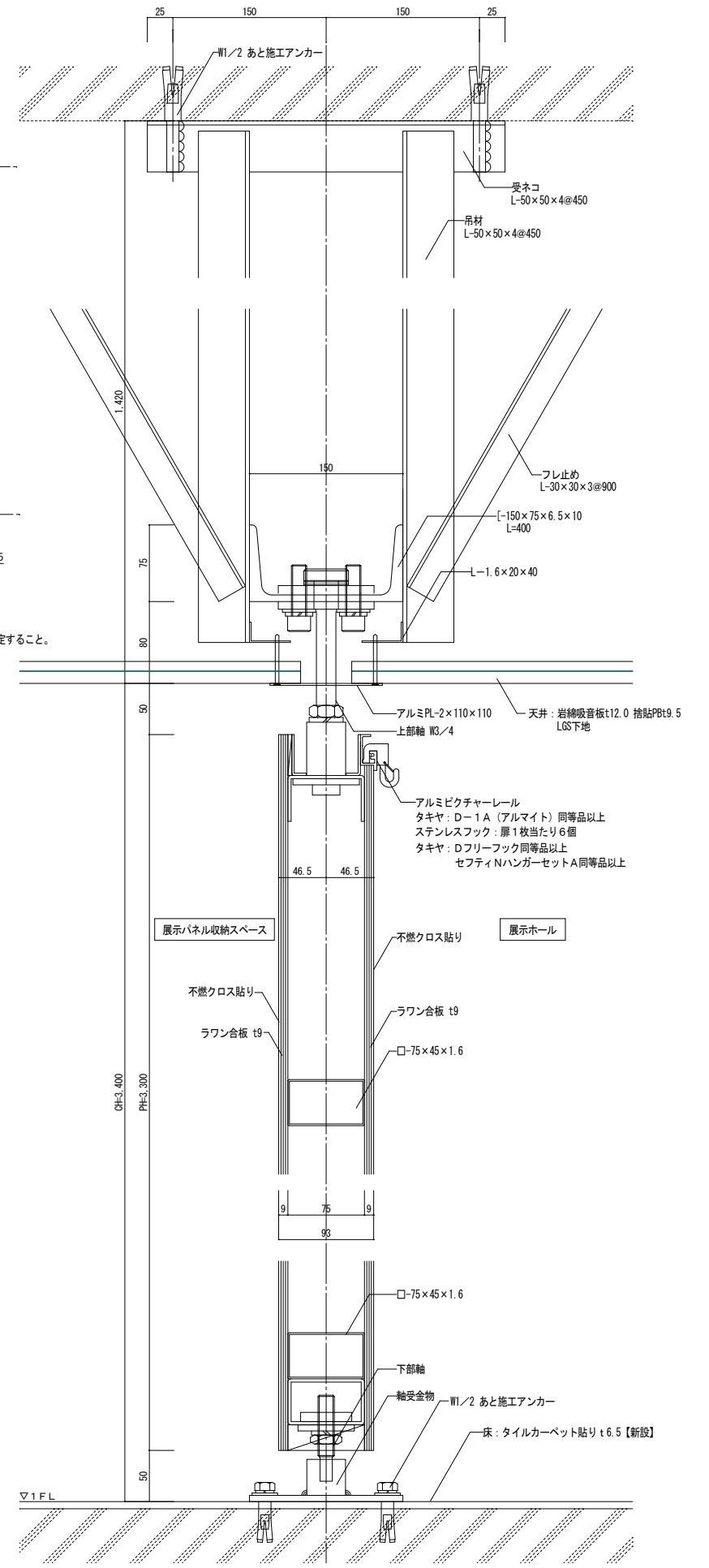
※ 展示パネル下地位置は、文化課と打合せの上決定すること。



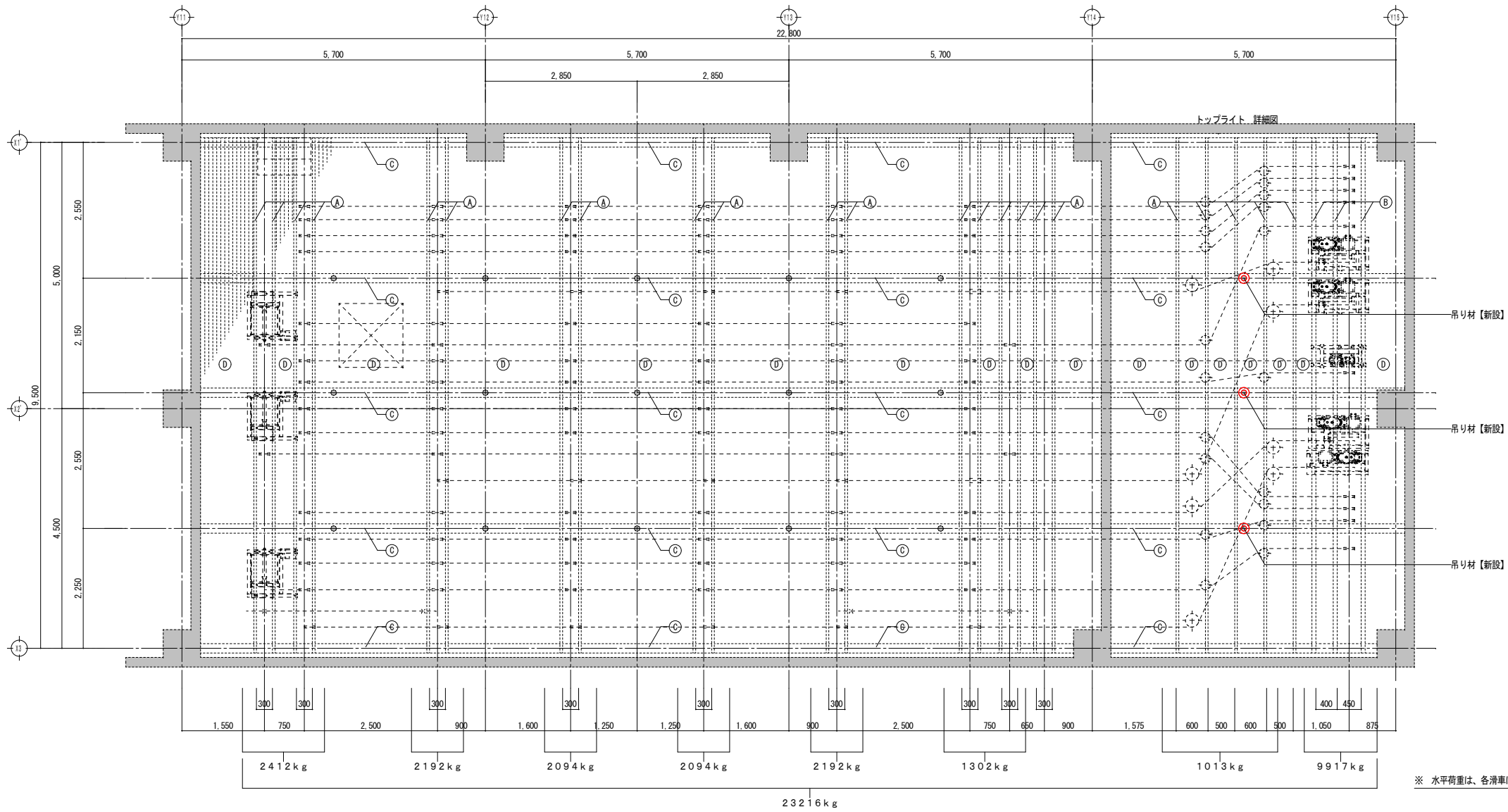
平面詳細図 1/3



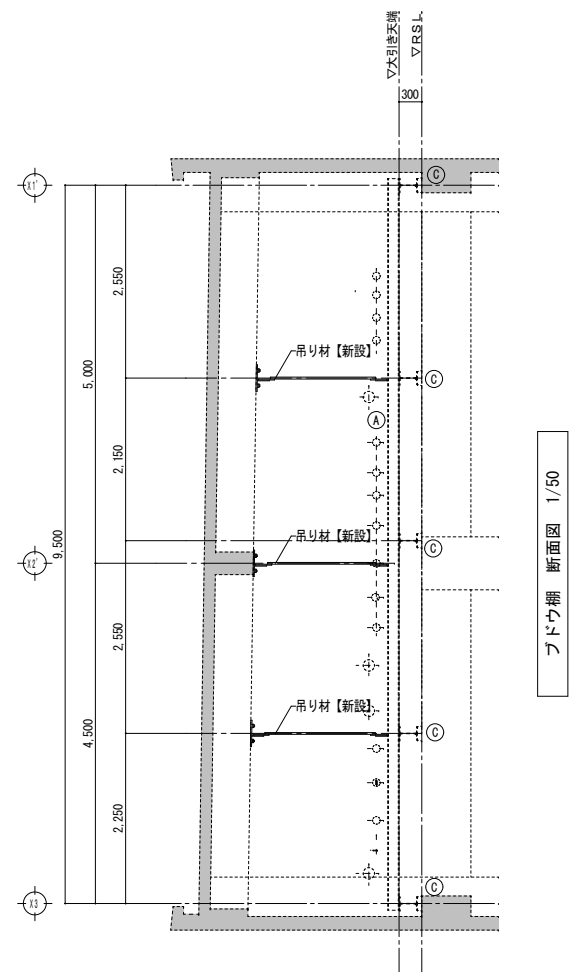
軸受金物 平面詳細図 1/3



断面詳細図 1/3



ブドウ棚 伏図 1/50



ブドウ棚 断面図 1/50

既設部材表

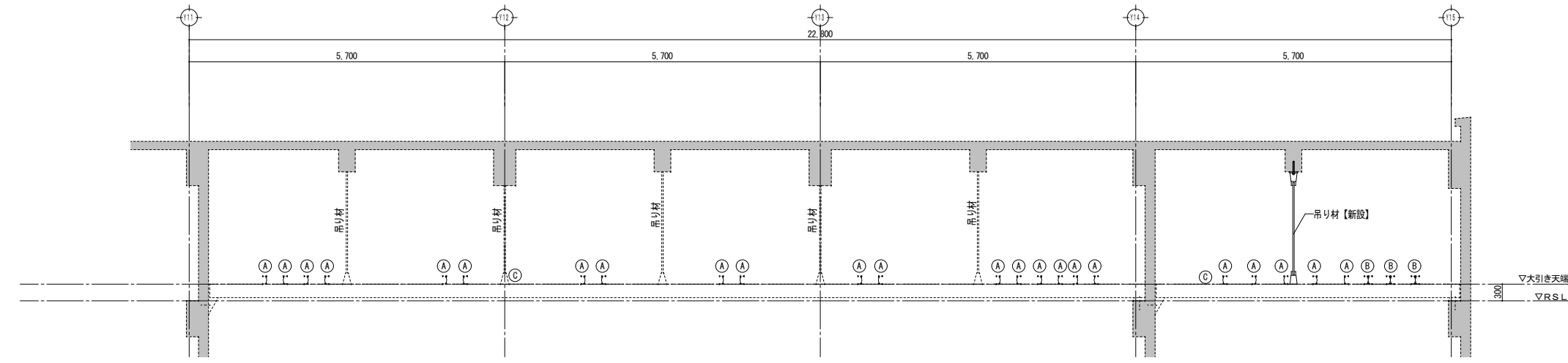
No.	部材
Ⓐ	[-100×50×5
Ⓑ	[-150×75×9
Ⓒ	H-250×175×7×11
Ⓓ	C-75×45×15×1.6 P=150 (スノコ材)
⓪	吊り材: M-25 ターンバックル付

新設部材表

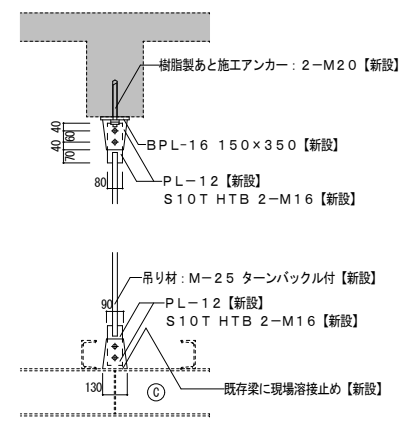
No.	部材
⓪	吊り材: M-25 ターンバックル付

※ 水平荷重は、各滑車に分布作用する。

凡例
 [---] 既設部分を示す。
 [---] 新設部分を示す。
 [OOO] 工事内容を示す。



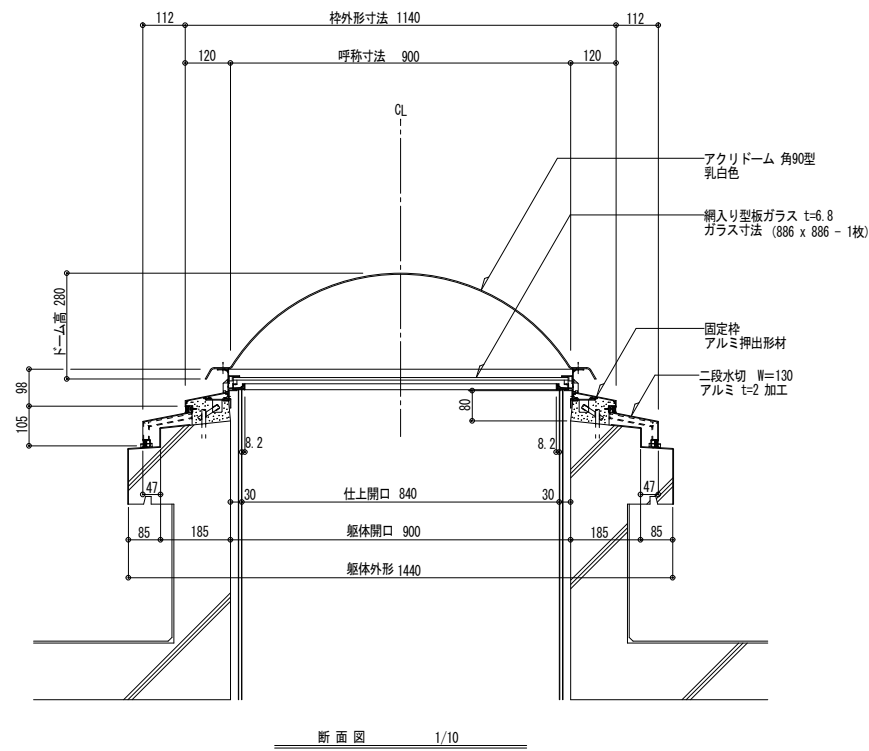
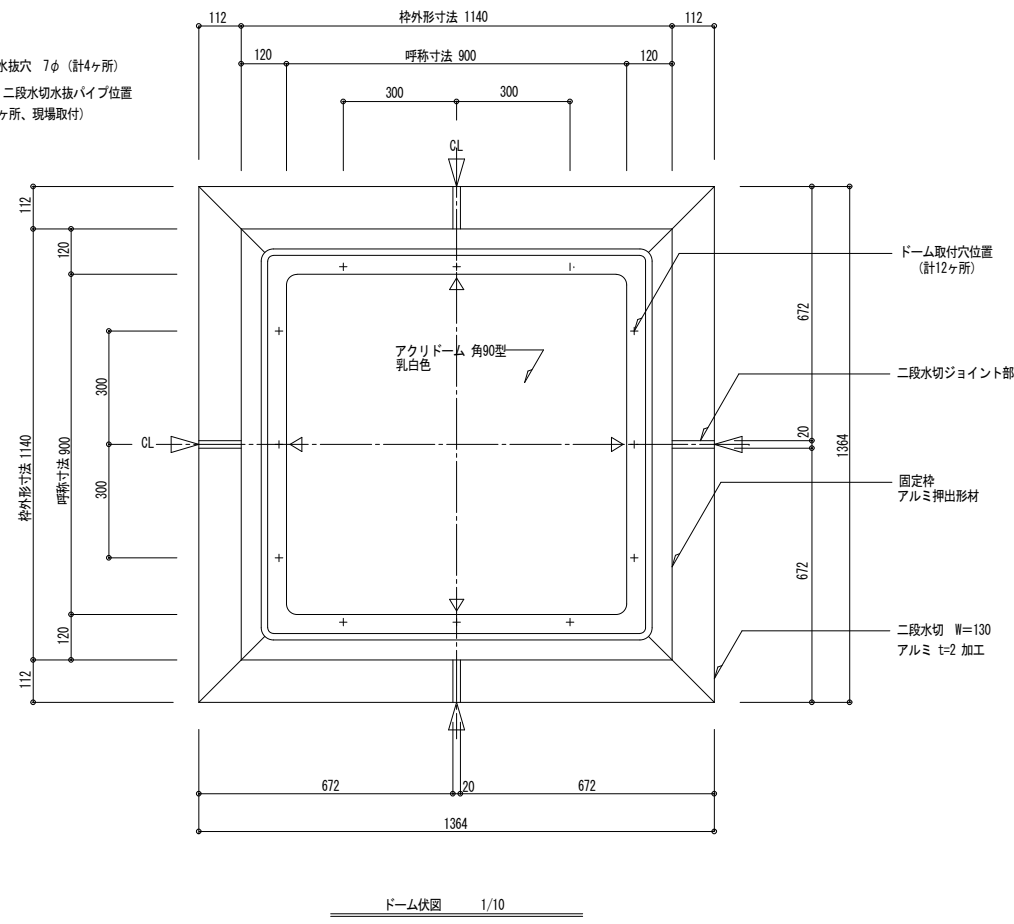
ブドウ棚 断面図 1/50



吊り材 詳細図 1/20

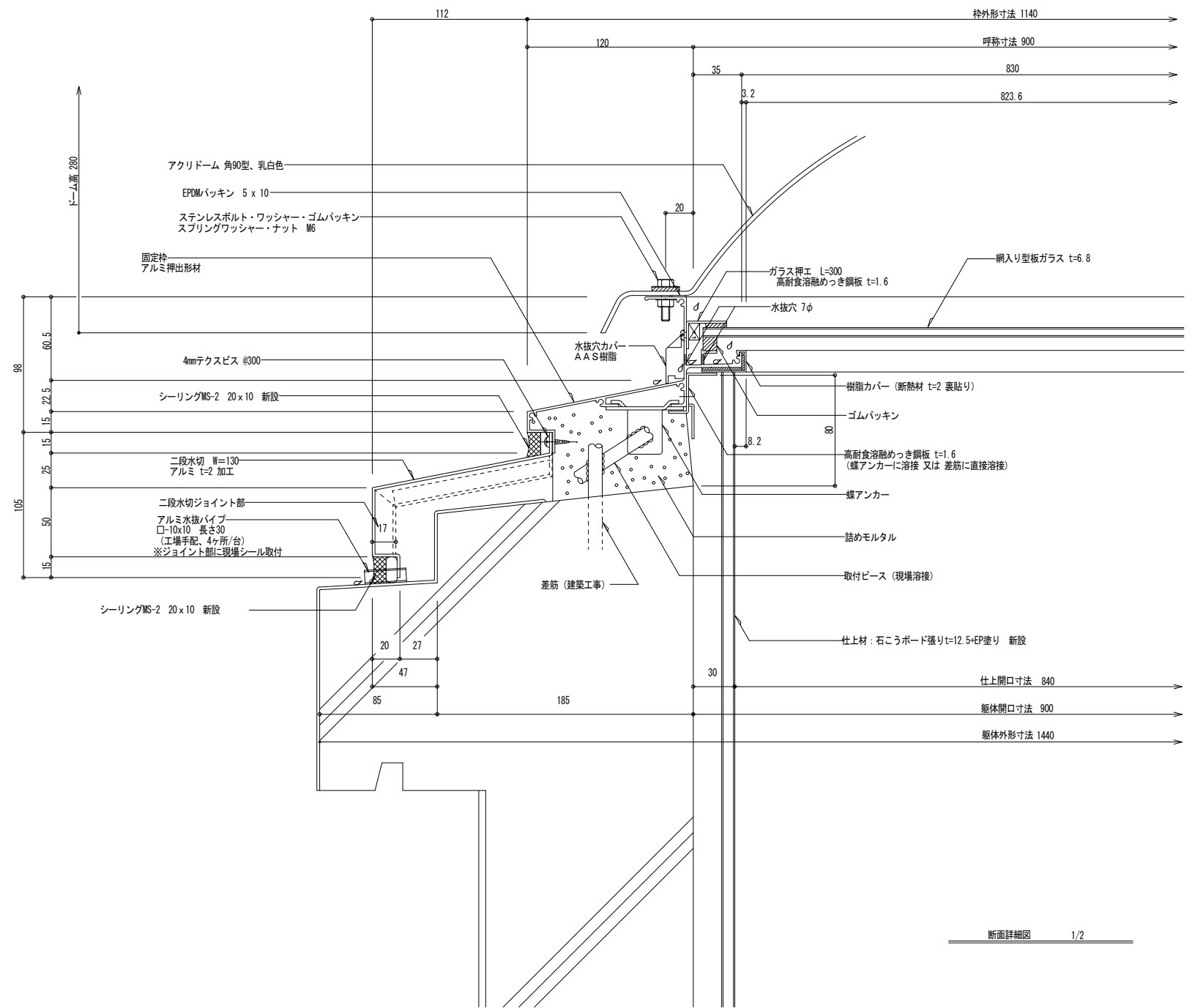
※新設鉄骨部は禁止塗装とする。
 鋼材は全てSS400とする。

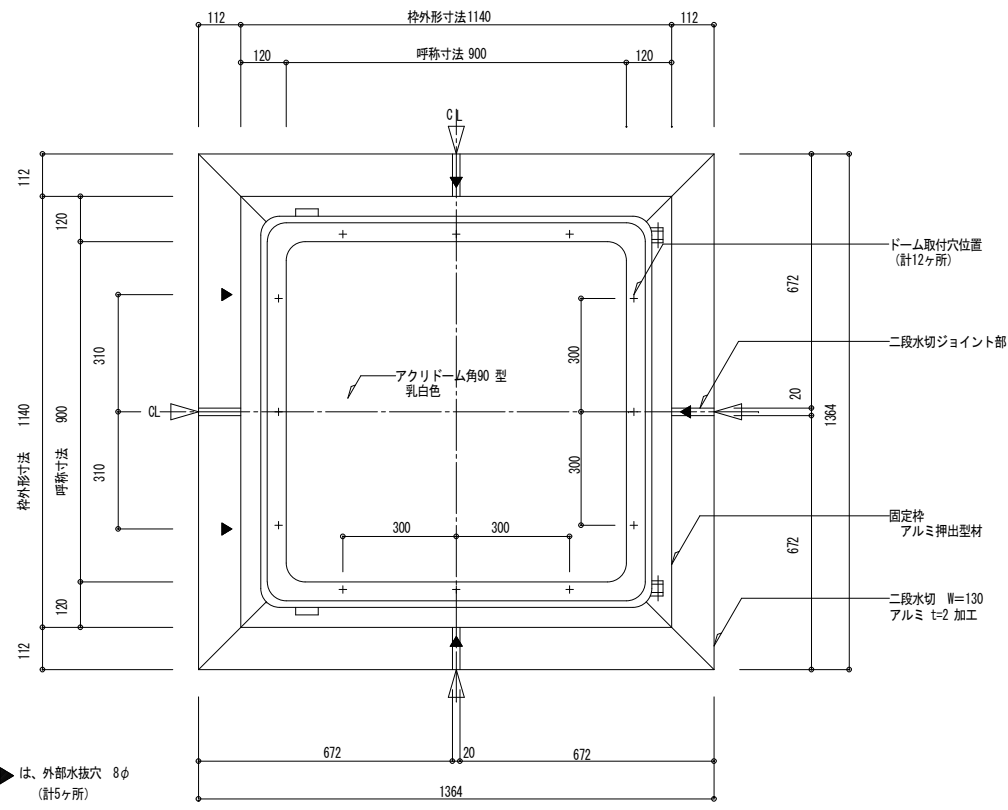
※ ▽は、水抜穴 7φ (計4ヶ所)
 ※ ◁は、二段水切水抜パイプ位置 (計4ヶ所、現場取付)



記号	名称	数量
① TL	三菱ケミカルインフラテック 固定式トップライト アクリドームK K-90F 同等品	6台
取付場所	屋根②	
ガラス	網入り型板ガラス t=6.8 ガラスサイズ (886 x 886 - 1枚)	
仕上	アルマイトシルバー	
	・耐火仕様 ・AES樹脂カバー付き	

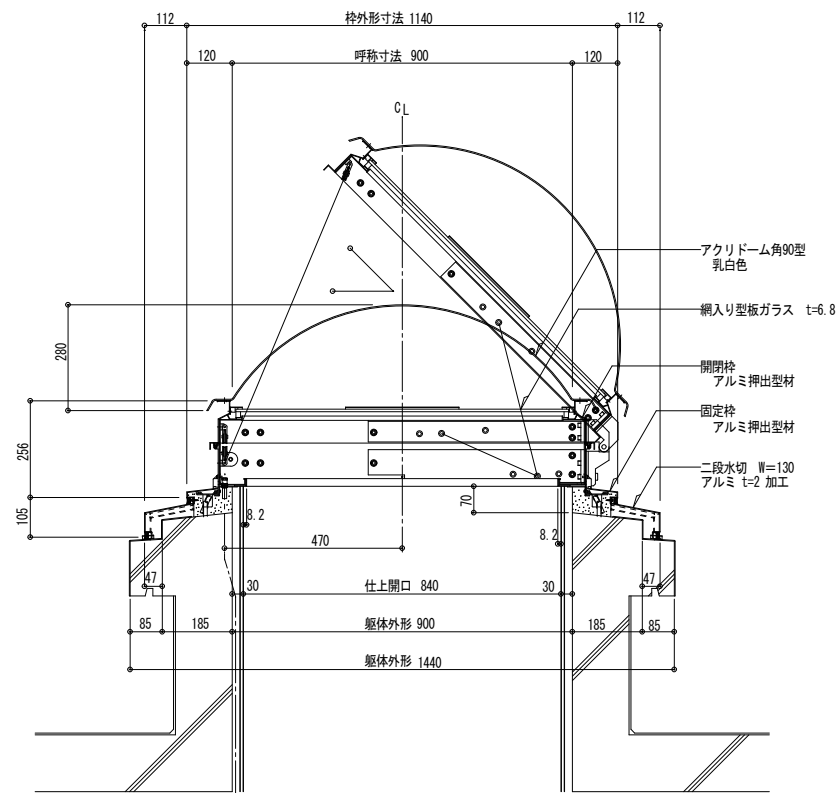
※ 固定式トップライトは、図示の形状を撤去、新設とする。





※ ▶ は、外部水抜穴 8φ (計5ヶ所)
 ※ ◁ は、二段水切水抜パイプ位置 (計4ヶ所、現場取付)

ドーム伏図 S=1:10

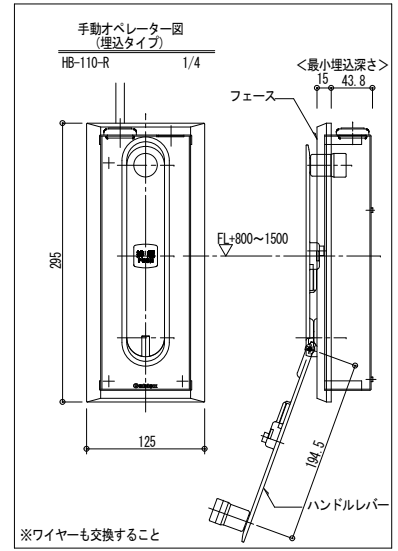


断面図 1/10

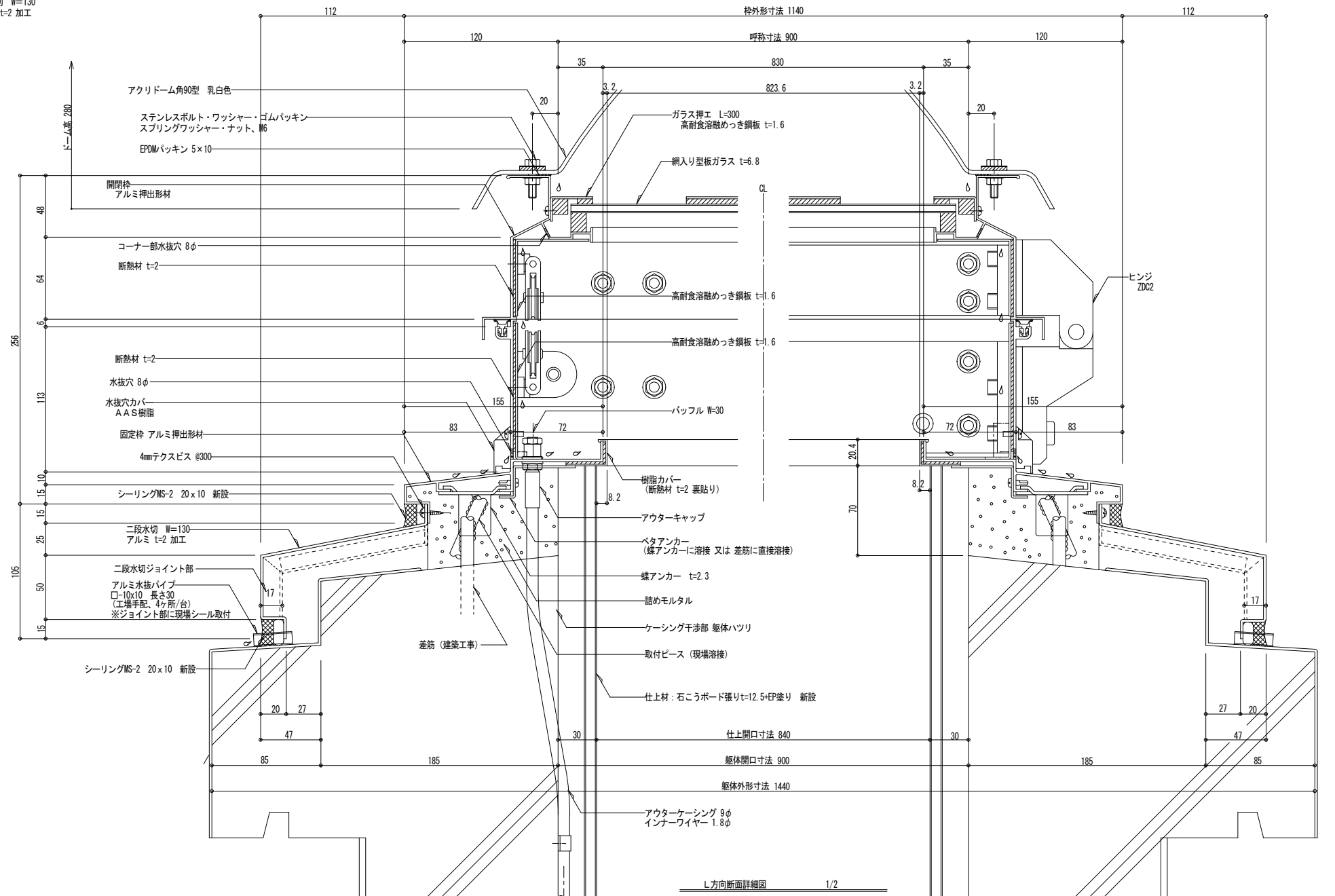
アウターケーシング 9φ
 インナーワイヤー 1.8φ
 r≧300
 オペレーターへ

記号	名称	数量
② TL	三菱ケミカルインフラテック 片側開閉式 ライトスモークハッチ SHK-90 同等品	4台
取付場所	屋根②	
ガラス	網入り型板ガラス t=6.8 ガラスサイズ (880 x 880 - 1枚)	
仕上	アルマイトシルバー	
排煙面積	0.67㎡/台	

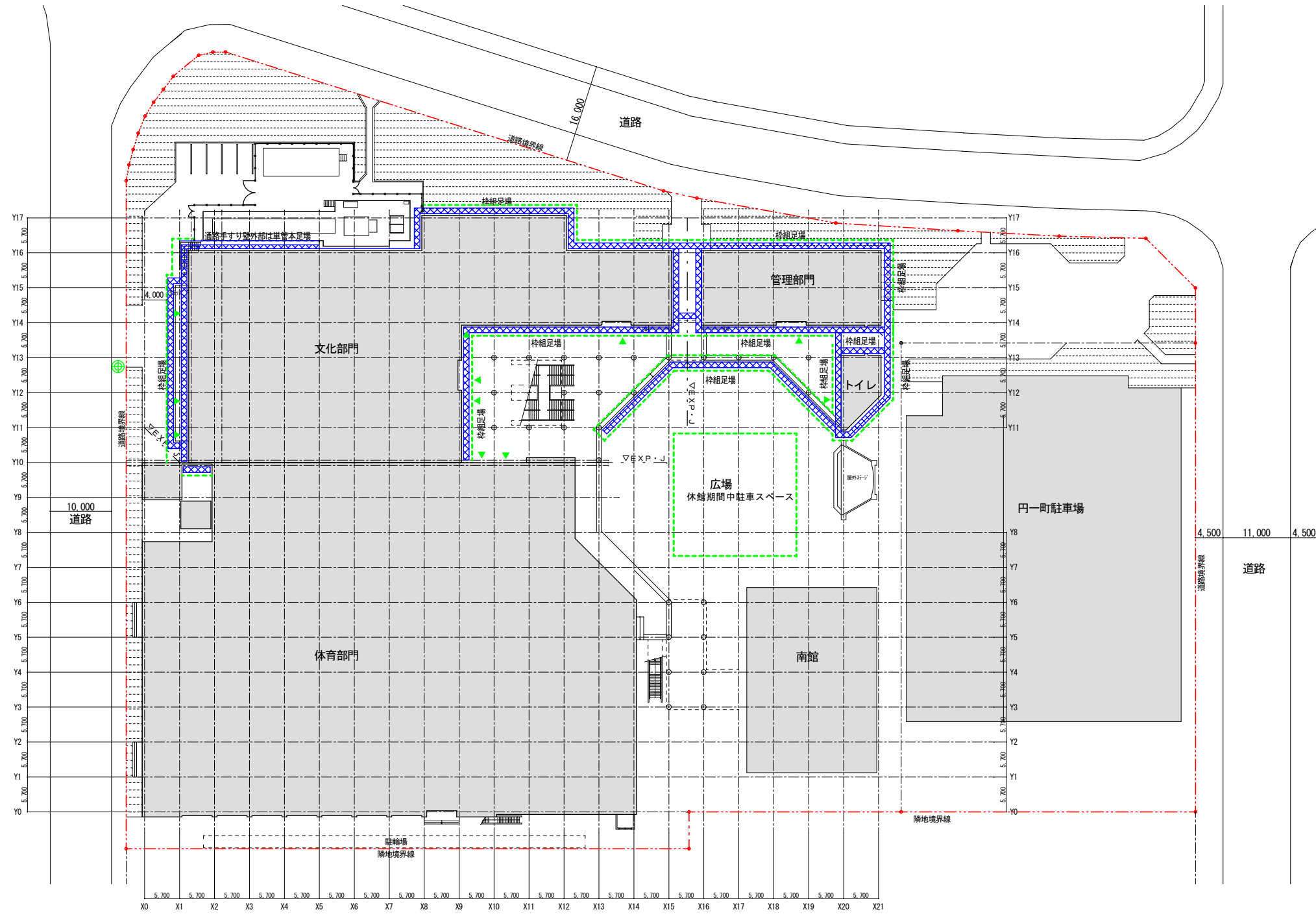
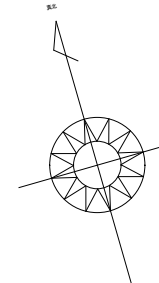
・耐火仕様
 ・AES樹脂カバー付き・水抜穴部：内部側パッフル付き
 ※ 排煙用トップライトは、図示の形状を撤去、新設とする。



※ワイヤーも交換すること



L方向断面詳細図 1/2



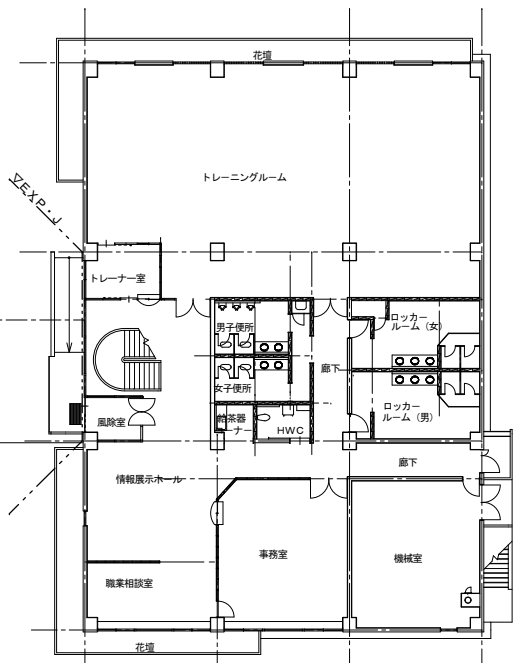
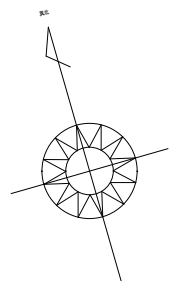
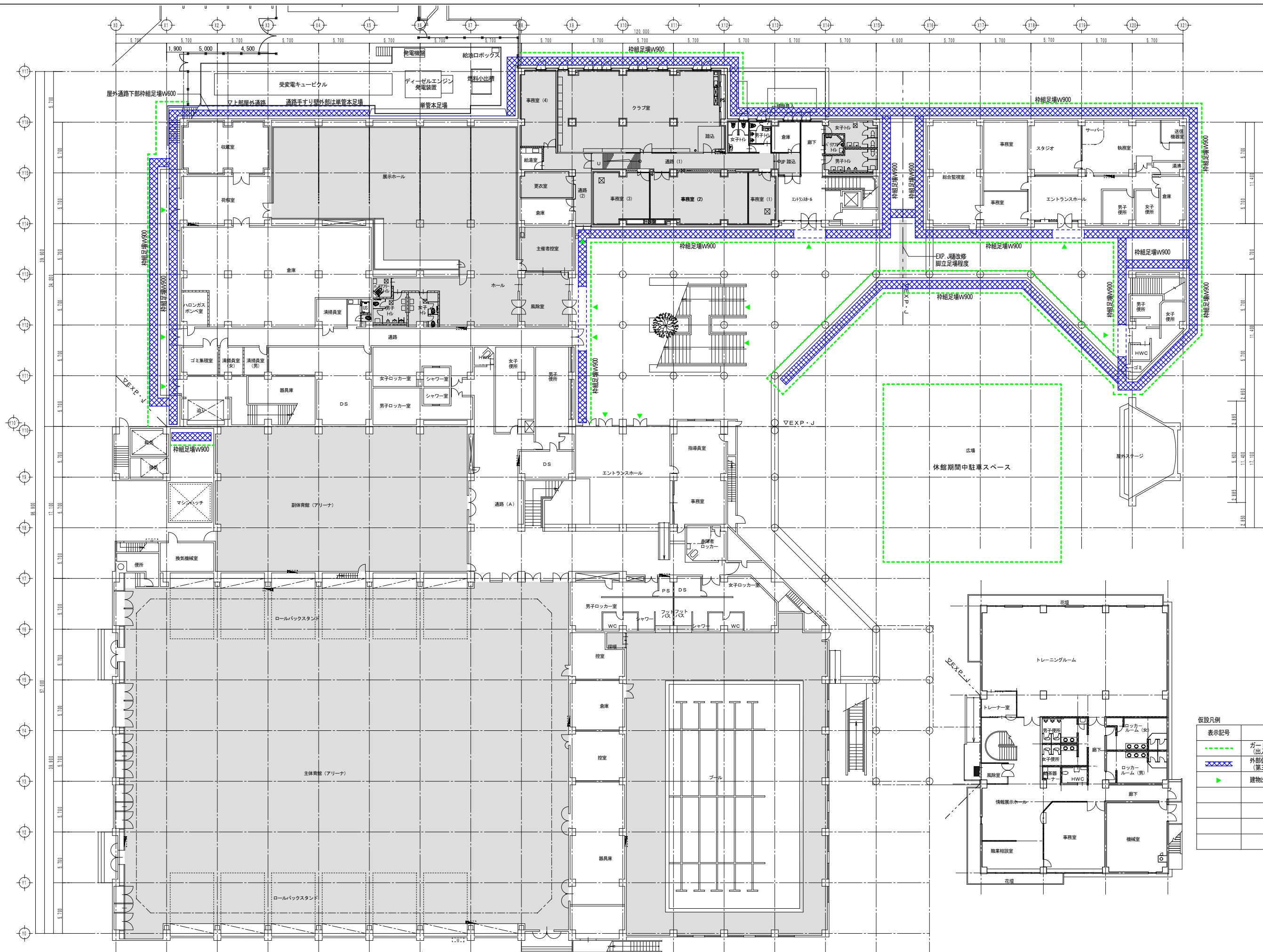
仮設計画図 1/400

特記事項

1. 工事の施工に先立ち、施工順序を発注者と工程の協議を行い安全な施工を行うこと。
2. 総合仮設計画書を事前に作成し、監督員の承認を得ること。
3. 本仮設計画は、最低限度のものを示したもので、作業内容・天候等により近隣住民・道路通行者・施設関係者に対し不備のある場合には、監督員と協議し速やかに対応すること。
4. 施工状況により仮囲いの盛変えが生じた場合は、監督員及び別途施工業者と協議し承認を得て変更すること。
5. 塗装材料等危険物は、施設保管すること。
6. 既設建物、フェンス等は、傷つけないように養生を行うこと。傷つけた場合、自社の責任において手直しを行うこと。
7. 施工に際して、重機等を使用する場合、低騒音、低振動の工法とすること。
8. 工事進入路は、工事の進捗により、他門を使用する場合は、監督員と協議を行うこと。
9. 施工上必要な折衝及び苦情等については、誠意を持って対応すること。
10. 本工事に瑕疵があったときは、請負者は引渡しの日から2年間その担保責任を負う。
(ただし瑕疵が請負人の故意または重大な過失によって生じたものであるときは10年間とする)
11. 瑕疵担保期間満了前に瑕疵点検を行うこと。

仮設凡例

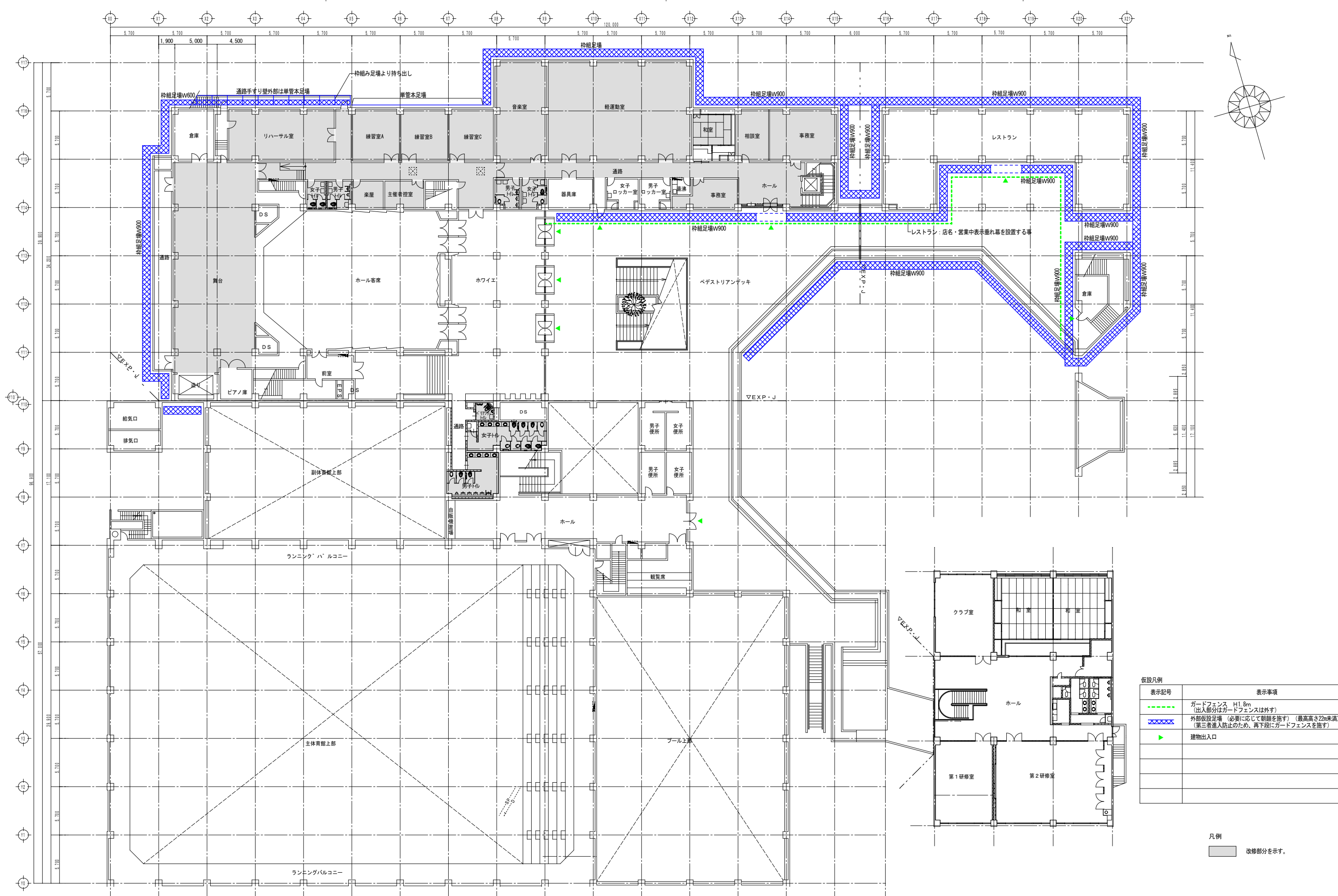
表示記号	表示事項
---	ガードフェンス H1.9m (出入部分はガードフェンスは外す)
XXXX	外部仮設足場 (必要に応じて朝顔を施す) (最高高さ2m未満) (第三者進入防止のため、再下段にガードフェンスを施す)
▶	建物出入口
⊕	交通誘導員



仮設凡例

表示記号	表示事項
--- (Green dashed line)	ガードフェンス H1.8m (出入部分はガードフェンスは外す)
--- (Blue hatched area)	外部仮設足場 (必要に応じて斜線を施す) (最高高さ22m未満) (第三者進入防止のため、再下段にガードフェンスを施す)
▶ (Green arrow)	建物出入口

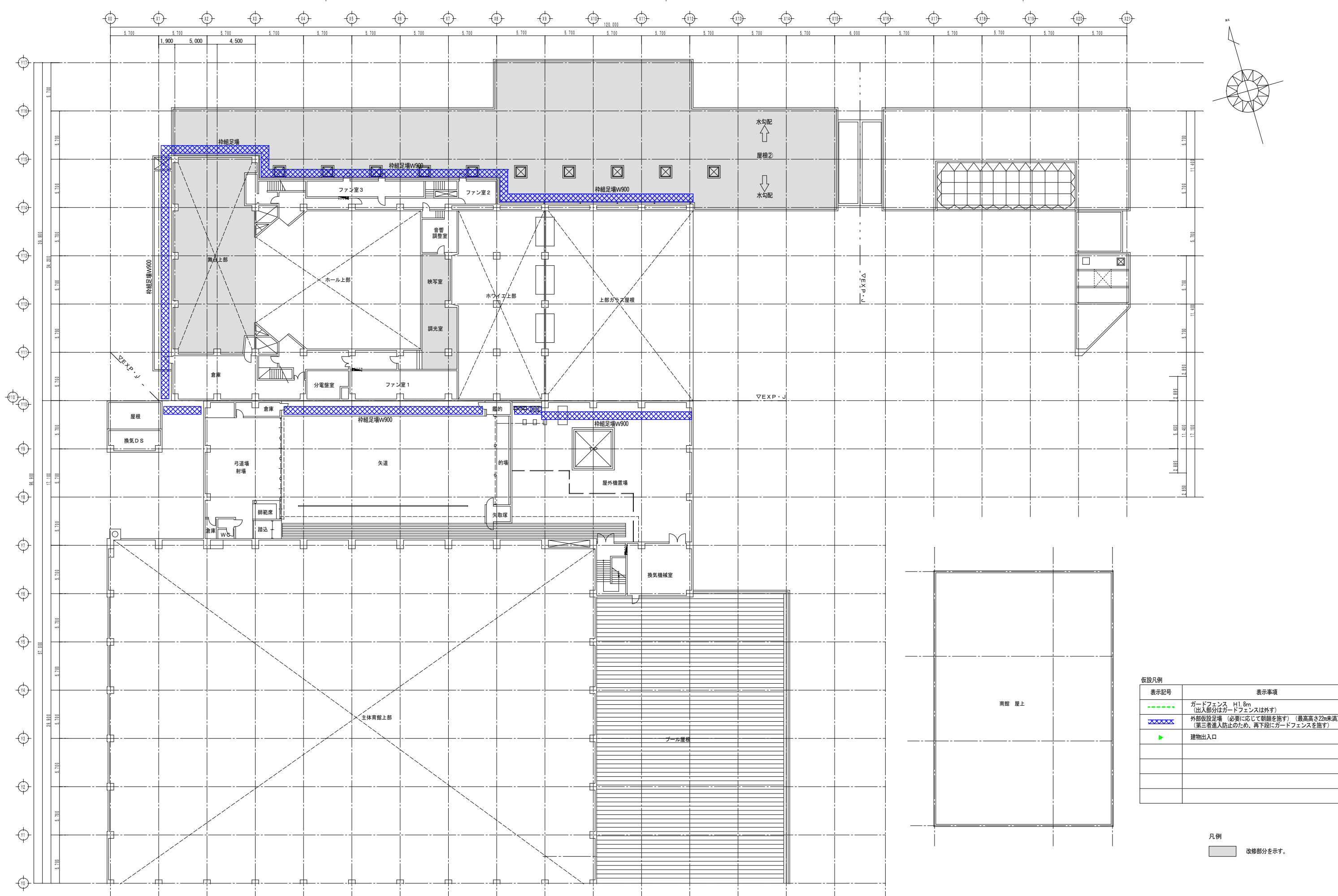
凡例
 改修部分を示す。



仮設凡例

表示記号	表示事項
--- (green dashed line)	ガードフェンス H1.8m (出入部分はガードフェンスは外す)
--- (blue hatched)	外部仮設足場 (必要に応じて頼頭を施す) (最高高さ22m未満) (第三者進入防止のため、再下段にガードフェンスを施す)
▶ (green triangle)	建物出入口

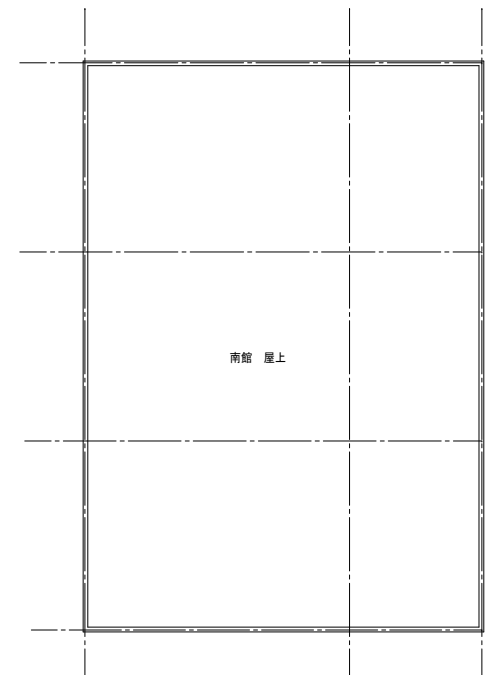
凡例
 改修部分を示す。

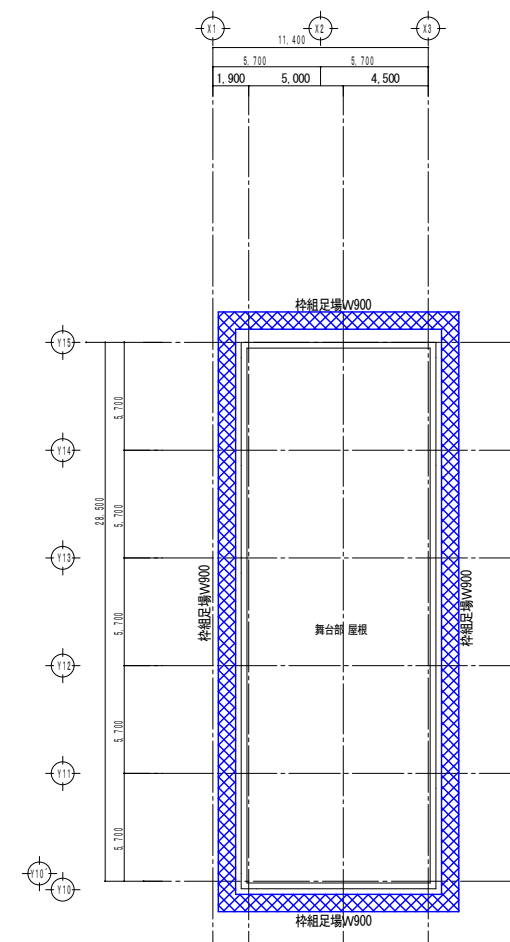
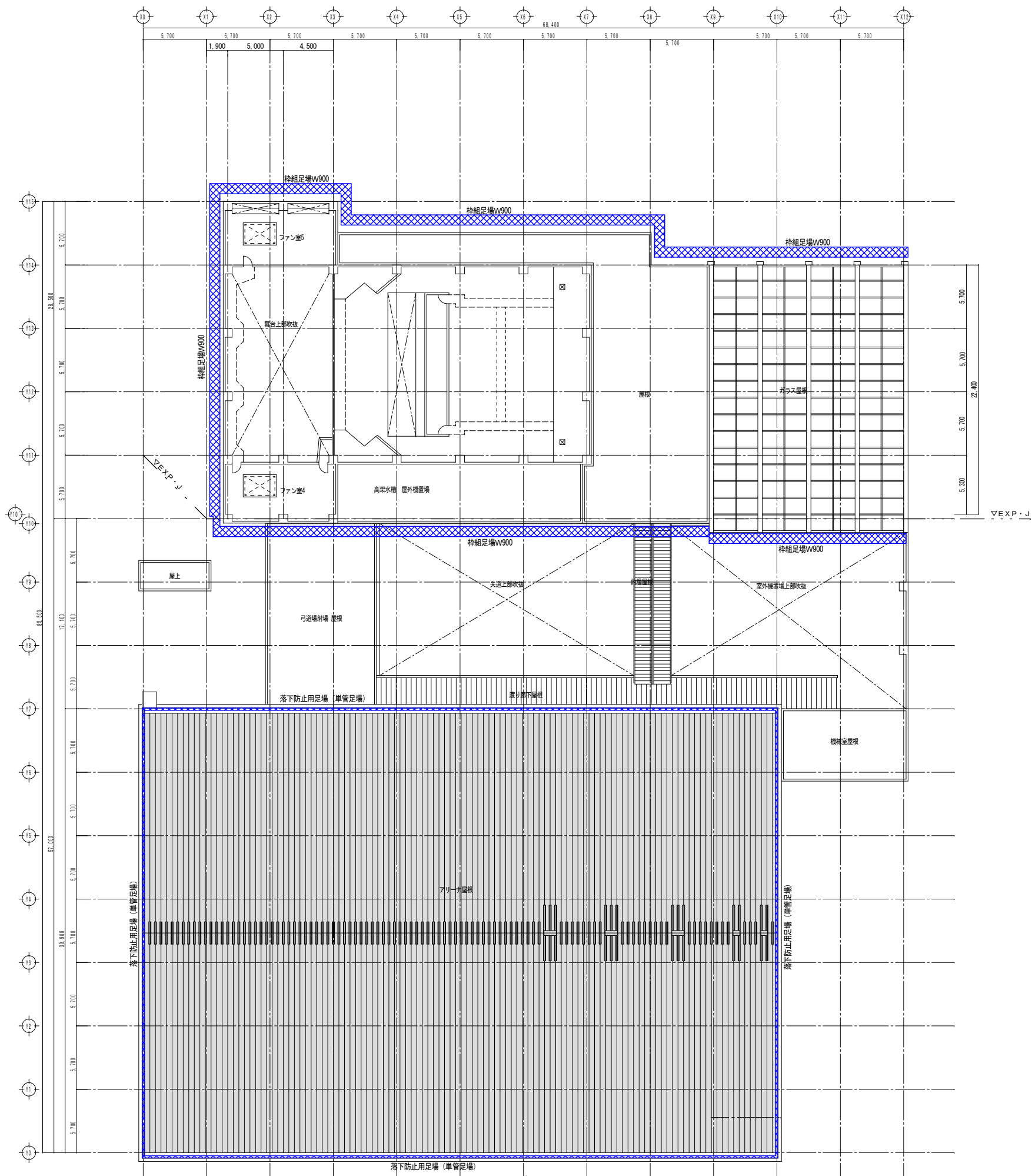


仮設凡例

表示記号	表示事項
---	ガードフェンス H1.8m (出入部分はガードフェンスは外す)
XXXX	外部仮設足場 (必要に応じて朝顔を施す) (最高高さ22m未満) (第三者進入防止のため、再下段にガードフェンスを施す)
▶	建物出入口

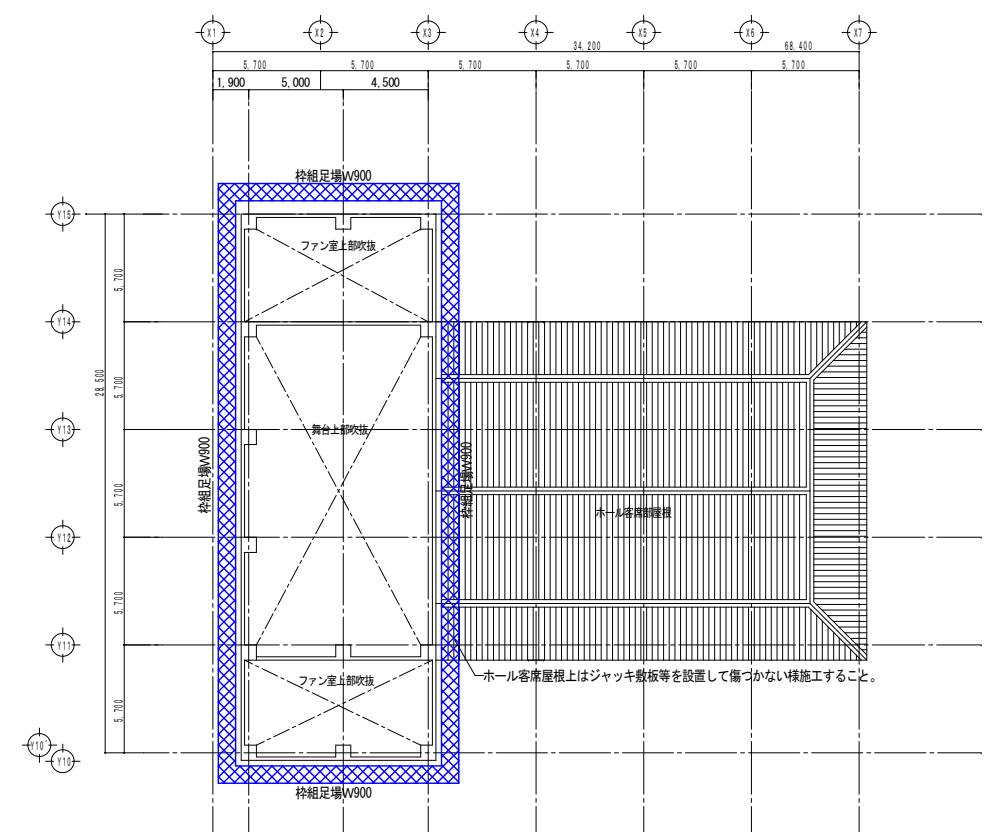
凡例
 改修部分を示す。





舞台上部屋根伏図 1/200

表示記号	表示事項
--- (dashed line)	ガードフェンス H1.8m (出入部分はガードフェンスは外す)
--- (dotted line)	外部仮設足場 (必要に応じて朝顔を施す) (最高高さ22m未満) (第三者進入防止のため、再下段にガードフェンスを施す)
▶ (arrow)	建物出入口



舞台上部平面図 1/200

凡例
 改修部分を示す。

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		
調査基準価格	1	式		
調査基準価格の100/110	1	式		

建築工事 中科目別内訳

建築					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設		1	式		
計					
防水改修	撤去	1	式		
防水改修	改修	1	式		
計					
外壁改修	撤去	1	式		
外壁改修	改修	1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
内装改修	撤去	1	式		
内装改修	改修	1	式		
計					
塗装改修	改修	1	式		

建築工事 細目別内訳

建築		防水改修			撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
(屋根改修)							
防水押え金物撤去	集積共 アルミ製(既製品)	233	m				
ドレインスレーナ管撤去	集積共	9	か所				
シーリング撤去	集積共	550	m				
脱気筒撤去	運搬処分共	2	か所				
既存防水層撤去	屋上防水層 アスファルト防水層 集積共	48.8	m ²				
既存防水層撤去	屋上防水層 シート防水層 集積共	49.2	m ²				
トップライト撤去	固定式900角 集積共	10	か所				
(屋根改修)							
シーリング撤去	集積共	653	m				
計							

建築工事 細目別内訳

建築		防水改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(屋根改修)						
塗膜防水	X-1 絶縁工法 ウルトラコート系 平場 (特定化学物質無配合)	864	m2			
塗膜防水	X-2 密着工法 ウルトラコート系 立上り (特定化学物質無配合) 下地調整球 杉樹脂EIL外塗布	98	m2			
アスファルト活性剤塗布		447	m2			
アスファルト浮き部補修		13.4	m2			
塗膜防水(屋上) 高圧水洗浄	(15MPa)	962	m2			
入隅補強金物	W30	233	m			
ドレイン廻り処理		9	か所			
改修用ドレイン	シート防水(縦型 100用) ストレーナー(アルミイキャスト製)	2	か所			
改修用ドレイン	シート防水(横型 100用) ストレーナー(アルミイキャスト製)	2	か所			
改修用ドレイン	アス防水(縦型 100用) ストレーナー(アルミイキャスト製)	4	か所			
改修用ドレイン	アス防水(横型 100用) ストレーナー(アルミイキャスト製)	1	か所			
脱気筒新設	ステンレス製	9	か所			
ハット天端 塗膜防水	X-2 密着工法 ウルトラコート系 平場 (特定化学物質無配合) 下地調整球 杉樹脂EIL外塗布共	45	m2			
ハット天端 塗膜防水	X-2 密着工法 ウルトラコート系 立上り部 (特定化学物質無配合) 下地調整球 杉樹脂EIL外塗布共	45	m2			

建築		防水改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
高圧水洗浄	150～200kg/cm ²	90	m ²			
シーリング	一般部 ホ [○] リサルファイト [○] 系(PS-2) 10×10	125	m			
シーリング	一般部 ホ [○] リサルファイト [○] 系(PS-2) 20×10	68.2	m			
シーリング	一般部 ホ [○] リウレタ [○] 系(PU-2) 10×10	23.5	m			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×10	100	m			
固定式トップライト	900角 網入りガラス共	6	か所			
排煙用トップライト	900角 網入りガラス、ホ [○] レター [○] 、ワイヤ [○] 取替共	4	か所			
(屋根改修)						
超速硬化ウレタ [○] 防水	密着工法t=2.0(高反射仕上)	3,433	m ²			
下地調整RB種		3,433	m ²			
高圧水洗浄	150～200kg/cm ²	3,433	m ²			
シーリング	一般部 ホ [○] リウレタ [○] 系(PU-2) 10×10	3,508	m			
シーリング	一般部 ホ [○] リウレタ [○] 系(PU-2) 20×10	81.4	m			
(排水溝改修)						
排水溝 塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタ [○] ゴ [○] ム系 平場・立上り共	0.4	m ²			

建築		外壁改修			改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
(外壁改修)							
施工数量調査 (外壁改修)	タイル・珪藻土塗替改修	4,089	m ²				
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	212	m ²				
B-2打放し面Uカット ール材充填工法	ひび割れ幅 1.0mm以上	428	m				
B-6タイル面Uカット ール材充填工法	1.0mm以上 拳動 無し	1,056	m				
同上タイル張替	せつ器質無ゆう外装二丁掛タイル張 り	220	m ²				
D-2'タイル面アンカーピ ンク 部分注入球 杉樹		210	m ²				
Gタイル欠損	躯体補修	4.2	m ²				
同上タイル張替	せつ器質無ゆう外装二丁掛タイル張 り	4.2	m ²				
Hタイル面白樺 酸洗い		9.6	m ²				
水洗い清掃	タイル面	4,089	m ²				
水洗い清掃	打放し面	212	m ²				
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	212	m ²				
(アルミ笠木)							
アルミ笠木	幅400	412	m				

建築工事 細目別内訳

建築		建具改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(鋼製建具)						
SD-1 鋼製片開きフラッシュ 戸	扉のみ W850xH2,000 付属金物一式共	2	か所			
取付調整費		1	式			
運搬費		1	式			
(鋼製建具)						
LSD-1 軽量鋼製片開きフラッシュ 戸	W800xH2,000 付属金物一式共	1	か所			
取付調整費		1	式			
運搬費		1	式			
(展示ハコ)						
SPT-1、SPT-2 展示ハコ	W1,200×H3,400×16枚 袖付き2枚 開き戸W5,300×3,400 ビッチャーレル、付属金物一式共	1	式			
SPT-1、SPT-2 鉄骨補強材	付属金物一式共	1	式			
取付調整費		1	式			
運搬費		1	式			
(トランプース)						
TB-1 トランプース	メラミン樹脂化粧板(木目調) 延べL5,285xH1,900 付属金物共	1	か所			

建築		内装改修			撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
カッター入れ	珞外面 厚さ20～30mm	34.5	m				
コンクリート撤去	鉄筋切断共 コンクリートブレカ 集積共	0.2	m ³				
床珞外・床人研ぎ撤去	集積共	3.9	m ²				
床珞外・床人研ぎ撤去	80角 集積共	1	か所				
ビニル床シート撤去	アスベスト含有 集積共	71.2	m ²				
フーリルニル床シート撤去	アスベスト含有 集積共	368	m ²				
カーペット撤去	集積共	437	m ²				
床組撤去	ころばし 集積共	7.5	m ²				
床・縁甲板 フローリング撤去	集積共	2,365	m ²				
床下地板撤去	集積共	2,365	m ²				
ビニル幅木撤去	一般 集積共	115	m				
壁合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	55.4	m ²				
壁加入撤去	集積共	392	m ²				
天井合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	73	m ²				
天井合板・ボード撤去	二重張り 一般 集積共	451	m ²				

建築		内装改修			撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
天井下地撤去	集積共	321	m ²				
天井廻縁撤去	集積共	258	m				
下り壁見切撤去	集積共	16.9	m				
床マホル・点検口撤去	450角 集積共	3	か所				
床マホル・点検口撤去	600角 集積共	3	か所				
天井点検口撤去	集積共	1	か所				
ビクチャール撤去	集積共	78.7	m				
シーリング撤去	集積共	223	m				
エキスパンションコム撤去	集積共	282	m				
展示ホール 額掛け金物撤去		8	か所				
腰掛便器用手摺撤去		3	か所				
舞台 綱元保護撤去	ホ-ル：H900 5本、チ-ン：8.93m 集積共	1	式				
計							

建築		内装改修			改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
ﾌﾟｰﾙ床 床下地調整		368	m ²				
ﾌﾟｰﾙ床 複層ﾋﾞｰﾙ床シート	厚3.0 ノンスリップﾀｲﾌﾟ	368	m ²				
ﾌﾟｰﾙ床 ﾋﾞｰﾙ床シート端部 ｼｰﾘﾝｸﾞ		223	m				
床ﾈｲﾙ塗り	金ごて ﾋﾞｰﾙ系床材下地 厚28	4.1	m ²				
下地調整費	ﾈｲﾙﾌﾟﾗｽﾀｰ	503	m ²				
防滑性ﾋﾞｰﾙ床シート	柄物 木目調 厚さ2.5 複層ﾋﾞｰﾙ床シートFS 多湿部 熱溶接工法	71.2	m ²				
床ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ	総厚6.5 500角 1種ﾙｰﾊﾟｰｲﾙ 一般事務室用	436	m ²				
主体育館 ﾌﾟｰﾘﾝｸﾞ面1液湿気 硬化型ｳﾙﾀﾝ塗り	3回塗り サﾝﾀﾞｰ掛け共	1,909	m ²				
主体育館 高耐久大型積層ﾌﾟｰ ﾘﾝｸﾞ	厚18.0 天然ひのき板t6.0+耐水合板t12.0	1,909	m ²				
主体育館 床針葉樹構造用合 板	厚15.0	1,909	m ²				
主体育館 鋼製床下地	H=400 全面ﾈｲﾙ調整 支持脚500本程度部分改修共	1,909	m ²				
主体育館 鋼製床下地補強	基礎新設部 根太補強	24	か所				
主体育館 床点検口	600角 ｱﾙﾐ枠	6	か所				
主体育館 ｴｷｽﾊﾟﾝｼｮﾝｺﾞﾑ	18*20	185	m				
副体育館ﾌﾟｰﾘﾝｸﾞ 面1液湿気硬化型ｳ ﾙﾀﾝ塗り	3回塗り サﾝﾀﾞｰ掛け共	449	m ²				

建築		内装改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
副体育館 高耐久大型積層加 -リング	厚18.0 天然ひのき板t6.0+耐水合板t12.0	449	m2			
副体育館 床針葉樹構造用合 板	厚15.0	449	m2			
副体育館 鋼製床下地	H=400 全面レベル調整 支持脚100本程度部分改修共	449	m2			
主体育館 鋼製床下地補強	基礎新設部 根太補強	6	か所			
副体育館 床点検口	600角 アルミ枠	4	か所			
副体育館 エキストラコンクリ ム	18*20	96.8	m			
舞台 嵩上げコンクリ ート	H270 コンクリート打ち 鉄筋・アンカ共	1	式			
ブドウ棚補強工事		1	式			別紙 00-0008
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	2.6	m ²			
木製床組	ころばし 高さ150 大引90×90@900 根太60×75@450 ホク・根太用アンカ共	4.9	m ²			
グラスウール吸音材	保温板2号 32K 厚さ50	4.9	m ²			
床加-リング	厚さ15 サラ 研磨 外塗装 下地合板 厚15+15共	4.9	m ²			
ビニル幅木	高さ100	120	m			
壁珞外塗り	金ごて 内装珞外接着張り下地 -	0.8	m ²			
内装壁珞外張り	エポキシ珞 有機系接着張り(タイプ) 類 施ゆう 100mm角 珞外面	0.8	m ²			

建築		内装改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 -	36.3	m ²			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚 9.5 準不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 -	25.2	m ²			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚 9.5 準不燃 RC、CB直張り 継目処理 -	30.2	m ²			
壁不燃加貼り	ボード面	397	m ²			
建具不燃加貼り	展示パネル裏面	269	m ²			
建具不燃加貼り	既設展示パネル裏面	80	m ²			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	21.2	m ²			
天井 化粧吸音石膏ボード 張り(GB-D)	厚 9.5 準不燃	31.2	m ²			
天井 化粧 せっこうボード 張り(GB-D)	厚 9.5 準不燃 トリプル 突付け	93.8	m ²			
天井 四角 化粧吸音板張り (DR)	フラット内部用 厚12 不燃 下張GB-NC 厚 9.5共	443	m ²			
天井 四角 化粧吸音板張り (DR)	フラット内部用 厚 9 不燃 下張GB-NC 厚 9.5共	8.2	m ²			
天井 杉柂難燃合 板張り	厚5.5	0.4	m ²			
天井 木毛セメント板 張り	厚25.0	34.8	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りあり @360 インサート含む	288	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 インサート含む	7.9	m ²			

建築		内装改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 534 × 1460mm程度	10	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 534 × 1760mm程度	6	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 534 × 1160mm程度	19	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 534 × 920mm程度	4	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 950 × 950mm程度 ホ-ト等切込み共	10	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 600 × 600mm程度 ホ-ト等切込み共	1	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 490 × 650mm程度 ホ-ト等切込み共	3	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 450 × 450mm程度 ホ-ト等切込み共	62	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 690 × 1530mm程度 ホ-ト等切込み共	1	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 700 × 1400mm程度 ホ-ト等切込み共	3	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 800 × 1260mm程度 ホ-ト等切込み共	6	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内) 680 × 1030mm程度 ホ-ト等切込み共	1	か所			
天井廻縁	塩化ビニル製	72	m			
天井廻縁	アルミ製	193	m			
下り壁見切縁	アルミ製	15.4	m			

建築		内装改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
排水目皿	40用 周囲珪珉補修共(80角)	1	か所			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共目地 450角	62	個			
ﾌﾟｰﾙ 配管ｶﾞｰ	CB造 W600×D400×H725 天端：花崗岩張り t25 壁：陶器質100角珪珉張り ｼｰﾘﾝｸﾞ 共	2	か所			
ﾋﾞｯｸﾞﾁｬｰﾚｰﾙ	壁付き（LGS壁部）	72.2	m			
ﾋﾞｯｸﾞﾁｬｰﾚｰﾙ	壁付き（RC壁部）	10.2	m			
ｽﾃﾝﾙｽﾌｯｸ	展示ﾊﾞｰﾈｯﾄﾞ ｸﾁｬｰﾚｰﾙ部	228	か所			
ｽﾃﾝﾙｽﾌｯｸワｲｰ	展示ﾊﾞｰﾈｯﾄﾞ ｸﾁｬｰﾚｰﾙ部	228	か所			
ｽﾃﾝﾙｽﾌｯｸ	壁付きﾋﾞｯｸﾞ ｸﾁｬｰﾚｰﾙ部	150	か所			
ｽﾃﾝﾙｽﾌｯｸワｲｰ	壁付きﾋﾞｯｸﾞ ｸﾁｬｰﾚｰﾙ部	150	か所			
ﾋﾞｯｸﾞ ｸﾁｬｰﾚｰﾙ取付下 地金物		1	式			
ﾋﾞｯｸﾞ ｸﾁｬｰﾚｰﾙ 取付・運搬費		1	式			
展示ホール ﾊﾞｰﾃｰｼﾞｮﾝﾚｰﾙ取外 し再取付け	床取付け	13.2	m			
展示ホール ﾊﾞｰﾃｰｼﾞｮﾝﾚｰﾙ取外 し再取付け	天井取付け	13.2	m			
通路 アルミﾊﾞｰ 取外し再 取付け	900角	10	か所			

建築		内装改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
展示ホール 額掛け金物取外し 再取付け		46	か所			
L型手摺	樹脂被覆L型手摺34 固定700x700	9	か所			
小便器補助手摺	樹脂被覆小便器補助手摺34	4	か所			
可動手摺	樹脂被覆可動手摺34 跳ね上げロック付き	3	か所			
腰掛便器用手摺取 外し再取付		3	か所			
バレー・テニス用コバ抜き	深さ400	12	個			
吊り環用コバ抜き	深さ300	4	個			
段違い平行棒用コバ 抜き	深さ300	4	個			
あん馬・跳馬用コバ 抜き	深さ300	2	個			
バレー用コバ抜き	深さ400	2	個			
床金具埋外充填	既設基礎、新設基礎内	1.1	m3			
バトントシ基礎枠	コンクリート製 500×500×H300程度 鉄筋、アンカー	30	か所			
主体育館 バレー・テニス用床止金 具	70-リング用 完全落蓋型 亜鉛ダイカスト製	12	個			
主体育館 吊り環・段違い平 行棒用床止金具	70-リング用 アンカー式 完全落蓋型 亜鉛ダイカスト製	2	組			
主体育館 平行棒男子用床止 金具	70-リング用 丸座 真鍮製	1	組			

建築		内装改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
主体育館 あん馬・跳馬用床 止金具	70-リング用 完全落蓋型 亜鉛ダクタ製	2	個			
主体育館 (メイン)移動式バスケット 台用丸座		8	個			
主体育館 (サブ)移動式バスケット 台用丸座		16	個			
主体育館 防球ネット用床止金 具	70-リング用 60mm	6	個			
主体育館 (メイン)バスケットボールコ ート	28,000x15,000 コーナー及びホイント L=8 T=8 +=2 センターサークルのみ全線(センターライン付き) 黄色 50mm	1	面			
主体育館 (サブ)バスケットボールコ ート	28,000x14,900 全線 アンチリア付き 黄色 50mm	2	面			
主体育館 (メイン)一般6人制バス ケットボールコート	18,000x9,000 コーナー及びホイント L=4 T=8 T=6 バックアタック破線1個(外側)付き 白色 50mm	1	面			
主体育館 (サブ)一般6人制バス ケットボールコート	18,000x9,000 全線 バックアタック破線 付き サイドラインを(サブ)バスケットボールと兼用あ り (外側2面は外側の1本・真ん中1面は 両サイドの2本) 白色 50mm	3	面			
主体育館 (メイン)一般9人制バス ケットボールコート	21,000x10,500 コーナー L=4 赤色 50mm	1	面			
主体育館 (サブ)一般9人制バス ケットボールコート	21,000x10,500 コーナー L=4 赤色 50mm	2	面			
主体育館 バドミントンダブルスコ ート	13,400x6,100 全線 緑色 40mm	12	面			
主体育館 (メイン)サテニスコート	23,770x10,970 コーナー L=8 青色 50mm	1	面			

建築		内装改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
主体育館 (カ)ソフトコート	23,770x10,970 コナ- L=8 青色 50mm	2	面			
主体育館 バドミントン用床金具	70-リング用 完全落蓋型 亜鉛タ イカト製 スライド ロック式	12	対			
副体育館 バレーコート用床止金具	70-リング用 完全落蓋型 亜鉛タ イカト製	1	対			
副体育館 (メイ)一般6人制バレーコート	18,000x9,000 全線 白色 50mm	1	面			
副体育館 (メイ)一般9人制バレーコート	21,000x10,500 全線 赤色 50mm	1	面			
副体育館 (メイ)バドミントンダブルコート	13,400x6,100 コナ- L=4 緑色 40mm	1	面			
副体育館 (カ)バドミントンダブルコート	13,400x6,100 全線 緑色 40mm	3	面			
副体育館 バドミントン用床金具	70-リング用 完全落蓋型 亜鉛タ イカト製 スライド ロック式	3	対			
舞台 網元保護フェンス	H1,800 片開き戸共 L900+400+1,300+1,200 材料費	1	か所			
舞台 網元保護フェンス	H1,800 片開き戸共 L1,000+1,200+1000 材料費	1	か所			
舞台 網元保護フェンス	H1,800 片開き戸共 L1,800+1,000 材料費	1	か所			
舞台 網元保護フェンス 取付運搬費		1	式			
計						

建築		塗装改修			改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
(外部)							
D P 塗り	鋼製建具面 1級 素ごしらえ 亜鉛めっき鋼面 工程B種	7.8	m2				
D P 塗り 改修仕様	鋼製建具面 1級 亜鉛めっき鋼面 RB種(塗替え面)	2	m2				
(内部)							
S O P 塗り	鋼製建具面 1級 素ごしらえ 亜鉛めっき鋼面 工程B種	4.7	m ²				
S O P 塗り 改修仕様	鋼製建具面(屋内外) 工程B種 塗料A種 下地RB種(塗替え面)	34.8	m2				
S O P 塗り 改修仕様	木部 工程B種 塗料1種 - 下地RB種(塗替え面)	4.7	m ²				
E P 塗り	ホ-ト面 工程B種(一般) 素地B種	55.4	m ²				
E P 塗り 改修仕様	ホ-ト面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面) ハ-テ処理共	45.4	m ²				
E P 塗り 改修仕様	ホ-ト面 工程B種(見上) 下地調整RB種(塗替え面)	33.1	m ²				
計							

建築		発生材処理		運搬		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材積み	ボード・木材類 人力(アスベスト含有材)	1.3	m3			
発生材積み	コンクリート類 人力	0.2	m3			
発生材積み	ボード・木材類 人力	99.1	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 アスファルト	0.2	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 石こうボード類	6.1	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 アスベスト含有材	1.3	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 木材類	80.6	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類	0.2	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 廃プラスチック類	3.5	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 ガラス及び陶磁器くず類	0.1	m3			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 がれき屑類	8.6	m3			
スクラップ運搬(kg)		1,783	kg			
計						

建築		発生材処理			処分		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
撤去材処分	アスファルト	0.2	m3				
撤去材処分	廃石膏ボード	6.1	m3				
撤去材処分	アスベスト含有材	1.3	m3				
撤去材処分	木くず	80.6	m3				
撤去材処分	コンクリート類	0.2	m3				
撤去材処分	廃プラスチック類	3.5	m3				
撤去材処分	ガラス及び陶磁器くず類	0.1	m3				
撤去材処分	がれき屑類	8.6	m3				
スクラップ処分	H2 (1462.55*0.7=1023.785)	1	t				
スクラップ処分(kg)	アルミ (320.43*0.7=224.301)	224	kg				
計							

建築		仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
墨出し		1	式			別紙 00-0001
墨出し(内部改修)	個別改修	64.3	m ²			
墨出し(内部改修)	複合改修	290	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0002
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	864	m ²			
開口部養生 (外壁改修)	合板張り養生	1,353	m ²			
養生(内部改修)	複合改修	437	m ²			
養生(内部改修)	個別改修	3,042	m ²			
計						

建築		仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0003
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	864	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		1,353	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	437	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	3,042	m ²			
計						
外部足場		1	式			別紙 00-0004
枠組本足場(手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 22m未満	4,615	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 15m	290	m ²			
安全手すり(手すり先行方式)		545	m			
単管一本足場	15～20m未満 -	701	m ²			
計						

建築		内装改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
ブドウ棚補強工事		1	式			別紙 00-0008
(材料)						
棒鋼	SS400 M25	0.02	t			
鋼板	SS400 PL-12	0.02	t			
鋼板	SS400 PL-16	0.02	t			
ターナックル	M25用	3	か所			
トリア形高力ボルト	S10T M16x50	13	本			
あと施工アンカー	樹脂製 M20 材工共	6	本			
(手間)						
加工・取付手間		1	式			
運搬費	2t車	1	台			
鉄骨工場錆止め塗料塗り		1.1	m ²			
鉄骨工場溶接	6mm換算	1.8	m			
鉄骨現場溶接	半自動(すみ肉6mm換算)	1.8	m			
鉄骨足場	単管吊り足場	13.4	m ²			

